

旭 市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
報告書

平成 31 年 3 月

旭 市

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	3
2.	調査対象者	3
3.	実施概要	3
4.	回収結果	3
5.	報告書を見る際の留意点	3
II	就学前児童の調査結果	5
1.	お住まいの地域について	7
2.	対象のお子さんご家族の状況について	8
3.	理想の子ども数について	18
4.	対象のお子さんの保護者の就労状況について	20
5.	対象のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	27
6.	対象のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	37
7.	対象のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の 「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	42
8.	対象のお子さんの病気の際の対応について	46
9.	対象のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	53
10.	対象のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	60
11.	育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について	66
12.	子育てに関する悩みや不安感について	76
13.	子育てに関する情報の入手方法について	82
14.	子育てサークルへの参加状況について	84
15.	子どもの遊び場について	85
16.	外出の際に困ることについて	87
17.	お子さんの医療について	89
18.	お子さんとの生活全般について	90
19.	児童虐待について	93
20.	子育て支援施策全般について	96

Ⅲ 小学生の調査結果	101
1. お住まいの地域について.....	103
2. 対象のお子さんご家族の状況について.....	104
3. 理想の子ども数について.....	114
4. 対象のお子さんの保護者の就労状況について.....	116
5. 対象のお子さんの放課後や休日の過ごし方について	122
6. 対象のお子さんの病気の際の対応について.....	128
7. 子育て支援サービスの認知度や利用意向等について	134
8. 地域活動やグループ活動等について	136
9. 子育てに関する悩みや不安感について	138
10. 子育てに関する情報の入手方法について.....	143
11. 子育てサークルへの参加状況について.....	144
12. 子どもの遊び場について.....	145
13. 外出の際に困ることについて	147
14. お子さんの医療について.....	149
15. お子さんとの生活全般について	150
16. 児童虐待について	153
17. 子育て支援施策全般について	156
Ⅳ 前回調査結果との比較	159
Ⅴ 資料編（調査票）	173

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成27年3月に策定した「第1期旭市子ども・子育て支援事業計画」が平成31(2019)年度に終了することに伴い、平成32(2020)年度からの「第2期旭市子ども・子育て支援事業計画」の策定の基礎資料とするため、市民の皆さまの子育て支援等に関する生活実態やご意見・ご要望等を把握することを目的に実施しました。

2. 調査対象者

調査区分	調査対象者数
就学前児童	就学前児童がいる 2,463 世帯
小学生	小学生がいる 2,274 世帯

3. 実施概要

- 調査地域：旭市全域
- 調査形式：アンケート調査
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査期間：平成30年12月11日～平成31年1月29日

4. 回収結果

調査区分	配布数	回収数	回収率
就学前児童	2,463 件	1,227 件	54.0%
小学生	2,274 件	1,178 件	47.3%
合計	4,737 件	2,405 件	50.8%

5. 報告書を見る際の留意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
- グラフ中の「n」とは、その設問の回答者数（母数）を表しています。
- 調査票の選択肢について、一部簡略化している場合があります。
- クロス集計や家庭類型別の集計表では、無回答を除外しているため、合計と一致しない場合があります。
- 回答者数（母数）が少数の場合、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。
- 本調査では、父母の有無や就労状況から家庭類型を行っており、以下のとおり、8タイプに区分されます。なお、家庭類型は「現在」と、今後の就労意向を踏まえた「潜在」があります。

【家庭類型 8タイプ区分】

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム (就労時間：月 120 時間以上＋下限時間～120 時間未満の一部)
タイプC'	フルタイム×パートタイム (就労時間：月下限時間未満＋下限時間～120 時間未満の一部)
タイプD	専業主婦（夫）
タイプE	パートタイム×パートタイム (就労時間：双方が月 120 時間以上＋下限時間～120 時間未満の一部)
タイプE'	パートタイム×パートタイム (就労時間：いずれかが月下限時間未満＋下限時間～120 時間未満の一部)
タイプF	無業×無業

※下限時間：本市では 48 時間で設定しています。

Ⅱ 就学前児童の調査結果

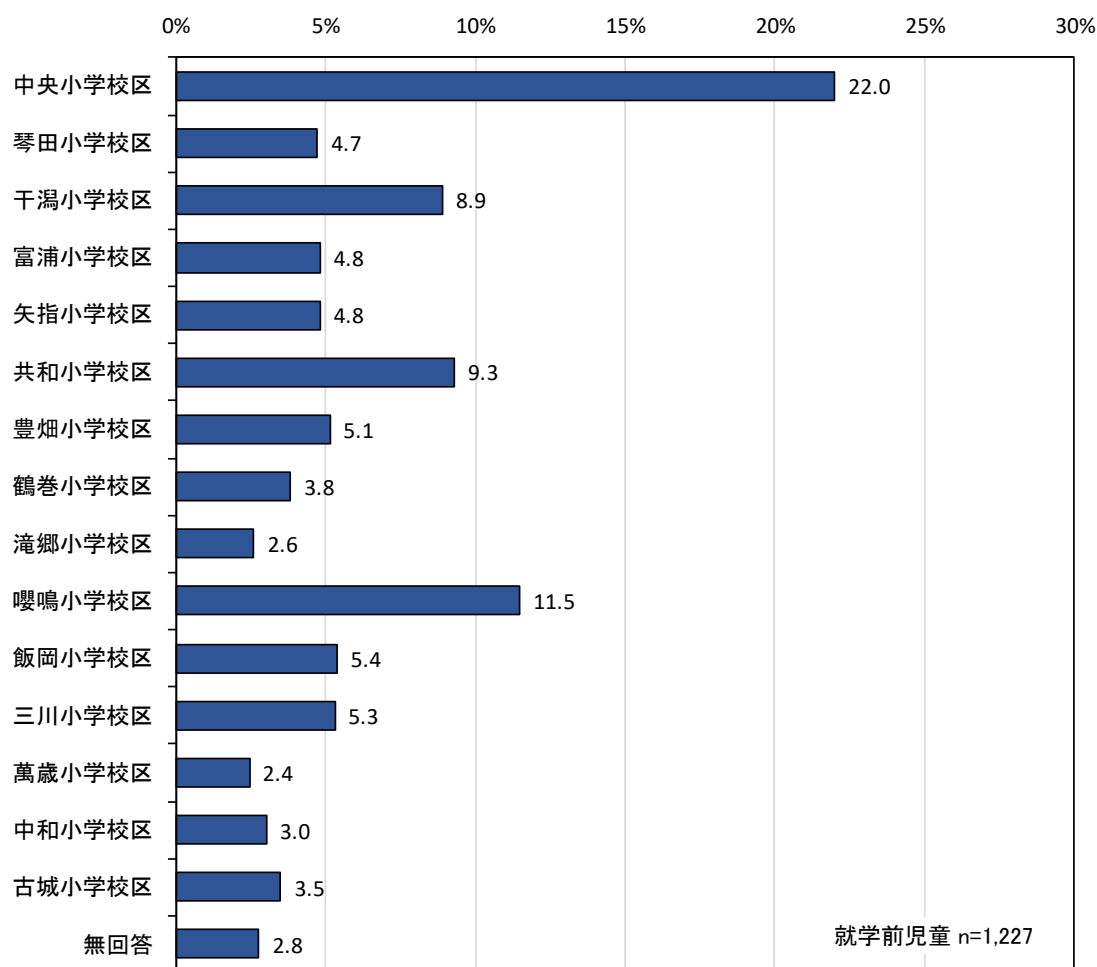
1. お住まいの地域について

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(〇は1つ)

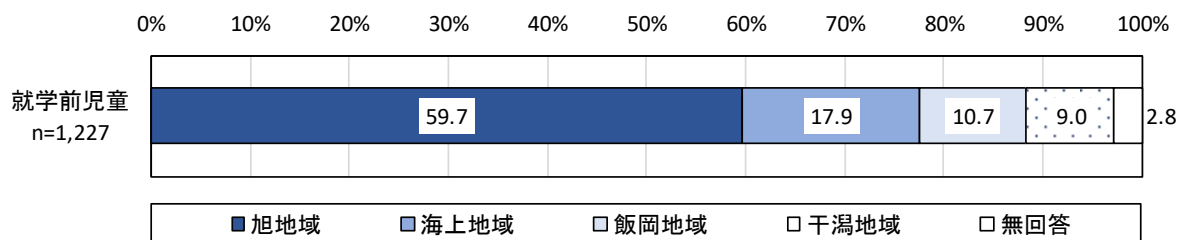
小学校区については、「中央小学校区」が22.0%で最も高く、次いで「嚶鳴小学校区」が11.5%、「共和小学校区」が9.3%となっている。

地域別でみると、「旭地域」が59.7%で最も高く、次いで「海上地域」が17.9%、「飯岡地域」が10.7%となっている。

【小学校区別】



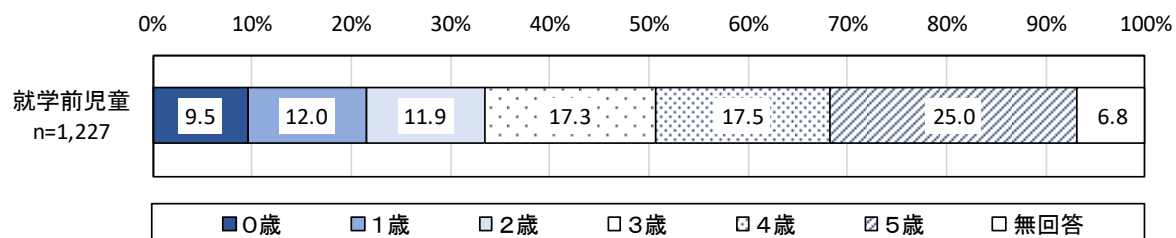
【地域別】



2. 対象のお子さんご家族の状況について

問2 対象のお子さんの生年月をご記入ください。(□内に数字をご記入ください。)

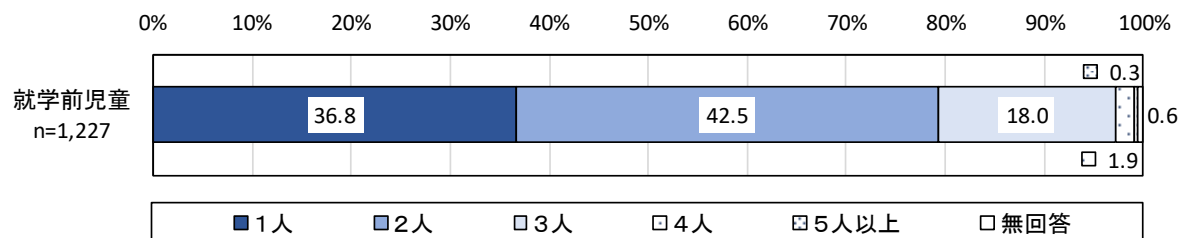
年齢については、「5歳」が25.0%で最も高く、次いで「4歳」が17.5%、「3歳」が17.3%となっている。



問3 対象のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、一番大きいお子さん及び小さいお子さんの年齢(平成30年4月1日現在の年齢)をご記入ください。(□内に数字をご記入ください。)

(1) 子どもの人数

子どもの人数については、「2人」が42.5%で最も高く、次いで「1人」が36.8%、「3人」が18.0%となっている。

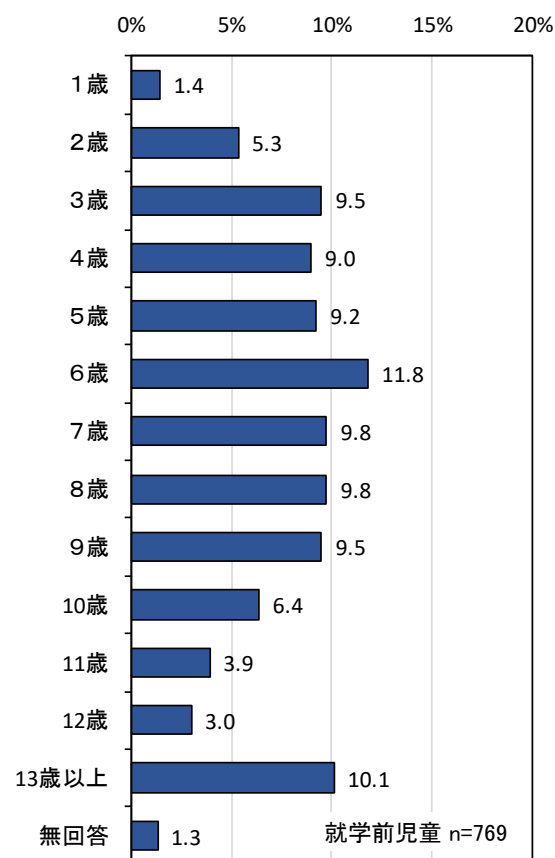


(2) 長子の年齢・末子の年齢

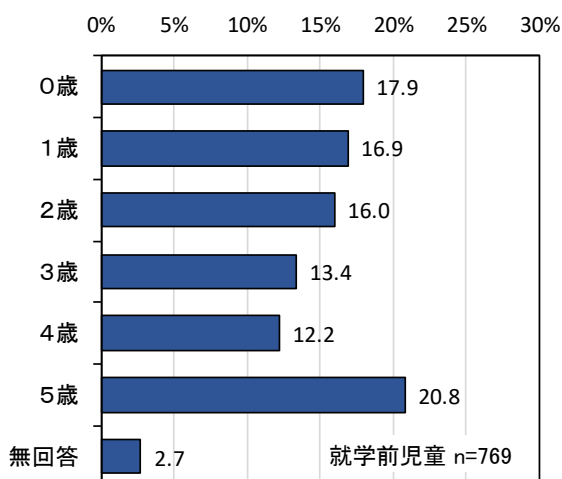
長子の年齢については、「6歳」が11.8%で最も高く、次いで「13歳以上」が10.1%、「7歳」、「8歳」がともに9.8%となっている。

末子の年齢については、「5歳」が20.8%で最も高く、次いで「0歳」が17.9%、「1歳」が16.9%となっている。

【長子の年齢】

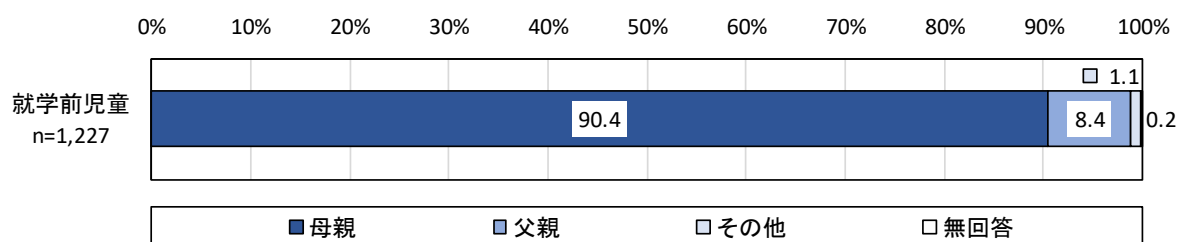


【末子の年齢】



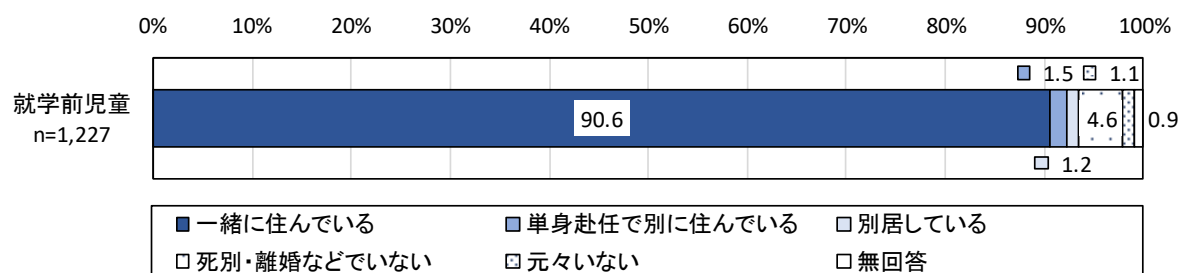
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。続柄は対象のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

調査票への回答者については、「母親」が90.4%で最も高く、次いで「父親」が8.4%、「その他」が1.1%となっている。



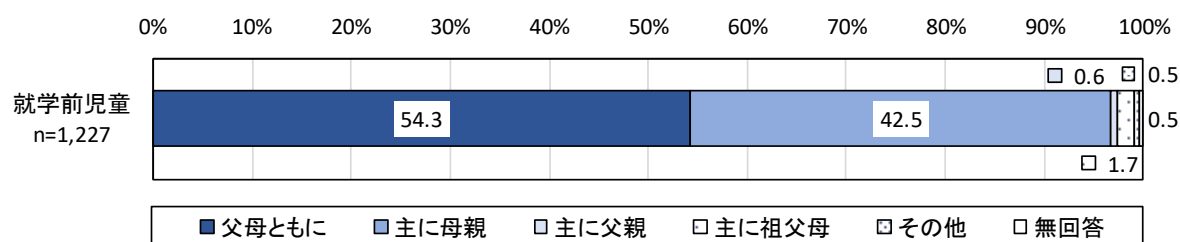
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

回答者の配偶関係については、「一緒に住んでいる」が 90.6%で最も高く、次いで「死別・離婚などでない」が 4.6%、「単身赴任で別に住んでいる」が 1.5%となっている。



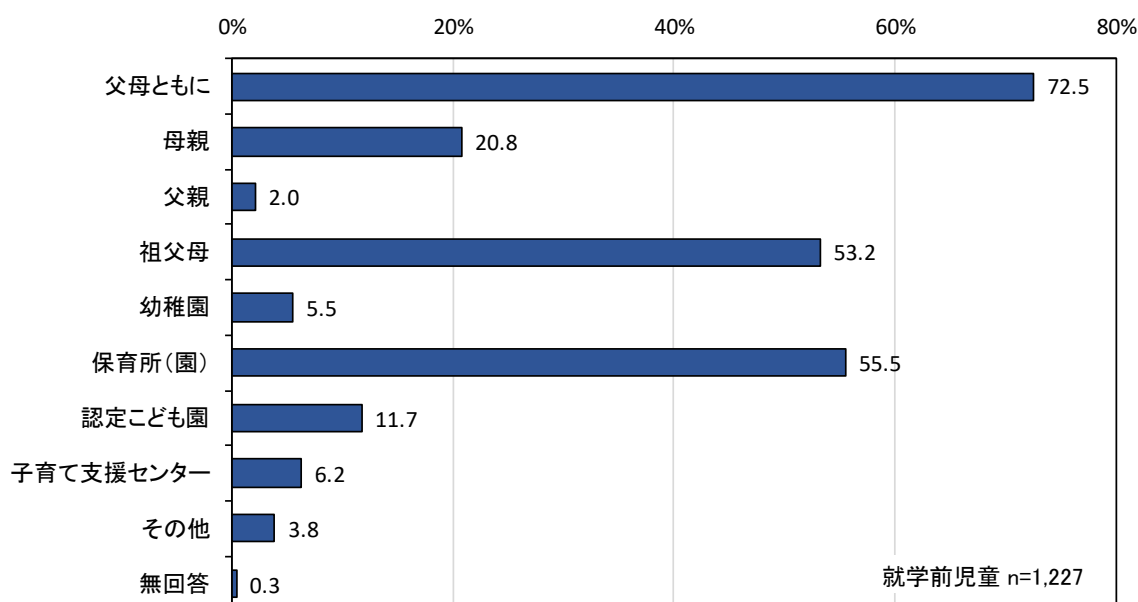
問6 対象のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。続柄は対象のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

子育てを主にしている方については、「父母ともに」が 54.3%で最も高く、次いで「主に母親」が 42.5%、「主に祖父母」が 1.7%となっている。



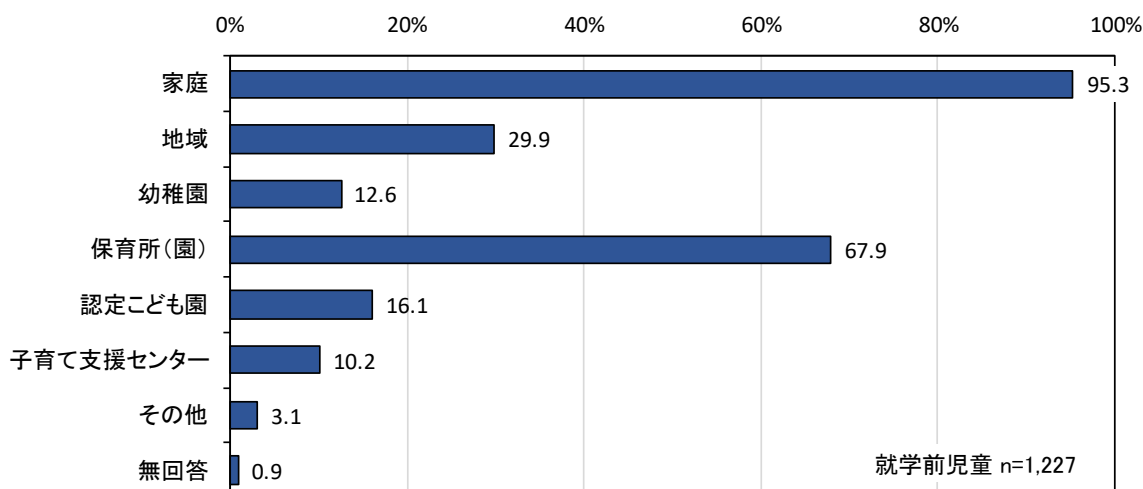
問7 対象のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方や施設をお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

子育てに日常的に関わっている方（施設）については、「父母ともに」が72.5%で最も高く、次いで「保育所（園）」が55.5%、「祖父母」が53.2%となっている。



問8 対象のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

子育てに影響すると思われる環境については、「家庭」が95.3%で最も高く、次いで「保育所（園）」が67.9%、「地域」が29.9%となっている。

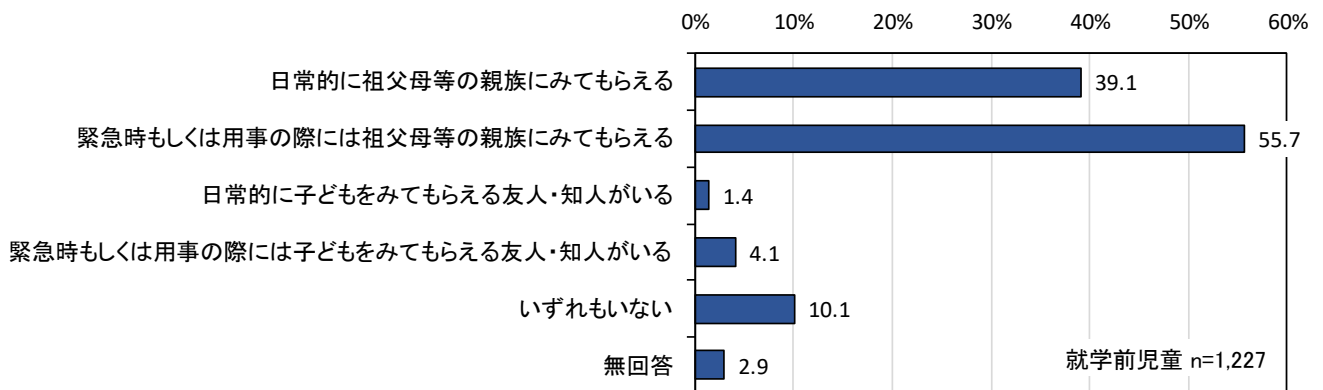


問9 対象のお子さんを日常的に預けられる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

お子さんを日常的に預けられる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.7%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が39.1%、「いずれもない」が10.1%となっている。

年齢区分でみると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は、0歳では4割を超え、他の年齢区分と比べて高く、1・2歳、3歳以上では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が0歳に比べて高くなっている。

地域別でみると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」において、就学前児童全体の割合を超える地域は、飯岡地域、干潟地域、一方で下回る地域は、旭地域、海上地域となっている。



【年齢区分】

項目		1	2	3	4	5	無回答	総回答数	回答者数
		日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない			
就学前児童		480	683	17	50	124	36	1,390	1,227
		39.1%	55.7%	1.4%	4.1%	10.1%	2.9%	113.3%	100.0%
年齢区分	0歳	52	58	1	6	15	2	134	117
		44.4%	49.6%	0.9%	5.1%	12.8%	1.7%	114.5%	100.0%
	1・2歳	111	159	2	10	33	7	322	293
		37.9%	54.3%	0.7%	3.4%	11.3%	2.4%	109.9%	100.0%
	3歳以上	281	417	12	29	70	21	830	734
		38.3%	56.8%	1.6%	4.0%	9.5%	2.9%	113.1%	100.0%

【地域別】

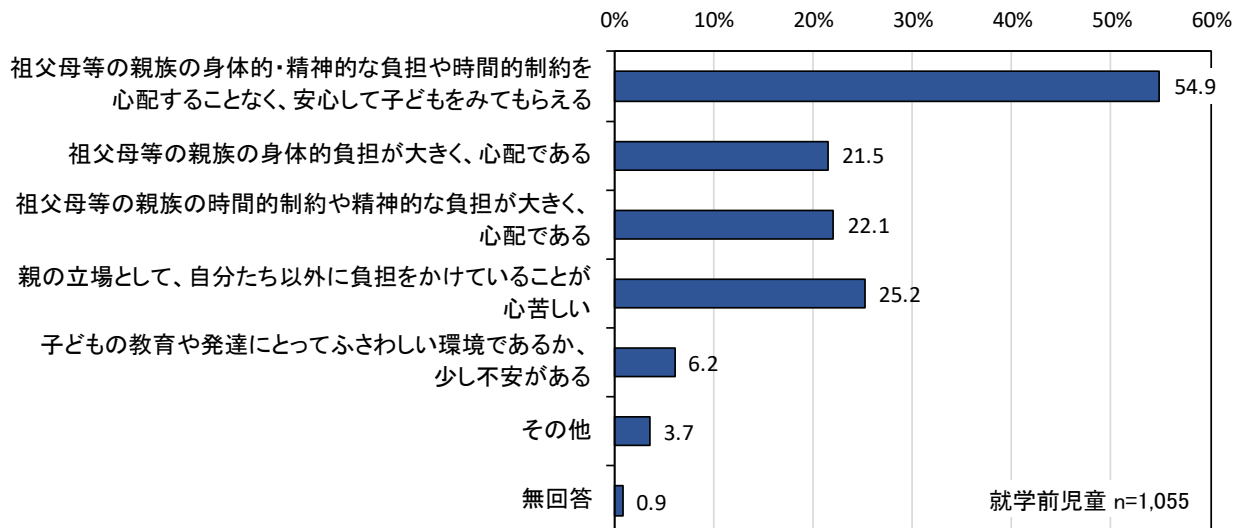
項目		1	2	3	4	5	無回答	総回答数	回答者数
		日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない			
就学前児童		480	683	17	50	124	36	1,390	1,227
		39.1%	55.7%	1.4%	4.1%	10.1%	2.9%	113.3%	100.0%
地域別	旭地域	273	413	9	34	79	22	830	732
		37.3%	56.4%	1.2%	4.6%	10.8%	3.0%	113.4%	100.0%
	海上地域	79	138	2	7	20	6	252	220
		35.9%	62.7%	0.9%	3.2%	9.1%	2.7%	114.5%	100.0%
	飯岡地域	62	59	4	5	14	2	146	131
		47.3%	45.0%	3.1%	3.8%	10.7%	1.5%	111.5%	100.0%
	干潟地域	55	56	1	2	9	1	124	110
		50.0%	50.9%	0.9%	1.8%	8.2%	0.9%	112.7%	100.0%

問9-1 問9で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

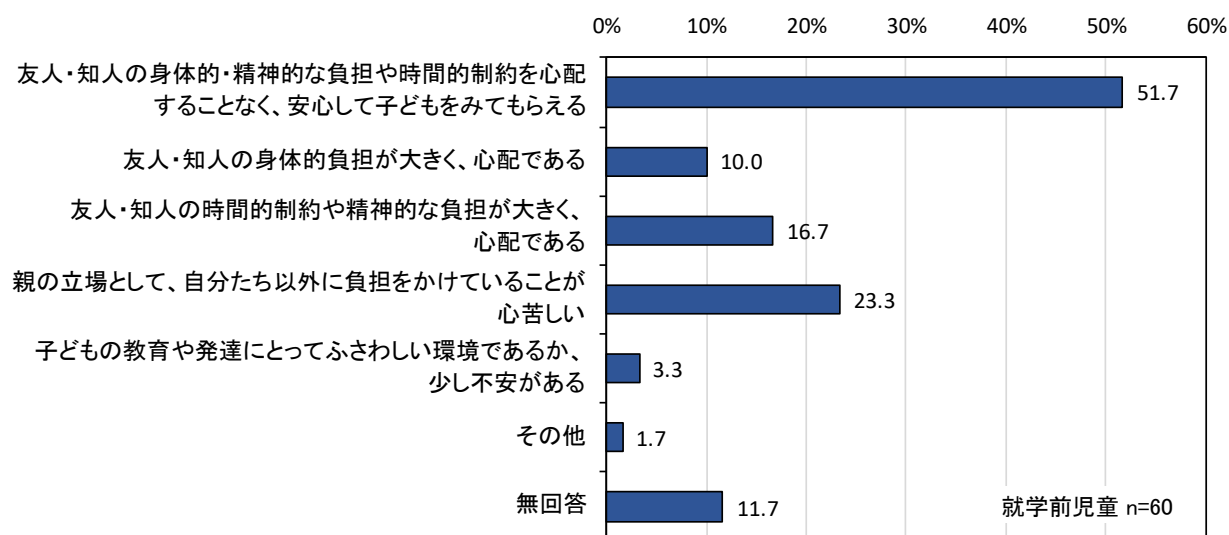
祖父母等の親族にみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が54.9%で最も高く、次いで「親の立場として、自分たち以外に負担をかけていることが心苦しい」が25.2%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が22.1%となっている。



問9-2 問9で「3」または「4」と回答した方にお伺いします。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

友人・知人にみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が51.7%で最も高く、次いで「親の立場として、自分たち以外に負担をかけていることが心苦しい」が23.3%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が16.7%となっている。

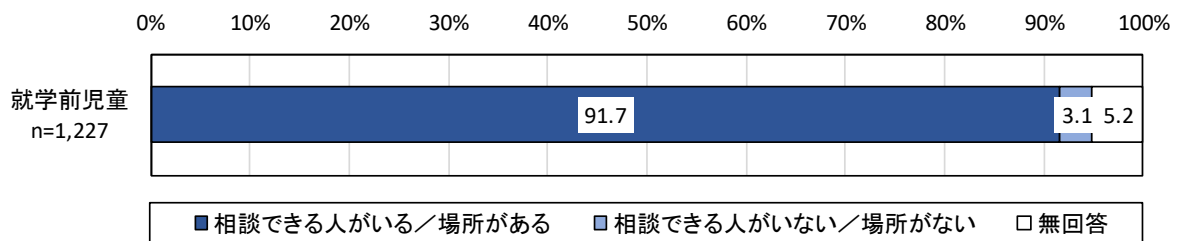


問 10 対象のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び相談できる場所がありますか。（○は1つ）

気軽に相談できる人（場所）の有無については、「相談できる人がある／場所がある」が91.7%、「相談できる人がいない／場所がない」が3.1%となっている。

地域別でみると、旭地域、海上地域では「相談できる人がいない／場所がない」の割合が、他の地域と比べて若干高くなっている。

現在の家庭類型別でみると、タイプA、タイプDでは「相談できる人がいない／場所がない」の割合が、他の家庭類型と比べて若干高くなっている。



【地域別】

項目		1 相談できる人がある／場所がある	2 相談できる人がいない／場所がない	無回答	回答者数
就学前児童		1,125 91.7%	38 3.1%	64 5.2%	1,227 100.0%
地域別	旭地域	669 91.4%	24 3.3%	39 5.3%	732 100.0%
	海上地域	204 92.7%	9 4.1%	7 3.2%	220 100.0%
	飯岡地域	121 92.4%	1 0.8%	9 6.9%	131 100.0%
	干潟地域	100 90.9%	2 1.8%	8 7.3%	110 100.0%

【現在の家庭類型別】※家庭類型の区分はP4参照

項目		1 相談できる人がある／場所がある	2 相談できる人がいない／場所がない	無回答	回答者数
就学前児童		1,125 91.7%	38 3.1%	64 5.2%	1,227 100.0%
【現在】家庭類型 全体		867 92.2%	29 3.1%	44 4.7%	940 100.0%
現在の家庭類型別	【現在】タイプA	56 86.2%	3 4.6%	6 9.2%	65 100.0%
	【現在】タイプB	367 92.9%	9 2.3%	19 4.8%	395 100.0%
	【現在】タイプC	288 94.1%	6 2.0%	12 3.9%	306 100.0%
	【現在】タイプC'	21 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 100.0%
	【現在】タイプD	133 88.7%	10 6.7%	7 4.7%	150 100.0%
	【現在】タイプE	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	【現在】タイプF	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%

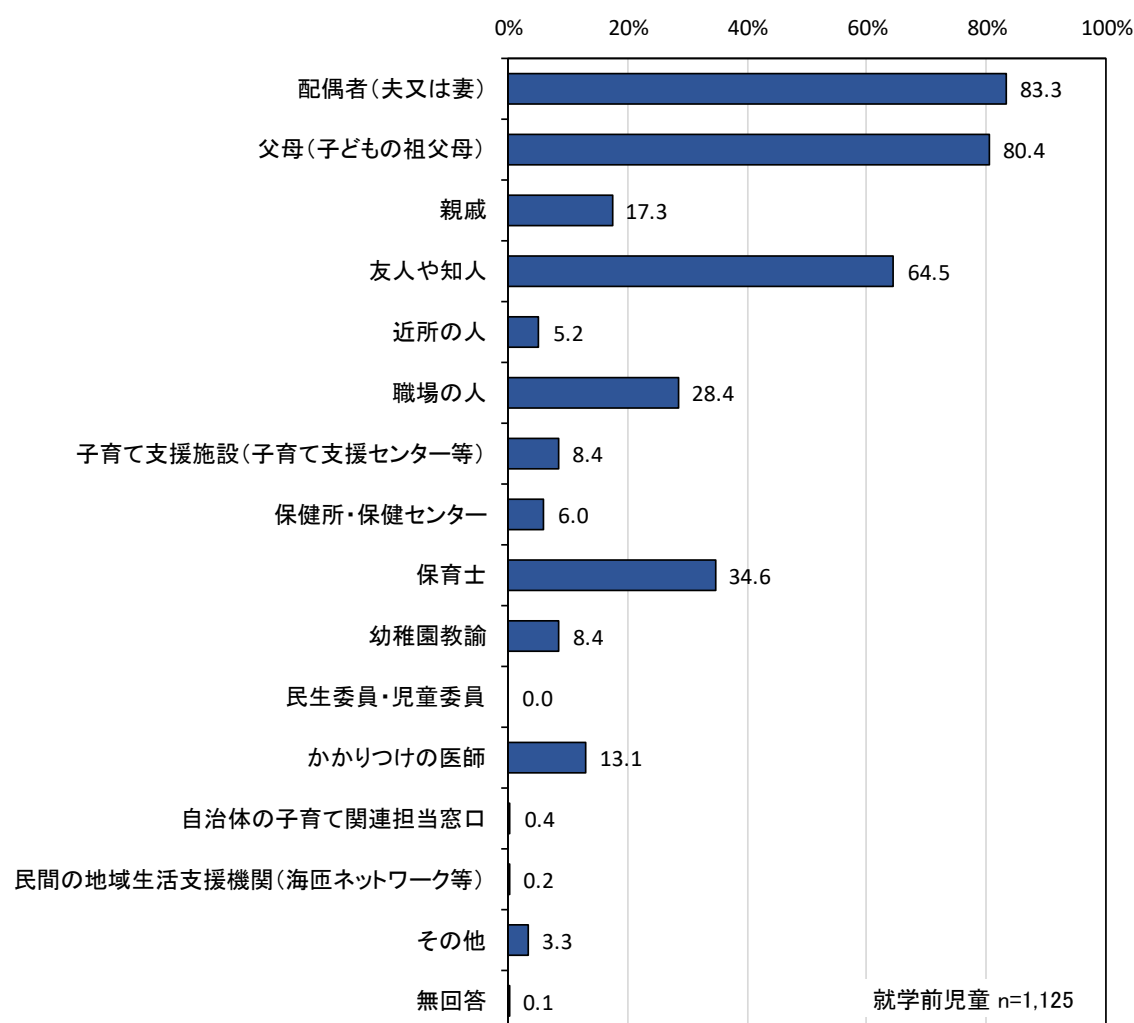
問 10-1 問 10 で「1. 相談できる人がいる／場所がある」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できるのはどちらですか。

（あてはまるものすべてに○）

相談先については、「配偶者（夫又は妻）」が 83.3% で最も高く、次いで「父母（子どもの祖父母）」が 80.4%、「友人・知人」が 64.5% となっている。

地域別でみると、「配偶者（夫又は妻）」では、すべての地域で 8 割程度であるなかで、海上地域の割合が最も低くなっている。また、「職場の人」では、旭地域、海上地域、飯岡地域で 3 割程度である一方、干潟地域では 2 割弱となっている。その他、他の地域と比べて割合が高い傾向がみられる項目については、旭地域では「父母（子どもの祖父母）」、「親戚」、「幼稚園教諭」、海上地域では「父母（子どもの祖父母）」、「保育士」、飯岡地域では「友人や知人」、干潟地域では「親戚」、「友人や知人」となっている。



【地域別】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		配偶者 (夫又は妻)	父母(子ども の祖父母)	親戚	友人や知 人	近所の人	職場の人	子育て支 援施設 (子育て支 援センター 等)	保健所・ 保健セン ター	保育士	幼稚園教 諭	民生委 員・児童 委員
就学前児童		937	905	195	726	58	320	94	67	389	95	0
		83.3%	80.4%	17.3%	64.5%	5.2%	28.4%	8.4%	6.0%	34.6%	8.4%	0.0%
地域別	旭地域	563	537	117	424	34	202	57	37	227	70	0
		84.2%	80.3%	17.5%	63.4%	5.1%	30.2%	8.5%	5.5%	33.9%	10.5%	0.0%
	海上地域	163	168	32	125	12	62	16	10	82	11	0
		79.9%	82.4%	15.7%	61.3%	5.9%	30.4%	7.8%	4.9%	40.2%	5.4%	0.0%
	飯岡地域	102	94	15	86	6	36	6	11	41	6	0
		84.3%	77.7%	12.4%	71.1%	5.0%	29.8%	5.0%	9.1%	33.9%	5.0%	0.0%
	干潟地域	85	78	21	69	5	17	7	4	34	8	0
		85.0%	78.0%	21.0%	69.0%	5.0%	17.0%	7.0%	4.0%	34.0%	8.0%	0.0%

項目		12	13	14	15	無回答	総回答数	回答者数
		かかりつ けの医師	自治体の 子育て関 連担当窓 口	民間の地 域生活支 援機関 (海匠ネッ トワーク 等)	その他			
就学前児童		147	4	2	37	1	3,977	1,125
		13.1%	0.4%	0.2%	3.3%	0.1%	353.5%	100.0%
地域別	旭地域	93	3	1	19	1	2,385	669
		13.9%	0.4%	0.1%	2.8%	0.1%	356.5%	100.0%
	海上地域	23	1	1	10	0	716	204
		11.3%	0.5%	0.5%	4.9%	0.0%	351.0%	100.0%
	飯岡地域	14	0	0	4	0	421	121
		11.6%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	347.9%	100.0%
	干潟地域	14	0	0	4	0	346	100
		14.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	346.0%	100.0%

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所等）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由に意見などをお書きください。

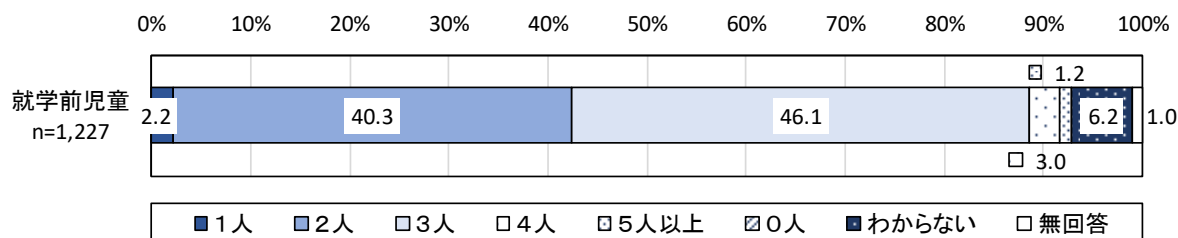
全部で 418 の回答があり、内訳は以下のとおりである。ひとりの対象者が複数の項目に関して言及している場合もあるが、ここでは主な意見 1 つとして分類してある。

分類項目	件数
1. 幼稚園、保育所（園）、保育サービス、サポートについて	227 件
2. 遊び場、公園、催しについて	72 件
3. 保健、医療について	9 件
4. 市政について	56 件
5. その他（相談できる所、助けてくれる人、預けられる所等）	54 件

3. 理想の子どもの数について

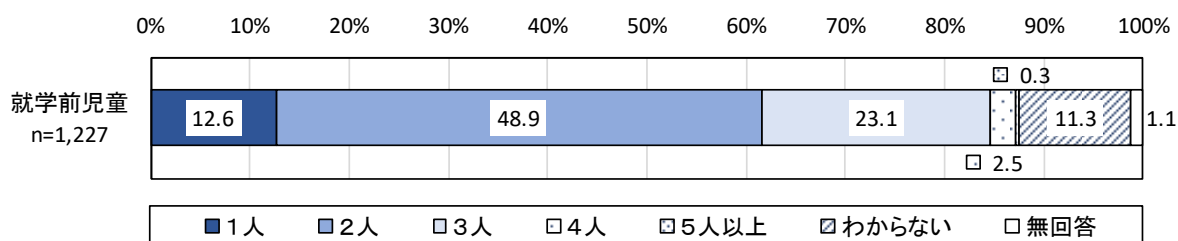
問 12 理想とする子どもの数は何人ですか。(〇は1つ)

理想とする子どもの数については、「3人」が46.1%で最も高く、次いで「2人」が40.3%、「わからない」が6.2%となっている。



問 13 あなたは、実際に何人の子どもを持つ予定ですか。(〇は1つ)

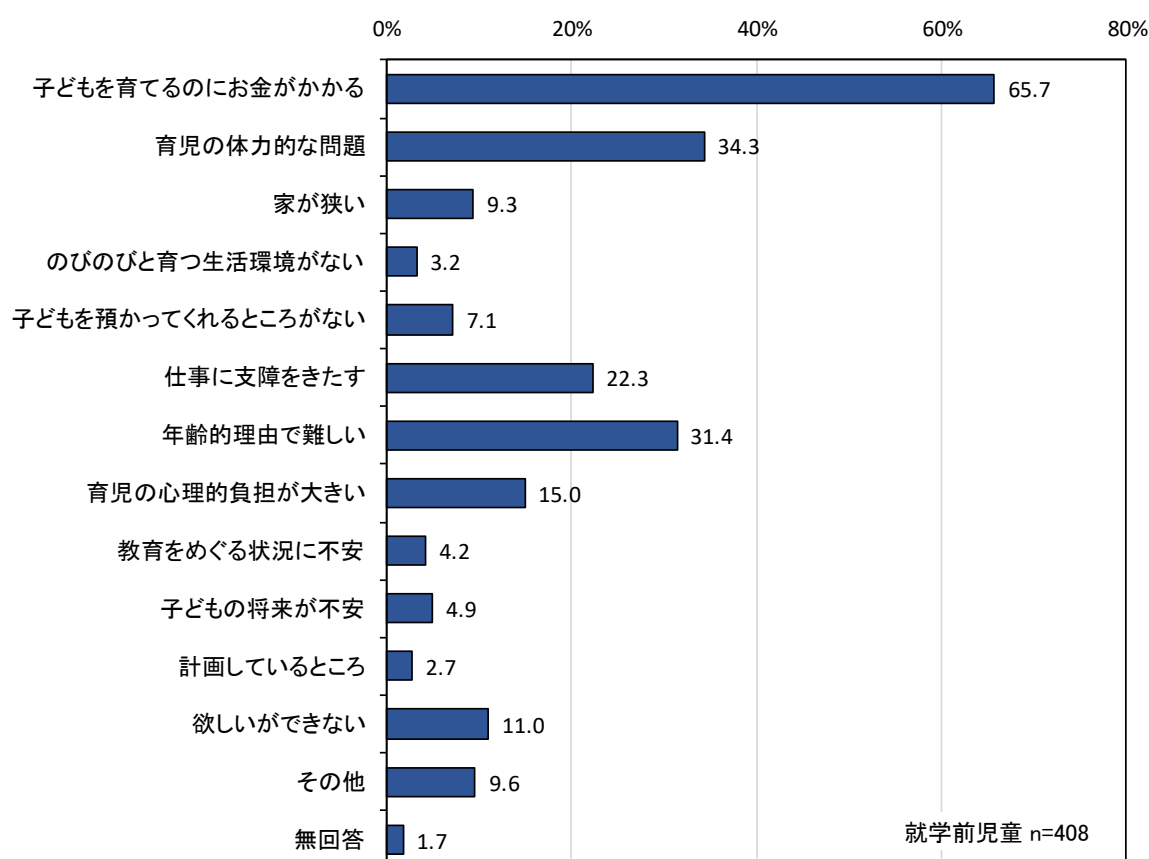
実際に持つ予定の子どもの数については、「2人」が48.9%で最も高く、次いで「3人」が23.1%、「1人」が12.6%となっている。



問 14 問 13 の「実際に持つ予定の子ども数」が、問 12 の「理想と考える子どもの数」よりも少ない方にお伺いします。

理想と考える子どもの数より実際に持つ予定の子ども数が少ないのはなぜですか。（〇は3つまで）

理想と考える子どもの数より実際に持つ予定の子ども数が少ない理由については、「子どもを育てるのにお金がかかる」が 65.7%で最も高く、次いで「育児の体力的な問題」が 34.3%、「年齢的理由で難しい」が 31.4%となっている。



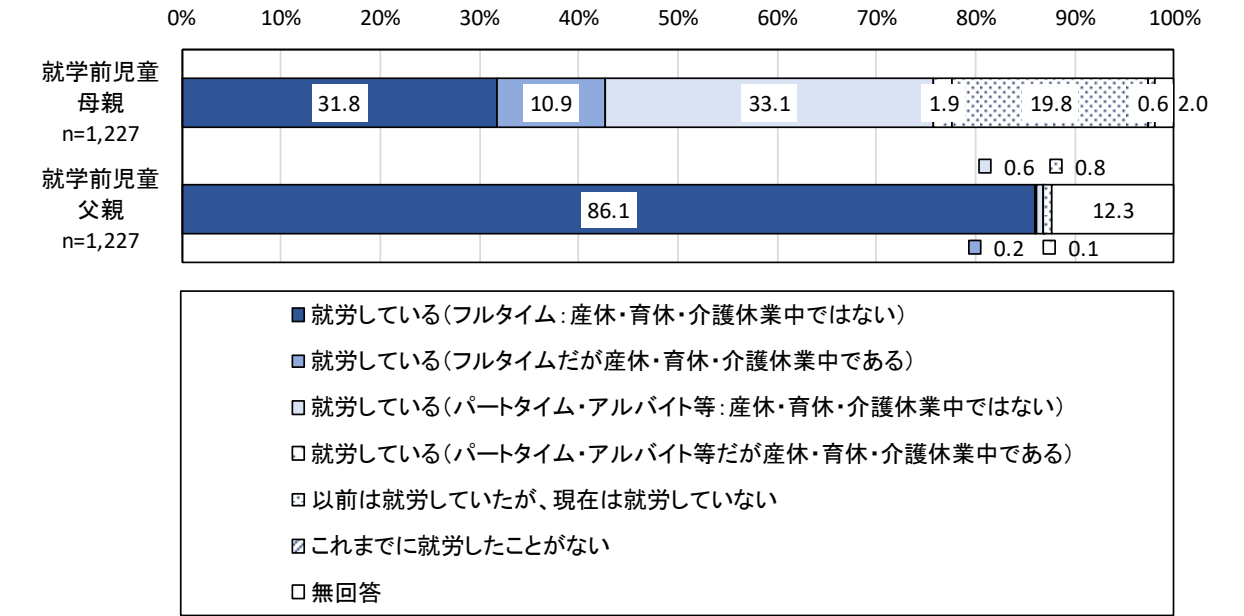
4. 対象のお子さんの保護者の就労状況について

問 15 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（○は1つ）

母親の現在の就労状況については、「就労している（パートタイム・アルバイト等：産休・育休・介護休業中ではない）」が33.1%で最も高く、次いで「就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中ではない）」が31.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が19.8%となっている。

父親の現在の就労状況については、「就労している（フルタイム：育休・介護休業中ではない）」が86.1%で最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.8%、「就労している（パートタイム・アルバイト等：育休・介護休業中ではない）」が0.6%となっている。

地域別に母親の就労状況をみると、旭地域、海上地域ではフルタイムの割合が、飯岡地域、干潟地域ではパートタイム・アルバイト等の割合が高くなっている。



【地域別（母親の就労状況）】

項目		1	2	3	4	5	6	無回答	回答者数
		就労している(フルタイム:産休・育休・介護休業中ではない)	就労している(フルタイムだが産休・育休・介護休業中である)	就労している(パートタイム・アルバイト等:産休・育休・介護休業中ではない)	就労している(パートタイム・アルバイト等だが産休・育休・介護休業中である)	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない		
就学前児童		390	134	406	23	243	7	24	1,227
		31.8%	10.9%	33.1%	1.9%	19.8%	0.6%	2.0%	100.0%
地域別	旭地域	221	86	243	15	145	6	16	732
		30.2%	11.7%	33.2%	2.0%	19.8%	0.8%	2.2%	100.0%
	海上地域	85	28	66	1	36	1	3	220
		38.6%	12.7%	30.0%	0.5%	16.4%	0.5%	1.4%	100.0%
	飯岡地域	43	8	49	3	24	0	4	131
		32.8%	6.1%	37.4%	2.3%	18.3%	0.0%	3.1%	100.0%
干潟地域		35	5	43	1	25	0	1	110
		31.8%	4.5%	39.1%	0.9%	22.7%	0.0%	0.9%	100.0%

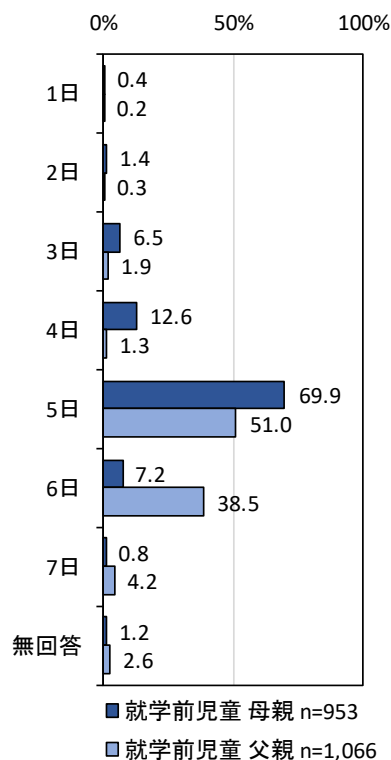
(1) -①・② (1)で「1」～「4」と回答した方にお伺いします。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（□内に数字をご記入ください。）

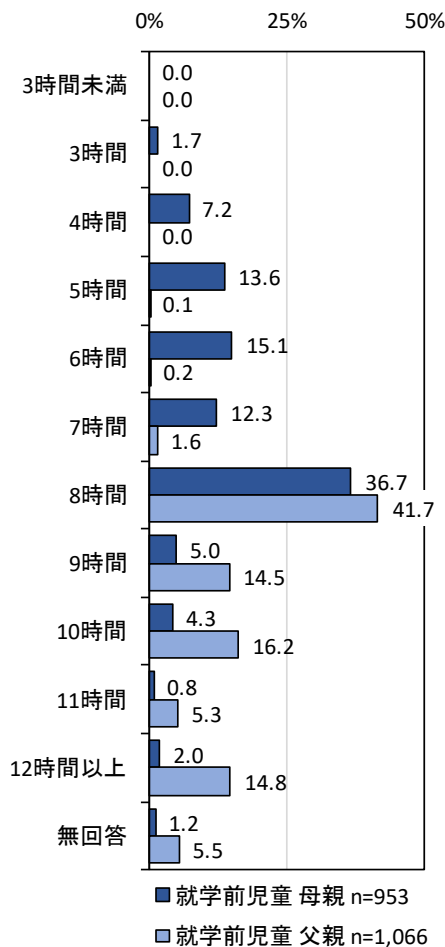
① 就労日数・就労時間

就労状況については、父母ともに就労日数では「5日」、就労時間では「8時間」が最も高い割合を占めている。母親の就労時間では、8時間未満が約5割を占めている。

【就労日数】



【就労時間】

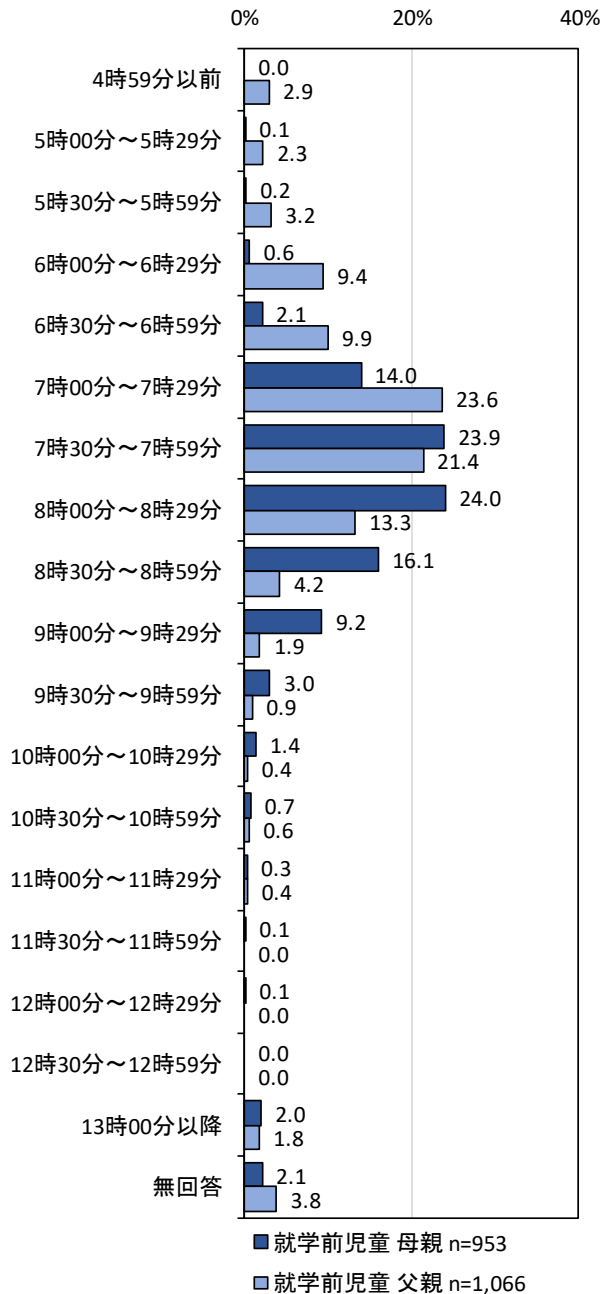


② 家を出る時間・帰宅時間

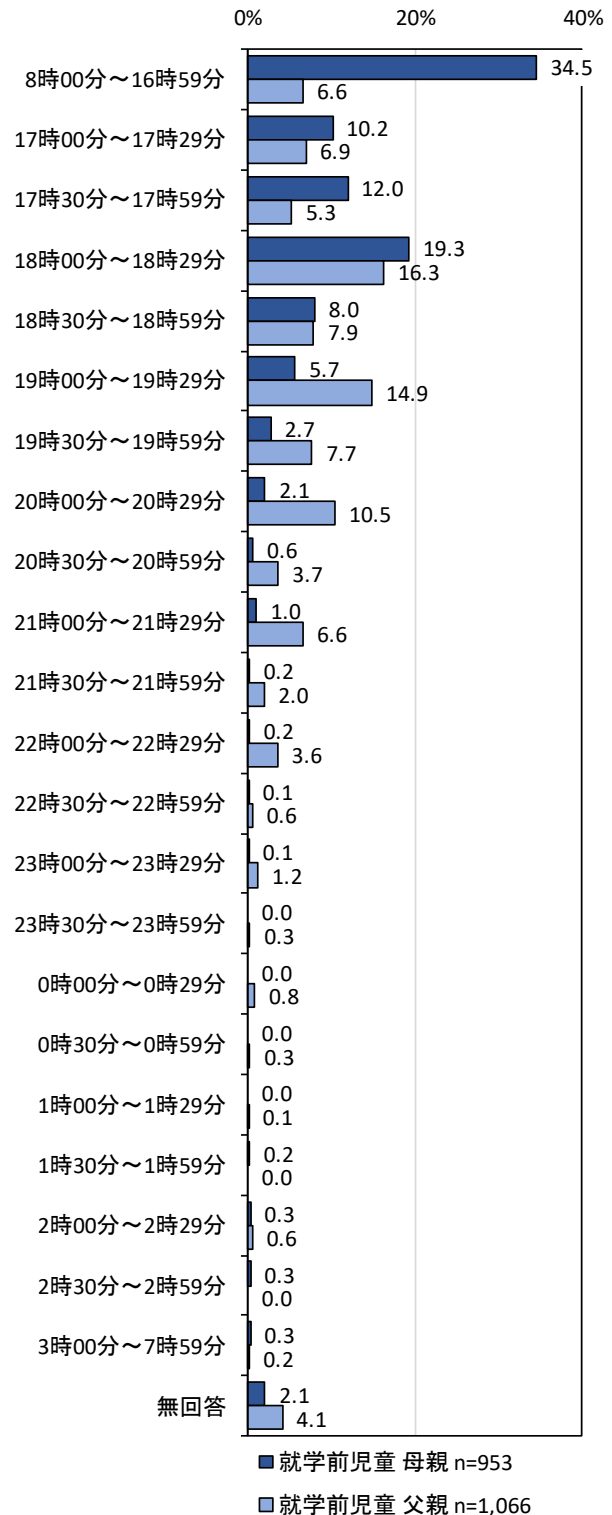
家を出る時間については、母親では「8時00分～8時29分」が24.0%で最も高く、次いで「7時30分～7時59分」が23.9%、父親では「7時00分～7時29分」が23.6%で最も高く、次いで「7時30分～7時59分」が21.4%となっている。

帰宅時間については、母親では「8時00分～16時59分」が34.5%で最も高く、次いで「18時00分～18時29分」が19.3%、父親では「18時00分～18時29分」が16.3%で最も高く、次いで「19時00分～19時29分」が14.9%となっている。

【家を出る時間】



【帰宅時間】

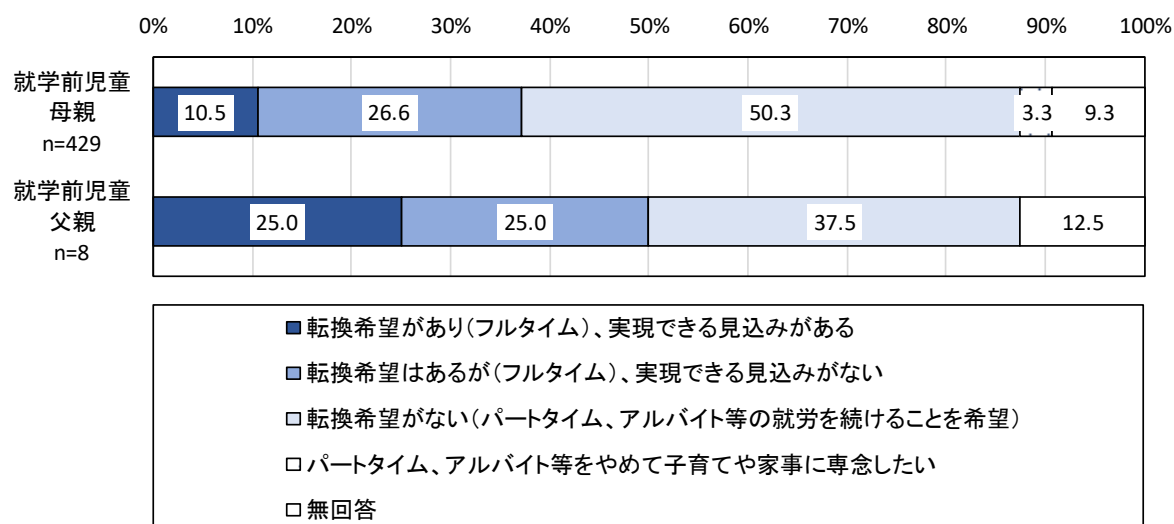


問 15-1 問 15 の（１）または（２）で「３」、「４」（パートタイム・アルバイト等で就労）と回答した方にお伺いします。

フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ〇は１つ）

母親のフルタイムへの転換希望については、「転換希望がない（パートタイム、アルバイト等の就労を続けることを希望）」が 50.3% で最も高く、次いで「転換希望はあるが（フルタイム）、実現できる見込みがない」が 26.6%、「転換希望があり（フルタイム）、実現できる見込みがある」が 10.5% となっている。

父親のフルタイムへの転換希望については、「転換希望がない（パートタイム、アルバイト等の就労を続けることを希望）」が 37.5% で最も高く、次いで「転換希望があり（フルタイム）、実現できる見込みがある」、「転換希望はあるが（フルタイム）、実現できる見込みがない」がともに 25.0% となっている。



問 15-2 問 15 の（１）または（２）で「５」、「６」（就労していない）と回答した方にお伺いします。
就労希望はありますか。
（該当する番号・記号にそれぞれ○は１つ、該当する□内に数字をご記入ください。）

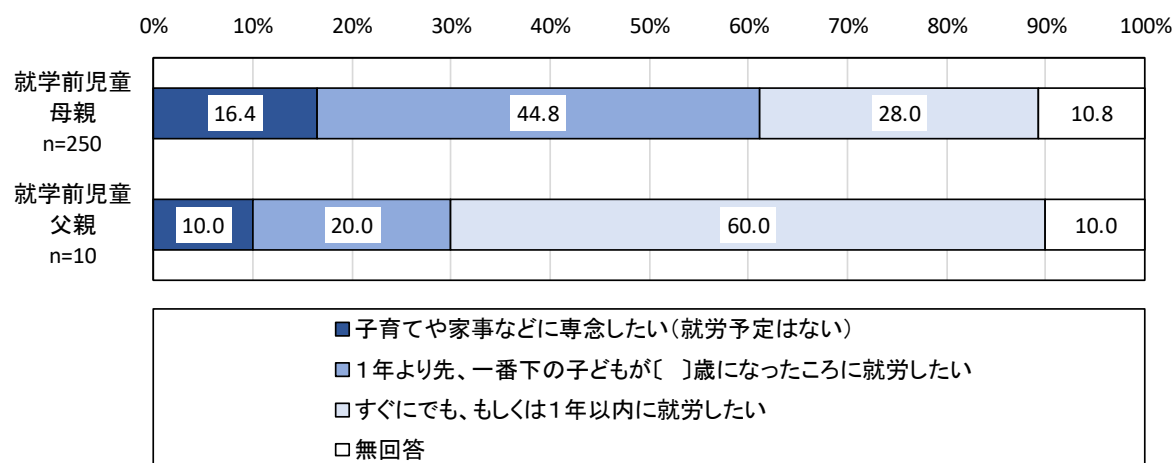
（１）就労希望

母親の就労希望については、「１年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」が 44.8%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 28.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労予定はない）」が 16.4%となっている。

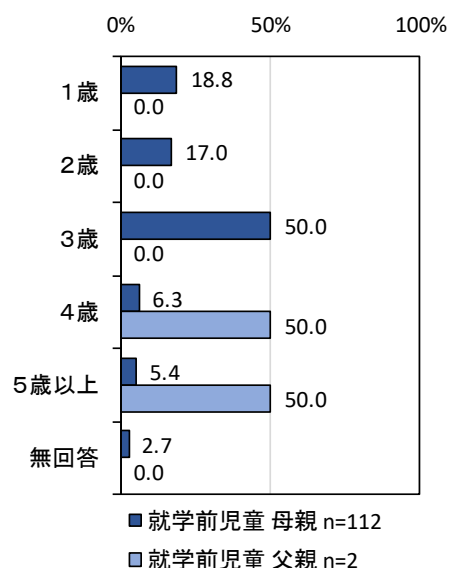
父親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 60.0%で最も高く、次いで「１年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」が 20.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労予定はない）」が 10.0%となっている。

なお、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したいかについては、母親では「３歳」が 50.0%で最も高く、次いで「１歳」が 18.8%、「２歳」が 17.0%となっている。

父親では、該当する回答者は２人で、「４歳」、「５歳以上」がともに１人となっている。



【一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい】

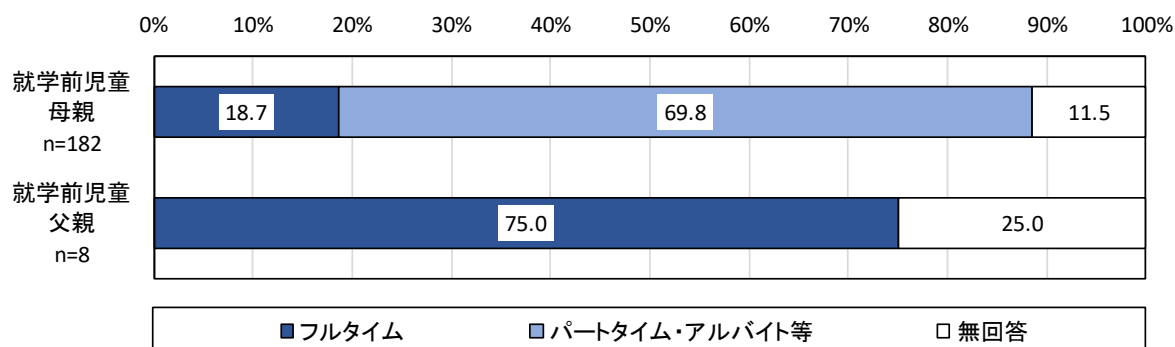


(2) 希望する就労形態

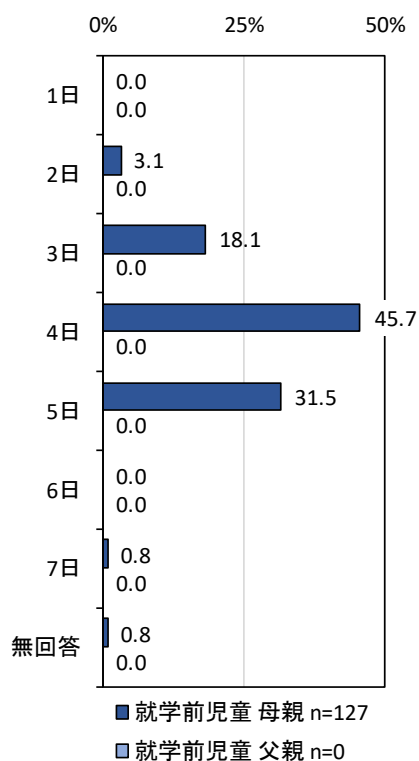
母親の希望する就労形態については、「フルタイム」が 18.7%、「パートタイム・アルバイト等」が 69.8%となっている。

父親の希望する就労形態については、「フルタイム」が 75.0%となっている。

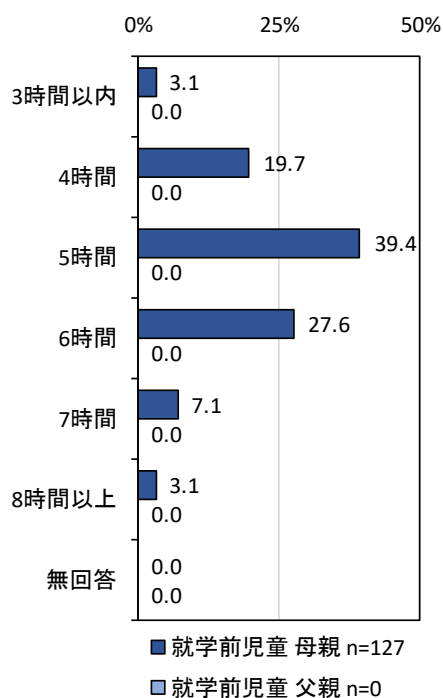
なお、母親における就労希望については、1 週当たりの希望就労日数は「4日」が 45.7%で最も高く、次いで「5日」が 31.5%、「3日」が 18.1%となっている。また、1 日当たりの希望就労時間は「5時間」が 39.4%で最も高く、次いで「6時間」が 27.6%、「4時間」が 19.7%となっている。



【1 週当たりの希望就労日数】

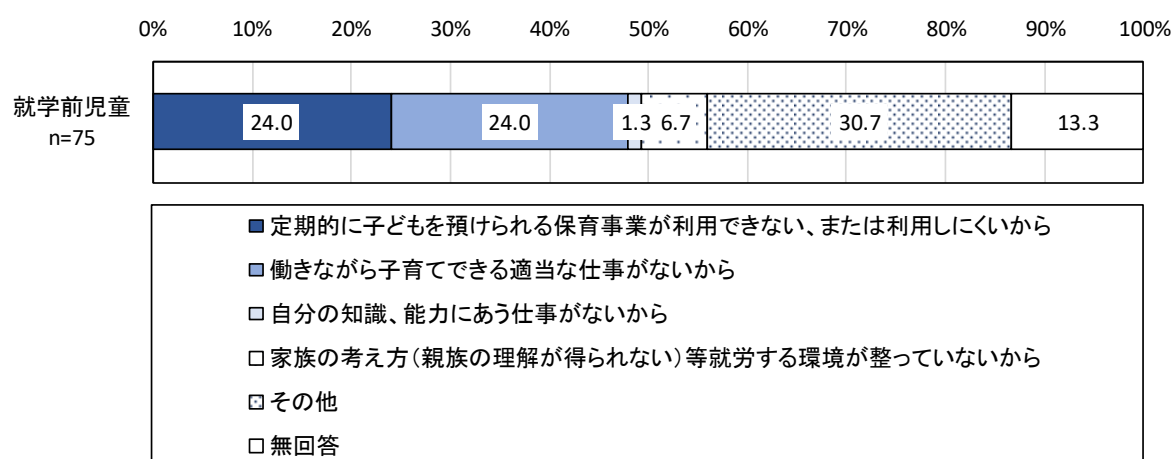


【1 日当たりの希望就労時間】



問 15-3 問 15-2の(1)または(2)で「3」(就労したい)と回答した方にお伺いします。
就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(〇は1つ)

働いていない理由については、「その他」が 30.7%で最も高く、次いで「定期的に子どもを預けられる保育事業が利用できない、または利用しにくいから」、「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」がともに 24.0%、「家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていないから」が 6.7%となっている。



5. 対象のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

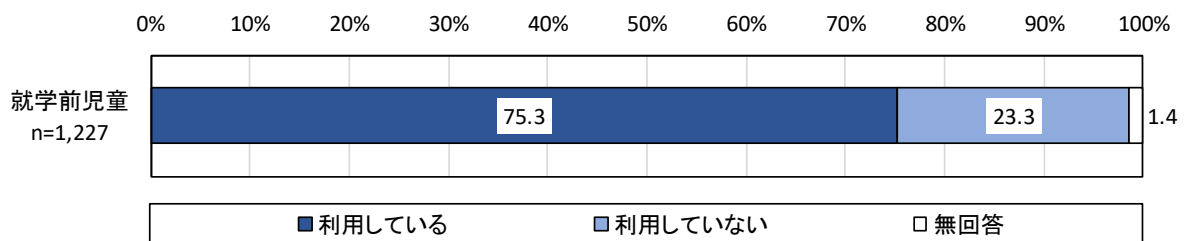
※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所（園）など、問 16-1 に示した事業が含まれます。

問 16 対象のお子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。（○は1つ）

定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が 75.3%、「利用していない」が 23.3%となっている。

地域別でみると、すべての地域で「利用している」が7割を超え、海上地域、干潟地域では「利用している」の割合が、他の地域と比べて若干高くなっている。

現在の家庭類型別でみると、タイプC、タイプC' では「利用している」が9割を超えている。タイプDでは「利用していない」が5割を超えている。



【地域別】

項目		1	2	無回答	回答者数
		利用している	利用していない		
就学前児童		924	286	17	1,227
		75.3%	23.3%	1.4%	100.0%
地域別	旭地域	546	179	7	732
		74.6%	24.5%	1.0%	100.0%
	海上地域	174	40	6	220
		79.1%	18.2%	2.7%	100.0%
	飯岡地域	101	28	2	131
		77.1%	21.4%	1.5%	100.0%
	干潟地域	87	22	1	110
		79.1%	20.0%	0.9%	100.0%

【現在の家庭類型別】※家庭類型の区分はP 4 参照

項目		1	2	無回答	回答者数
		利用している	利用していない		
就学前児童		924	286	17	1,227
		75.3%	23.3%	1.4%	100.0%
【現在】家庭類型 全体		763	165	12	940
現在の家庭類型別	【現在】タイプA	81.2%	17.6%	1.3%	100.0%
		55	10	0	65
	【現在】タイプB	84.6%	15.4%	0.0%	100.0%
		338	51	6	395
	【現在】タイプC	85.6%	12.9%	1.5%	100.0%
		276	25	5	306
	【現在】タイプC'	90.2%	8.2%	1.6%	100.0%
		20	1	0	21
	【現在】タイプD	95.2%	4.8%	0.0%	100.0%
		72	77	1	150
【現在】タイプE		48.0%	51.3%	0.7%	100.0%
		1	1	0	2
【現在】タイプF		50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
		1	0	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

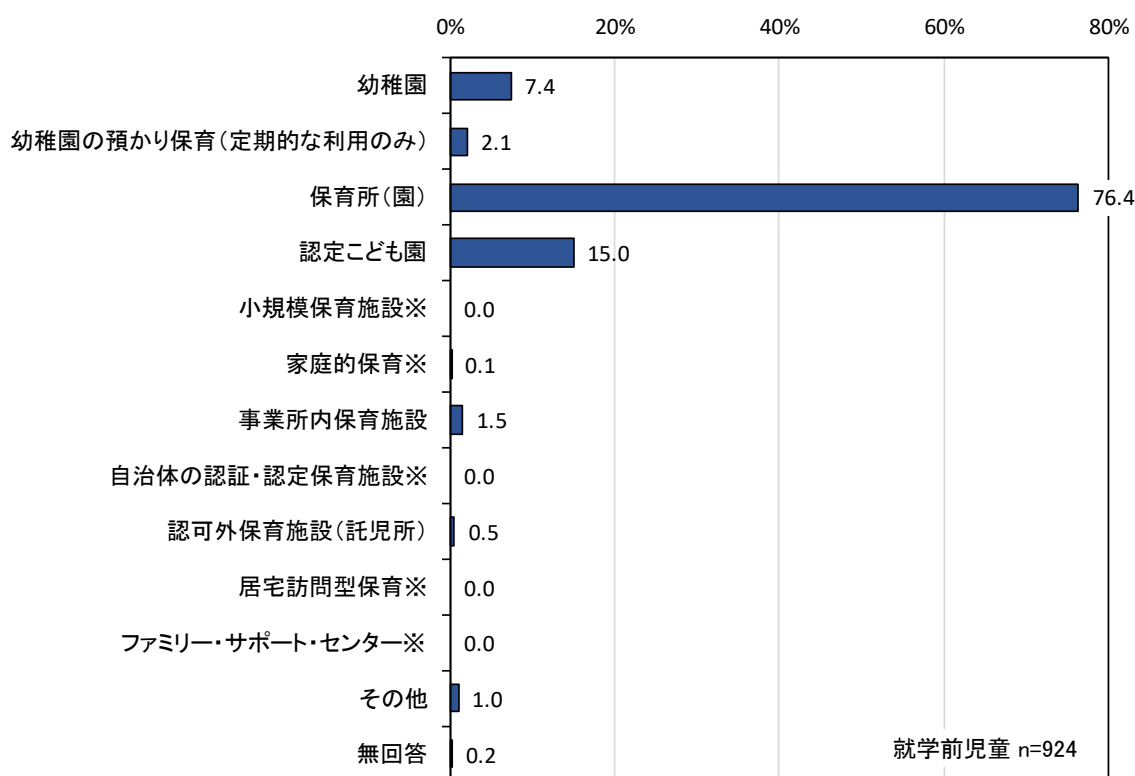
問 16－1 問 16 で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんは、平日にどのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

利用している事業については、「保育所（園）」が76.4%で最も高く、次いで「認定こども園」が15.0%、「幼稚園」が7.4%となっている。

地域別でみると、旭地域では「幼稚園」、「認定こども園」の割合が、海上地域では「保育所（園）」の割合が、他の地域と比べて高くなっている。

現在の家庭類型別でみると、タイプC' では「幼稚園」、「認定こども園」の割合が、タイプA、タイプB、タイプCでは「保育所（園）」の割合が、他の家庭類型と比べて高くなっている。



【※】が付いている施設は、現在旭市にはありません。

【地域別】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		幼稚園	幼稚園の預かり保育(定期的な利用のみ)	保育所(園)	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	認可外保育施設(託児所)	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター
就学前児童		68 7.4%	19 2.1%	706 76.4%	139 15.0%	0 0.0%	1 0.1%	14 1.5%	0 0.0%	5 0.5%	0 0.0%	0 0.0%
地域別	旭地域	54 9.9%	11 2.0%	393 72.0%	95 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.6%	0 0.0%	3 0.5%	0 0.0%	0 0.0%
	海上地域	5 2.9%	3 1.7%	149 85.6%	17 9.8%	0 0.0%	1 0.6%	2 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	飯岡地域	5 5.0%	2 2.0%	80 79.2%	15 14.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.0%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%
	干潟地域	4 4.6%	3 3.4%	70 80.5%	11 12.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%

項目		12	無回答	総回答数	回答者数
		その他			
就学前児童		9	2	963	924
		1.0%	0.2%	104.2%	100.0%
地域別	旭地域	3	0	568	546
		0.5%	0.0%	104.0%	100.0%
	海上地域	4	0	181	174
		2.3%	0.0%	104.0%	100.0%
	飯岡地域	0	1	106	101
		0.0%	1.0%	105.0%	100.0%
干潟地域	2	1	92	87	
	2.3%	1.1%	105.7%	100.0%	

【現在の家庭類型別】※家庭タイプの区分はP4参照

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		幼稚園	幼稚園の預かり保育(定期的な利用のみ)	保育所(園)	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	認可外保育施設(託児所)	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター
就学前児童		68 7.4%	19 2.1%	706 76.4%	139 15.0%	0 0.0%	1 0.1%	14 1.5%	0 0.0%	5 0.5%	0 0.0%	0 0.0%
【現在】家庭類型 全体		50 6.6%	16 2.1%	588 77.1%	113 14.8%	0 0.0%	1 0.1%	13 1.7%	0 0.0%	4 0.5%	0 0.0%	0 0.0%
現在の家庭類型別	【現在】タイプA	0 0.0%	2 3.6%	48 87.3%	7 12.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	【現在】タイプB	18 5.3%	5 1.5%	270 79.9%	44 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 2.4%	0 0.0%	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%
	【現在】タイプC	6 2.2%	6 2.2%	224 81.2%	43 15.6%	0 0.0%	1 0.4%	3 1.1%	0 0.0%	2 0.7%	0 0.0%	0 0.0%
	【現在】タイプC'	10 50.0%	2 10.0%	2 10.0%	7 35.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	【現在】タイプD	16 22.2%	1 1.4%	42 58.3%	12 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	【現在】タイプE	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	【現在】タイプF	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

項目		12	その他	無回答	総回答数	回答者数
就学前児童		9	2	963	924	
		1.0%	0.2%	104.2%	100.0%	
【現在】家庭類型 全体		7	2	794	763	
		0.9%	0.3%	104.1%	100.0%	
現在の 家庭 類型 別	【現在】タイプA	0	0	59	55	
		0.0%	0.0%	107.3%	100.0%	
	【現在】タイプB	1	1	349	338	
		0.3%	0.3%	103.3%	100.0%	
	【現在】タイプC	4	0	289	276	
		1.4%	0.0%	104.7%	100.0%	
	【現在】タイプC'	1	0	22	20	
		5.0%	0.0%	110.0%	100.0%	
	【現在】タイプD	1	1	73	72	
		1.4%	1.4%	101.4%	100.0%	
	【現在】タイプE	0	0	1	1	
		0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	【現在】タイプF	0	0	1	1	
		0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	

問 16-2 問 16 で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。

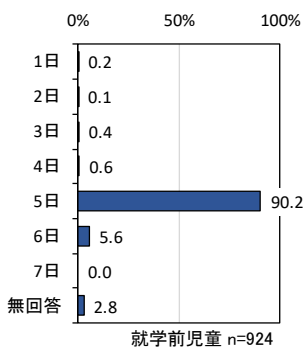
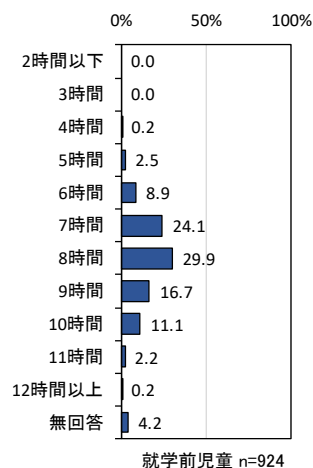
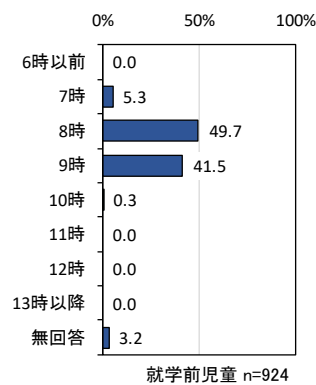
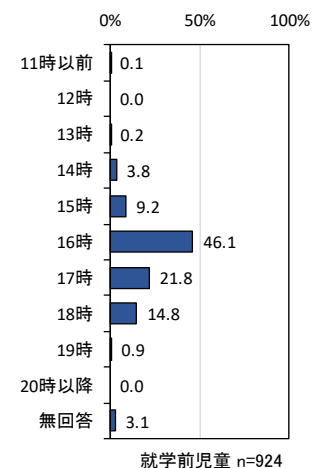
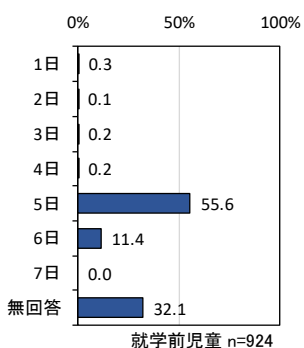
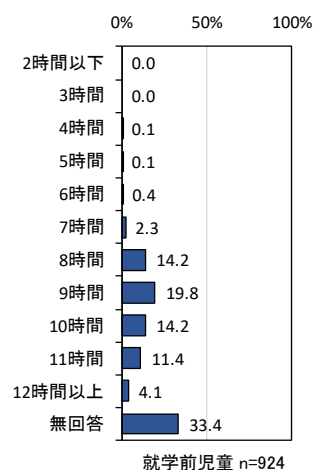
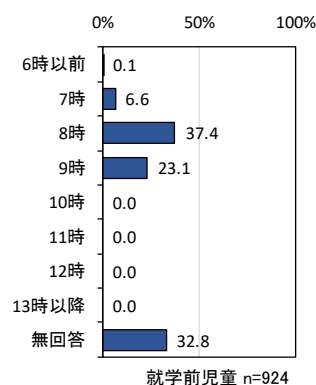
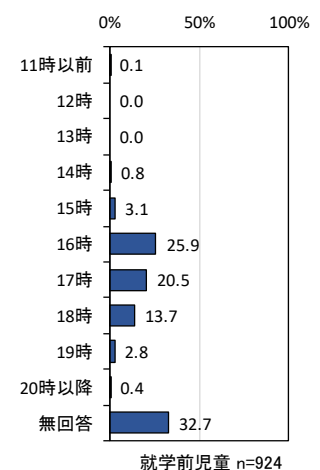
平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、どのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時～何時まで）かをお答えください。（口内に数字をご記入ください。）

現在の利用状況については、1 週当たりの利用日数は「5 日」が 90.2%で最も高く、1 日当たりの利用時間は「8 時間」が 29.9%で最も高く、次いで「7 時間」が 24.1%となっている。

開始時間については「8 時」と「9 時」で約 9 割を占め、終了時間については「16 時」が約 5 割、「17 時」と「18 時」で約 4 割を占めている。

今後の利用希望については、1 週当たりの希望日数は「5 日」が 55.6%で最も高く、1 日当たりの希望時間は「9 時間」が 19.8%で最も高くなっている。

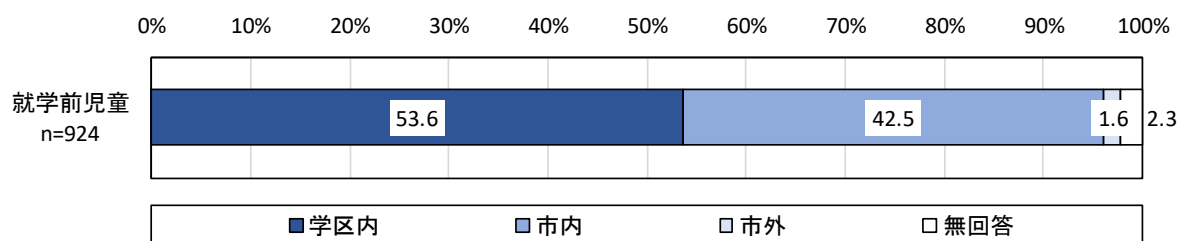
希望開始時間については「8 時」と「9 時」で約 6 割を占め、希望終了時間については「16 時」と「17 時」で約 5 割を占めている。

●現在の利用状況**【1 週当たり利用日数】****【1 日当たり利用時間】****【開始時間】****【終了時間】****●今後の利用希望****【1 週当たり希望日数】****【1 日当たり希望時間】****【希望開始時間】****【希望終了時間】**

問 16-3 問 16 で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこにありますか。(〇は1つ)

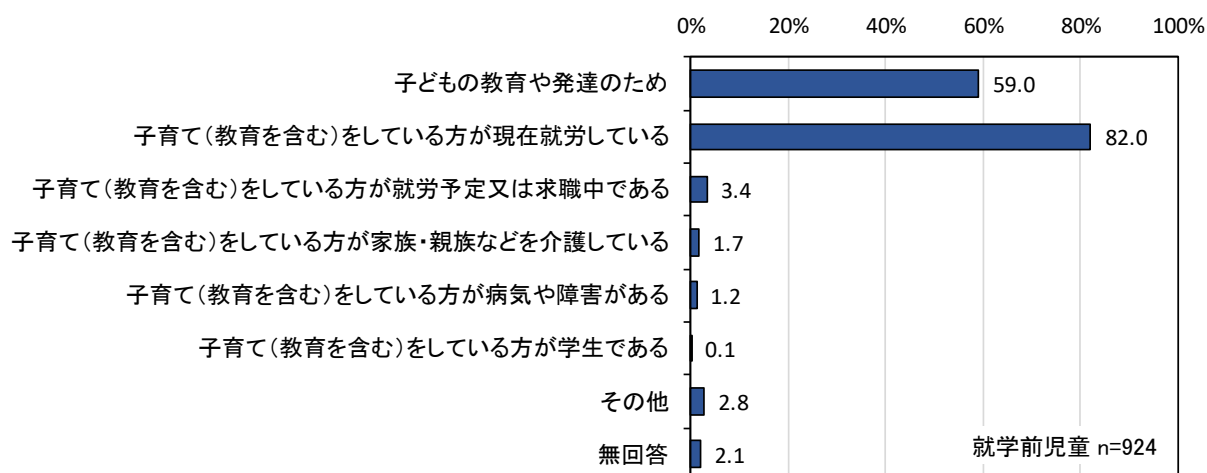
利用している教育・保育事業の実施場所については、「学区内」が 53.6%で最も高く、次いで「市内」が 42.5%、「市外」が 1.6%となっている。



問 16-4 問 16 で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。

平日、定期的に教育・保育事業を利用されている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

利用している理由については、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が 82.0%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 59.0%、「子育て(教育を含む)をしている方が就労予定又は求職中である」が 3.4%となっている。



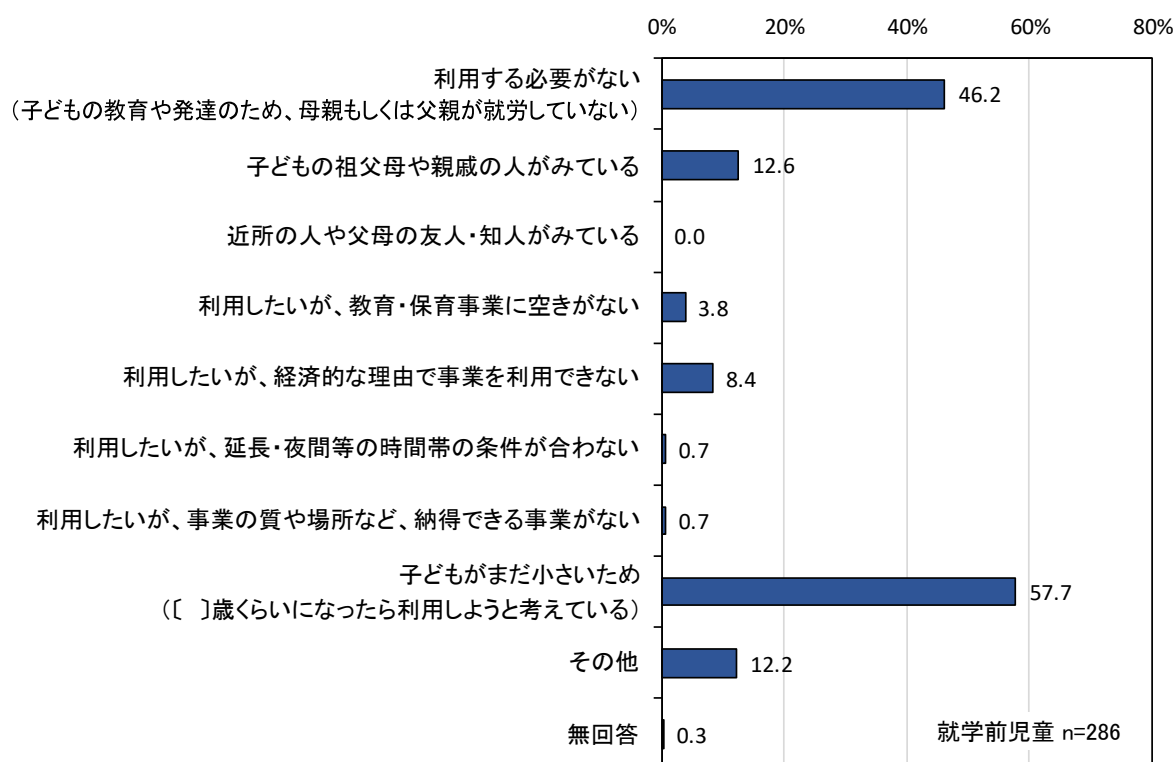
問 16-5 問 16 で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

平日、定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。

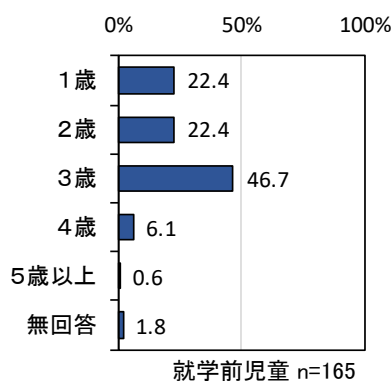
(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

利用していない理由については、「子どもがまだ小さいため(〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 57.7%で最も高く、次いで「利用する必要がある(子どもの教育や発達のため、母親もしくは父親が就労していない)」が 46.2%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 12.6%となっている。

なお、〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えているかについては、「3歳」が 46.7%で最も高く、次いで「1歳」、「2歳」がともに 22.4%、「4歳」が 6.1%となっている。



【〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている】

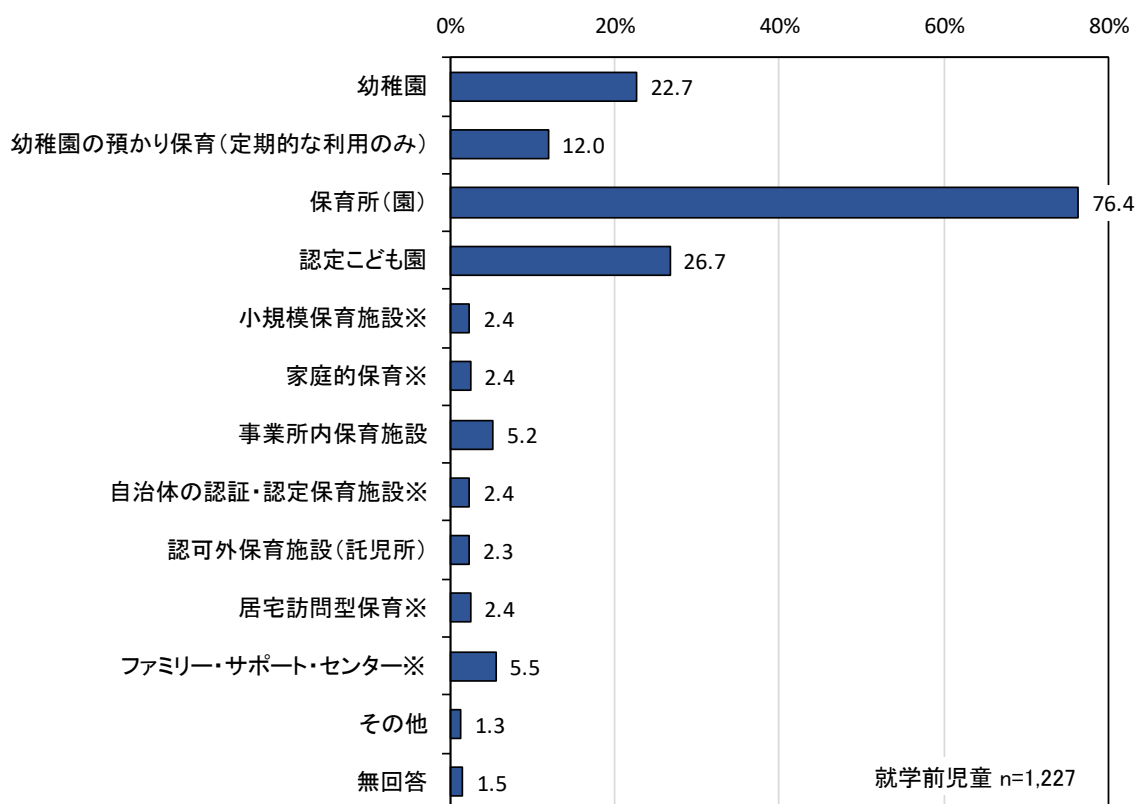


問 17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、対象のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

定期的に利用したいと考える事業については、「保育所（園）」が76.4%で最も高く、次いで「認定こども園」が26.7%、「幼稚園」が22.7%となっている。

地域別でみると、旭地域では「幼稚園」、「認定こども園」の割合が、海上地域では「保育所（園）」の割合が、飯岡地域では「認定こども園」の割合が、他の地域と比べて高くなっている。

現在の家庭類型別でみると、タイプC' タイプDでは「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育（定期的な利用のみ）」、「認定こども園」の割合が、タイプA、タイプB、タイプCでは「保育所（園）」の割合が、他の家庭類型と比べて高くなっている。



【※】が付いている施設は、現在旭市にはありません。

Ⅱ 就学前児童の調査結果

【地域別】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		幼稚園	幼稚園の 預かり保 育(定期 的な利用 のみ)	保育所 (園)	認定こども 園	小規模保 育施設	家庭的保 育	事業所内 保育施設	自治体の 認証・認 定保育施 設	認可外保 育施設 (託児所)	居宅訪問 型保育	ファミリー・ サポート・ センター
就学前児童		279	147	937	328	29	30	64	29	28	30	68
		22.7%	12.0%	76.4%	26.7%	2.4%	2.4%	5.2%	2.4%	2.3%	2.4%	5.5%
地域別	旭地域	183	96	543	211	22	18	38	20	21	19	47
		25.0%	13.1%	74.2%	28.8%	3.0%	2.5%	5.2%	2.7%	2.9%	2.6%	6.4%
	海上地域	36	22	182	47	2	6	13	7	6	7	9
		16.4%	10.0%	82.7%	21.4%	0.9%	2.7%	5.9%	3.2%	2.7%	3.2%	4.1%
	飯岡地域	27	13	101	37	1	3	7	2	0	1	3
		20.6%	9.9%	77.1%	28.2%	0.8%	2.3%	5.3%	1.5%	0.0%	0.8%	2.3%
	干潟地域	23	14	81	29	3	2	4	0	0	3	5
		20.9%	12.7%	73.6%	26.4%	2.7%	1.8%	3.6%	0.0%	0.0%	2.7%	4.5%

項目		12	無回答	総回答数	回答者数
		その他			
就学前児童		16	19	2,004	1,227
		1.3%	1.5%	163.3%	100.0%
地域別	旭地域	8	9	1,235	732
		1.1%	1.2%	168.7%	100.0%
	海上地域	6	6	349	220
		2.7%	2.7%	158.6%	100.0%
	飯岡地域	1	1	197	131
		0.8%	0.8%	150.4%	100.0%
	干潟地域	1	3	168	110
		0.9%	2.7%	152.7%	100.0%

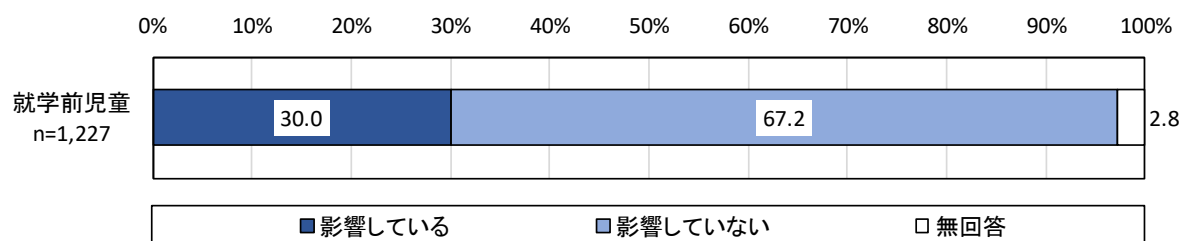
【現在の家庭類型別】※家庭類型の区分はP 4 参照

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		幼稚園	幼稚園の 預かり保 育(定期 的な利用 のみ)	保育所 (園)	認定こども 園	小規模保 育施設	家庭的保 育	事業所内 保育施設	自治体の 認証・認 定保育施 設	認可外保 育施設 (託児所)	居宅訪問 型保育	ファミリー・ サポート・ センター
就学前児童		279	147	937	328	29	30	64	29	28	30	68
		22.7%	12.0%	76.4%	26.7%	2.4%	2.4%	5.2%	2.4%	2.3%	2.4%	5.5%
【現在】家庭類型 全体		208	115	721	252	25	27	56	24	22	26	59
		22.1%	12.2%	76.7%	26.8%	2.7%	2.9%	6.0%	2.6%	2.3%	2.8%	6.3%
現在の 家庭 類型 別	【現在】タイプA	10	6	53	19	2	1	5	3	1	2	4
		15.4%	9.2%	81.5%	29.2%	3.1%	1.5%	7.7%	4.6%	1.5%	3.1%	6.2%
	【現在】タイプB	70	40	320	109	9	15	26	15	11	8	25
		17.7%	10.1%	81.0%	27.6%	2.3%	3.8%	6.6%	3.8%	2.8%	2.0%	6.3%
	【現在】タイプC	51	29	253	72	7	9	15	4	4	7	17
		16.7%	9.5%	82.7%	23.5%	2.3%	2.9%	4.9%	1.3%	1.3%	2.3%	5.6%
	【現在】タイプC'	14	7	2	8	0	0	0	0	1	0	1
		66.7%	33.3%	9.5%	38.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%
	【現在】タイプD	63	33	90	44	7	2	9	2	5	9	12
		42.0%	22.0%	60.0%	29.3%	4.7%	1.3%	6.0%	1.3%	3.3%	6.0%	8.0%
	【現在】タイプE	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	【現在】タイプF	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

項目		12	無回答	総回答数	回答者数
		その他			
就学前児童		16	19	2,004	1,227
		1.3%	1.5%	163.3%	100.0%
【現在】家庭類型 全体		11	9	1,555	940
		1.2%	1.0%	165.4%	100.0%
現在の 家庭 類型 別	【現在】タイプA	0	0	106	65
		0.0%	0.0%	163.1%	100.0%
	【現在】タイプB	3	3	654	395
		0.8%	0.8%	165.6%	100.0%
	【現在】タイプC	5	4	477	306
		1.6%	1.3%	155.9%	100.0%
	【現在】タイプC'	1	0	34	21
		4.8%	0.0%	161.9%	100.0%
	【現在】タイプD	2	2	280	150
		1.3%	1.3%	186.7%	100.0%
	【現在】タイプE	0	0	3	2
		0.0%	0.0%	150.0%	100.0%
	【現在】タイプF	0	0	1	1
		0.0%	0.0%	100.0%	100.0%

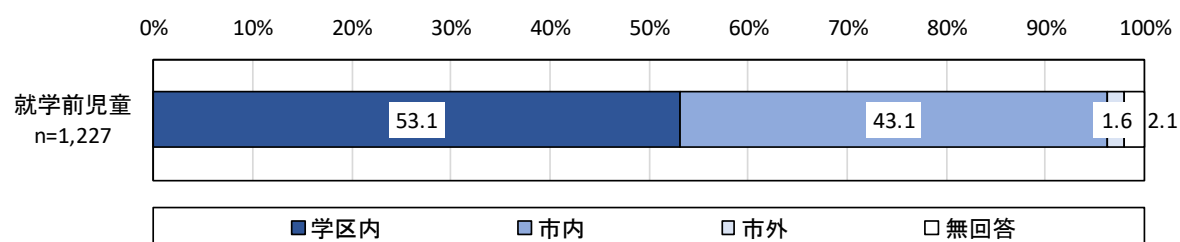
問 17－1 問 17 の平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業は、2019 年 10 月から開始予定の『幼児教育・保育無償化』の制度が回答に影響していますか。（○は 1 つ）

幼児教育・保育無償化の制度が問 17 への回答に影響しているかについては、「影響している」が 30.0%、「影響していない」が 67.2%となっている。



問 17－2 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。（○は 1 つ）

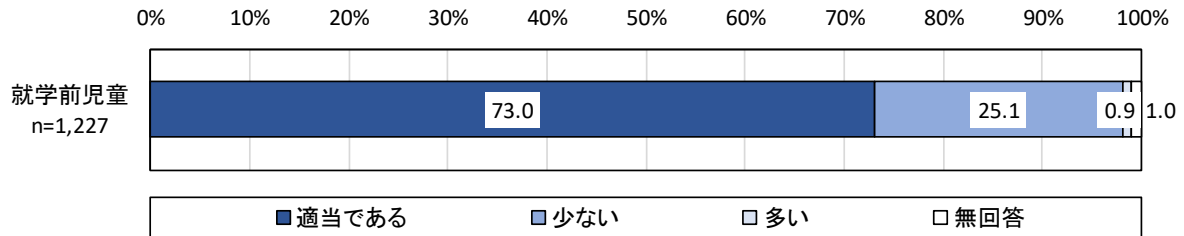
教育・保育事業を利用したい場所については、「学区内」が 53.1%で最も高く、次いで「市内」が 43.1%、「市外」が 1.6%となっている。



問 17-3 現在、旭市では公立保育所 13 か所、私立保育園 5 か所で延長保育を実施していますが、実施箇所数は適当だと思いますか。利用の有無にかかわらずお答えください。(○は1つ)

延長保育の実施箇所数が適当であるかについては、「適当である」が 73.0%で最も高く、次いで「少ない」が 25.1%、「多い」が 0.9%となっている。

地域別でみると、旭地域では「少ない」の割合が、他の地域と比べて高くなっている。



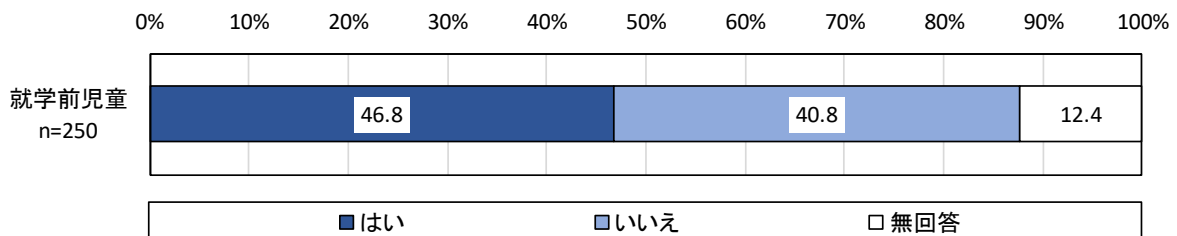
【地域別】

項目	1	2	3	無回答	回答者数
	適当である	少ない	多い		
就学前児童	896 73.0%	308 25.1%	11 0.9%	12 1.0%	1,227 100.0%
地域別	旭地域	507 69.3%	210 28.7%	6 0.8%	9 1.2%
	海上地域	175 79.5%	42 19.1%	2 0.9%	1 0.5%
	飯岡地域	103 78.6%	26 19.8%	1 0.8%	1 0.8%
	干潟地域	86 78.2%	21 19.1%	2 1.8%	1 0.9%

問 17-4 問 17 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育（定期的な利用のみ）」に○をつけ、かつ「3」～「12」にも○をつけた方にお伺いします。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

幼稚園の利用を強く希望するかについては、「はい」が 46.8%、「いいえ」が 40.8%となっている。

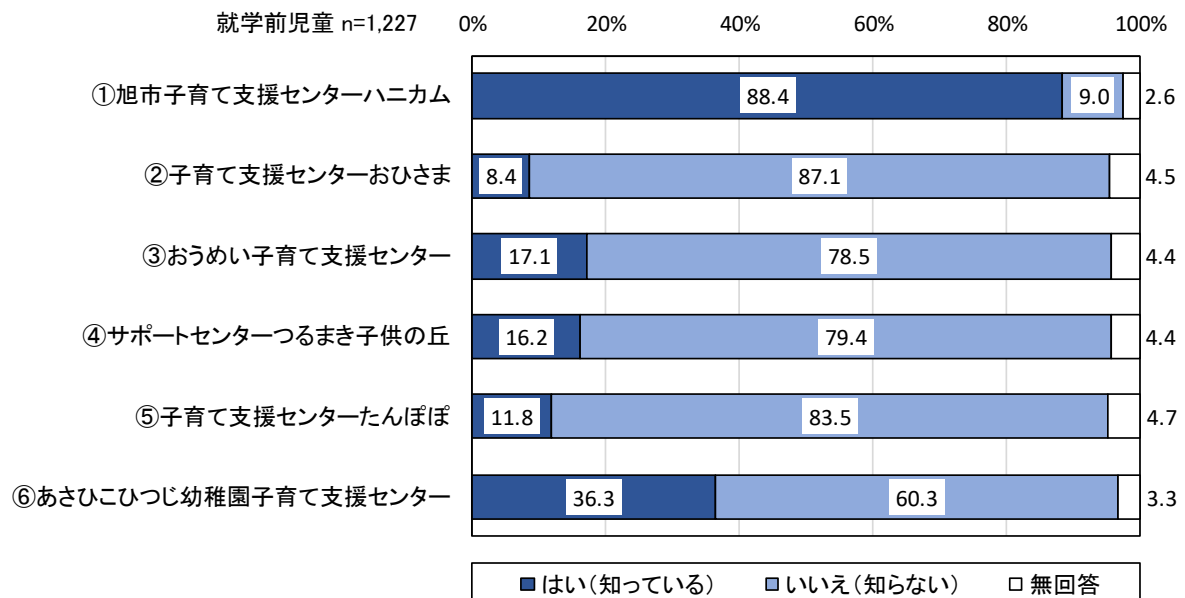


6. 対象のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 18 市内6か所に設置されている下記の地域子育て支援拠点事業の施設について、知っているものや、これまでに利用したことがあるものについてお伺いします。①～⑥の施設ごとに、A、Bのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。
また、Bで「はい」に○をつけた場合、1週当たりの利用回数もご記入ください。

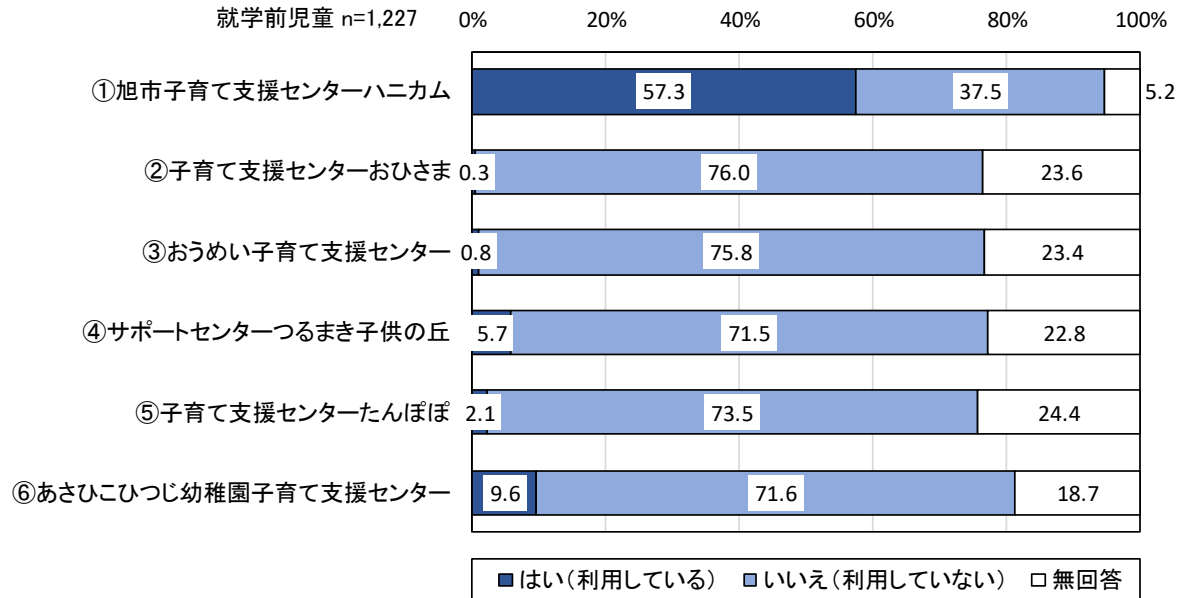
(1) 施設の認知度

施設の認知度について、「はい（知っている）」をみると、『①旭市子育て支援センターハニカム』が88.4%で最も高く、次いで『⑥あさひこひつじ幼稚園子育て支援センター』が36.3%、『③おうめい子育て支援センター』が17.1%となっている。「はい（知っている）」の割合が最も低い施設は、『②子育て支援センターおひさま』で8.4%となっている。



(2) 施設の利用状況

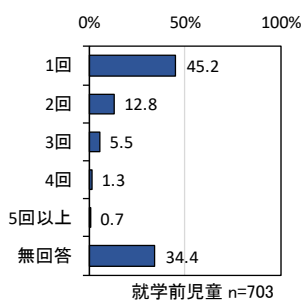
施設の利用状況について、「はい（利用している）」をみると、『①旭市子育て支援センターハニカム』が57.3%で最も高く、次いで『⑥あさひこひつじ幼稚園子育て支援センター』が9.6%、『④サポートセンターつるまき子供の丘』が5.7%となっている。「はい（利用している）」の割合が最も低い施設は、『②子育て支援センターおひさま』で0.3%となっている。



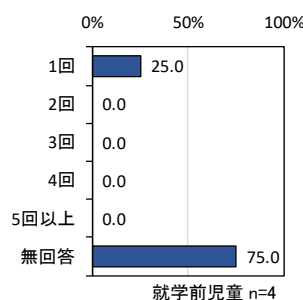
(3) 施設を利用している方の1週当たりの利用回数

1週当たりの利用回数について、各施設ともに「1回」の割合が最も高く、『①旭市子育て支援センターハニカム』では「2回」の割合が、他の施設と比べて高くなっている。

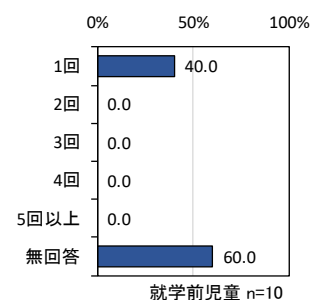
①旭市子育て支援センターハニカム



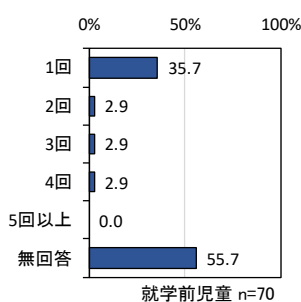
②子育て支援センターおひさま



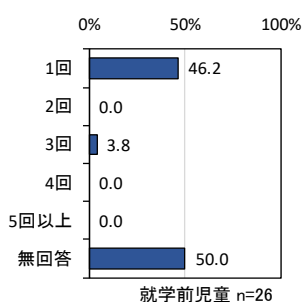
③おうめい子育て支援センター



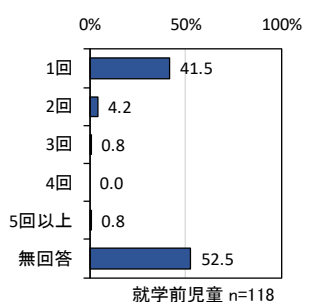
④サポートセンターつるまき子供の丘



⑤子育て支援センターたんぽぽ



⑥あさひこひつじ幼稚園子育て支援センター



問 19 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、すでに利用しているが利用日数を増やしたいと思いますか。

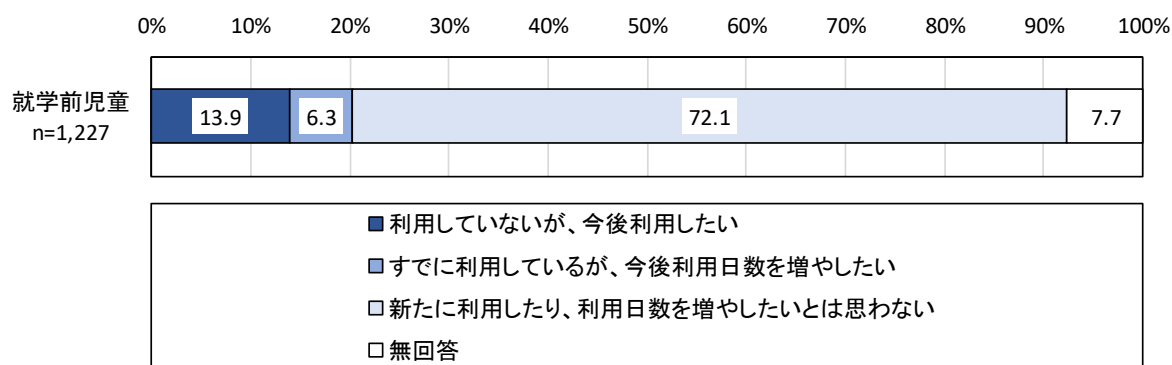
(○は1つ、該当する口内におおよその利用回数(頻度)をご記入ください。)

また、利用したい(している)施設も問18の①～⑥よりお答えください。

地域子育て支援拠点事業の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が72.1%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が13.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が6.3%となっている。

利用していない方の利用意向については、1週当たりの利用希望回数は「1回」が33.9%で最も高く、次いで「2回」が10.5%、1か月当たりの利用希望回数は「4回未満」が52.0%で最も高く、次いで「4～6回」が14.0%となっている。

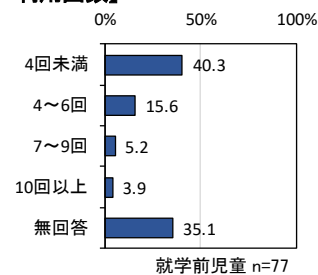
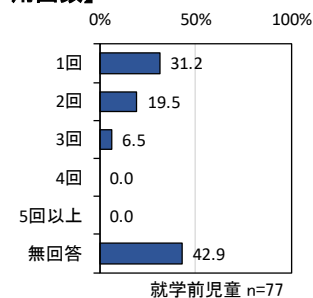
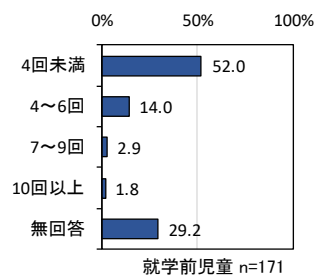
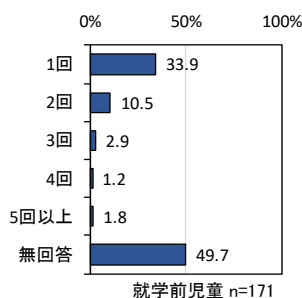
利用している方の利用意向については、1週当たりで増やしたい利用回数は「1回」が31.2%で最も高く、次いで「2回」が19.5%、1か月当たりで増やしたい利用回数は「4回未満」が40.3%で最も高く、次いで「4～6回」が15.6%となっている。



●利用していないが、今後利用したい

●すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

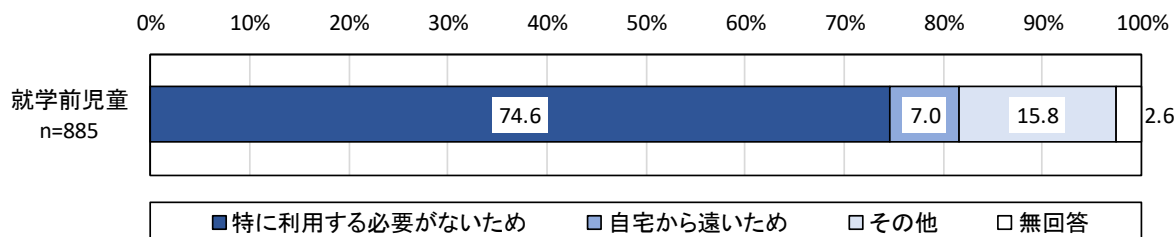
【1週当たりの利用希望回数】 【1か月当たりの利用希望回数】 【1週当たりで増やしたい利用回数】 【1か月当たりで増やしたい利用回数】



問 19-1 問 19 で「3」と回答した方にお伺いします。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたい」と思わない理由は何ですか。(〇は1つ)

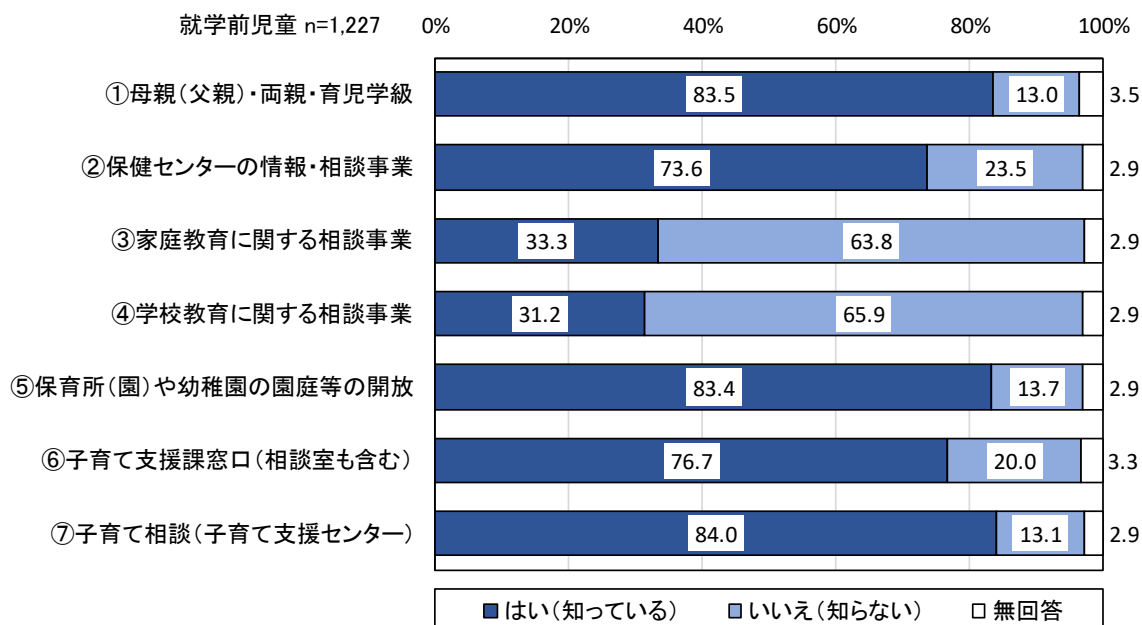
〈新たに利用したり、利用日数を増やしたい〉と思わない理由については、「特に利用する必要がないため」が74.6%で最も高く、次いで「その他」が15.8%、「自宅から遠いため」が7.0%となっている。



問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したい事業についてお伺いします。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに〇をつけてください。

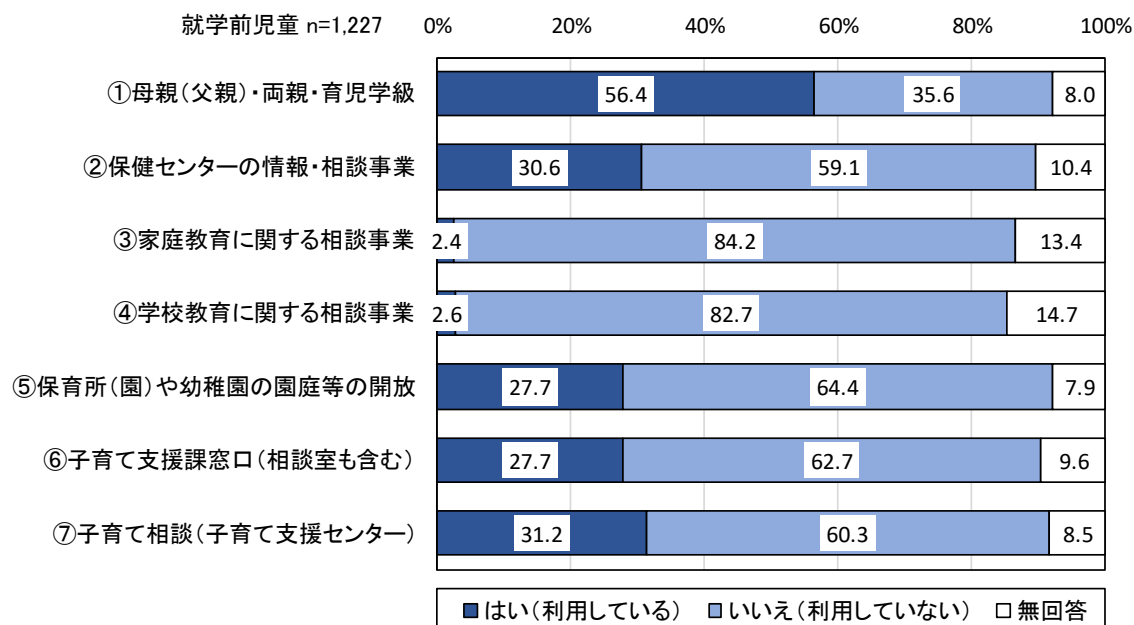
(1) 事業の認知度

事業の認知度について、「はい(知っている)」をみると、『⑦子育て相談(子育て支援センター)』が84.0%で最も高く、次いで『①母親(父親)・両親・育児学級』が83.5%、『⑤保育所(園)や幼稚園の園庭等の開放』が83.4%となっている。「はい(知っている)」の割合が最も低い事業は、『④学校教育に関する相談事業』で31.2%となっている。



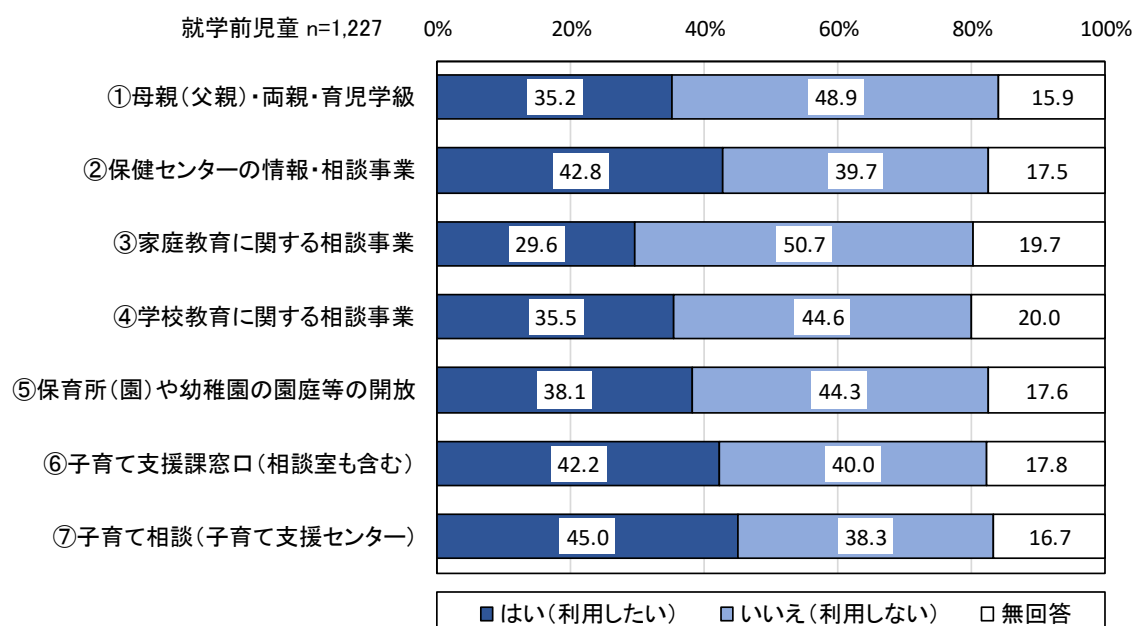
（２）事業の利用状況

事業の利用状況について、「はい（利用している）」をみると、『①母親（父親）・両親・育児学級』が56.4%で最も高く、次いで『⑦子育て相談（子育て支援センター）』が31.2%、『②保健センターの情報・相談事業』が30.6%となっている。「はい（利用している）」の割合が最も低い事業は、『③家庭教育に関する相談事業』で2.4%となっている。



（３）事業の利用意向

事業の利用意向について、「はい（利用したい）」をみると、『⑦子育て相談（子育て支援センター）』が45.0%で最も高く、次いで『②保健センターの情報・相談事業』が42.8%、『⑥子育て支援課窓口（相談室も含む）』が42.2%となっている。「はい（利用したい）」の割合が最も低い事業は、『③家庭教育に関する相談事業』で29.6%となっている。



7. 対象のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の 「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所（園）、認定こども園などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

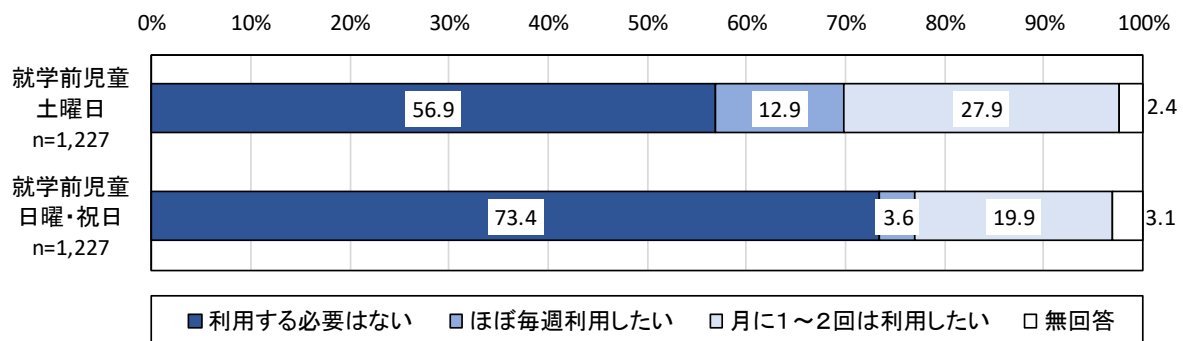
問 21 対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。一時的な利用は除きます。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。
(それぞれ〇は1つ、口内に数字をご記入ください。)

土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が 56.9%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 27.9%、「ほぼ毎週利用したい」が 12.9%となっている。

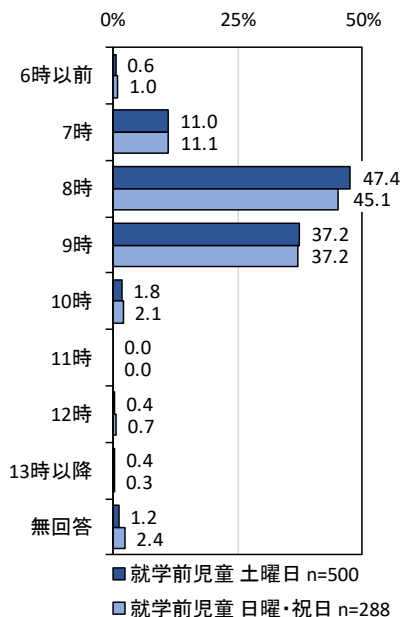
日曜・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が 73.4%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が 19.9%、「ほぼ毎週利用したい」が 3.6%となっている。

希望開始時間については、『土曜日』、『日曜・祝日』ともに「8時」の割合が最も高く、次いで「9時」となっている。

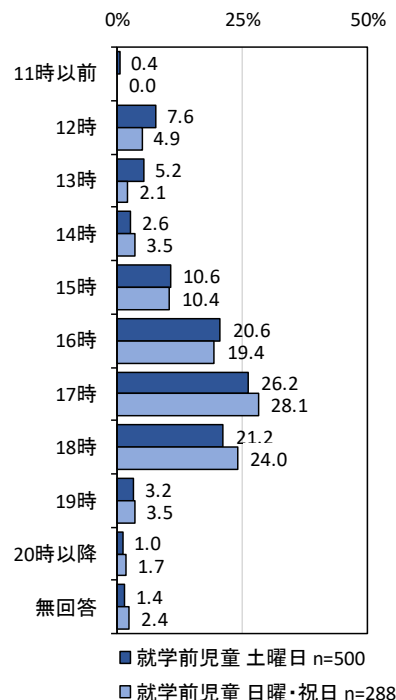
希望終了時間については、『土曜日』、『日曜・祝日』ともに「17時」の割合が最も高く、次いで「18時」となっている。



【希望開始時間】



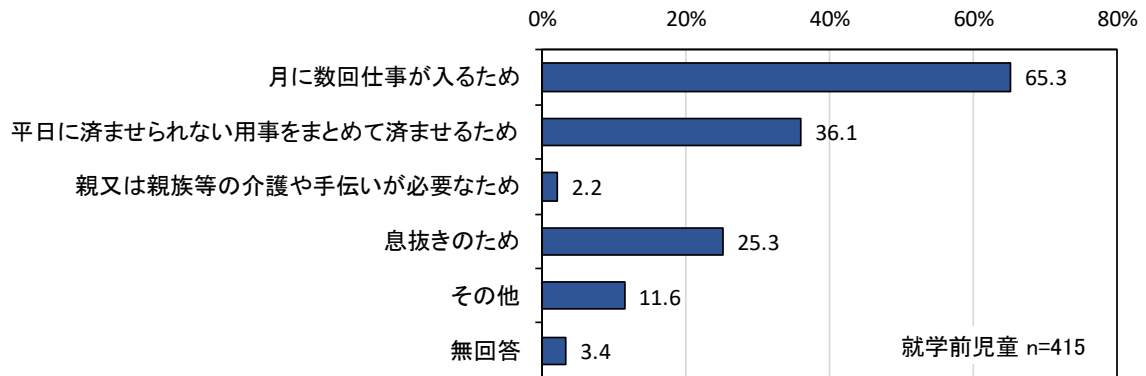
【希望終了時間】



問 21－1 問 21 の（１）もしくは（２）で「３」を回答した方にお伺いします。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が 65.3%で最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 36.1%、「息抜きのため」が 25.3%となっている。



問 22 「幼稚園」または「認定こども園（教育）」を利用されている方にお伺いします。

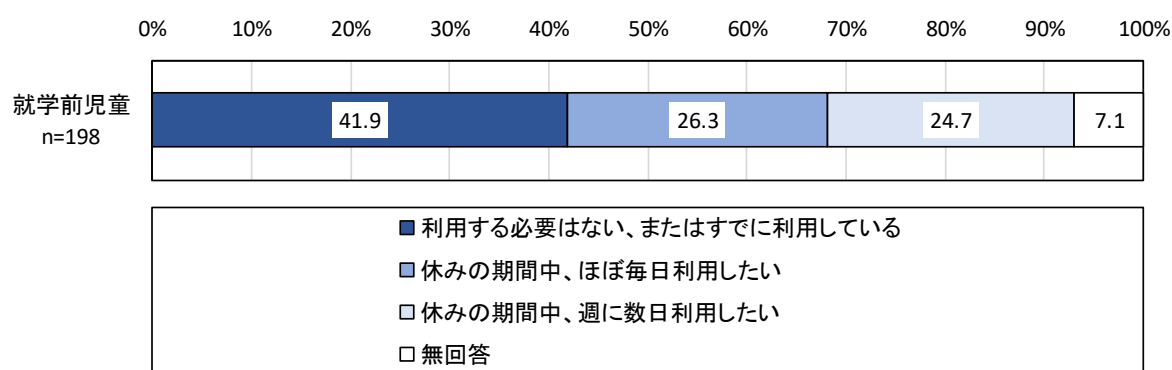
対象のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

（○は1つ、□内に数字をご記入ください。）

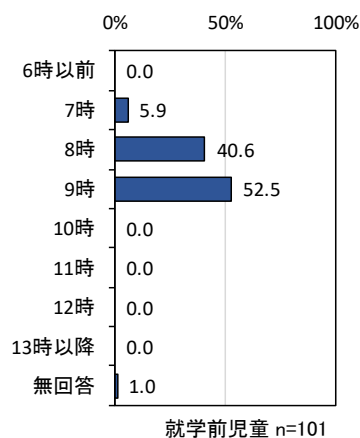
長期の休暇期間中の利用希望については、「利用する必要はない、またはすでに利用している」が41.9%で最も高く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が26.3%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が24.7%となっている。

希望開始時間については、「9時」が52.5%で最も高く、次いで「8時」が40.6%となっている。

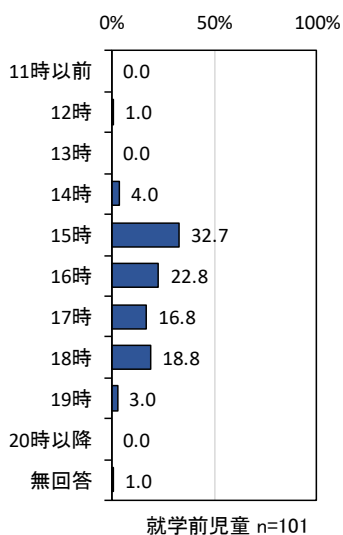
希望終了時間については、「15時」が32.7%で最も高く、次いで「16時」が22.8%となっている。



【希望開始時間】



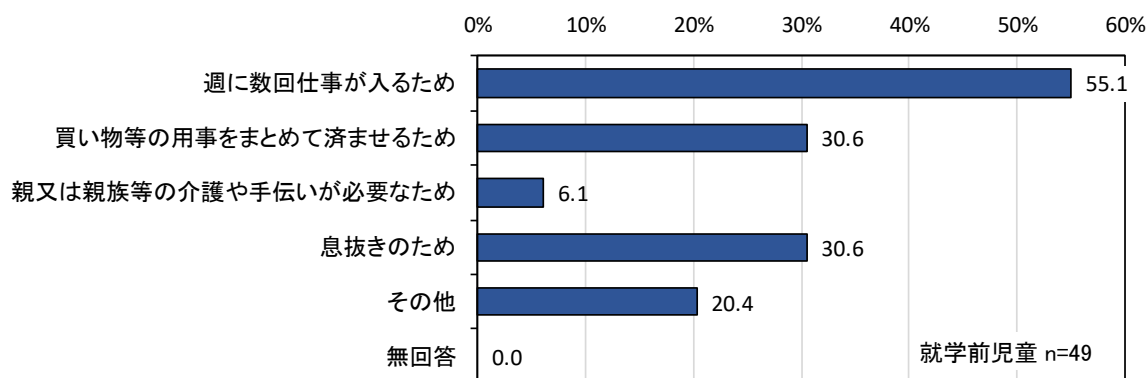
【希望終了時間】



問 22－1 問 22 で「3」を回答した方にお伺いします。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

たまに利用したい理由については、「週に数回仕事が入るため」が 55.1%で最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」、「息抜きのため」がともに 30.6%、「その他」が 20.4%となっている。



8. 対象のお子さんの病気の際の対応について

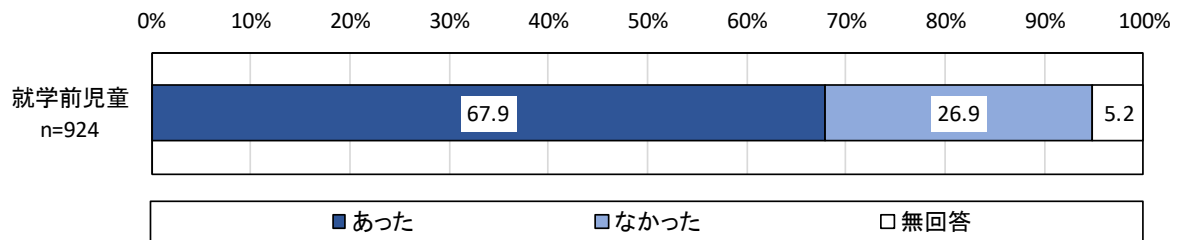
問 23 問 16（現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。）で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。

この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（〇は1つ）

病気やケガで通常の事業が利用できなかった有無については、「あった」が 67.9%、「なかった」が 26.9%となっている。

年齢区分でみると、1・2歳では「あった」が約8割と、他の年齢区分と比べて高くなっている。

現在の家庭類型別でみると、タイプBでは「あった」が約8割と、他の家庭類型と比べて高くなっている。



【年齢区分】

項目		1	2	無回答	回答者数
		あった	なかった		
就学前児童		627 67.9%	249 26.9%	48 5.2%	924 100.0%
年齢区分	0歳	18 72.0%	5 20.0%	2 8.0%	25 100.0%
		142 79.3%	30 16.8%	7 3.9%	179 100.0%
	1・2歳	456 64.4%	213 30.1%	39 5.5%	708 100.0%

【現在の家庭類型別】※家庭タイプの区分はP 4 参照

項目		1	2	無回答	回答者数
		あった	なかった		
就学前児童		627 67.9%	249 26.9%	48 5.2%	924 100.0%
【現在】家庭類型 全体		528 69.2%	199 26.1%	36 4.7%	763 100.0%
現在の家庭類型別	【現在】タイプA	34 61.8%	18 32.7%	3 5.5%	55 100.0%
		258 76.3%	63 18.6%	17 5.0%	338 100.0%
	【現在】タイプB	177 64.1%	87 31.5%	12 4.3%	276 100.0%
		14 70.0%	4 20.0%	2 10.0%	20 100.0%
	【現在】タイプC	44 61.1%	26 36.1%	2 2.8%	72 100.0%
		1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	【現在】タイプD	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%

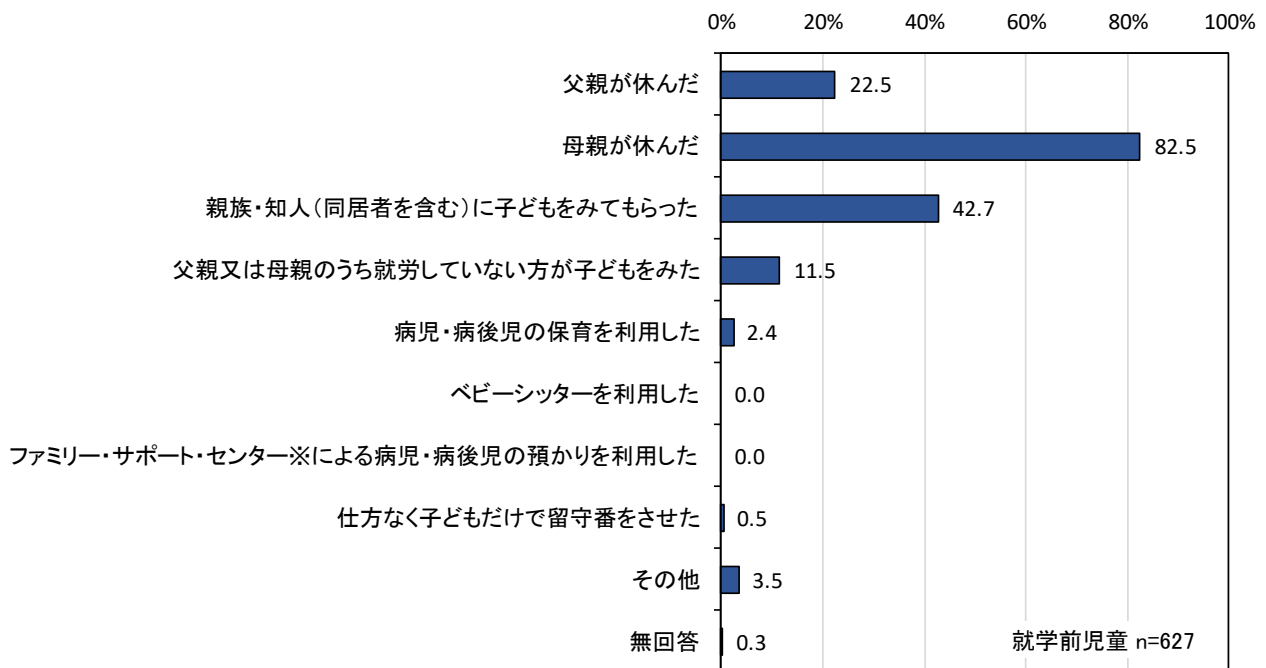
問 23-1 問 23 で「1. あった」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。

(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」が82.5%で最も高く、次いで「親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった」が42.7%、「父親が休んだ」が22.5%となっている。

現在の家庭類型別でみると、タイプBでは「父親が休んだ」が3割を超え、他の家庭類型と比べて高くなっている。また、タイプA、タイプB、タイプCでは「親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった」の割合が、他の家庭類型と比べて高く、タイプBでは5割を超えている。



【※】が付いている施設は、現在旭市にはありません。

【現在の家庭類型別】※家庭類型の区分はP 4 参照

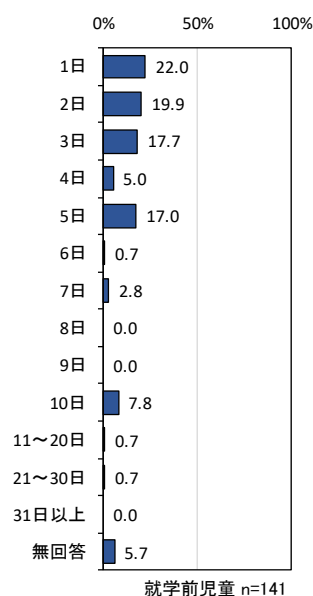
項目	1 父親が休んだ	2 母親が休んだ	3 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	4 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	5 病児・病後児の保育を利用した	6 ベビーシッターを利用した	7 ファミリー・サポート・センター※による病児・病後児の預かりを利用した	8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	9 その他	無回答	総回答数	回答者数
就学前児童	141 22.5%	517 82.5%	268 42.7%	72 11.5%	15 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.5%	22 3.5%	2 0.3%	1,040	627
【現在】家庭類型 全体	125 23.7%	445 84.3%	241 45.6%	57 10.8%	13 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.4%	14 2.7%	1 0.2%	898	528
現在の家庭類型別	0 0.0%	31 91.2%	15 44.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.9%	0 0.0%	48	34
	91 35.3%	222 86.0%	143 55.4%	14 5.4%	12 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 3.1%	0 0.0%	490	258
	28 15.8%	165 93.2%	71 40.1%	13 7.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%	279	177
	1 7.1%	11 78.6%	3 21.4%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	19	14
	5 11.4%	15 34.1%	9 20.5%	27 61.4%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	2 4.5%	1 2.3%	61	44
	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	1
	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	0
	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	0
	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	0

Ⅱ 就学前児童の調査結果

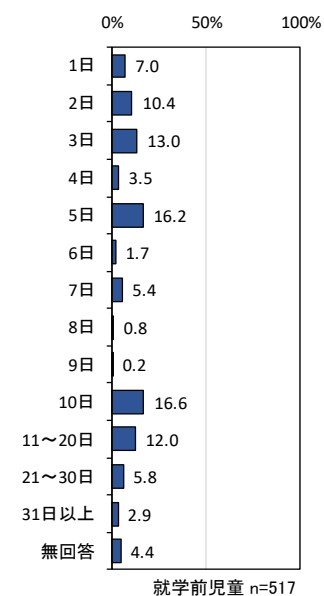
対処方法の上位3位で年間日数の「10 日以上」の割合をみると、『母親が休んだ』では約4割、『親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった』では約3割、『父親が休んだ』では約1割となっている。

● 1年間の対処方法別の年間日数

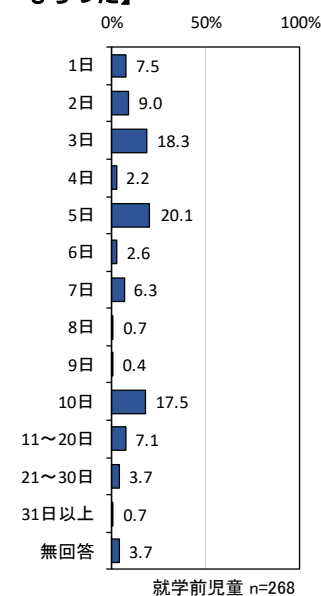
【父親が休んだ】



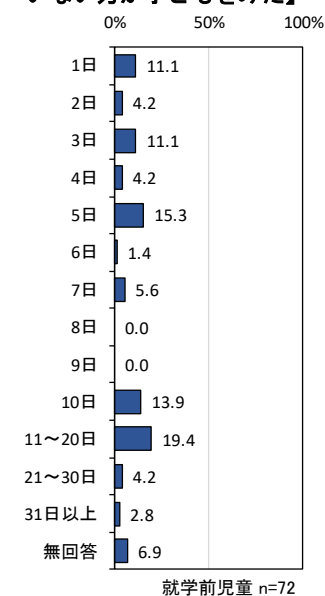
【母親が休んだ】



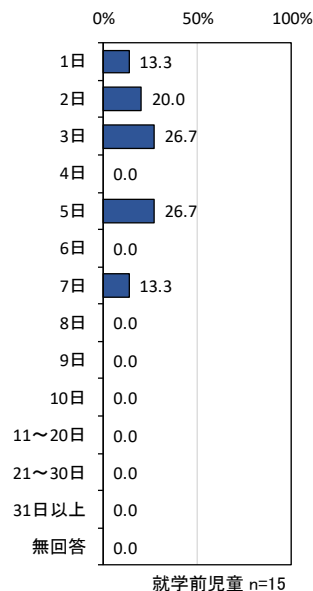
【親族・知人に子どもをみてもらった】



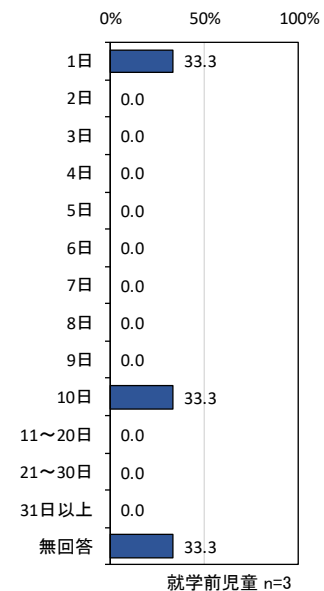
【父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた】



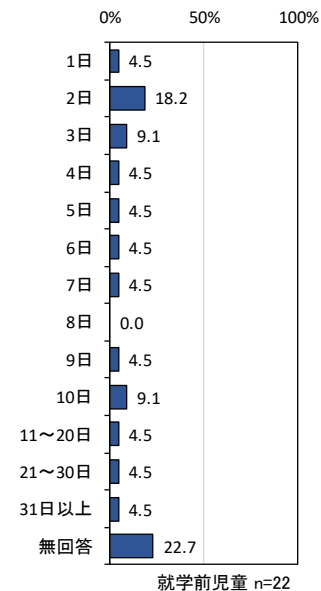
【病児・病後児の保育を利用した】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】



【その他】

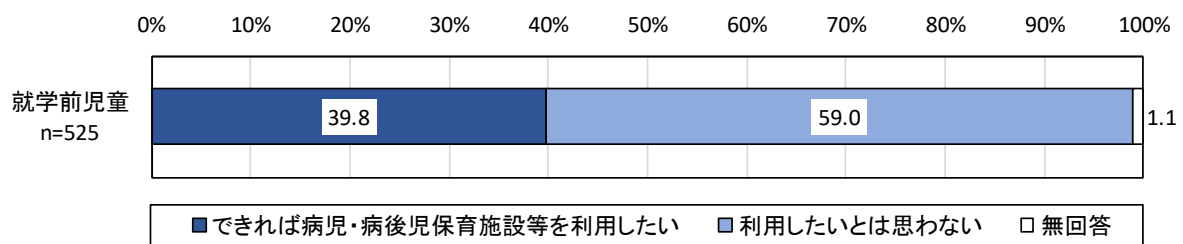


※『ベビーシッターを利用した』、『ファミリー・サポート・センターによる病児・病後児の預かりを利用した』は、該当する回答者はいませんでした。

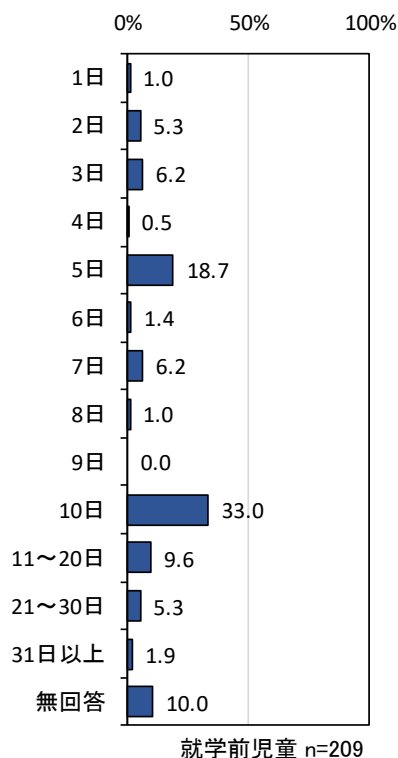
問 23-2 問 23-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」と回答した方にお伺いします。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についても
 ご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担があり、利用前にか
 かりつけ医の受診が必要となります。（○は1つ、□内に数字をご記入ください。）

病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用
 したい」が 39.8%、「利用したいとは思わない」が 59.0%となっている。

利用したいと回答した方の年間利用希望日数については、「10 日」が 33.0%で最も高く、次いで
 「5 日」が 18.7%となっている。



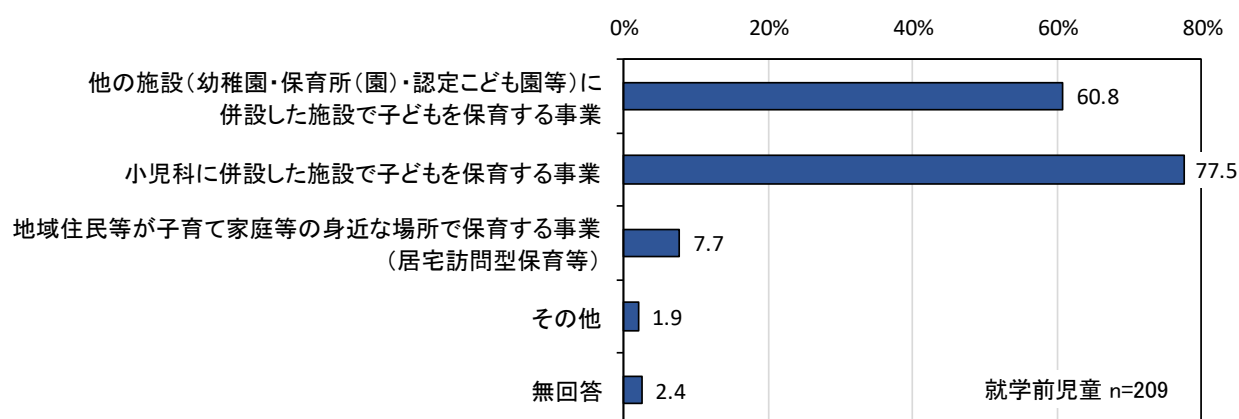
【利用したいと回答した方の年間利用希望日数】



問 23-3 問 23-2で「1」と回答した方にお伺いします。

病児・病後児保育の望ましい形態はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

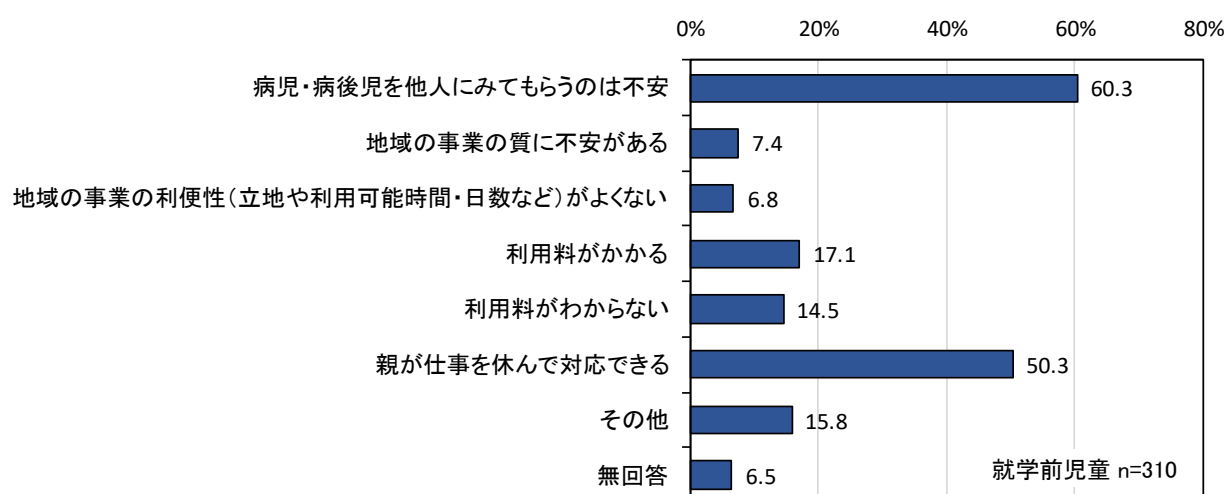
病児・病後児保育の望ましい形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が77.5%で最も高く、次いで「他の施設(幼稚園・保育所(園)・認定こども園等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が60.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(居宅訪問型保育等)」が7.7%となっている。



問 23-4 問 23-2で「2」と回答した方にお伺いします。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児の保育施設等を利用したいと思わない理由については、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が60.3%で最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できる」が50.3%、「利用料がかかる」が17.1%となっている。



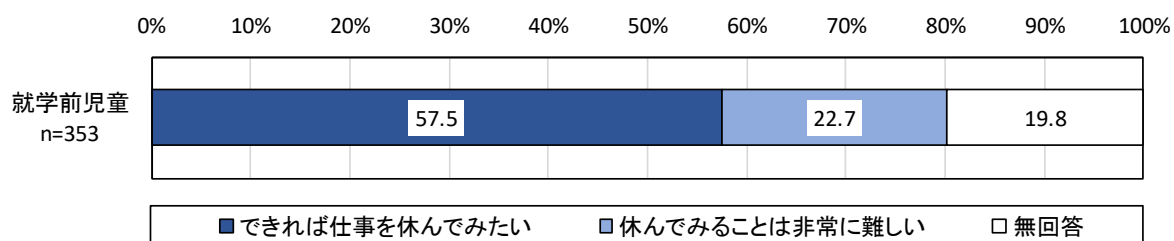
問 23-5 問 23-1 で「3」～「9」を回答した方にお伺いします。

対象のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。

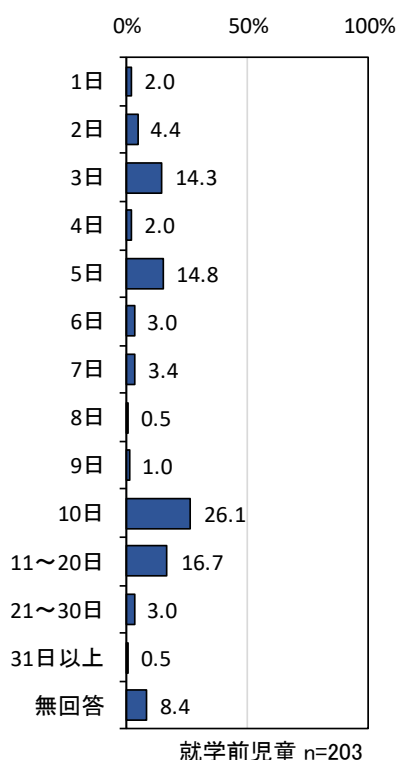
問 23-1 の「3」～「9」の日数のうち、仕事を休んでみたかった日数についてもご記入ください。
(○は1つ、□内に数字をご記入ください。)

父母のいずれかが仕事を休んでみたいかについては、「できれば仕事を休んでみたい」が 57.5%、「休んでみることは非常に難しい」が 22.7%となっている。

仕事を休んでみたいと回答した方の年間希望日数については、「10 日」が 26.1%で最も高く、次いで「11～20 日」が 16.7%となっている。



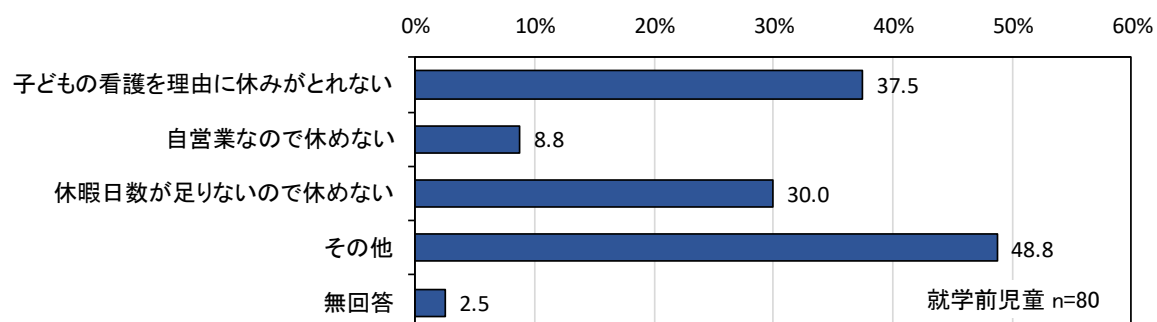
【仕事を休んでみたい年間希望日数】



問 23－6 問 23－5で「2」と回答した方にお伺いします。

そう思われる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

休んでみることは非常に難しい理由については、「その他」が 48.8%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 37.5%、「休暇日数が足りないので休めない」が 30.0%となっている。

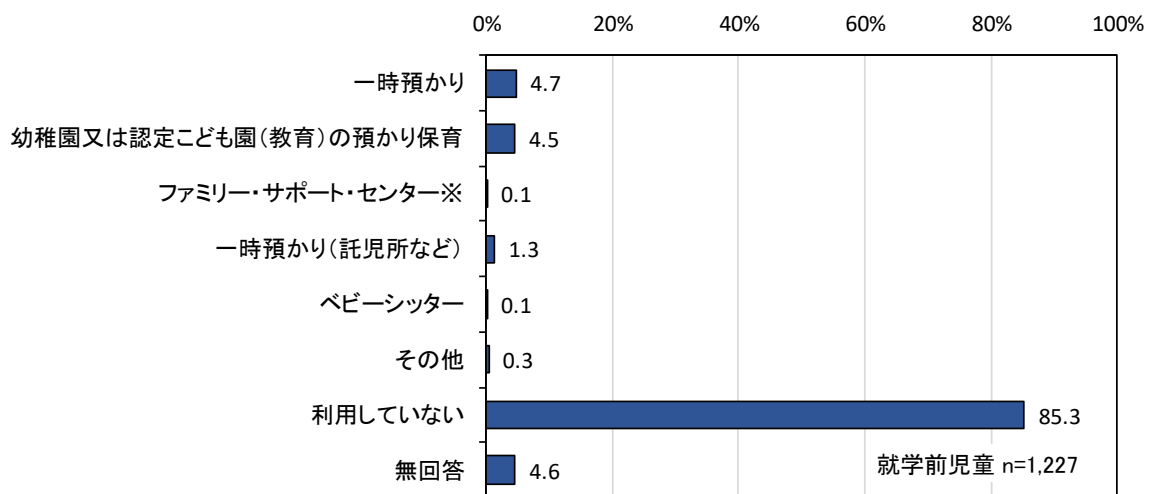


9. 対象のお子さんの不特定の教育・保育事業や 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 24 対象のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。）

私用等の目的で不定期的に利用している事業については、「利用していない」が85.3%で最も高く、次いで「一時預かり」が4.7%、「幼稚園又は認定こども園（教育）の預かり保育」が4.5%となっている。

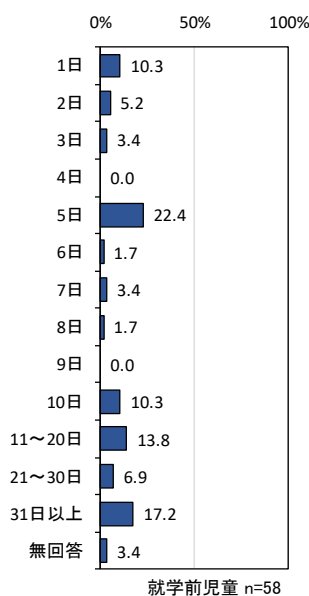
利用事業の上位2位の年間利用日数をみると、『一時預かり』では「5日」が22.4%で最も高く、次いで「31日以上」が17.2%、『幼稚園又は認定こども園（教育）の預かり保育』では「5日」が23.6%で最も高く、次いで「10日」が20.0%となっている。



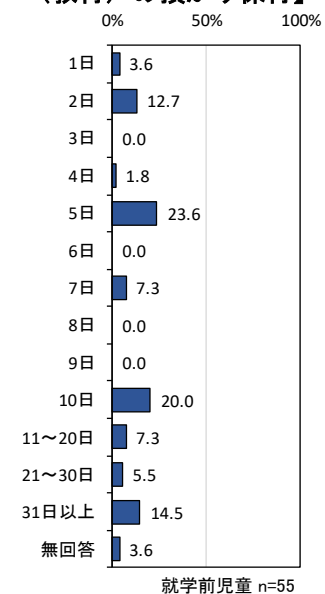
【※】が付いている施設は、現在旭市にはありません。

●年間利用日数

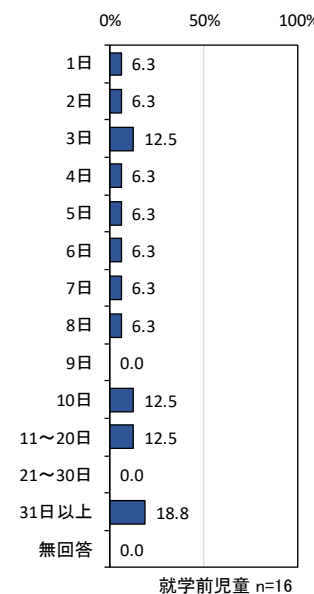
【一時預かり】



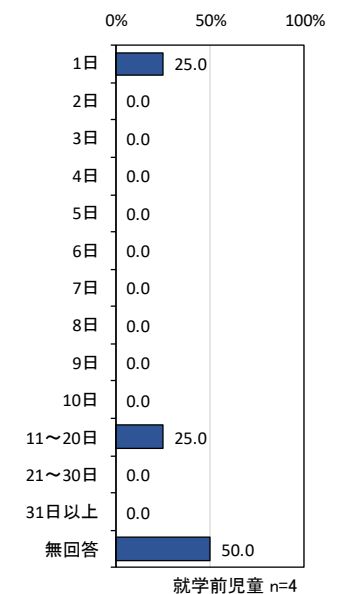
【幼稚園又は認定こども園（教育）の預かり保育】



【一時預かり（託児所）など】



【その他】



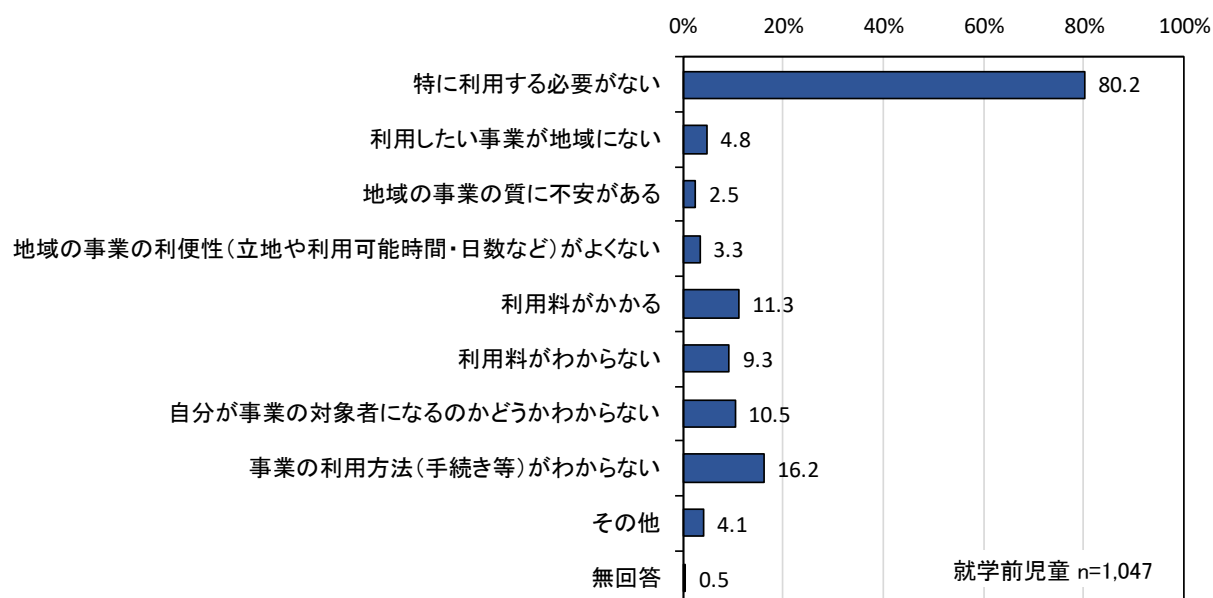
※『ファミリー・サポート・センター』に該当する回答者は1人で、「無回答」となっている。

※『ベビーシッター』に該当する回答者は1人で、「3日」となっている。

問 24－1 問 24 で「7. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

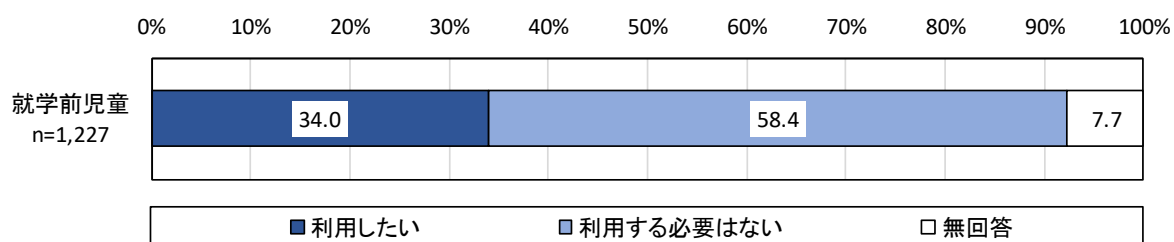
利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が 80.2%で最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 16.2%、「利用料がかかる」が 11.3%となっている。



問 25 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。（〇は1つ、ア～エはあてはまるすべてに〇、該当する口内に数字をご記入ください。）

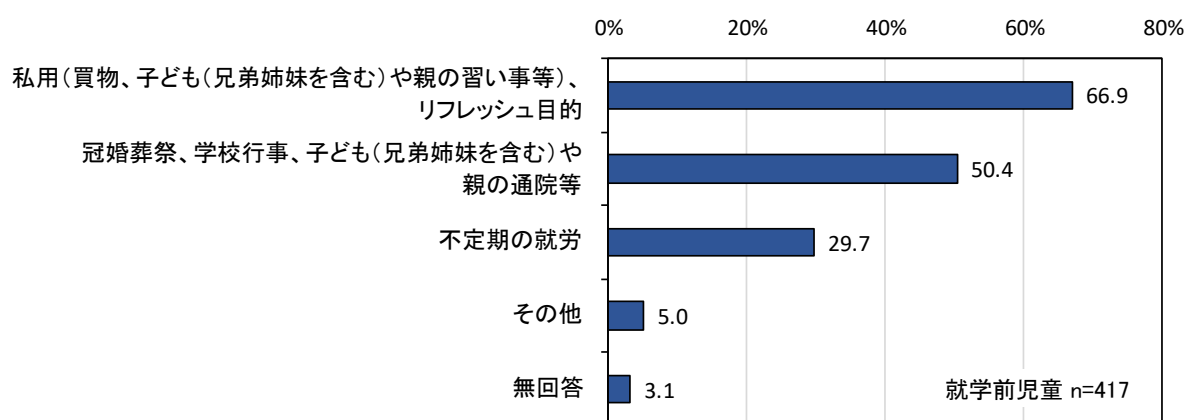
（１）事業の利用希望

私用等の目的での事業の利用希望については、「利用したい」が 34.0%、「利用する必要はない」が 58.4%となっている。



（２）利用目的

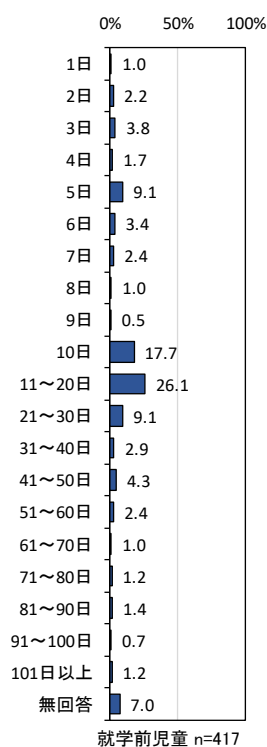
利用目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 66.9%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 50.4%、「不定期の就労」が 29.7%となっている。



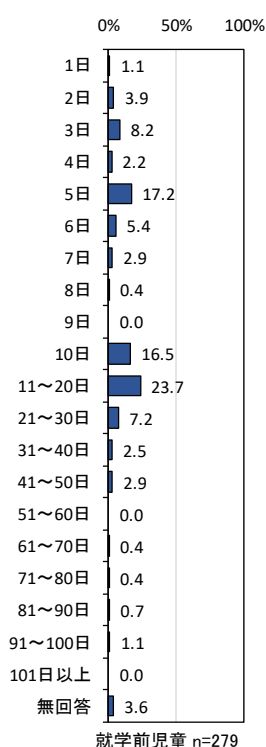
●利用目的別の年間希望日数

利用目的の上位3位の年間希望日数をみると、『私用、リフレッシュ目的』では「11～20日」が23.7%で最も高く、次いで「5日」が17.2%、『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等』では「5日」が27.1%で最も高く、次いで「10日」が19.5%、『不定期の就労』では「11～20日」が21.0%で最も高く、次いで「5日」が15.3%となっている。

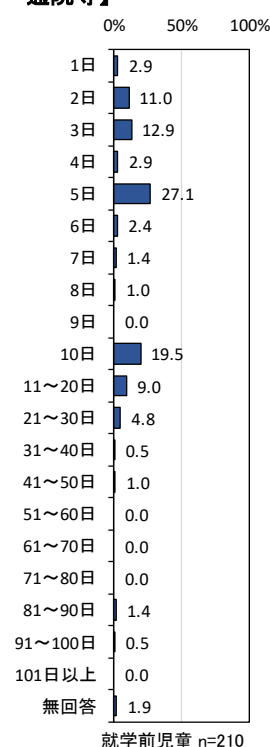
【年間希望日数（合計）】



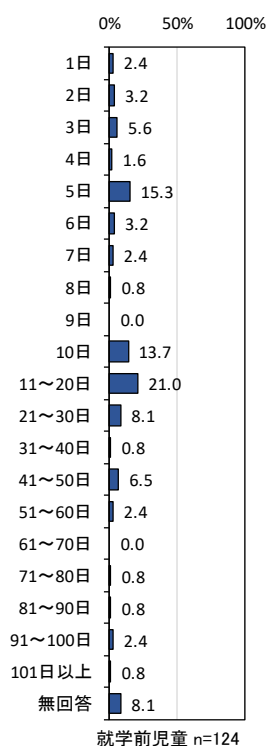
【私用、リフレッシュ目的】



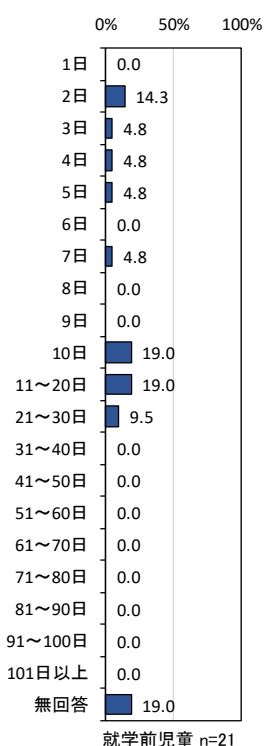
【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】



【不定期の就労】



【その他】

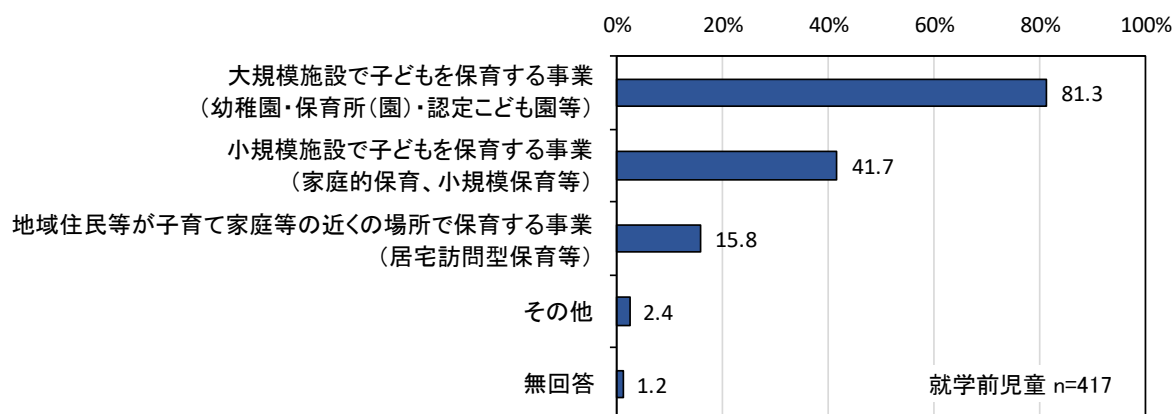


問 25－1 問 25 で「1. 利用したい」と回答した方にお伺いします。

問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

(あてはまるものすべてに○)

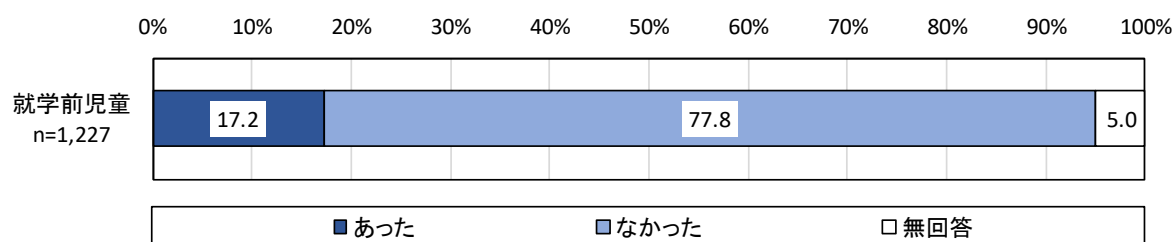
私用等の目的でお子さんを預ける場合の望ましい事業形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）」が 81.3%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（家庭的保育、小規模保育等）」が 41.7%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（居宅訪問型保育等）」が 15.8%となっている。



問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、対象のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの日数もご記入ください。（○は1つ、ア～カはあてはまるすべてに○、該当する口内に数字をご記入ください。）

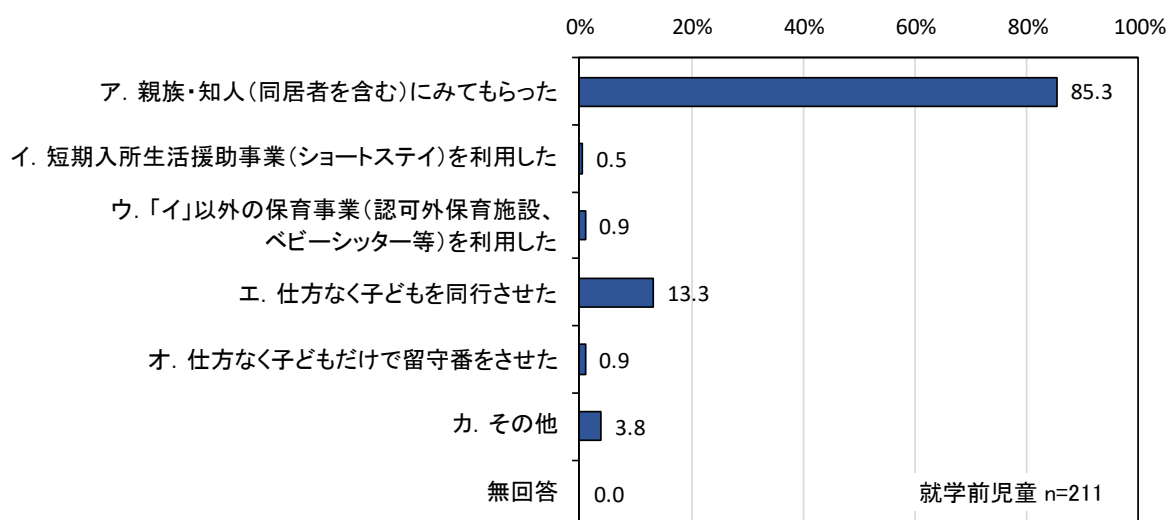
（１）家族以外にみてもらった有無

家族以外にみてもらった有無については、「あった」が17.2%、「なかった」が77.8%となっている。



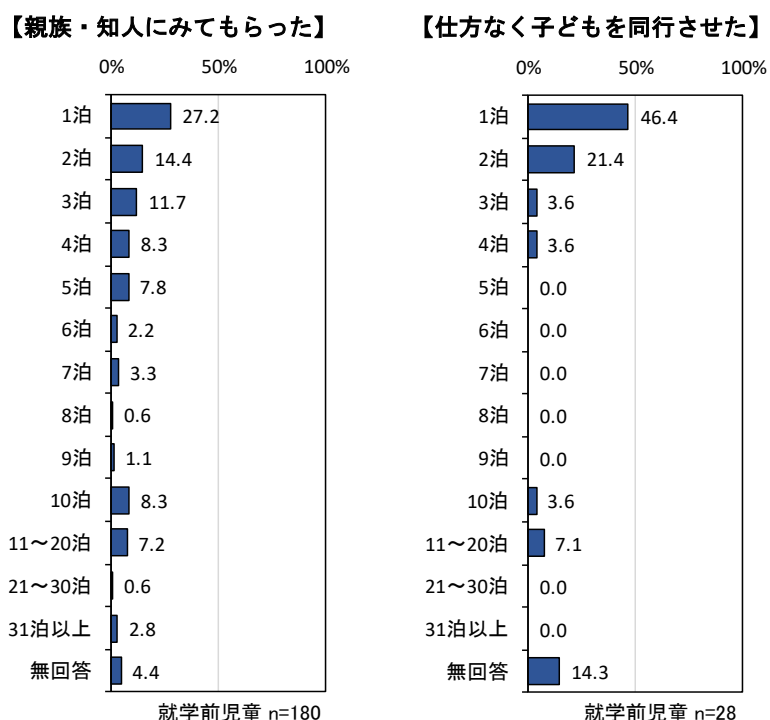
（２）対処方法

対処方法については、「ア. 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」が85.3%で最も高く、次いで「エ. 仕方なく子どもを同行させた」が13.3%、「カ. その他」が3.8%となっている。



●対処方法別の年間日数

対処方法の上位2位の年間日数をみると、『ア. 親族・知人にみてもらった』では「1泊」が27.2%で最も高く、次いで「2泊」が14.4%、『エ. 仕方なく子どもを同行させた』では「1泊」が46.4%で最も高く、次いで「2泊」が21.4%となっている。



※『イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した』に該当する回答者は1人で、「2泊」となっている。

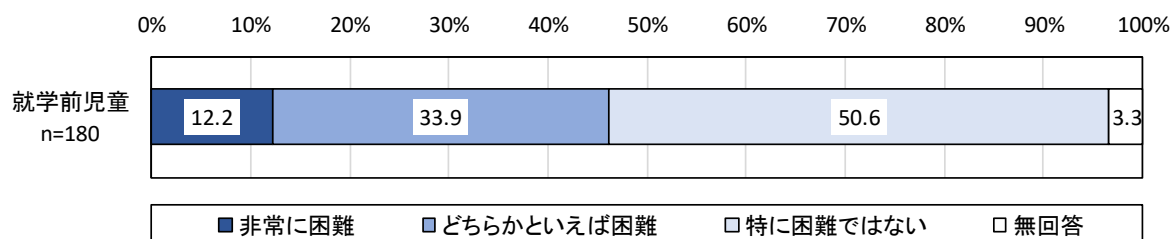
※『ウ. 「イ」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した』に該当する回答者は2人で、「無回答」となっている。

※『オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた』に該当する回答者は2人で、「2泊」が1人、「無回答」が1人となっている。

※『カ. その他』に該当する回答者は8人で、「21～30泊」が1人、「無回答」が7人となっている。

問 26－1 問 26 で「ア. 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」と回答した方にお伺いします。
その場合の困難度はどの程度でしたか。（〇は1つ）

親族・知人にみてもらった場合の困難度については、「特に困難ではない」が50.6%で最も高く、次いで「どちらかといえば困難」が33.9%、「非常に困難」が12.2%となっている。

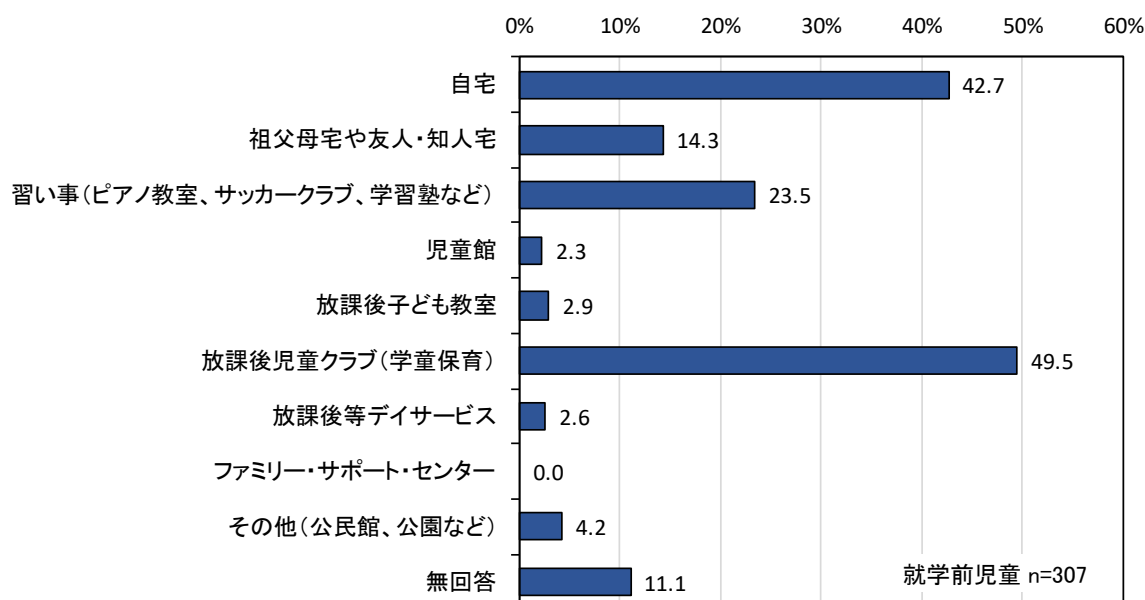


10. 対象のお子さんが5歳以上である方に、 小学校就学後の放課後の過ごし方について

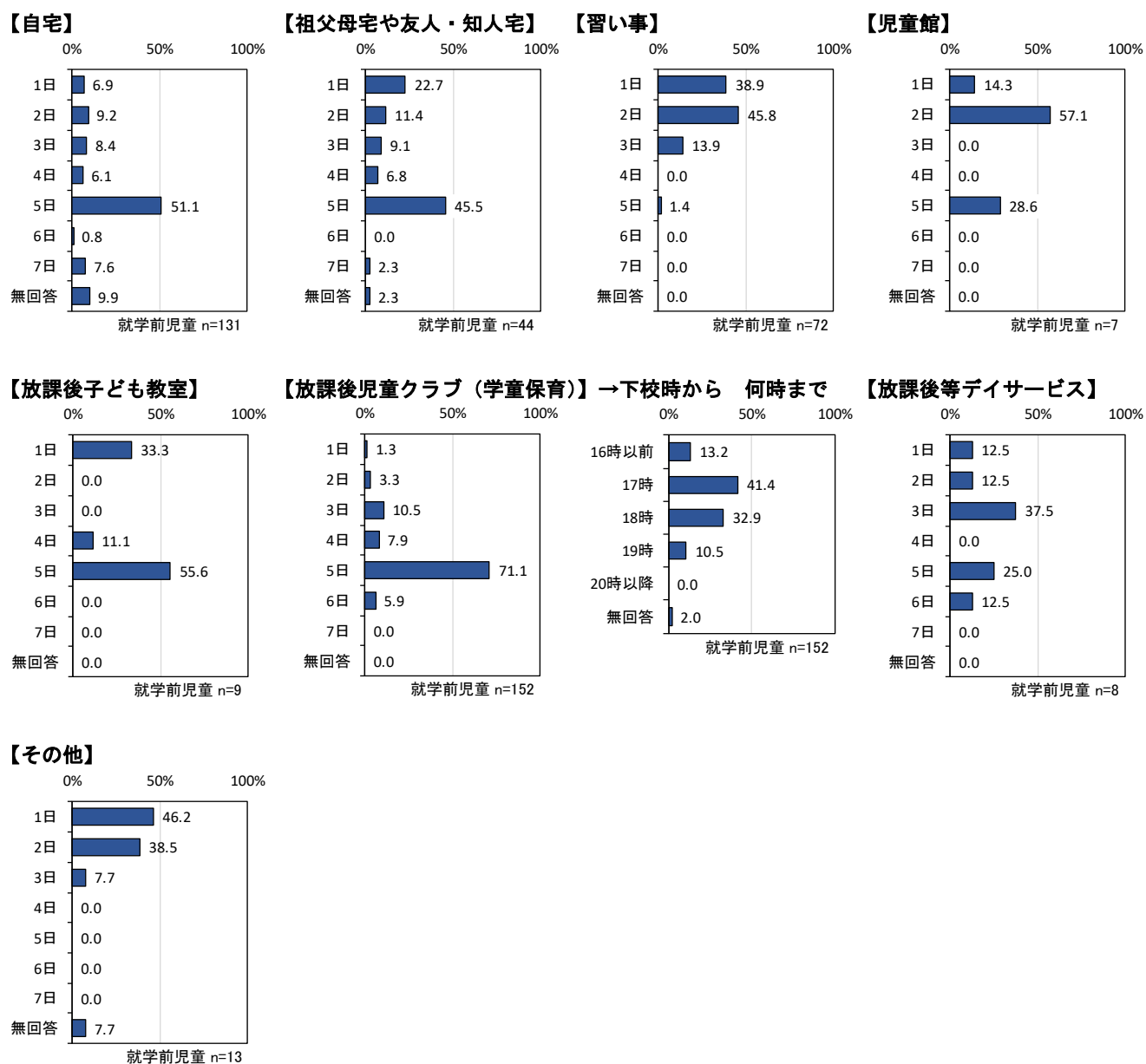
問 27 対象のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たりの希望日数をご記入ください。また、「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もお記入ください。（あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。）

小学校低学年（1～3年生）の希望する放課後の過ごし方については、「放課後児童クラブ（学童保育）」が49.5%で最も高く、次いで「自宅」が42.7%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が23.5%となっている。

『放課後児童クラブ（学童保育）』の利用希望についてみると、1週当たりの利用希望日数は「5日」が71.1%で最も高く、次いで「3日」が10.5%、利用希望時間は「17時」が41.4%で最も高く、次いで「18時」が32.9%となっている。



● 1週当たりの利用希望日数

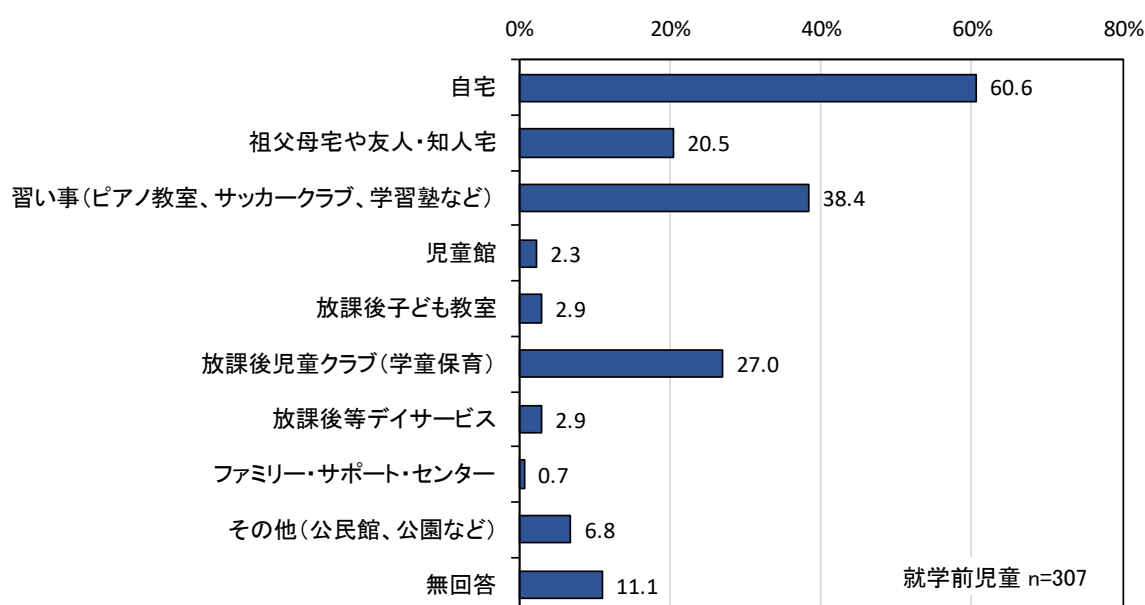


※『ファミリー・サポート・センター』に該当する回答者はいませんでした。

問 28 対象のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たりの希望日数をご記入ください。また、「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間をご記入ください。（あてはまるものすべてに○、□内に数字をご記入ください。）

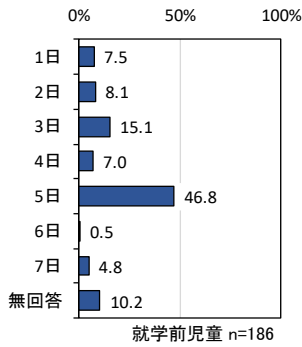
小学校高学年（４～６年生）の希望する放課後の過ごし方については、「自宅」が 60.6%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 38.4%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 27.0%となっている。

『放課後児童クラブ（学童保育）』の利用希望についてみると、１週当たりの利用希望日数は「５日」が 62.7%で最も高く、次いで「３日」が 14.5%、利用希望時間は「１７時」が 45.8%で最も高く、次いで「１８時」が 31.3%となっている。

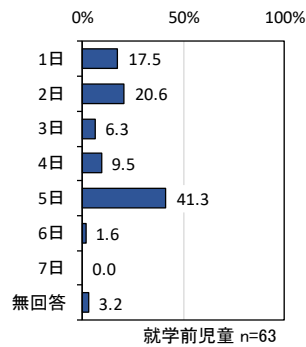


● 1週当たりの利用希望日数

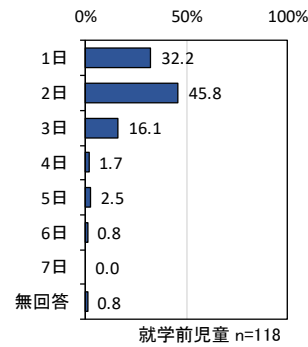
【自宅】



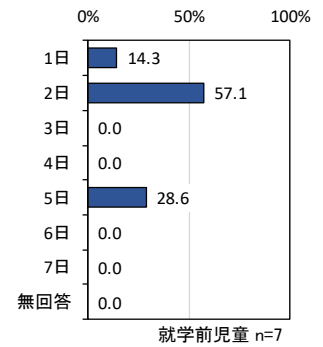
【祖父母宅や友人・知人宅】



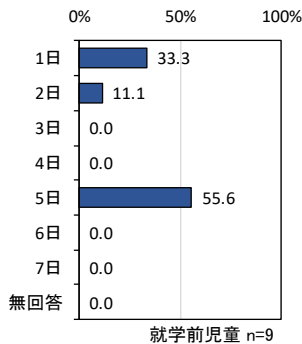
【習い事】



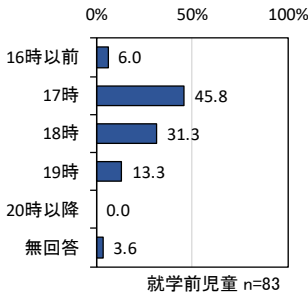
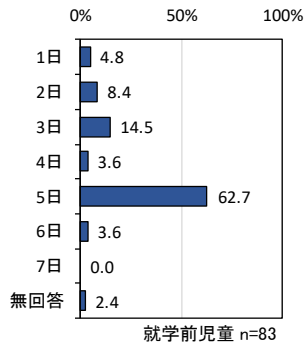
【児童館】



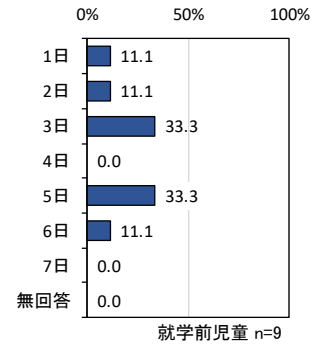
【放課後子ども教室】



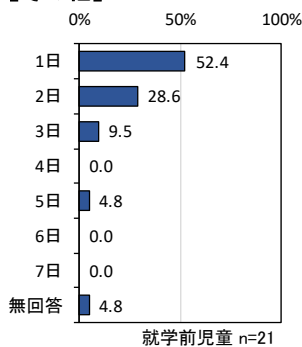
【放課後児童クラブ（学童保育）】→下校時から 何時まで



【放課後等デイサービス】



【その他】



※『ファミリー・サポート・センター』に該当する回答者は2人で、「2日」が1人、「5日」が1人となっている。

問 28-1 問 27 または問 28 で「6. 放課後児童クラブ」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。

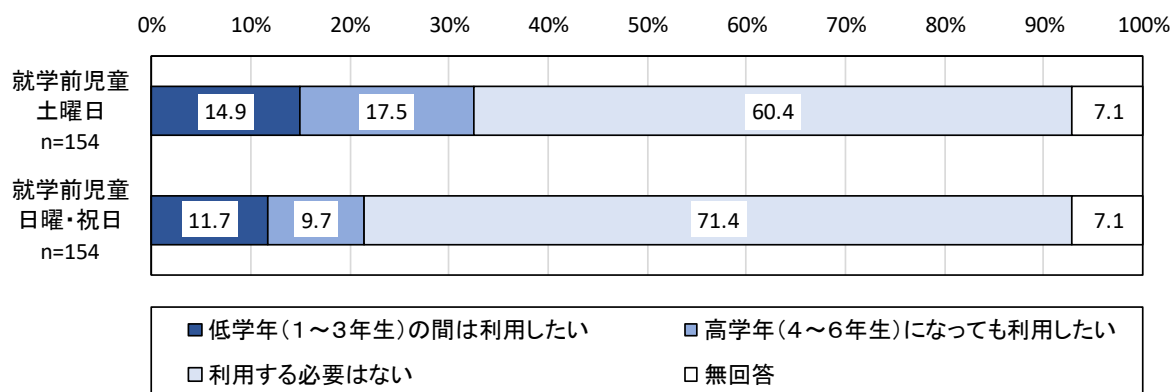
（それぞれ〇は1つ、□内に数字をご記入ください。）

土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が60.4%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が17.5%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が14.9%となっている。

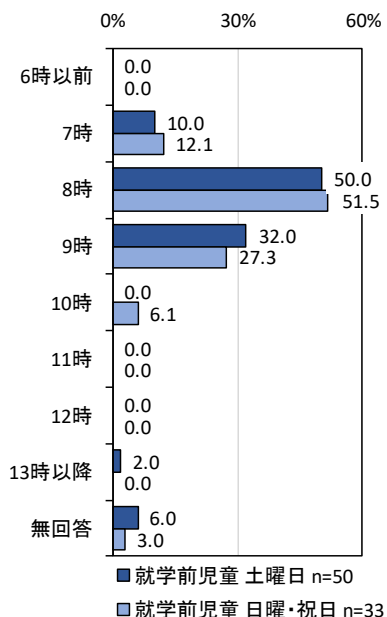
日曜・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が71.4%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が11.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が9.7%となっている。

希望開始時間については、『土曜日』『日曜・祝日』ともに「8時」の割合が最も高く、次いで「9時」となっている。

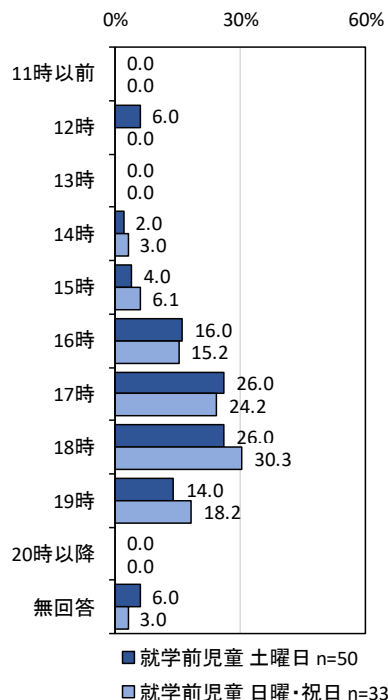
希望終了時間については、『土曜日』では「17時」と「18時」の割合が最も高く、『日曜・祝日』では「18時」の割合が最も高くなっている。



【希望開始時間】



【希望終了時間】

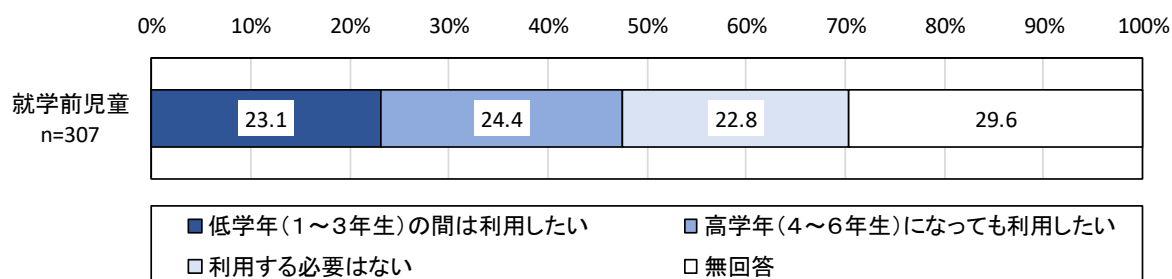


問 29 対象のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。（○は1つ、□内に数字をご記入ください。）

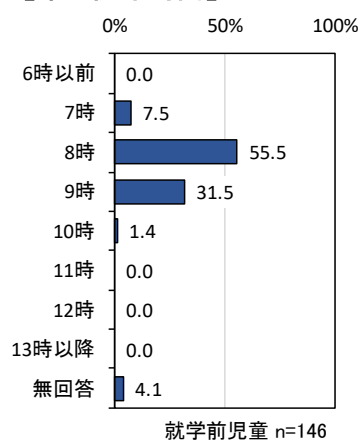
長期の休暇期間中の利用希望については、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が24.4%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が23.1%、「利用する必要はない」が22.8%となっている。

希望開始時間については、「8時」が55.5%で最も高く、次いで「9時」が31.5%となっている。

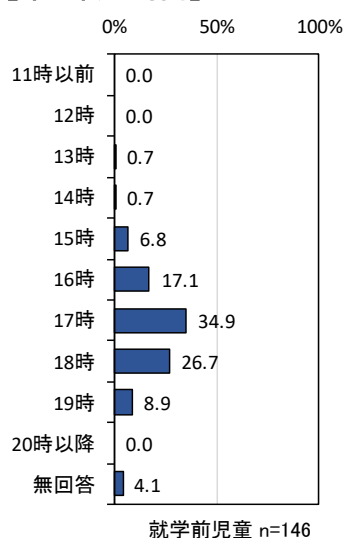
希望終了時間については、「17時」が34.9%で最も高く、次いで「18時」が26.7%となっている。



【希望開始時間】



【希望終了時間】



1 1. 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

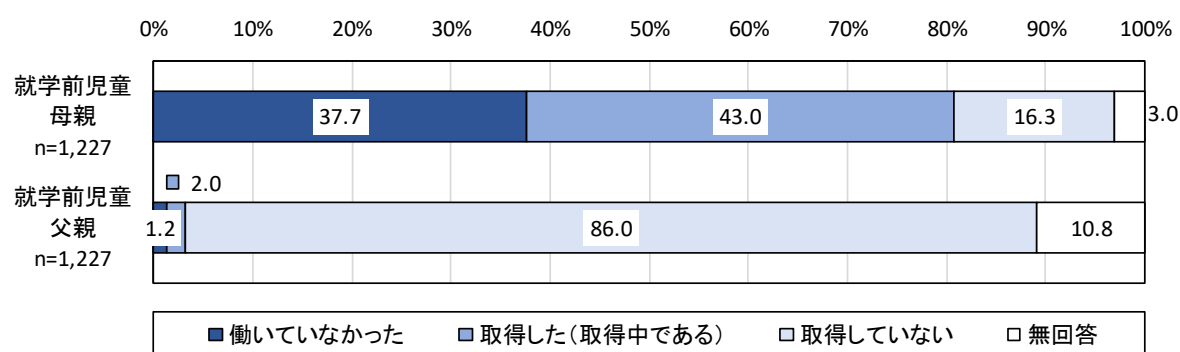
問 30 対象のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。

(それぞれ○は1つ、取得していない方はその理由について、あてはまるものすべてに○)

(1) 育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況については、「取得した(取得中である)」が43.0%で最も高く、次いで「働いていなかった」が37.7%、「取得していない」が16.3%となっている。

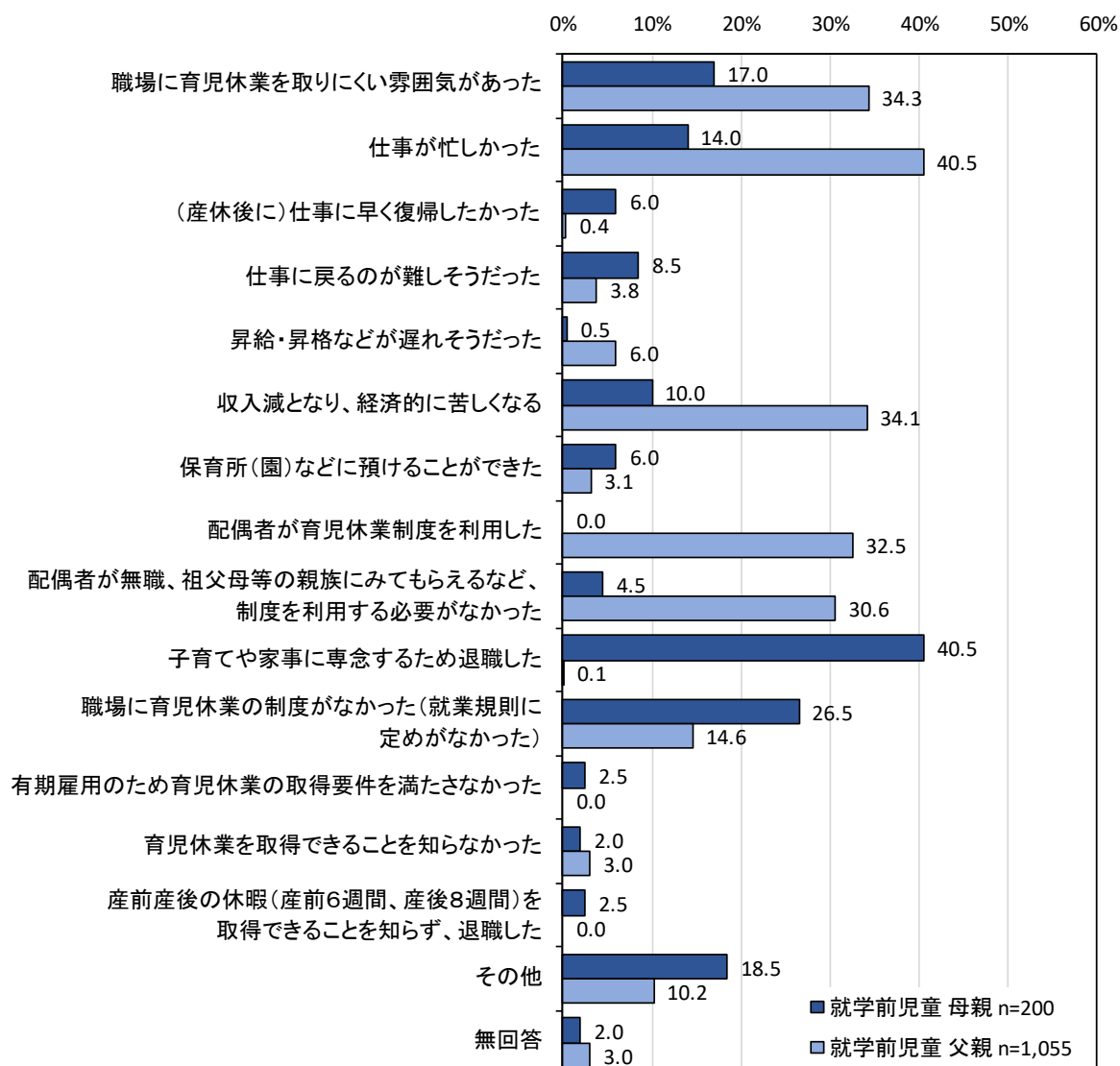
父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」が86.0%で最も高く、次いで「取得した(取得中である)」が2.0%、「働いていなかった」が1.2%となっている。



(2) 育児休業を取得していない理由

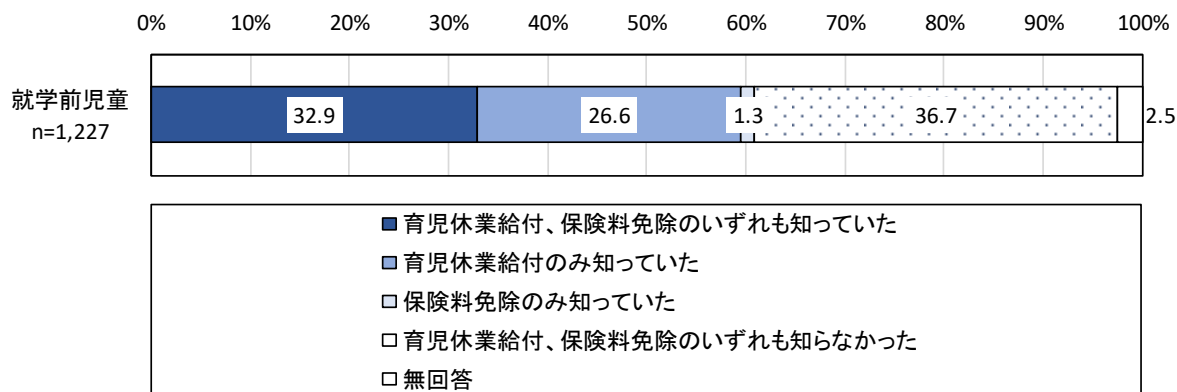
母親が育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が40.5%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が26.5%、「その他」が18.5%となっている。

父親が育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」が40.5%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が34.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が34.1%となっている。



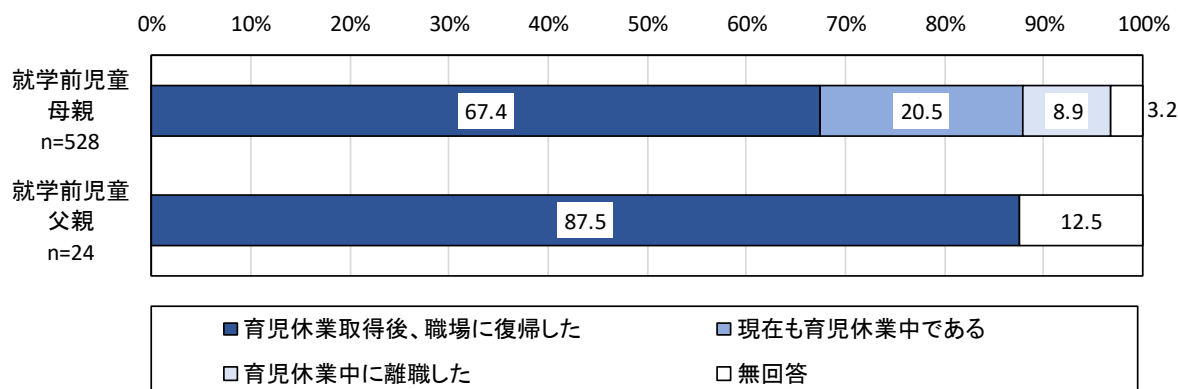
問 30－1 「育児休業給付」、「保険料免除」の仕組みをご存知でしたか。(〇は1つ)

育児休業給付や保険料免除の仕組みに対する認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が36.7%で最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が32.9%、「育児休業給付のみ知っていた」が26.6%、「保険料免除のみ知っていた」が1.3%となっている。

問 30－2 問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にお伺いします。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ〇は1つ)

母親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が67.4%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が20.5%、「育児休業中に離職した」が8.9%となっている。

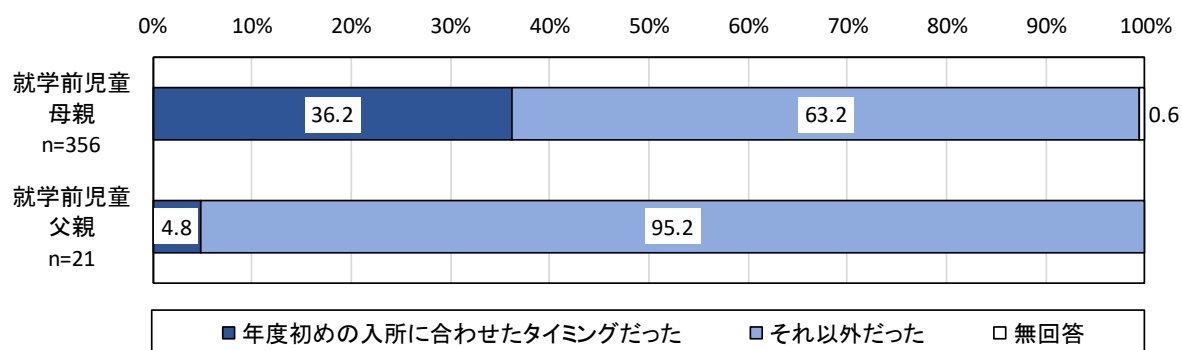
父親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が87.5%で最も高くなっている。



問 30－3 問 30－2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（それぞれ〇は1つ）

母親の職場への復帰時期については、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 36.2%、「それ以外だった」が 63.2%となっている。

父親の職場への復帰時期については、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 4.8%、「それ以外だった」が 95.2%となっている。



問 30-4 問 30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

（それぞれ口内に実際と希望の復帰時期をご記入ください。）

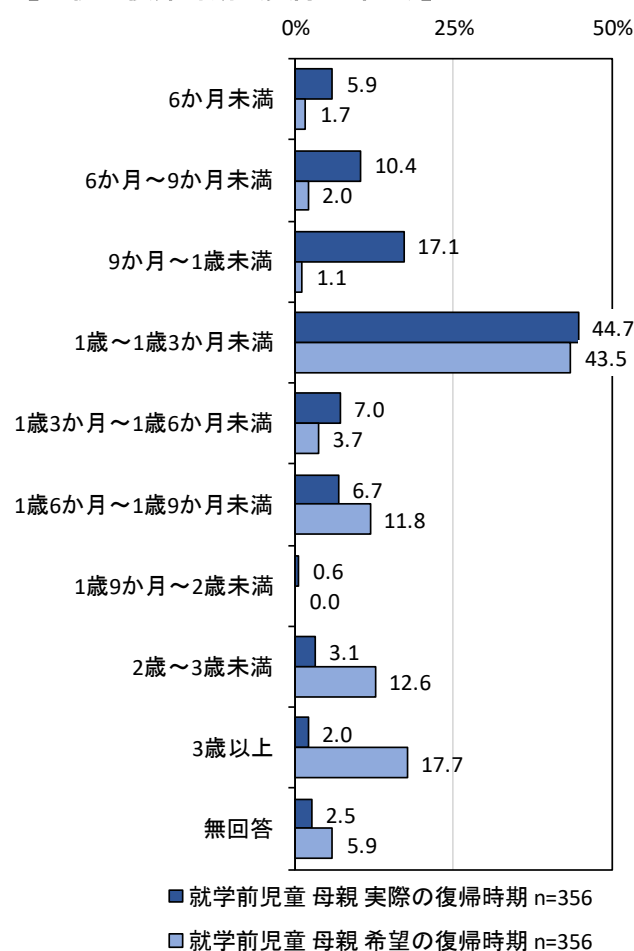
母親の実際の復帰時期については、「1歳～1歳3か月未満」が44.7%で最も高く、次いで「9か月～1歳未満」が17.1%、「6か月～9か月未満」が10.4%となっている。

母親の希望の復帰時期については、「1歳～1歳3か月未満」が43.5%で最も高く、次いで「3歳以上」が17.7%、「2歳～3歳未満」が12.6%となっている。

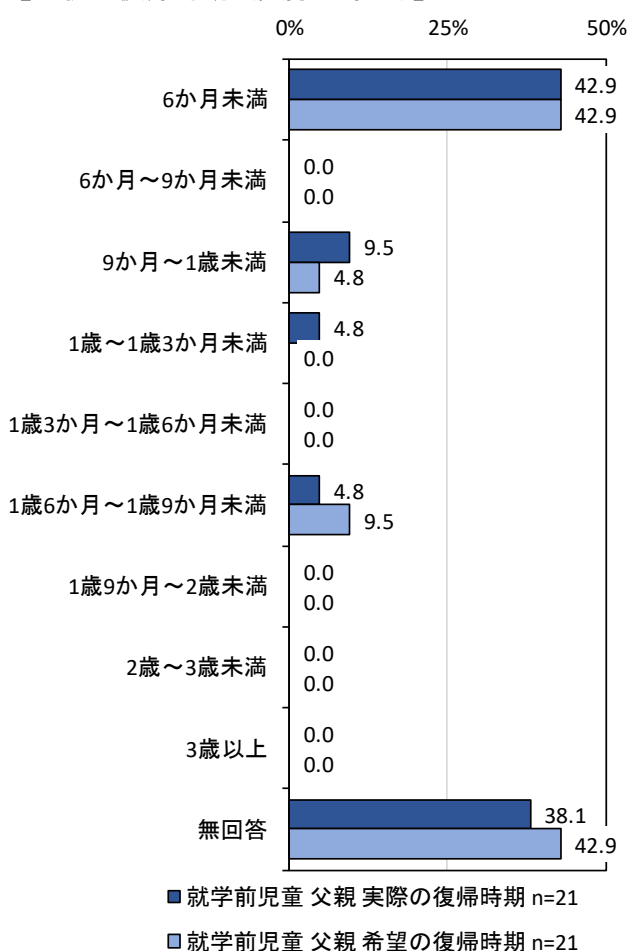
父親の実際の復帰時期については、「6か月未満」が42.9%で最も高く、次いで「9か月～1歳未満」が9.5%となっている。

父親の希望の復帰時期については、「6か月未満」が42.9%で最も高く、次いで「1歳6か月～1歳9か月未満」が9.5%となっている。

【母親の復帰時期（実際・希望）】



【父親の復帰時期（実際・希望）】



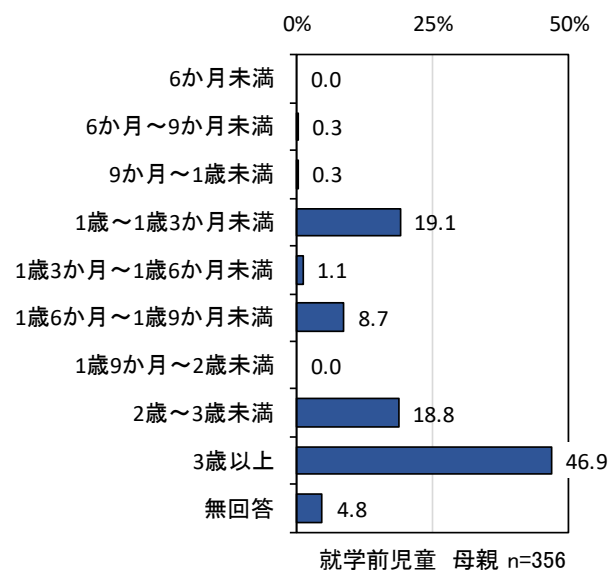
問 30-5 問 30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（それぞれ口内に希望の時期をご記入ください。）

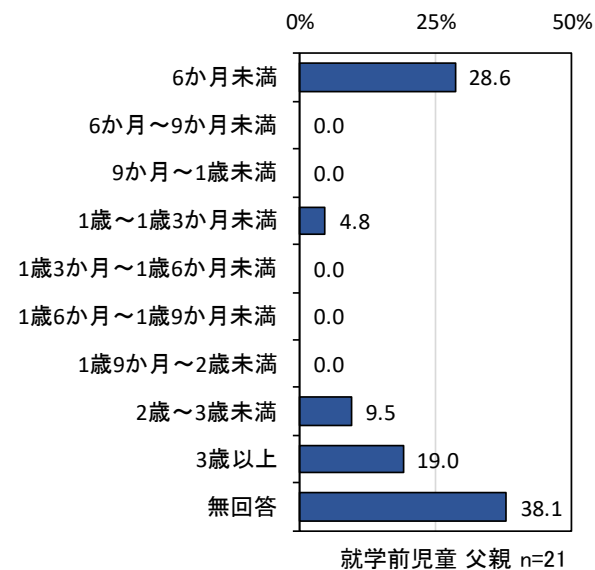
母親が希望する復帰時期については、「3歳以上」が46.9%で最も高く、次いで「1歳～1歳3か月未満」が19.1%、「2歳～3歳未満」が18.8%となっている。

父親が希望する復帰時期については、「6か月未満」が28.6%で最も高く、次いで「3歳以上」が19.0%、「2歳～3歳未満」が9.5%となっている。

【母親の希望復帰時期】



【父親の希望復帰時期】

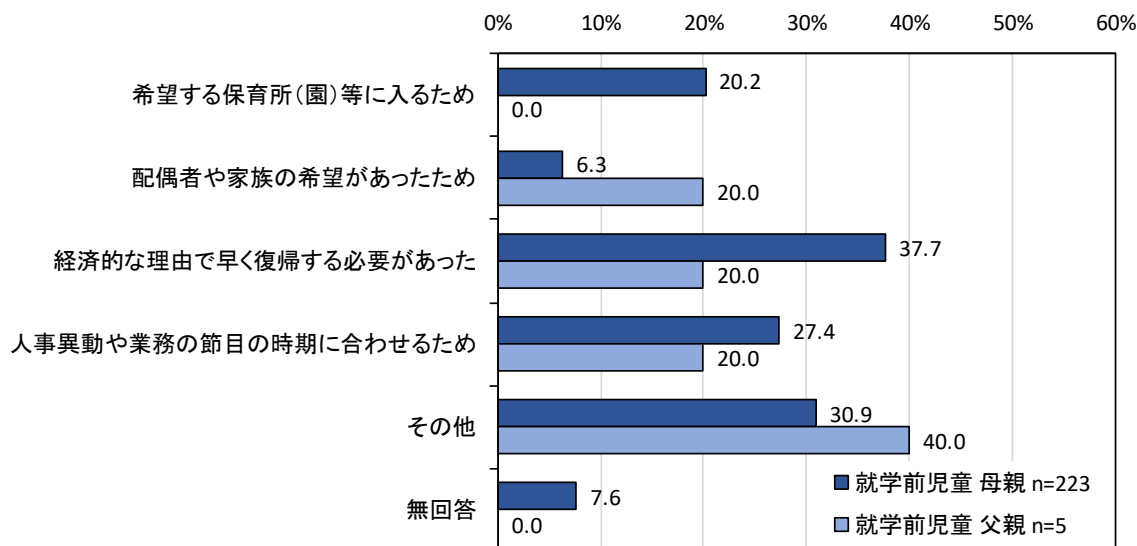


問 30-6 問 30-4で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方にお伺いします。
希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。（それぞれあてはまるものすべてに○）

（１）希望より早く復帰

母親については、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が37.7%で最も高く、次いで「その他」が30.9%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が27.4%となっている。

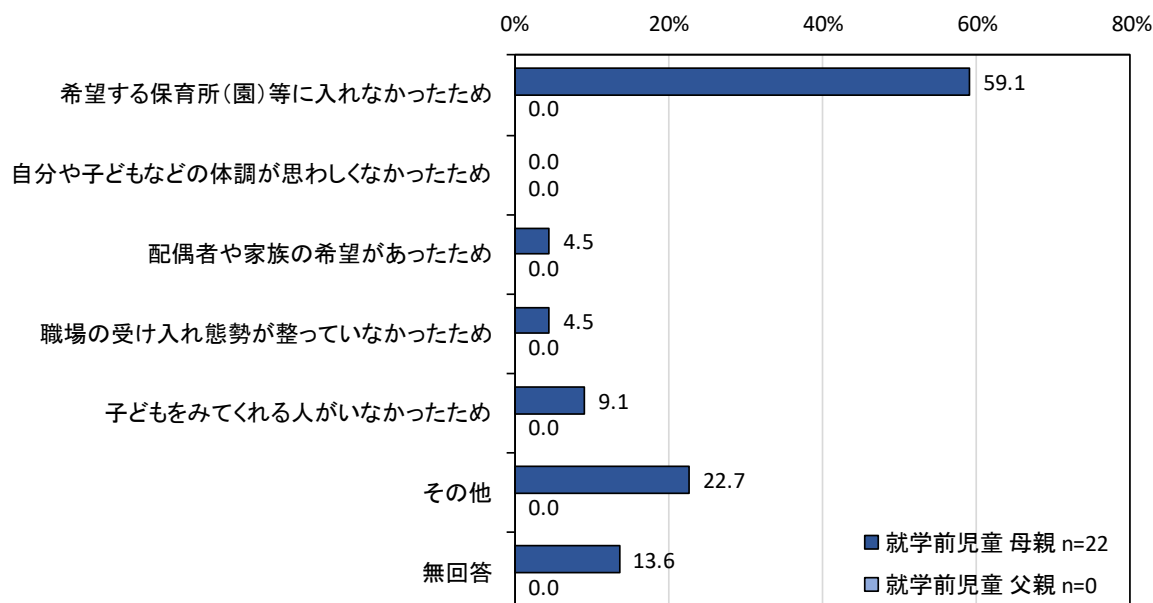
父親については、「その他」が40.0%で最も高くなっている。



（２）希望より遅く復帰

母親については、「希望する保育所（園）等に入れなかったため」が59.1%で最も高く、次いで「その他」が22.7%、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が9.1%となっている。

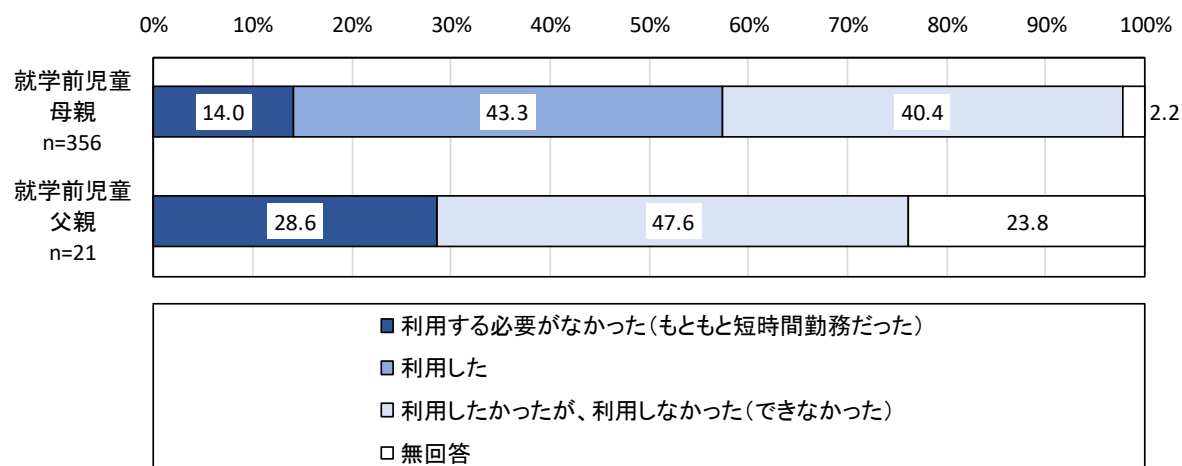
父親については、該当する回答者はいませんでした。



問 30－7 問 30－2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（それぞれ〇は1つ）

母親の短時間勤務制度の利用状況については、「利用した」が 43.3%で最も高く、次いで「利用しなかったが、利用しなかった（できなかった）」が 40.4%、「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務だった）」が 14.0%となっている。

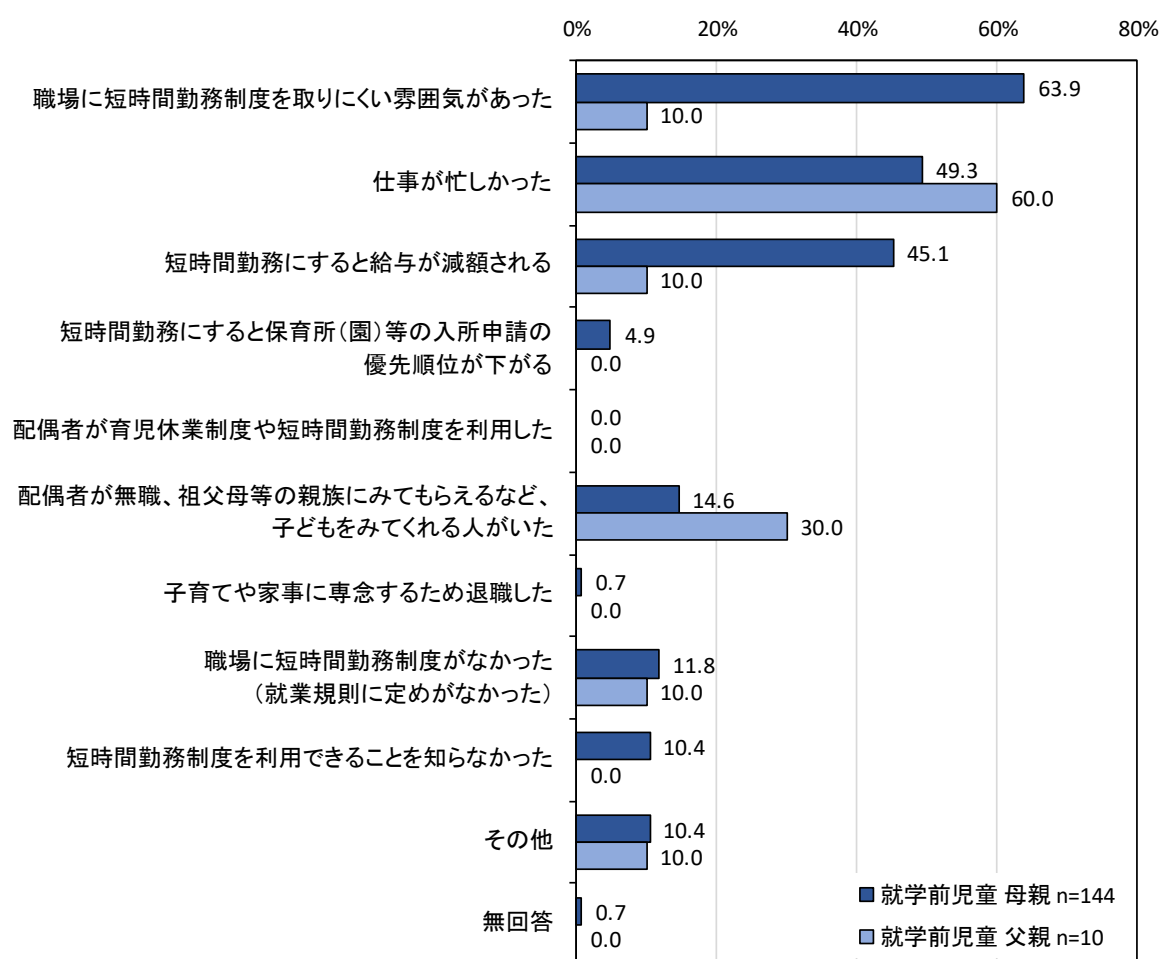
父親の短時間勤務制度の利用状況については、「利用した」が 47.6%で最も高く、次いで「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務だった）」が 28.6%となっている。



問 30－8 問 30－7で「3」（利用しなかった、できなかった）と回答した方にお伺いします。
 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。
 （それぞれあてはまるものすべてに○）

母親の短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が63.9%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が49.3%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が45.1%となっている。

父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「仕事が忙しかった」が60.0%で最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」が30.0%となっている。



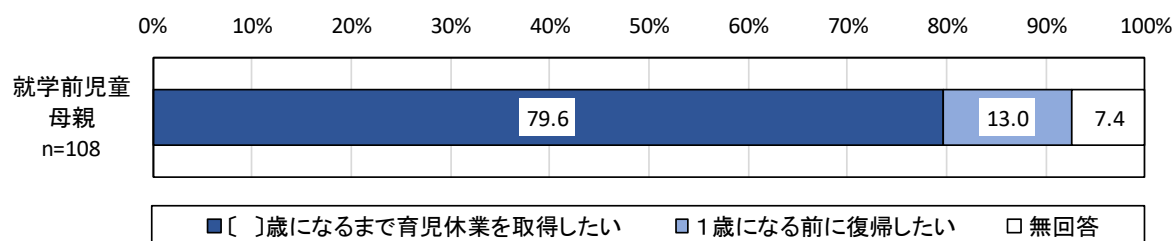
問 30－9 問 30－2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にお伺いします。

今後、職場に復帰する際、対象のお子さんが必ず利用できる事業（保育所（園）等）がある場合、何歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できたとしても1歳前に復帰しますか。

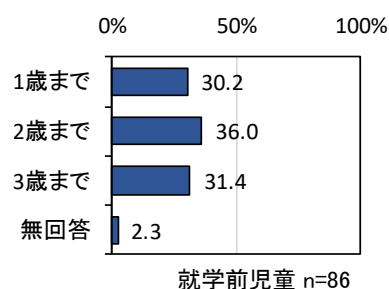
（それぞれ○は1つ、□内に数字をご記入ください。）

母親が職場に復帰する際、必ず利用できる事業がある場合、何歳になるまで育児休業を取得するかについては、「〔 〕歳になるまで育児休業を取得したい」が79.6%、「1歳になる前に復帰したい」が13.0%となっている。

なお、〔 〕歳になるまで育児休業を取得したいかについては、「2歳まで」が36.0%で最も高く、次いで「3歳まで」が31.4%、「1歳まで」が30.2%となっている。



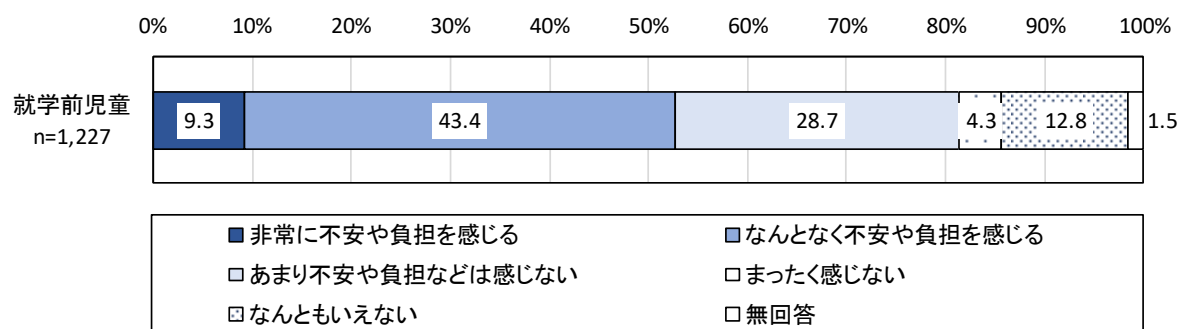
【〔 〕歳になるまで育児休業を取得したい】



12. 子育てに関する悩みや不安感について

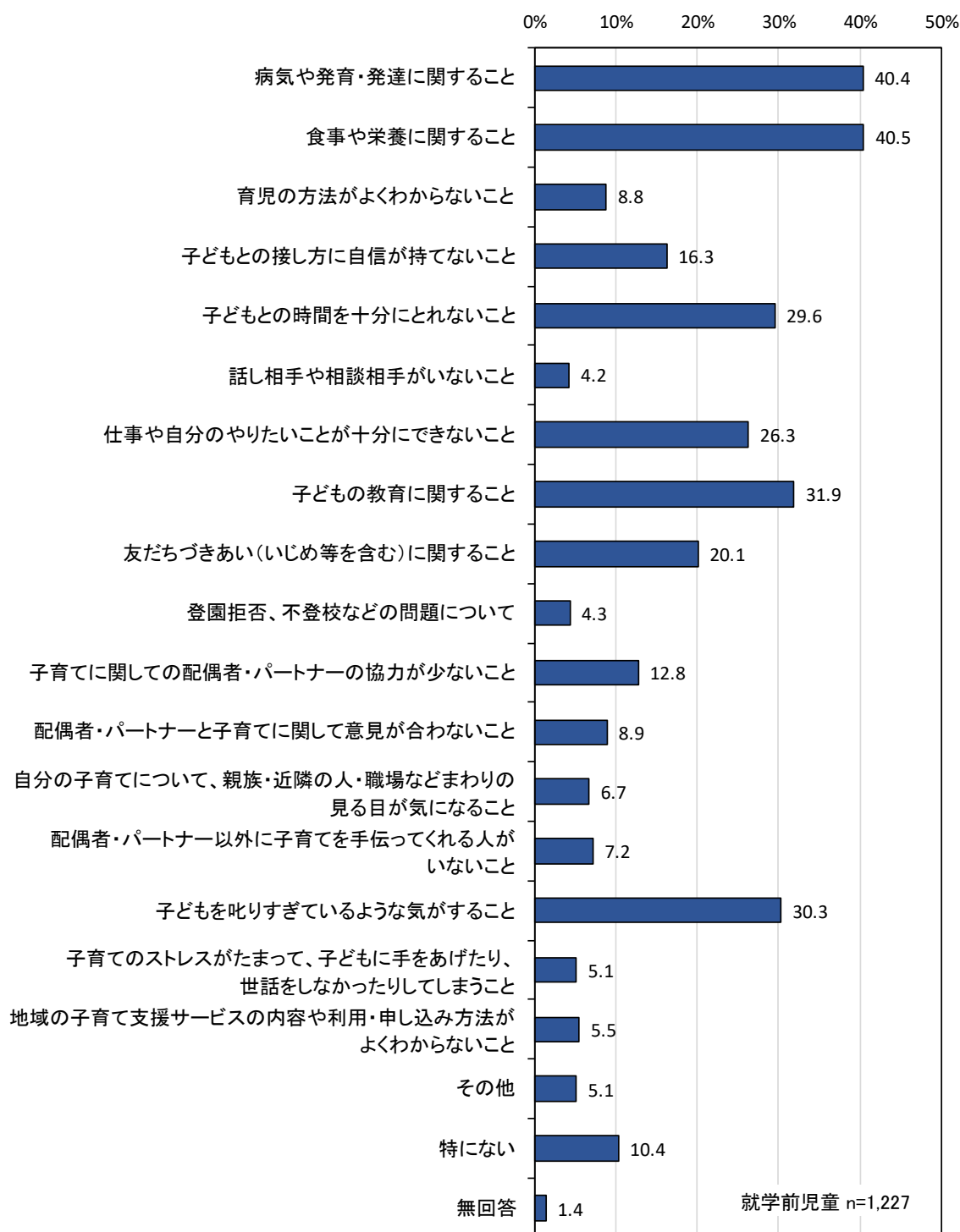
問 31 子育てに関して不安や負担などを、感じていますか。(○は1つ)

子育てに対する不安感や負担感については、「なんとなく不安や負担を感じる」が 43.4%で最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が 28.7%、「なんともいえない」が 12.8%となっている。



問 32 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てに対する悩みなどについては、「食事や栄養に関すること」が40.5%で最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」が40.4%、「子どもの教育に関すること」が31.9%となっている。

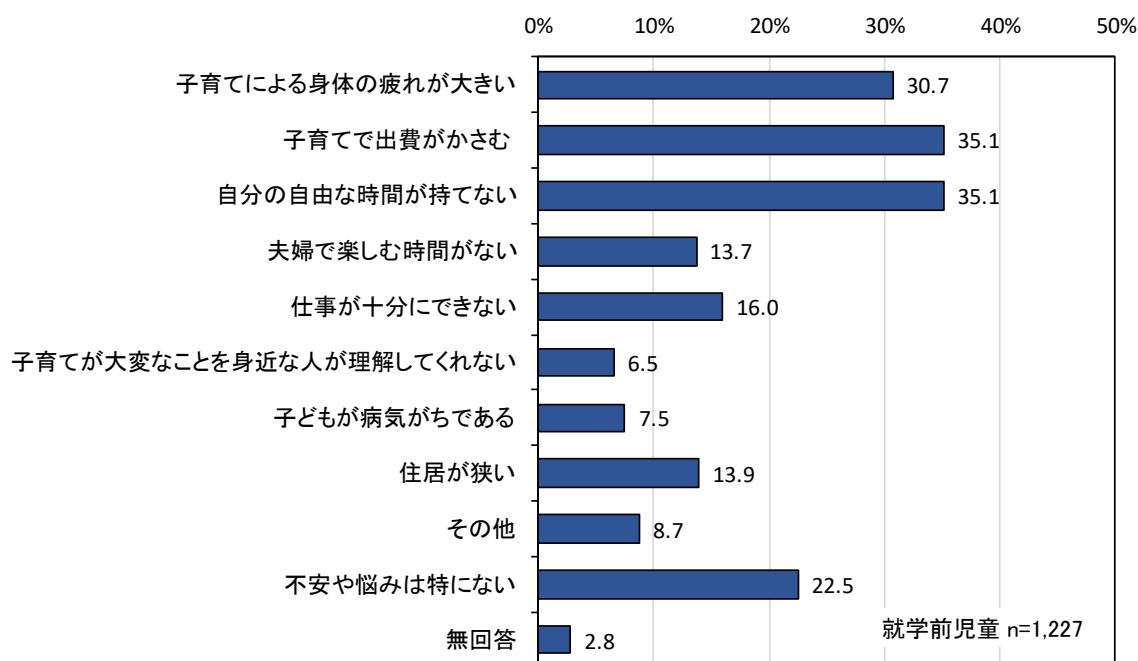


問 33 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てをする上で、特に不安に思うことや悩んでいることについては、「子育てで出費がかさむ」、「自分の自由な時間が持てない」がともに 35.1%で最も高く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きい」が 30.7%、「不安や悩みは特にない」が 22.5%となっている。

上位3位の項目を年齢区分でみると、「子育てで出費がかさむ」は3歳以上で、「自分の自由な時間が持てない」は0歳で、「子育てによる身体の疲れが大きい」は0歳、1・2歳で、割合が高い傾向がみられる。

上位3位の項目を現在の家庭類型別でみると、「子育てで出費がかさむ」はタイプC、タイプC'で、「自分の自由な時間が持てない」はタイプC'、タイプDで、「子育てによる身体の疲れが大きい」はタイプDで、割合が高い傾向がみられる。



【年齢区分】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		子育てによる身体 の疲れが大きい	子育てで 出費がかさむ	自分の自由な時間 が持てない	夫婦で楽しむ時間 がない	仕事が多分に できない	子育てが大変なことを 身近な人が理解してくれない	子どもが 病気がちである	住居が狭い	その他	不安や悩みは特に ない
就学前児童		377	431	431	168	196	80	92	171	107	276
		30.7%	35.1%	35.1%	13.7%	16.0%	6.5%	7.5%	13.9%	8.7%	22.5%
年 齢 区 分	0歳	40	34	57	21	15	2	9	19	7	24
		34.2%	29.1%	48.7%	17.9%	12.8%	1.7%	7.7%	16.2%	6.0%	20.5%
	1・2歳	104	98	108	50	49	19	25	40	25	65
		35.5%	33.4%	36.9%	17.1%	16.7%	6.5%	8.5%	13.7%	8.5%	22.2%
	3歳以上	206	265	236	87	122	52	56	105	67	168
		28.1%	36.1%	32.2%	11.9%	16.6%	7.1%	7.6%	14.3%	9.1%	22.9%

項目		無回答	総回答数	回答者数
就学前児童		34	2,363	1,227
		2.8%	192.6%	100.0%
年 齢 区 分	0歳	1	229	117
		0.9%	195.7%	100.0%
	1・2歳	9	592	293
		3.1%	202.0%	100.0%
	3歳以上	21	1,385	734
		2.9%	188.7%	100.0%

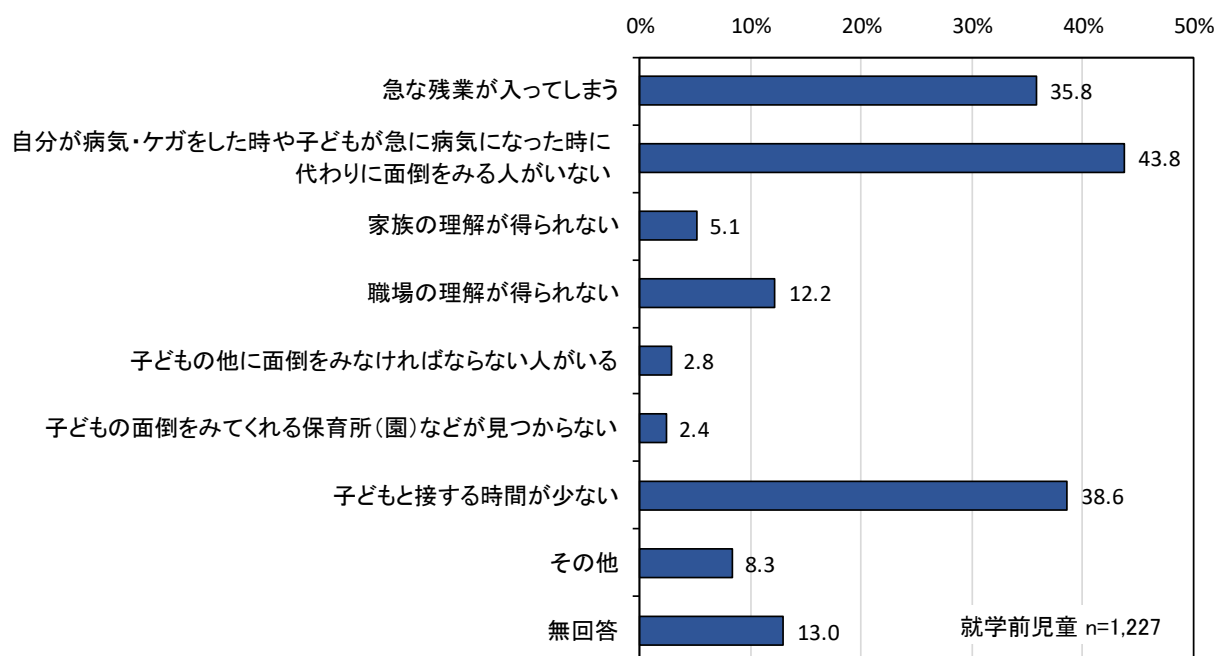
【現在の家庭類型別】※家庭類型の区分はP4参照

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		子育てによる身体 の疲れが大きい	子育てで 出費がかさむ	自分の自由な時間 が持てない	夫婦で楽しむ時間 がない	仕事が多分に できない	子育てが大変なことを 身近な人が理解してくれない	子どもが病気がちである	住居が狭い	その他	不安や悩みは特 にない
就学前児童		377 30.7%	431 35.1%	431 35.1%	168 13.7%	196 16.0%	80 6.5%	92 7.5%	171 13.9%	107 8.7%	276 22.5%
【現在】家庭類型 全体		301 32.0%	327 34.8%	340 36.2%	130 13.8%	160 17.0%	56 6.0%	71 7.6%	137 14.6%	87 9.3%	216 23.0%
現在の 家庭 類型 別	【現在】タイプA	18 27.7%	22 33.8%	22 33.8%	0 0.0%	13 20.0%	2 3.1%	4 6.2%	9 13.8%	6 9.2%	16 24.6%
	【現在】タイプB	123 31.1%	124 31.4%	131 33.2%	61 15.4%	68 17.2%	17 4.3%	39 9.9%	47 11.9%	40 10.1%	105 26.6%
	【現在】タイプC	89 29.1%	118 38.6%	105 34.3%	34 11.1%	52 17.0%	20 6.5%	19 6.2%	49 16.0%	24 7.8%	67 21.9%
	【現在】タイプC'	5 23.8%	8 38.1%	11 52.4%	8 38.1%	5 23.8%	0 0.0%	1 4.8%	5 23.8%	3 14.3%	3 14.3%
	【現在】タイプD	65 43.3%	54 36.0%	69 46.0%	27 18.0%	20 13.3%	16 10.7%	8 5.3%	27 18.0%	14 9.3%	25 16.7%
	【現在】タイプE	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	【現在】タイプF	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

項目		無回答	総回答数	回答者数
就学前児童		34 2.8%	2,363 192.6%	1,227 100.0%
【現在】家庭類型 全体		21 2.2%	1,846 196.4%	940 100.0%
現在の 家庭 類型 別	【現在】タイプA	2 3.1%	114 175.4%	65 100.0%
	【現在】タイプB	6 1.5%	761 192.7%	395 100.0%
	【現在】タイプC	8 2.6%	585 191.2%	306 100.0%
	【現在】タイプC'	0 0.0%	49 233.3%	21 100.0%
	【現在】タイプD	5 3.3%	330 220.0%	150 100.0%
	【現在】タイプE	0 0.0%	5 250.0%	2 100.0%
	【現在】タイプF	0 0.0%	2 200.0%	1 100.0%

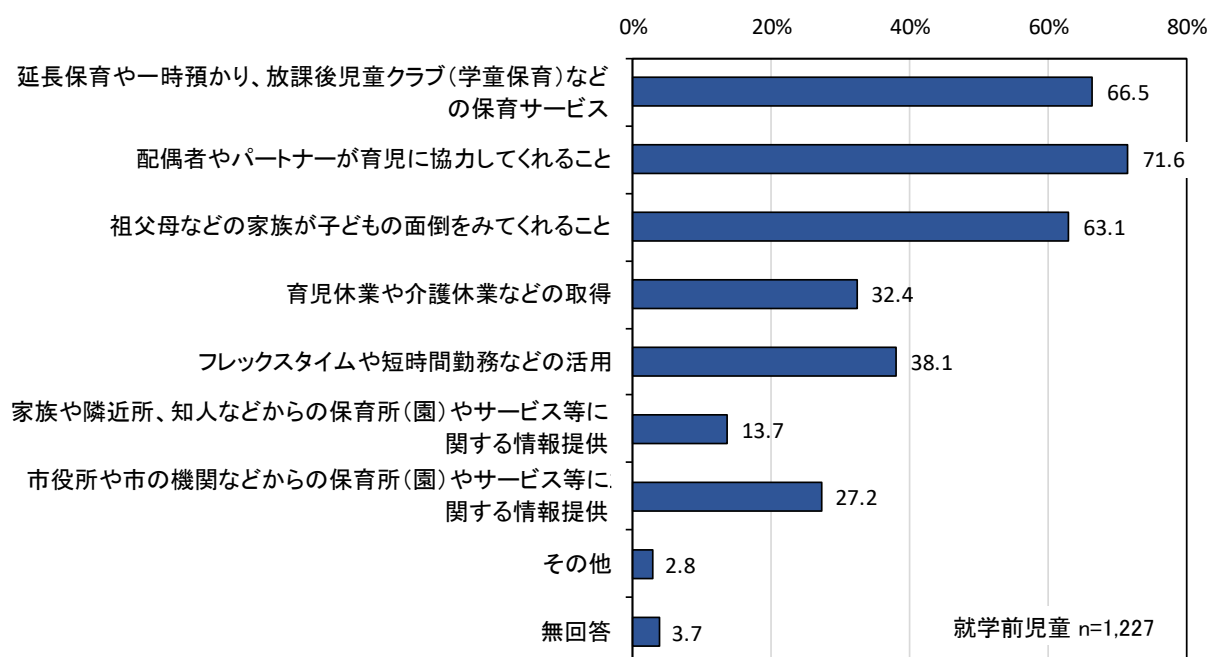
問 34 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。(〇は3つまで)

仕事と子育ての両立で大変だと感じることについては、「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が43.8%で最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が38.6%、「急な残業が入ってしまう」が35.8%となっている。



問 35 仕事と子育てを両立する上で必要なことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

仕事と子育てを両立する上で必要なことについては、「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」が71.6%で最も高く、次いで「延長保育や一時預かり、放課後児童クラブ（学童保育）などの保育サービス」が66.5%、「祖父母などの家族が子どもの面倒をみてくれること」が63.1%となっている。



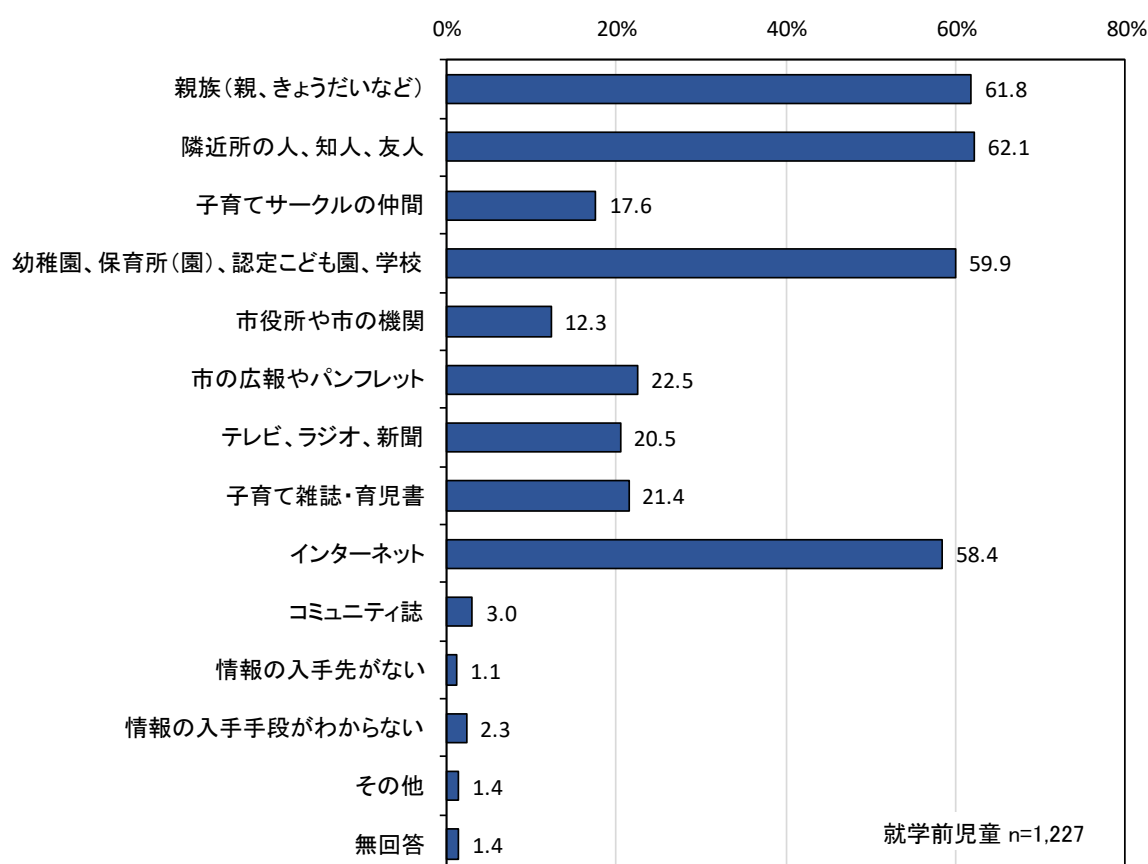
13. 子育てに関する情報の入手方法について

問 36 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する情報の入手先については、「隣近所の人、知人、友人」が 62.1%で最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」が 61.8%、「幼稚園、保育所（園）、認定こども園、学校」が 59.9%、「インターネット」が 58.4%となっている。

上位4位の項目を年齢区分でみると、「隣近所の人、知人、友人」は0歳、3歳以上で、「親族（親、きょうだいなど）」は0歳、1・2歳で、「幼稚園、保育所（園）、認定こども園、学校」は1・2歳、3歳以上で、「インターネット」は0歳、1・2歳で、割合が高い傾向がみられる。

上位4位の項目を現在の家庭類型別でみると、「親族（親、きょうだいなど）」、「インターネット」はタイプDの割合が、「隣近所の人、知人、友人」、「幼稚園、保育所（園）、認定こども園、学校」はタイプC'の割合が、他の家庭類型と比べて高くなっている。



【年齢区分】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		親族(親、きょうだいなど)	隣近所の人、知人、友人	子育てサークルの仲間	幼稚園、保育所(園)、認定こども園、学校	市役所や市の機関	市の広報やパンフレット	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌・育児書	インターネット	コミュニティ誌	情報の入手先がない
就学前児童		758 61.8%	762 62.1%	216 17.6%	735 59.9%	151 12.3%	276 22.5%	251 20.5%	263 21.4%	716 58.4%	37 3.0%	14 1.1%
年齢区分	0歳	80 68.4%	76 65.0%	48 41.0%	23 19.7%	21 17.9%	24 20.5%	21 17.9%	39 33.3%	90 76.9%	7 6.0%	2 1.7%
		192	164	68	159	33	69	65	75	207	4	4
	1・2歳	65.5%	56.0%	23.2%	54.3%	11.3%	23.5%	22.2%	25.6%	70.6%	1.4%	1.4%
		427	465	81	540	80	164	149	114	364	25	6
	3歳以上	58.2%	63.4%	11.0%	73.8%	10.9%	22.3%	20.3%	15.5%	49.6%	3.4%	0.8%

項目		12	13	無回答	総回答数	回答者数
		情報の入手手段がわからない	その他			
就学前児童		28 2.3%	17 1.4%	17 1.4%	4,241 345.6%	1,227 100.0%
年齢区分	0歳	3 2.6%	3 2.6%	0 0.0%	437 373.5%	117 100.0%
		6	3	5	1,054	293
	1・2歳	2.0%	1.0%	1.7%	359.7%	100.0%
		17	8	10	2,450	734
	3歳以上	2.3%	1.1%	1.4%	333.8%	100.0%

【現在の家庭類型別】※家庭類型の区分はP4参照

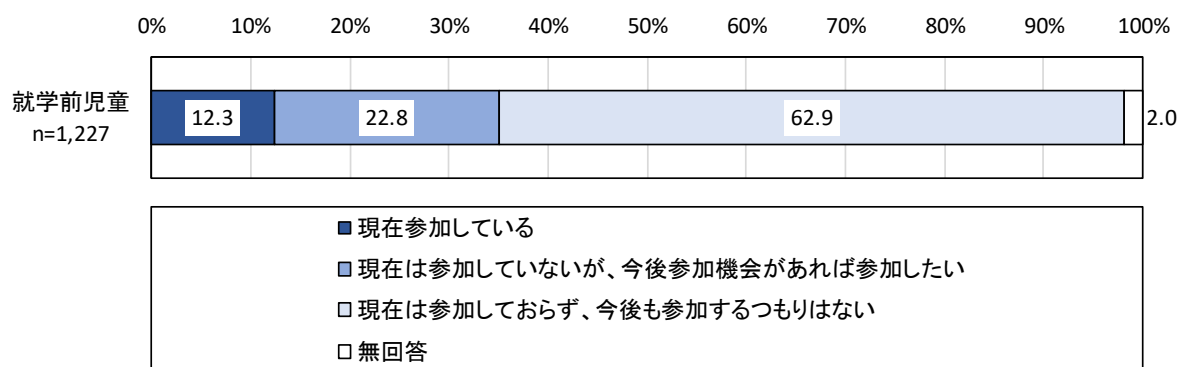
項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		親族(親、きょうだいなど)	隣近所の人、知人、友人	子育てサークルの仲間	幼稚園、保育所(園)、認定こども園、学校	市役所や市の機関	市の広報やパンフレット	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌・育児書	インターネット	コミュニティ誌	情報の入手先がない
就学前児童		758 61.8%	762 62.1%	216 17.6%	735 59.9%	151 12.3%	276 22.5%	251 20.5%	263 21.4%	716 58.4%	37 3.0%	14 1.1%
【現在】家庭類型 全体		585 62.2%	605 64.4%	162 17.2%	606 64.5%	107 11.4%	218 23.2%	195 20.7%	194 20.6%	555 59.0%	31 3.3%	11 1.2%
現在の家庭類型別	【現在】タイプA	37 56.9%	41 63.1%	7 10.8%	39 60.0%	10 15.4%	11 16.9%	9 13.8%	12 18.5%	35 53.8%	3 4.6%	1 1.5%
		244 61.8%	241 61.0%	59 14.9%	266 67.3%	46 11.6%	86 21.8%	73 18.5%	86 21.8%	245 62.0%	12 3.0%	3 0.8%
	【現在】タイプB	192 62.7%	213 69.6%	41 13.4%	219 71.6%	27 8.8%	73 23.9%	65 21.2%	51 16.7%	158 51.6%	10 3.3%	2 0.7%
		13 61.9%	15 71.4%	3 14.3%	17 81.0%	0 0.0%	5 23.8%	5 23.8%	2 9.5%	8 38.1%	1 4.8%	0 0.0%
	【現在】タイプC	97 64.7%	93 62.0%	51 34.0%	64 42.7%	23 15.3%	40 26.7%	41 27.3%	43 28.7%	107 71.3%	5 3.3%	5 3.3%
		2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	【現在】タイプD	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	【現在】タイプE	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

項目		12	13	無回答	総回答数	回答者数
		情報の入手手段がわからない	その他			
就学前児童		28 2.3%	17 1.4%	17 1.4%	4,241 345.6%	1,227 100.0%
【現在】家庭類型 全体		24 2.6%	9 1.0%	8 0.9%	3,310 352.1%	940 100.0%
現在の家庭類型別	【現在】タイプA	2 3.1%	2 3.1%	1 1.5%	210 323.1%	65 100.0%
		6 1.5%	4 1.0%	4 1.0%	1,375 348.1%	395 100.0%
	【現在】タイプB	9 2.9%	3 1.0%	3 1.0%	1,066 348.4%	306 100.0%
		1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	70 333.3%	21 100.0%
	【現在】タイプC	6 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	575 383.3%	150 100.0%
		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 550.0%	2 100.0%
	【現在】タイプD	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 300.0%	1 100.0%
		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	【現在】タイプE	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

14. 子育てサークルへの参加状況について

問37 あなたは、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。(〇は1つ)

子育てに関するサークルへの参加状況については、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が62.9%で最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後参加機会があれば参加したい」が22.8%、「現在参加している」が12.3%となっている。

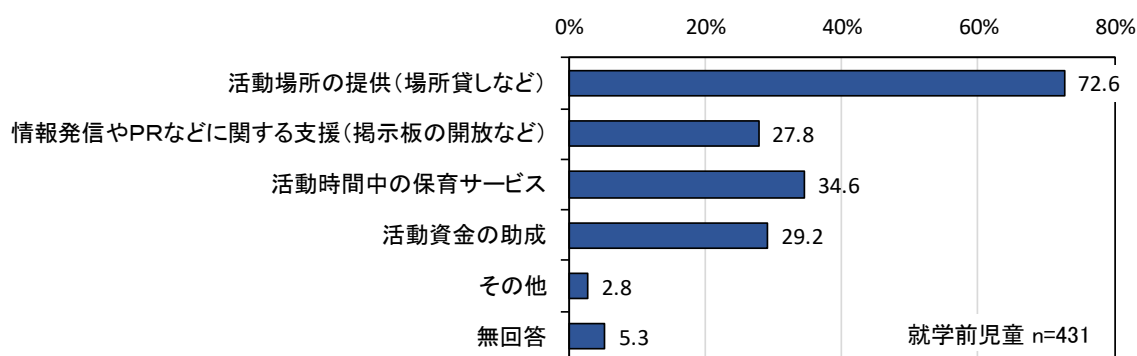


問37-1 問37で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

自主的な活動をしていくにあたって行政に担ってほしい支援はどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに〇)

活動する上で行政に担ってほしい支援については、「活動場所の提供(場所貸しなど)」が72.6%で最も高く、次いで「活動時間中の保育サービス」が34.6%、「活動資金の助成」が29.2%となっている。

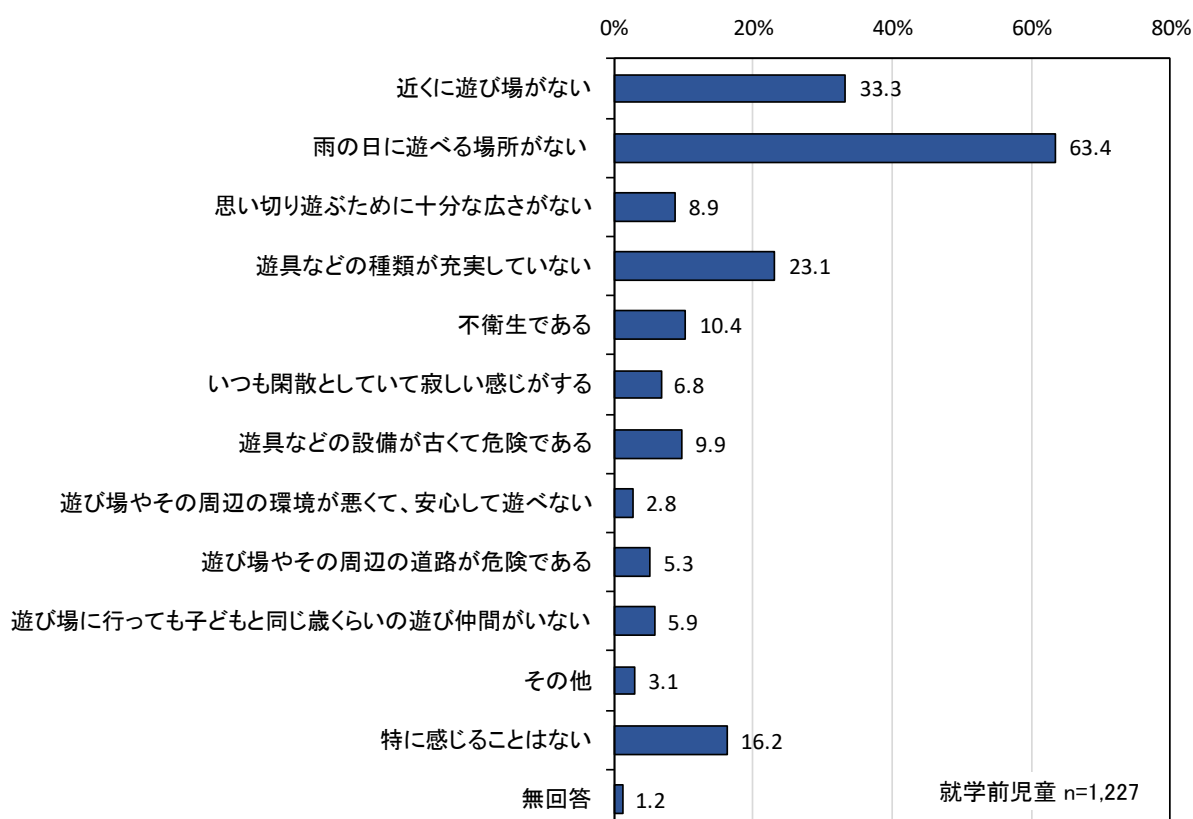


15. 子どもの遊び場について

問 38 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。（○は3つまで）

子どもの遊び場について、日頃感じていることについては、「雨の日に遊べる場所がない」が63.4%で最も高く、次いで「近くに遊び場がない」が33.3%、「遊具などの種類が充実していない」が23.1%となっている。

上位3位の項目を地域別でみると、「雨の日に遊べる場所がない」は飯岡地域で7割を超え、他の地域と比べて高くなっている。また、「近くに遊び場がない」は干潟地域では6割を超え、他の地域では2割～4割程度に留まるなか、非常に高い割合を示している。「遊具などの種類が充実していない」は、飯岡地域、干潟地域では約3割と、他の地域と比べて高くなっている。



Ⅱ 就学前児童の調査結果

【地域別】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		近くに遊び場がない	雨の日に遊べる場所がない	思い切り遊ぶために十分な広さがない	遊具などの種類が充実していない	不衛生である	いつも閑散としていて寂しい感じがする	遊具などの設備が古くて危険である	遊び場やその周辺が悪くて、安心して遊べない	遊び場やその周辺の道路が危険である	遊び場に行っても子どもと同じ歳の遊び仲間がいない	その他
就学前児童		409 33.3%	778 63.4%	109 8.9%	284 23.1%	127 10.4%	83 6.8%	121 9.9%	34 2.8%	65 5.3%	72 5.9%	38 3.1%
地域別	旭地域	235 32.1%	468 63.9%	67 9.2%	174 23.8%	78 10.7%	56 7.7%	71 9.7%	19 2.6%	43 5.9%	41 5.6%	23 3.1%
	海上地域	46 20.9%	133 60.5%	11 5.0%	31 14.1%	23 10.5%	6 2.7%	15 6.8%	7 3.2%	10 4.5%	15 6.8%	8 3.6%
	飯岡地域	47 35.9%	93 71.0%	20 15.3%	38 29.0%	13 9.9%	13 9.9%	19 14.5%	5 3.8%	7 5.3%	7 5.3%	4 3.1%
	干潟地域	69 62.7%	63 57.3%	9 8.2%	34 30.9%	9 8.2%	7 6.4%	15 13.6%	1 0.9%	2 1.8%	8 7.3%	2 1.8%

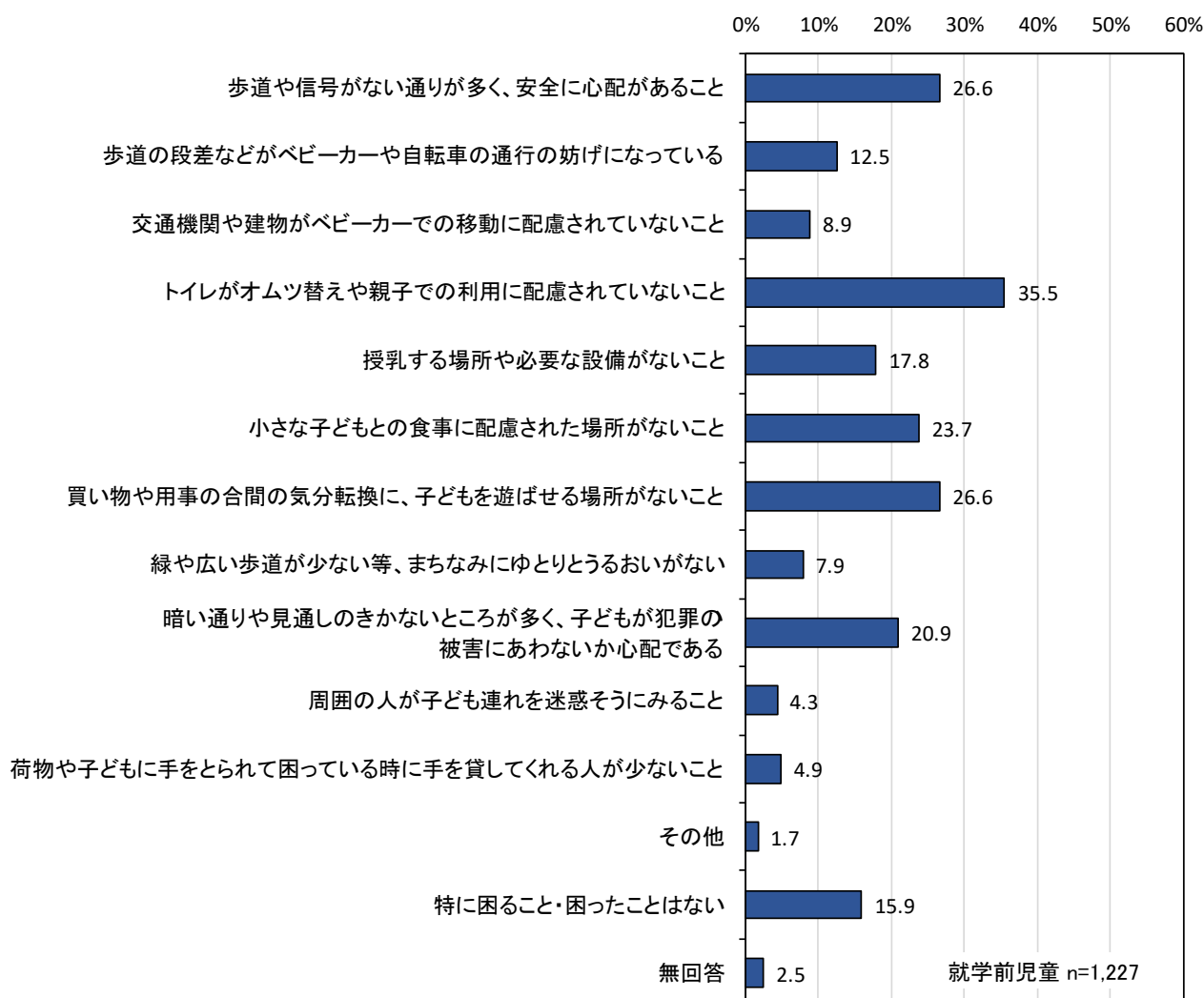
項目		12	無回答	総回答数	回答者数
		特に感じることはない			
就学前児童		199	15	2,334	1,227
		16.2%	1.2%	190.2%	100.0%
地域別	旭地域	116	7	1,398	732
		15.8%	1.0%	191.0%	100.0%
	海上地域	56	4	365	220
		25.5%	1.8%	165.9%	100.0%
	飯岡地域	11	3	280	131
		8.4%	2.3%	213.7%	100.0%
	干潟地域	11	1	231	110
		10.0%	0.9%	210.0%	100.0%

16. 外出の際に困ることについて

問 39 お子さんとの外出の際に困ること・困ったことは何ですか。（〇は3つまで）

外出の際の困りごとについては、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」が35.5%で最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」がともに26.6%、「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」が23.7%となっている。

上位3位の項目を地域別でみると、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」は旭地域の割合が、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」は干潟地域の割合が、他の地域と比べて高くなっている。



Ⅱ 就学前児童の調査結果

【地域別】

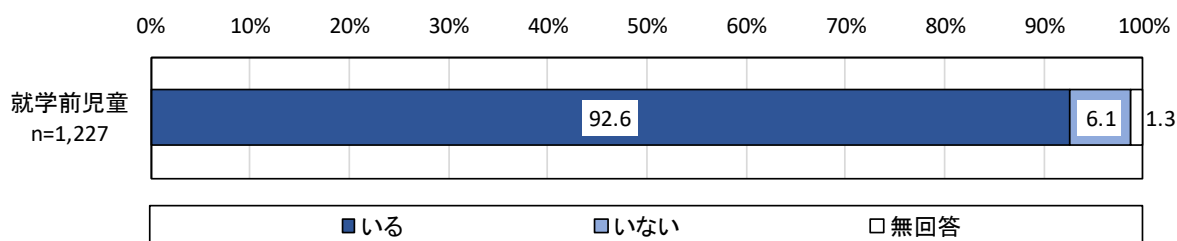
項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている	交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと	授乳する場所や必要な設備がないこと	小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと	買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと	緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとあるおいがない	暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である	周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること	荷物や子どもにも手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ないこと
就学前児童		326 26.6%	153 12.5%	109 8.9%	436 35.5%	219 17.8%	291 23.7%	326 26.6%	97 7.9%	256 20.9%	53 4.3%	60 4.9%
地域別	旭地域	221 30.2%	115 15.7%	76 10.4%	275 37.6%	142 19.4%	179 24.5%	191 26.1%	66 9.0%	147 20.1%	28 3.8%	32 4.4%
		38 17.3%	15 6.8%	13 5.9%	75 34.1%	32 14.5%	52 23.6%	58 26.4%	9 4.1%	39 17.7%	11 5.0%	14 6.4%
	海上地域	31 23.7%	8 6.1%	10 7.6%	38 29.0%	21 16.0%	21 16.0%	32 24.4%	13 9.9%	35 26.7%	8 6.1%	5 3.8%
		飯岡地域	26 23.6%	7 6.4%	5 4.5%	35 31.8%	14 12.7%	28 25.5%	39 35.5%	9 8.2%	29 26.4%	6 5.5%
	干潟地域											

項目		12	13	無回答	総回答数	回答者数
		その他	特に困ること・困ったことはない			
就学前児童		21 1.7%	195 15.9%	31 2.5%	2,573 209.7%	1,227 100.0%
地域別	旭地域	11 1.5%	101 13.8%	11 1.5%	1,595 217.9%	732 100.0%
		4 1.8%	45 20.5%	10 4.5%	415 188.6%	220 100.0%
	海上地域	2 1.5%	26 19.8%	7 5.3%	257 196.2%	131 100.0%
		飯岡地域	4 3.6%	17 15.5%	2 1.8%	229 208.2%
	干潟地域					

17. お子さんの医療について

問 40 お子さんにかかりつけ医はいますか。(〇は1つ)

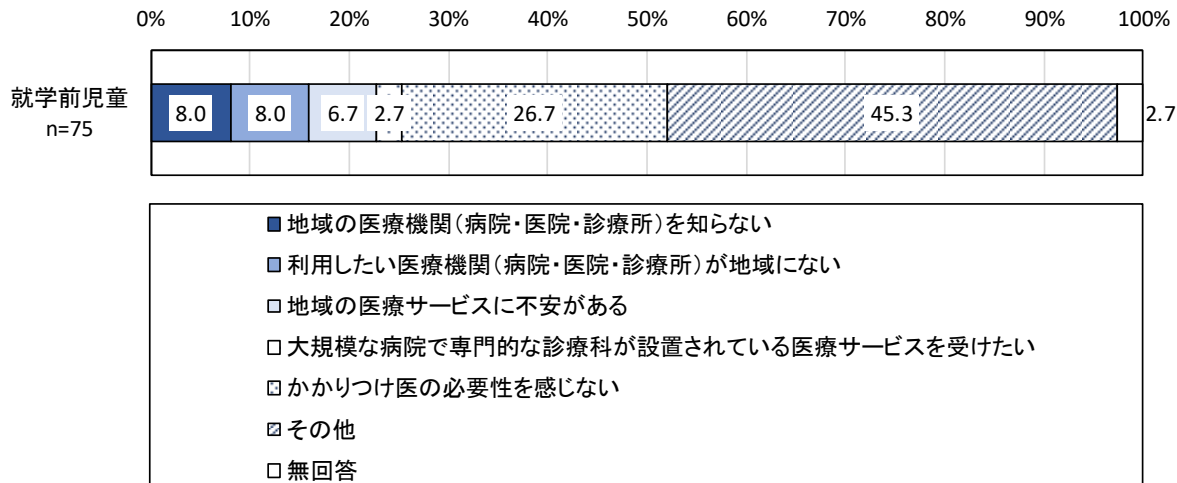
かかりつけ医の有無については、「いる」が92.6%、「いない」が6.1%となっている。



問 40-1 問 40 で「2」と回答した方にお伺いします。

現在いない理由は何ですか。(〇は1つ)

いない理由については、「その他」が 45.3%で最も高く、次いで「かかりつけ医の必要性を感じない」が 26.7%、「地域の医療機関（病院・医院・診療所）を知らない」、「利用したい医療機関（病院・医院・診療所）が地域にない」がともに 8.0%となっている。

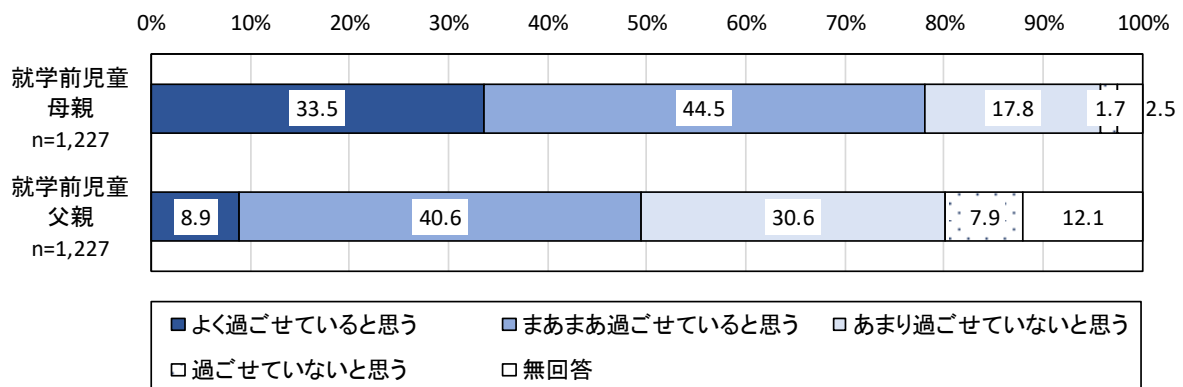


18. お子さんとの生活全般について

問 41 あなたは、お子さんと十分な時間を過ごせていると思いますか。（それぞれ〇は1つ）

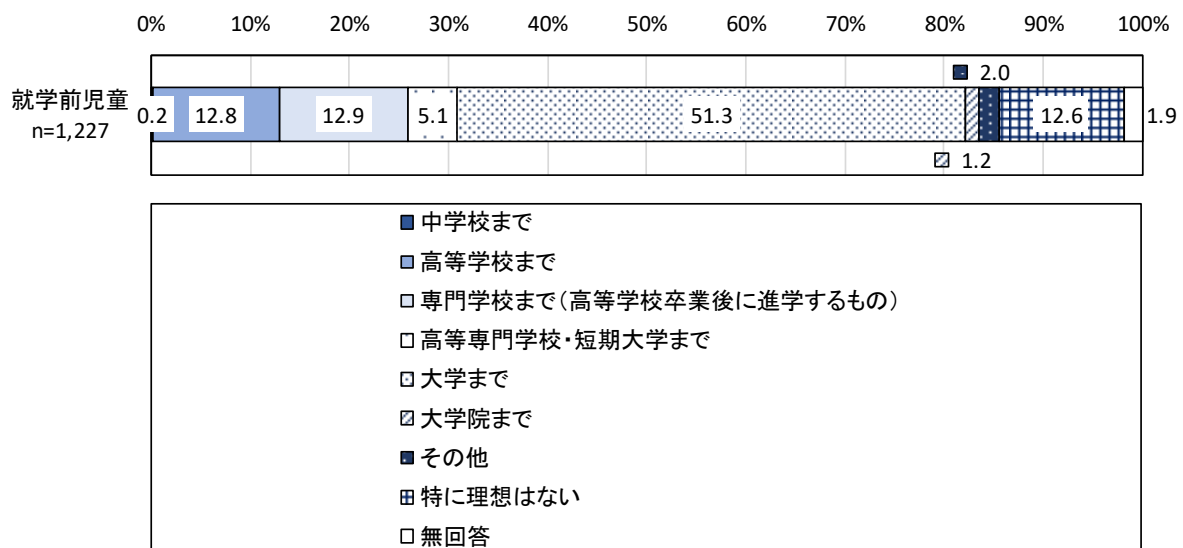
母親が感じている子どもとの時間については、「まあまあ過ごせていると思う」が 44.5%で最も高く、次いで「よく過ごせていると思う」が 33.5%、「あまり過ごせていないと思う」が 17.8%となっている。

父親が感じている子どもとの時間については、「まあまあ過ごせていると思う」が 40.6%で最も高く、次いで「あまり過ごせていないと思う」が 30.6%、「よく過ごせていると思う」が 8.9%となっている。



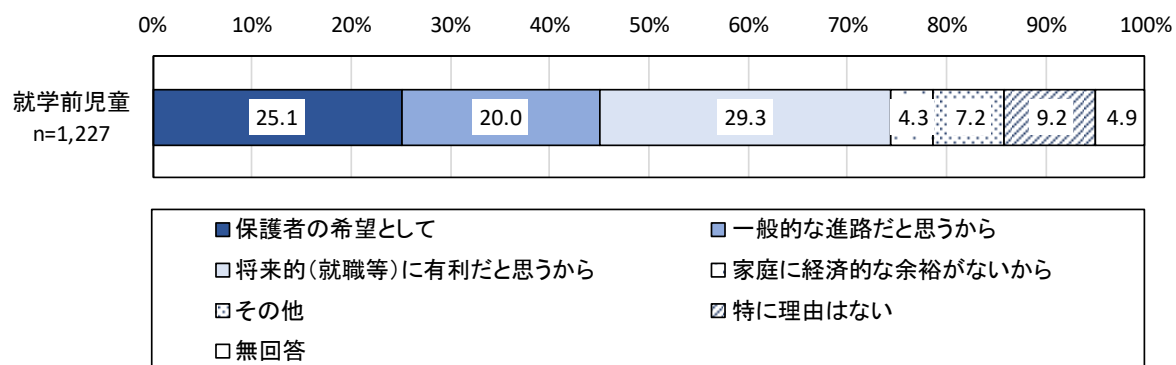
問 42 あなたは、お子さんの進路に対して、理想とする進路はどの段階までですか。（〇は1つ）

理想の進路については、「大学まで」が 51.3%で最も高く、次いで「専門学校まで（高等学校卒業後に進学するもの）」が 12.9%、「高等学校まで」が 12.8%となっている。



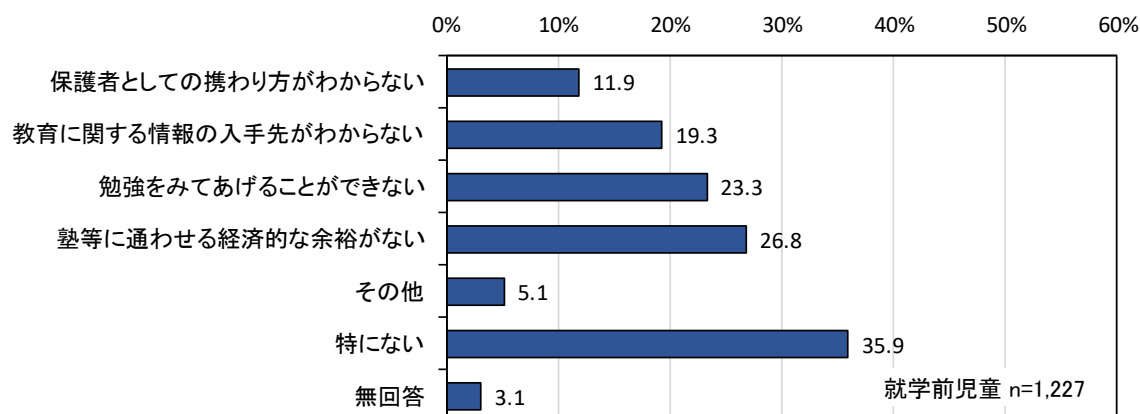
問 43 理想とする進路として回答した理由は何ですか。(〇は1つ)

理想の進路として回答した理由については、「将来的（就職等）に有利だと思うから」が 29.3%で最も高く、次いで「保護者の希望として」が 25.1%、「一般的な進路だと思うから」が 20.0%となっている。



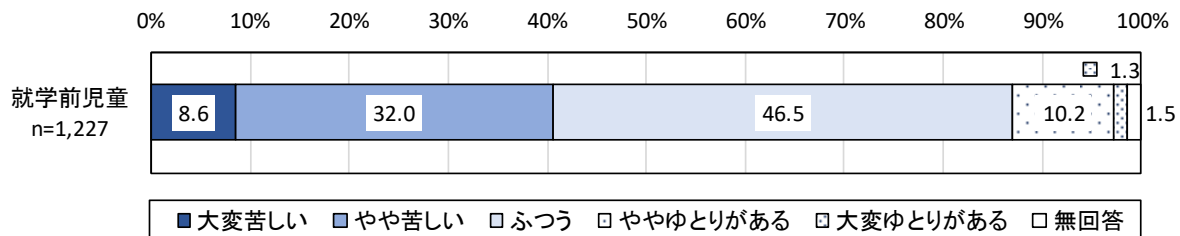
問 44 お子さんの今後の教育に関して心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

今後の教育への心配ごとについては、「特にない」が 35.9%で最も高く、次いで「塾等に通わせる経済的な余裕がない」が 26.8%、「勉強をみてあげることができない」が 23.3%となっている。



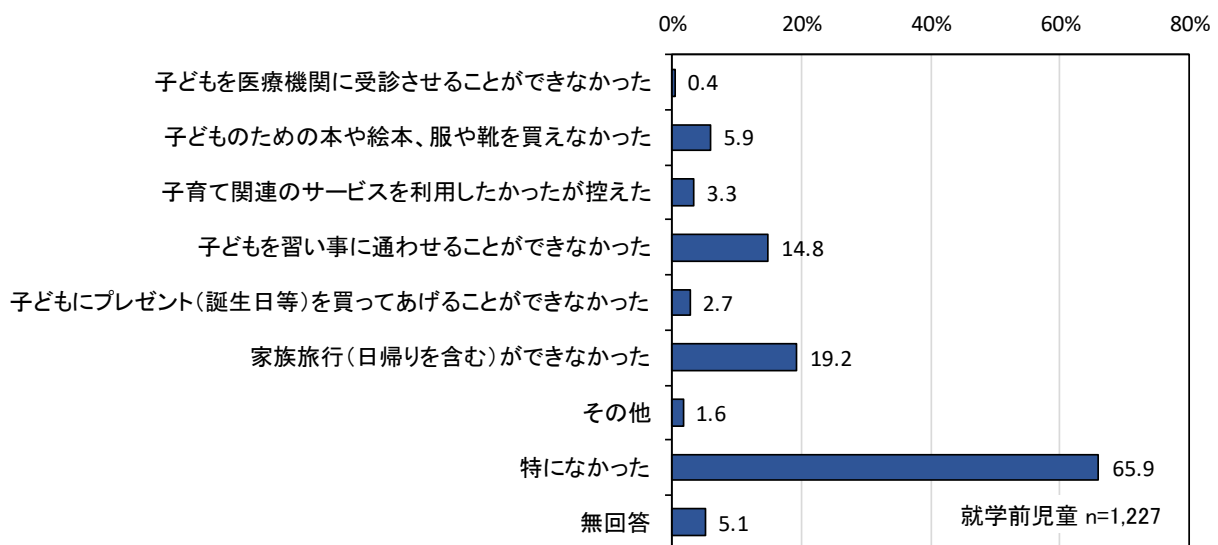
問 45 あなたの世帯は、現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

世帯の経済的状況については、「ふつう」が46.5%で最も高く、次いで「やや苦しい」が32.0%、「ややゆとりがある」が10.2%となっている。



問 46 あなたの世帯は、おおむね1年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに〇)

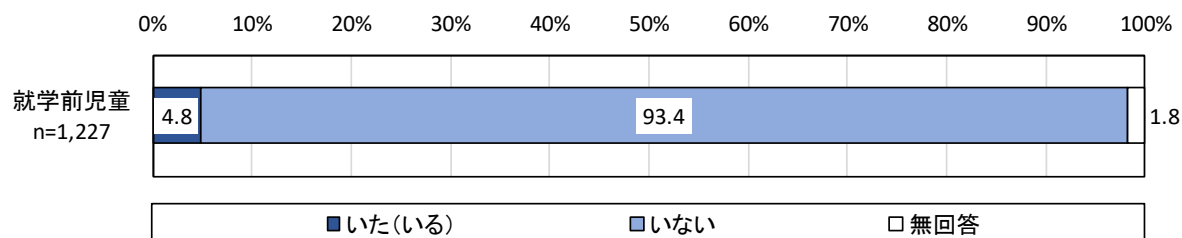
経済的な理由での経験については、「特になかった」が65.9%で最も高く、次いで「家族旅行(日帰りを含む)ができなかった」が19.2%、「子どもを習い事に通わせることができなかった」が14.8%となっている。



19. 児童虐待について

問 47 あなたの周りに、児童虐待または児童虐待の疑いがある子どもがいた（いる）ことはありますか。
（○は1つ）

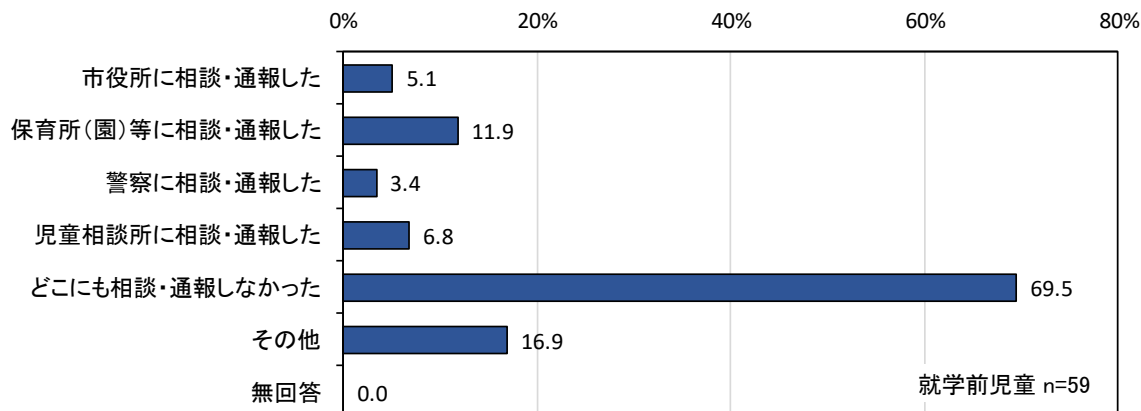
児童虐待の状況については、「いた（いる）」が4.8%、「いない」が93.4%となっている。



問 47-1 問 47 で「1. いた（いる）」と回答した方にお伺いします。

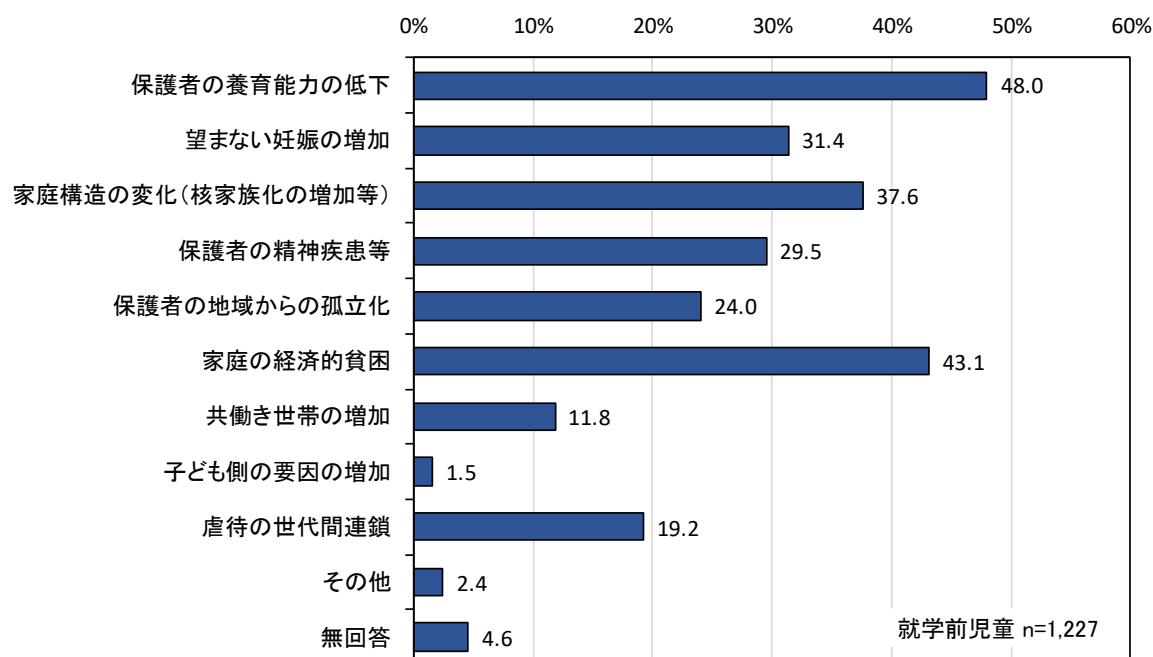
その際、どこかに相談・通報をしましたか。（あてはまるものすべてに○）

相談・通報の状況については、「どこにも相談・通報しなかった」が69.5%で最も高く、次いで「その他」が16.9%、「保育所（園）等に相談・通報した」が11.9%となっている。



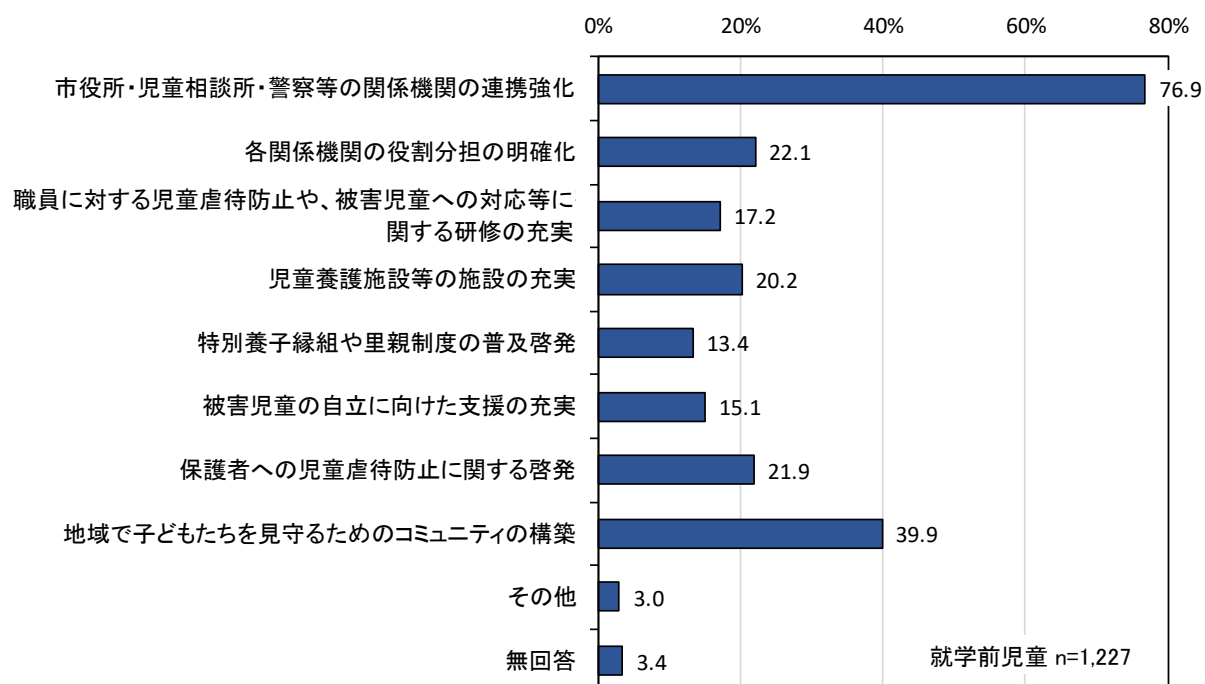
問 48 あなたが考える児童虐待が起きてしまう要因は何ですか。(〇は3つまで)

児童虐待が起きる要因については、「保護者の養育能力の低下」が48.0%で最も高く、次いで「家庭の経済的貧困」が43.1%、「家庭構造の変化（核家族化の増加等）」が37.6%となっている。



問 49 あなたは、児童虐待の早期対応や被害児童等に対する保護・支援として、どのような取組が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

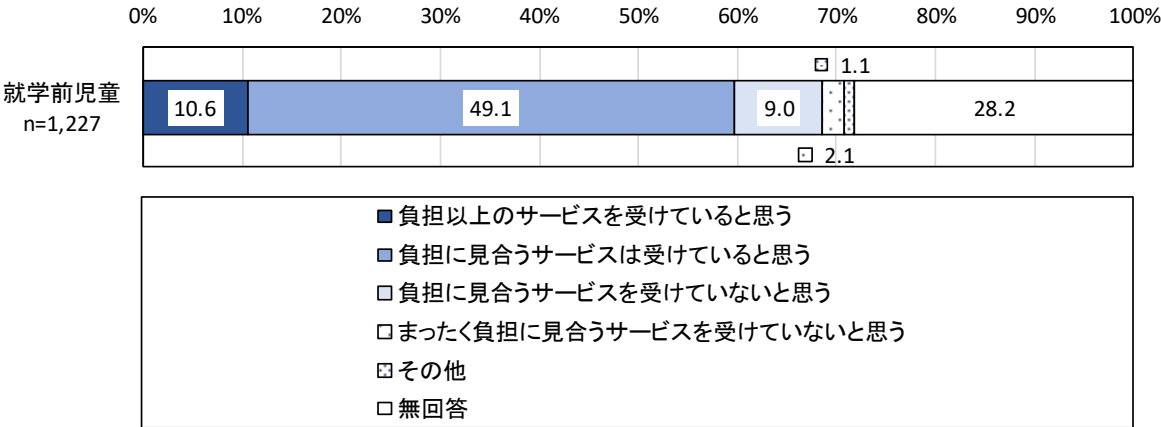
児童虐待の被害児童等に対する保護・支援として必要だと思うことについては、「市役所・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」が76.9%で最も高く、次いで「地域で子どもたちを見守るためのコミュニティの構築」が39.9%、「各関係機関の役割分担の明確化」が22.1%となっている。



20. 子育て支援施策全般について

問 50 あなたは、保育のサービスについて、料金等の負担に見合うサービスを受けていると思いますか。
(○は1つ)

保育サービスの料金等の負担に見合うサービスを受けていると思うかについては、「負担に見合うサービスは受けていると思う」が49.1%で最も高く、次いで「負担以上のサービスを受けていると思う」が10.6%、「負担に見合うサービスを受けていないと思う」が9.0%となっている。



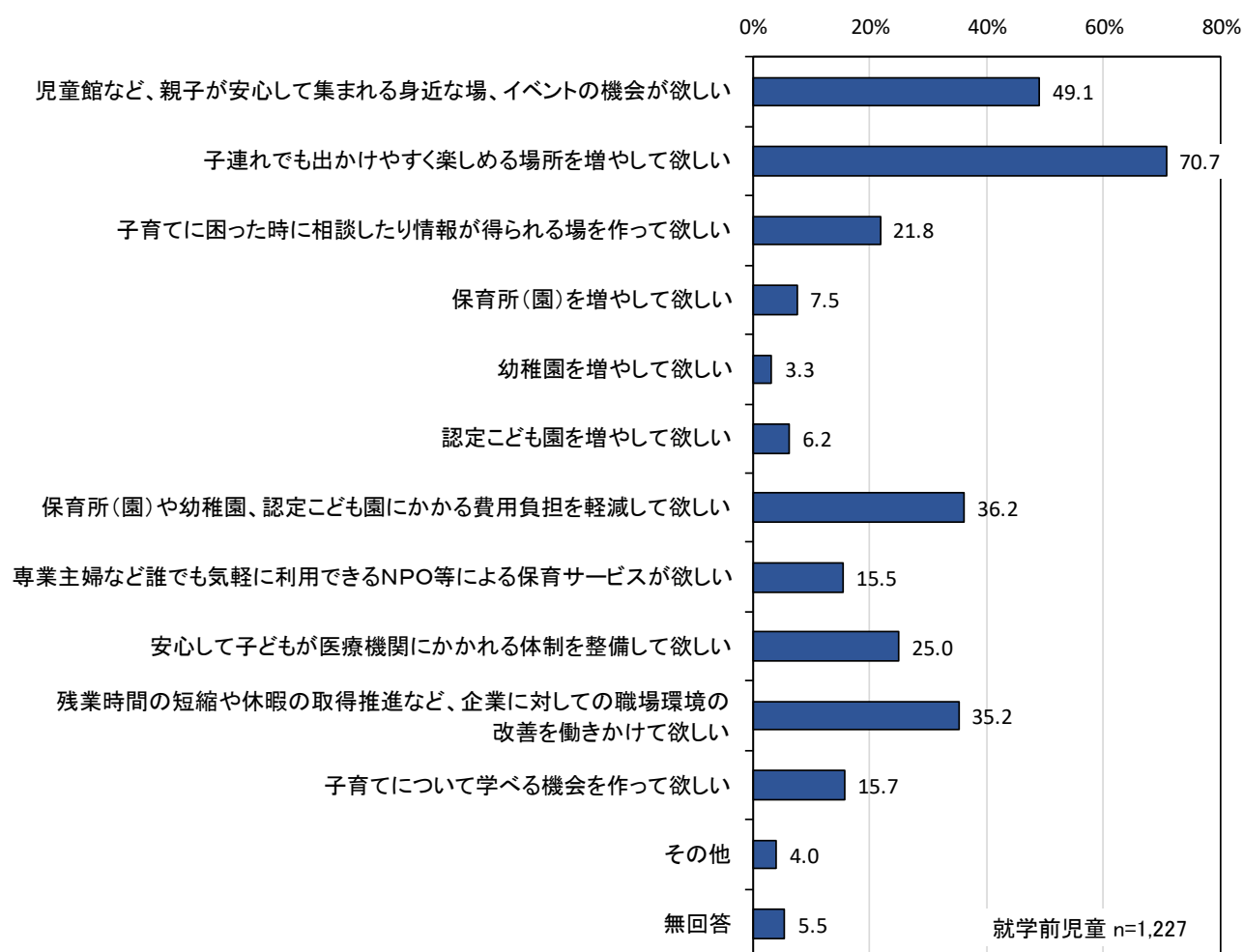
問 51 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。
(あてはまるものすべてに○)

市に期待する子育て支援については、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が70.7%で最も高く、次いで「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」が49.1%、「保育所（園）や幼稚園、認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい」が36.2%となっている。

年齢区分でみると、その他を除くすべての項目で0歳の割合が、他の年齢区分と比べて高くなっている。

上位2位の項目を地域別でみると、地域で大きな差はみられない。

現在の家庭類型別でみると、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」はタイプDで8割を超え、他の家庭類型と比べて高くなっている。また、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」はタイプB、タイプC、タイプDで割合が高い傾向がみられ、タイプDでは約6割となっている。「残業時間の短縮や休暇の取得推進など、企業に対しての職場環境の改善を働きかけて欲しい」はタイプBが最も高い割合を示している。



Ⅱ 就学前児童の調査結果

【年齢区分】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい	子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作って欲しい	保育所（園）を増やして欲しい	幼稚園を増やして欲しい	認定こども園を増やして欲しい	保育所（園）や幼稚園、認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい	残業時間の短縮や休暇の取得推進など、企業に對しての職場環境の改善を働きかけて欲しい	子育てについて学べる機会を作って欲しい
就学前児童		602 49.1%	867 70.7%	267 21.8%	92 7.5%	40 3.3%	76 6.2%	444 36.2%	190 15.5%	307 25.0%	432 35.2%	193 15.7%
年齢区分	0歳	68 58.1%	99 84.6%	37 31.6%	17 14.5%	7 6.0%	17 14.5%	51 43.6%	36 30.8%	31 26.5%	49 41.9%	31 26.5%
		145 49.5%	220 75.1%	63 21.5%	25 8.5%	12 4.1%	16 5.5%	116 39.6%	60 20.5%	69 23.5%	103 35.2%	53 18.1%
	1・2歳	342 46.6%	485 66.1%	148 20.2%	36 4.9%	17 2.3%	36 4.9%	242 33.0%	81 11.0%	184 25.1%	253 34.5%	86 11.7%
	3歳以上											

項目		12	その他	無回答	総回答数	回答者数
就学前児童		49 4.0%	67 5.5%	3,626 295.5%	1,227 100.0%	
年齢区分	0歳	5 4.3%	2 1.7%	450 384.6%	117 100.0%	
		14 4.8%	12 4.1%	908 309.9%	293 100.0%	
	1・2歳	29 4.0%	51 6.9%	1,990 271.1%	734 100.0%	
	3歳以上					

【地域別】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい	子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作って欲しい	保育所（園）を増やして欲しい	幼稚園を増やして欲しい	認定こども園を増やして欲しい	保育所（園）や幼稚園、認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい	残業時間の短縮や休暇の取得推進など、企業に對しての職場環境の改善を働きかけて欲しい	子育てについて学べる機会を作って欲しい
就学前児童		602 49.1%	867 70.7%	267 21.8%	92 7.5%	40 3.3%	76 6.2%	444 36.2%	190 15.5%	307 25.0%	432 35.2%	193 15.7%
地域別	旭地域	364 49.7%	515 70.4%	159 21.7%	66 9.0%	28 3.8%	62 8.5%	290 39.6%	117 16.0%	193 26.4%	253 34.6%	119 16.3%
		107 48.6%	160 72.7%	49 22.3%	10 4.5%	4 1.8%	6 2.7%	68 30.9%	34 15.5%	55 25.0%	80 36.4%	26 11.8%
	海上地域	60 45.8%	91 69.5%	24 18.3%	7 5.3%	4 3.1%	2 1.5%	39 29.8%	12 9.2%	33 25.2%	50 38.2%	15 11.5%
		54 49.1%	75 68.2%	22 20.0%	2 1.8%	3 2.7%	4 3.6%	38 34.5%	16 14.5%	20 18.2%	37 33.6%	24 21.8%
	干潟地域											

項目		12	その他	無回答	総回答数	回答者数
就学前児童		49 4.0%	67 5.5%	3,626 295.5%	1,227 100.0%	
地域別	旭地域	32 4.4%	43 5.9%	2,241 306.1%	732 100.0%	
		6 2.7%	11 5.0%	616 280.0%	220 100.0%	
	海上地域	3 2.3%	6 4.6%	346 264.1%	131 100.0%	
		6 5.5%	5 4.5%	306 278.2%	110 100.0%	
	干潟地域					

【現在の家庭類型別】※家庭類型の区分はP 4 参照

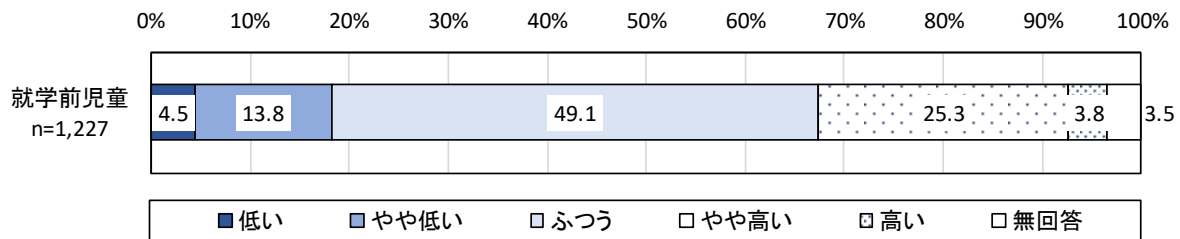
項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい	子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作りたい	保育所(園)を増やして欲しい	幼稚園を増やして欲しい	認定こども園を増やして欲しい	保育所(園)や幼稚園、認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい	残業時間の短縮や休暇の取得推進など、企業に対しての職場環境の改善を働きかけて欲しい	子育てについて学べる機会を作りたい
就学前児童		602 49.1%	867 70.7%	267 21.8%	92 7.5%	40 3.3%	76 6.2%	444 36.2%	190 15.5%	307 25.0%	432 35.2%	193 15.7%
【現在】家庭類型 全体		462 49.1%	655 69.7%	196 20.9%	63 6.7%	29 3.1%	57 6.1%	342 36.4%	140 14.9%	228 24.3%	335 35.6%	131 13.9%
現在の家庭類型別	【現在】タイプA	27 41.5%	41 63.1%	13 20.0%	3 4.6%	0 0.0%	1 1.5%	17 26.2%	4 6.2%	15 23.1%	20 30.8%	9 13.8%
	【現在】タイプB	186 47.1%	264 66.8%	77 19.5%	27 6.8%	13 3.3%	26 6.6%	157 39.7%	35 8.9%	102 25.8%	176 44.6%	45 11.4%
	【現在】タイプC	152 49.7%	209 68.3%	61 19.9%	21 6.9%	4 1.3%	13 4.2%	104 34.0%	39 12.7%	66 21.6%	80 26.1%	38 12.4%
	【現在】タイプC'	9 42.9%	15 71.4%	5 23.8%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%	5 23.8%	5 23.8%	7 33.3%	7 33.3%	3 14.3%
	【現在】タイプD	87 58.0%	125 83.3%	39 26.0%	12 8.0%	11 7.3%	16 10.7%	58 38.7%	57 38.0%	38 25.3%	51 34.0%	36 24.0%
	【現在】タイプE	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	【現在】タイプF	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

項目		12	その他	無回答	総回答数	回答者数
就学前児童		49	67	3,626	1,227	
		4.0%	5.5%	295.5%	100.0%	
【現在】家庭類型 全体		38	50	2,726	940	
		4.0%	5.3%	290.0%	100.0%	
現在の家庭類型別	【現在】タイプA	2	7	159	65	
		3.1%	10.8%	244.6%	100.0%	
	【現在】タイプB	20	18	1,146	395	
		5.1%	4.6%	290.1%	100.0%	
	【現在】タイプC	10	20	817	306	
		3.3%	6.5%	267.0%	100.0%	
	【現在】タイプC'	0	1	59	21	
		0.0%	4.8%	281.0%	100.0%	
	【現在】タイプD	6	4	540	150	
		4.0%	2.7%	360.0%	100.0%	
	【現在】タイプE	0	0	3	2	
		0.0%	0.0%	150.0%	100.0%	
【現在】タイプF	0	0	2	1		
	0.0%	0.0%	200.0%	100.0%		

問 52 本市における子育ての環境や支援への満足度はいかがですか。（〇は1つ）

本市における子育ての環境や支援への満足度については、「ふつう」が 49.1%で最も高く、次いで「やや高い」が 25.3%、「やや低い」が 13.8%となっている。

地域別でみると、『低い』の割合（「低い」と「やや低い」の合計値）は、飯岡地域、干潟地域で2割を超えている。また、『高い』の割合（「高い」と「やや高い」の合計値）は、旭地域、海上地域、飯岡地域では約3割である一方、干潟地域では2割を切っている。



【地域別】

項目		1	2	3	4	5	無回答	回答者数
		低い	やや低い	ふつう	やや高い	高い		
就学前児童		55 4.5%	169 13.8%	603 49.1%	310 25.3%	47 3.8%	43 3.5%	1,227 100.0%
地域別	旭地域	35 4.8%	98 13.4%	366 50.0%	180 24.6%	27 3.7%	26 3.6%	732 100.0%
	海上地域	8 3.6%	25 11.4%	107 48.6%	61 27.7%	9 4.1%	10 4.5%	220 100.0%
	飯岡地域	5 3.8%	25 19.1%	55 42.0%	37 28.2%	6 4.6%	3 2.3%	131 100.0%
	干潟地域	5 4.5%	20 18.2%	62 56.4%	18 16.4%	3 2.7%	2 1.8%	110 100.0%

問 53 最後に、すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

全部で 415 の回答があり、内訳は以下のとおりである。ひとりの対象者が複数の項目に関して言及している場合もあるが、ここでは主な意見1つとして分類してある。

分類項目	件数
1. 幼稚園、保育所（園）、保育サービス、サポートについて	157 件
2. 遊び場、公園、催しについて	98 件
3. 保健、医療について	24 件
4. 市政について	99 件
5. その他（職場環境、不安に思うこと、アンケートについて等）	37 件

Ⅲ 小学生の調査結果

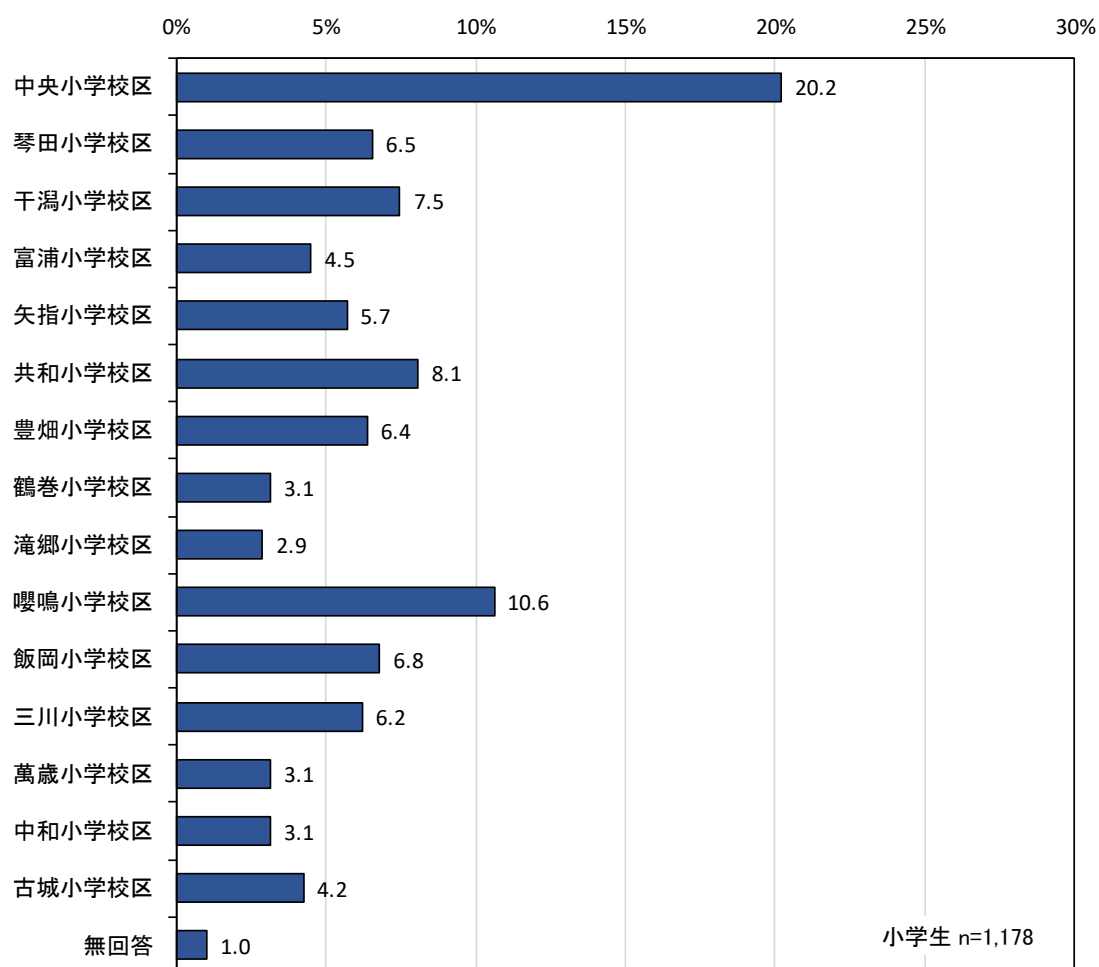
1. お住まいの地域について

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(〇は1つ)

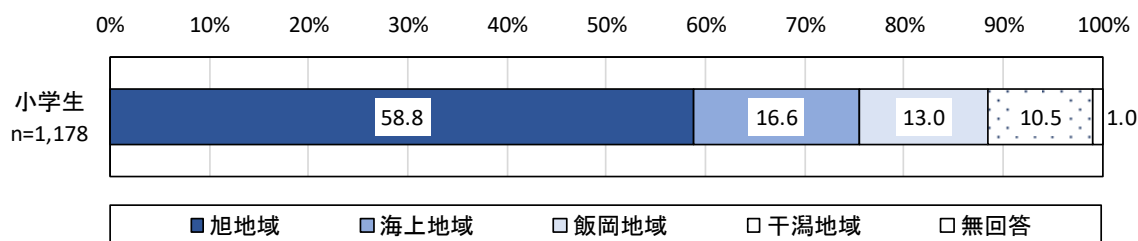
小学校区については、「中央小学校区」が20.2%で最も高く、次いで「嚶鳴小学校区」が10.6%、「共和小学校区」が8.1%となっている。

地域については、「旭地域」が58.8%で最も高く、次いで「海上地域」が16.6%、「飯岡地域」が13.0%となっている。

【小学校区別】



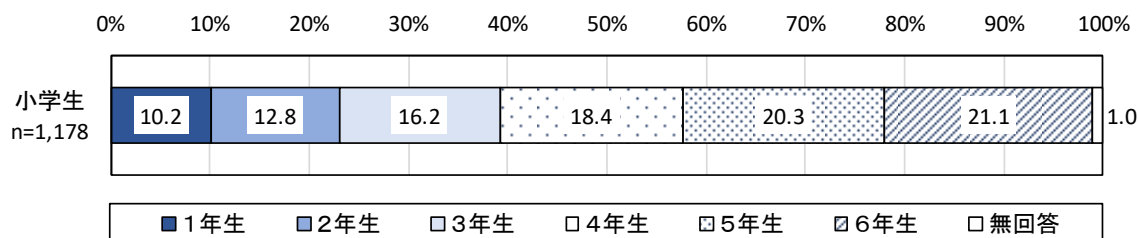
【地域別】



2. 対象のお子さんとご家族の状況について

問2 対象のお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字をご記入ください。）

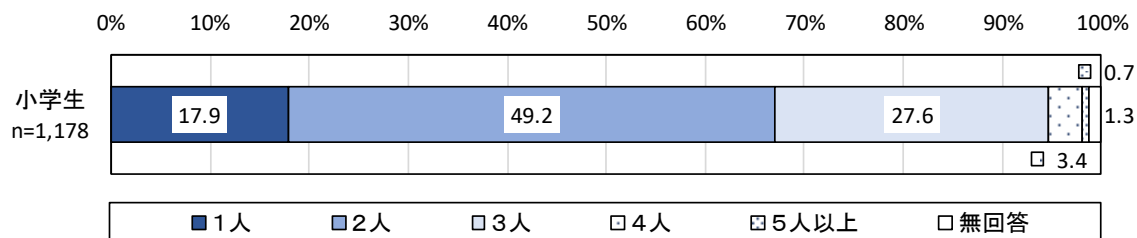
学年については、「6年生」が21.1%で最も高く、次いで「5年生」が20.3%、「4年生」が18.4%となっている。



問3 対象のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、一番大きいお子さん及び小さいお子さんの年齢（平成30年4月1日現在の年齢）をご記入ください。（□内に数字をご記入ください。）

（1）子どもの人数

子どもの人数については、「2人」が49.2%で最も高く、次いで「3人」が27.6%、「1人」が17.9%となっている。

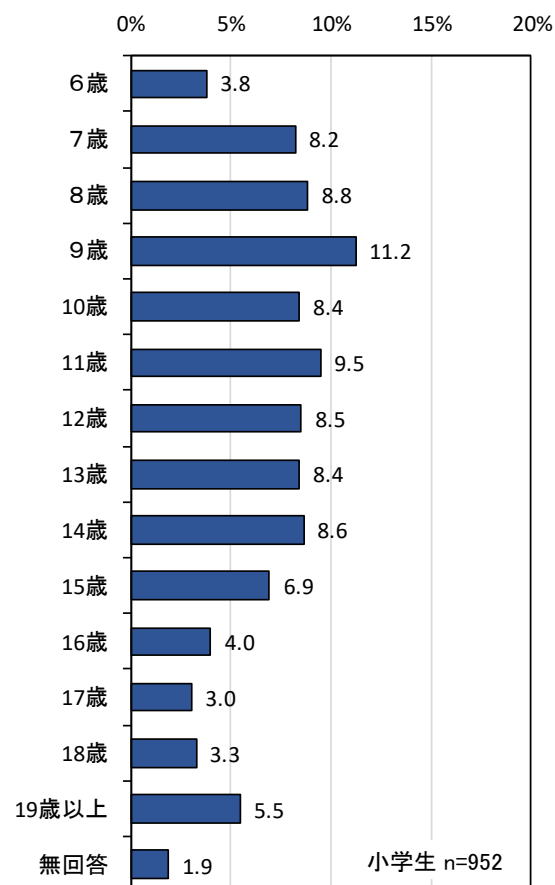


(2) 長子の年齢・末子の年齢

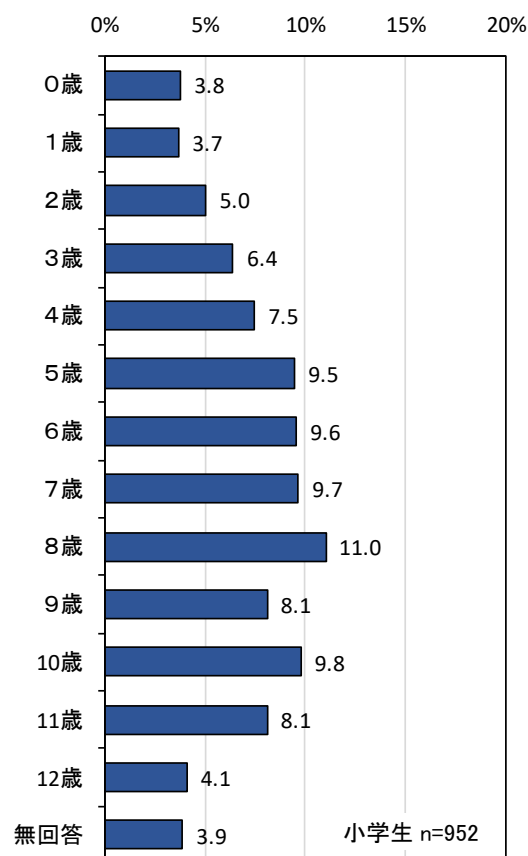
長子の年齢については、「9歳」が11.2%で最も高く、次いで「11歳」が9.5%、「8歳」が8.8%となっている。

末子の年齢については、「8歳」が11.0%で最も高く、次いで「10歳」が9.8%、「7歳」が9.7%となっている。

【長子の年齢】

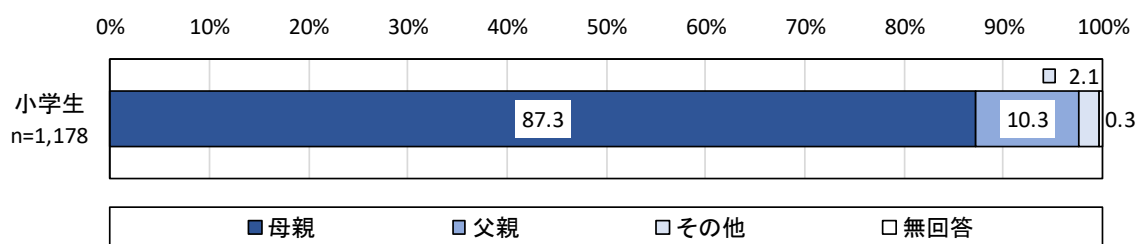


【末子の年齢】



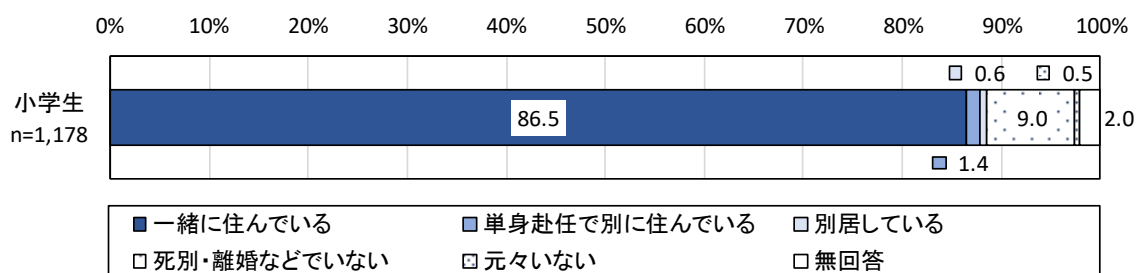
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。続柄は対象のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

調査票への回答者については、「母親」が87.3%で最も高く、次いで「父親」が10.3%、「その他」が2.1%となっている。



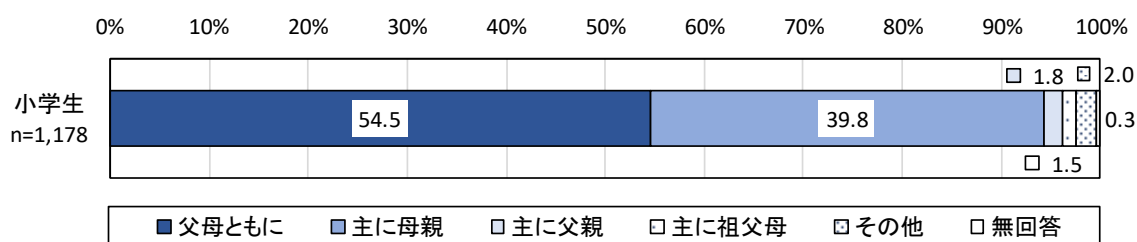
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（〇は1つ）

回答者の配偶関係については、「一緒に住んでいる」が 86.5%で最も高く、次いで「死別・離婚などでない」が 9.0%、「単身赴任で別に住んでいる」が 1.4%となっている。



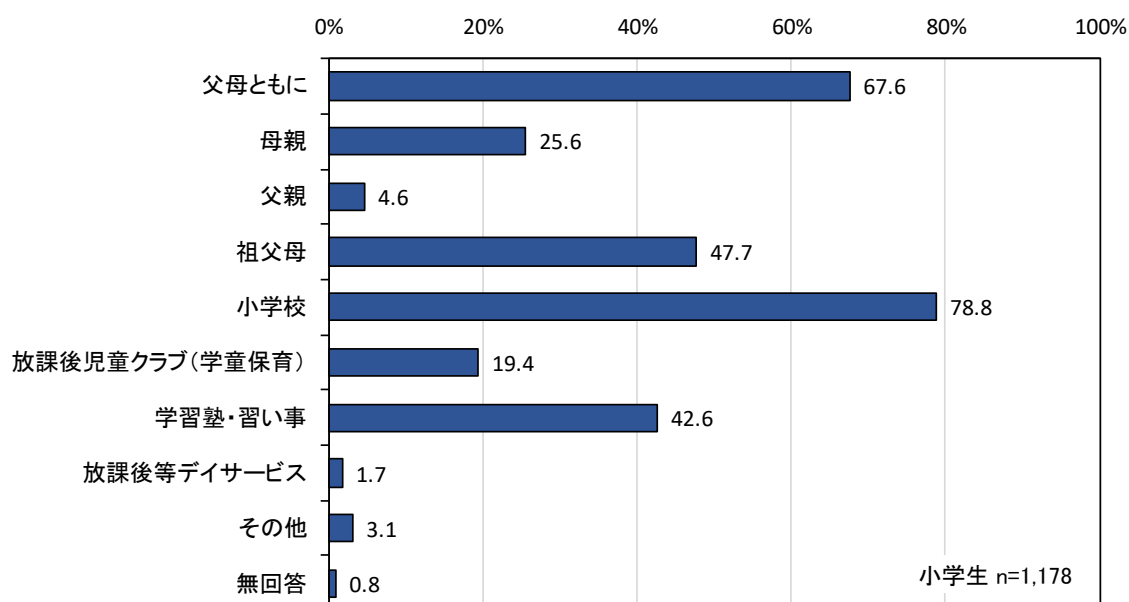
問6 対象のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。続柄は対象のお子さんからみた関係でお答えください。（〇は1つ）

子育てを主にしている方については、「父母ともに」が 54.5%で最も高く、次いで「主に母親」が 39.8%、「その他」が 2.0%となっている。



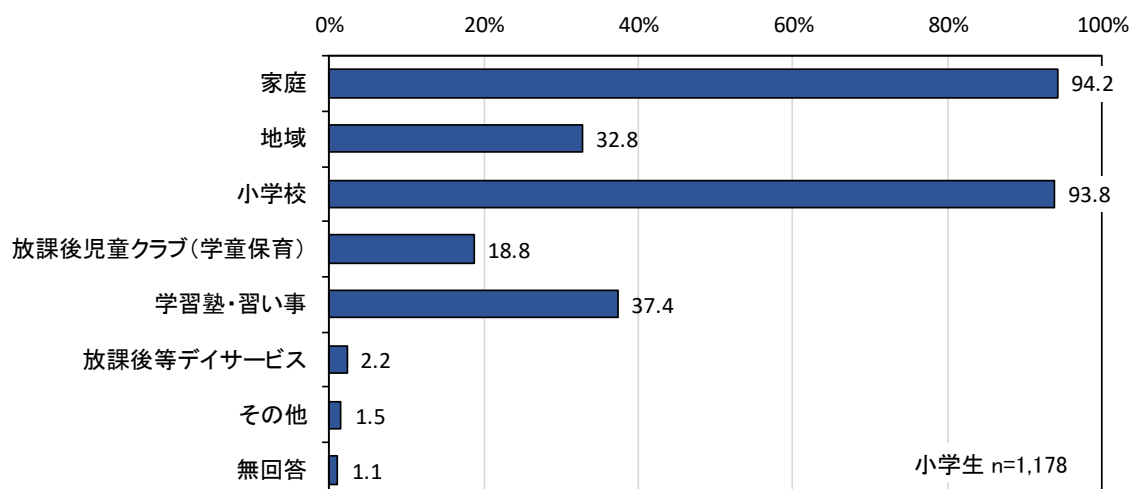
問7 対象のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方や施設をお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

子育てに日常的に関わっている方（施設）については、「小学校」が 78.8%で最も高く、次いで「父母ともに」が67.6%、「祖父母」が47.7%となっている。



問8 対象のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

子育てに影響すると思われる環境については、「家庭」が 94.2%で最も高く、次いで「小学校」が93.8%、「学習塾・習い事」が37.4%となっている。

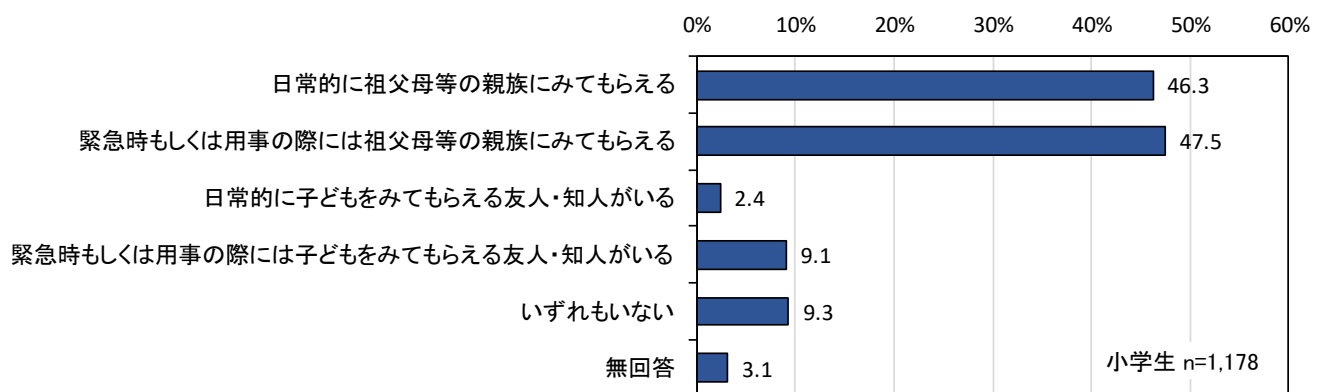


問9 対象のお子さんを日常的に預けられる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

お子さんを日常的に預けられる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が47.5%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が46.3%、「いずれもない」が9.3%となっている。

学年区分でみると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合は、高学年のほうが高くなっている。

地域別でみると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合は、飯岡地域、干潟地域では5割を超えている。



【学年区分】

項目		1	2	3	4	5	無回答	総回答数	回答者数
		日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない			
小学生		545 46.3%	560 47.5%	28 2.4%	107 9.1%	110 9.3%	37 3.1%	1,387 117.7%	1,178 100.0%
学年区分	低学年	194 42.0%	226 48.9%	11 2.4%	36 7.8%	55 11.9%	17 3.7%	539 116.7%	462 100.0%
		345 49.0%	330 46.9%	17 2.4%	71 10.1%	55 7.8%	18 2.6%	836 118.8%	704 100.0%
	高学年								

【地域別】

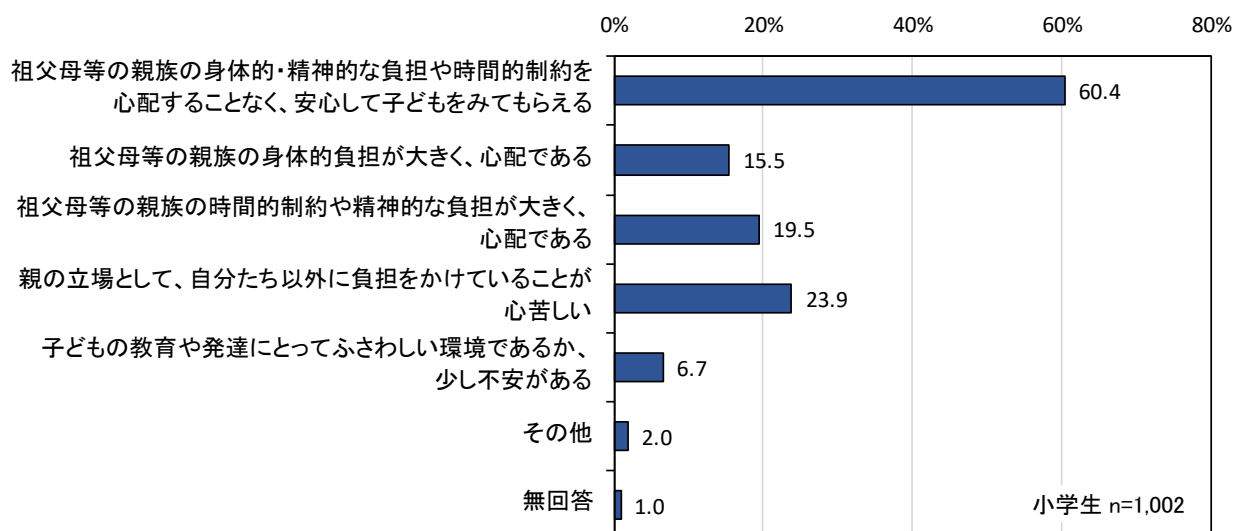
項目		1	2	3	4	5	無回答	総回答数	回答者数
		日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない			
小学生		545 46.3%	560 47.5%	28 2.4%	107 9.1%	110 9.3%	37 3.1%	1,387 117.7%	1,178 100.0%
地域別	旭地域	296 42.7%	332 47.9%	15 2.2%	70 10.1%	75 10.8%	25 3.6%	813 117.3%	693 100.0%
		88 44.9%	102 52.0%	4 2.0%	16 8.2%	21 10.7%	5 2.6%	236 120.4%	196 100.0%
	海上地域	85 55.6%	60 39.2%	3 2.0%	18 11.8%	9 5.9%	6 3.9%	181 118.3%	153 100.0%
		66 53.2%	64 51.6%	6 4.8%	2 1.6%	5 4.0%	0 0.0%	143 115.3%	124 100.0%
	飯岡地域								

問9-1 問9で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

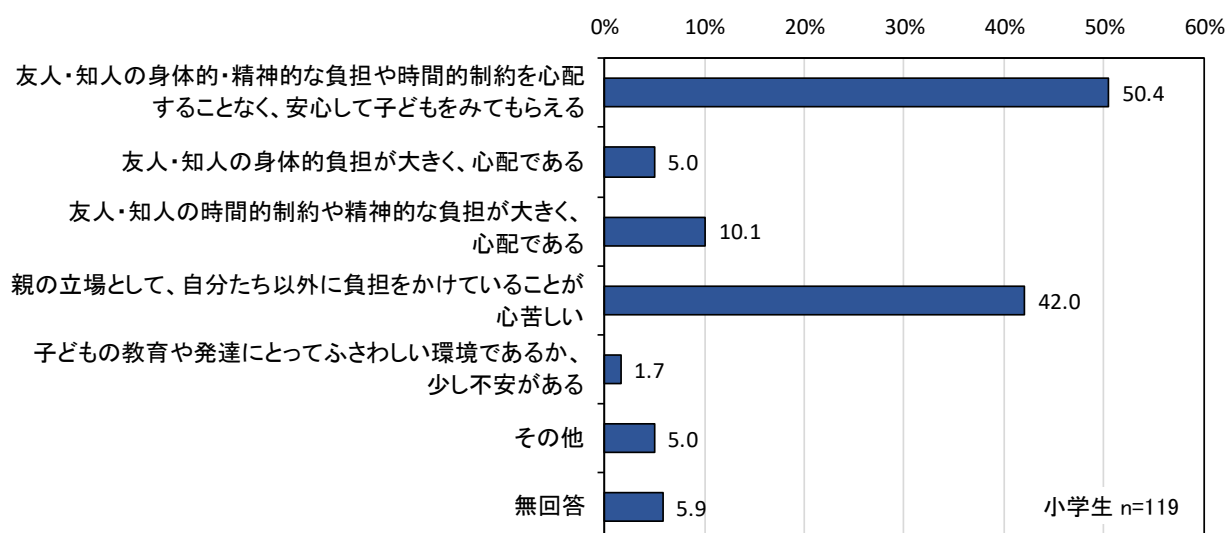
祖父母等の親族にみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が60.4%で最も高く、次いで「親の立場として、自分たち以外に負担をかけていることが心苦しい」が23.9%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が19.5%となっている。



問9-2 問9で「3」または「4」と回答した方にお伺いします。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

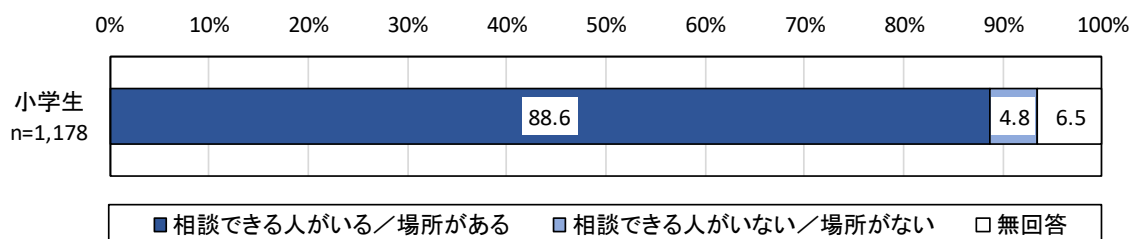
友人・知人にみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が50.4%で最も高く、次いで「親の立場として、自分たち以外に負担をかけていることが心苦しい」が42.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が10.1%となっている。



問 10 対象のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び相談できる場所がありますか。（○は1つ）

気軽に相談できる人（場所）の有無については、「相談できる人がある／場所がある」が88.6%、「相談できる人がいない／場所がない」が4.8%となっている。

学年区分、地域別でみると、それぞれにおいて大きな差はみられない。



【学年区分】

項目		1	2	無回答	回答者数
		相談できる人がある／場所がある	相談できる人がいない／場所がない		
小学生		1,044	57	77	1,178
		88.6%	4.8%	6.5%	100.0%
学年区分	低学年	405	27	30	462
		87.7%	5.8%	6.5%	100.0%
	高学年	631	29	44	704
		89.6%	4.1%	6.3%	100.0%

【地域別】

項目		1	2	無回答	回答者数
		相談できる人がある／場所がある	相談できる人がいない／場所がない		
小学生		1,044	57	77	1,178
		88.6%	4.8%	6.5%	100.0%
地域別	旭地域	623	33	37	693
		89.9%	4.8%	5.3%	100.0%
	海上地域	167	10	19	196
		85.2%	5.1%	9.7%	100.0%
	飯岡地域	133	8	12	153
		86.9%	5.2%	7.8%	100.0%
	干潟地域	111	6	7	124
		89.5%	4.8%	5.6%	100.0%

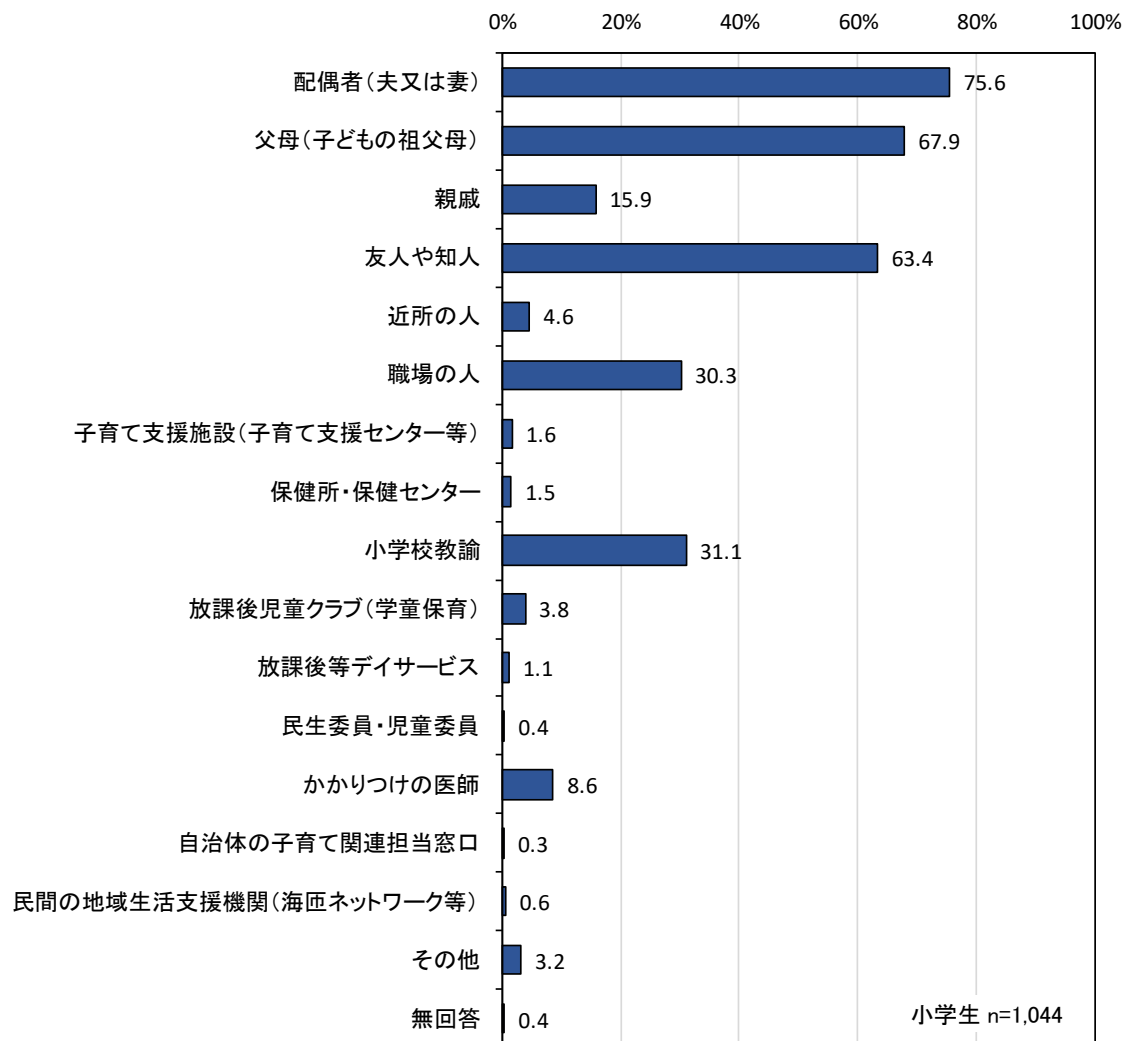
問 10ー1 問 10 で「1. 相談できる人がいる／場所がある」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できるのはどちらですか。

（あてはまるものすべてに○）

相談先については、「配偶者（夫又は妻）」が 75.6% で最も高く、次いで「父母（子どもの祖父母）」が 67.9%、「友人や知人」が 63.4% となっている。

地域別でみると、干潟地域では「配偶者（夫又は妻）」、「父母（子どもの祖父母）」の割合が、他の地域と比べて高くなっている。また、飯岡地域では「友人や知人」、「職場の人」の割合が、他の地域と比べて高くなっている。



【地域別】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		配偶者 (夫又は妻)	父母(子どもの祖父母)	親戚	友人や知人	近所の人	職場の人	子育て支援施設 (子育て支援センター等)	保健所・保健センター	小学校教諭	放課後児童クラブ (学童保育)	放課後等 デイサービス
小学生		789	709	166	662	48	316	17	16	325	40	12
		75.6%	67.9%	15.9%	63.4%	4.6%	30.3%	1.6%	1.5%	31.1%	3.8%	1.1%
地域別	旭地域	474	417	91	390	27	182	13	9	185	26	9
		76.1%	66.9%	14.6%	62.6%	4.3%	29.2%	2.1%	1.4%	29.7%	4.2%	1.4%
	海上地域	123	112	26	103	10	58	1	2	51	3	1
		73.7%	67.1%	15.6%	61.7%	6.0%	34.7%	0.6%	1.2%	30.5%	1.8%	0.6%
	飯岡地域	95	91	23	93	3	48	1	2	51	5	2
		71.4%	68.4%	17.3%	69.9%	2.3%	36.1%	0.8%	1.5%	38.3%	3.8%	1.5%
	干潟地域	91	83	23	69	7	26	1	2	36	6	0
		82.0%	74.8%	20.7%	62.2%	6.3%	23.4%	0.9%	1.8%	32.4%	5.4%	0.0%

項目		12	13	14	15	16	無回答	総回答数	回答者数
		民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の 子育て関連担当窓口	民間の地域生活支援機関 (海匠ネットワーク等)	その他			
小学生		4	90	3	6	33	4	3,240	1,044
		0.4%	8.6%	0.3%	0.6%	3.2%	0.4%	310.3%	100.0%
地域別	旭地域	2	56	2	5	21	3	1,912	623
		0.3%	9.0%	0.3%	0.8%	3.4%	0.5%	306.9%	100.0%
	海上地域	1	15	1	0	8	1	516	167
		0.6%	9.0%	0.6%	0.0%	4.8%	0.6%	309.0%	100.0%
	飯岡地域	0	13	0	1	0	0	428	133
		0.0%	9.8%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	321.8%	100.0%
	干潟地域	1	6	0	0	4	0	355	111
		0.9%	5.4%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	319.8%	100.0%

問 11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、市役所等)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由に意見などをお書きください。

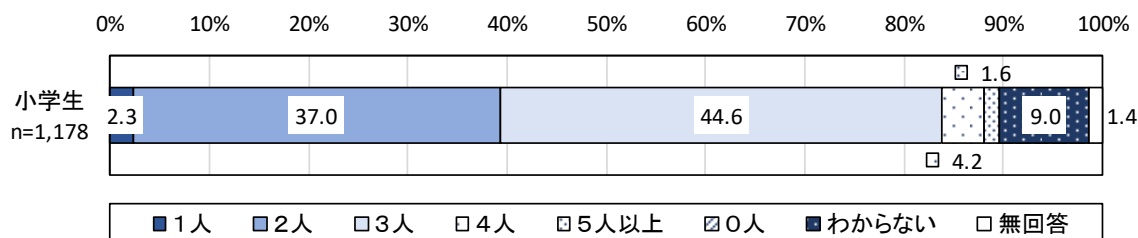
全部で317の回答があり、内訳は以下のとおりである。ひとりの対象者が複数の項目に関して言及している場合もあるが、ここでは主な意見1つとして分類してある。

分類項目	件数
1. 放課後児童クラブ(学童保育)、子ども会、サポートについて	61 件
2. 学校教育について	21 件
3. 保健、医療について	7 件
4. 公園、遊び場、イベントについて	29 件
5. 市政について	22 件
6. 相談、預かり施設・窓口について	79 件
7. その他(新しい施設、施設の充実、サポートしてくれる人・所、通学路等の安全性、地域での子育て・交流)	98 件

3. 理想の子どもの数について

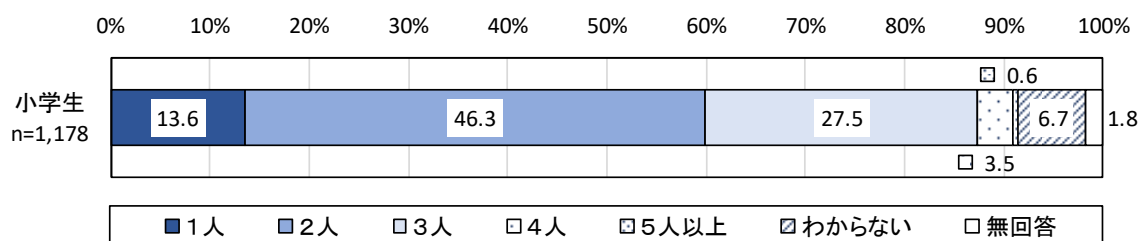
問 12 理想とする子どもの数は何人ですか。(〇は1つ)

理想とする子どもの数については、「3人」が44.6%で最も高く、次いで「2人」が37.0%、「わからない」が9.0%となっている。



問 13 あなたは、実際に何人の子どもを持つ予定ですか。(〇は1つ)

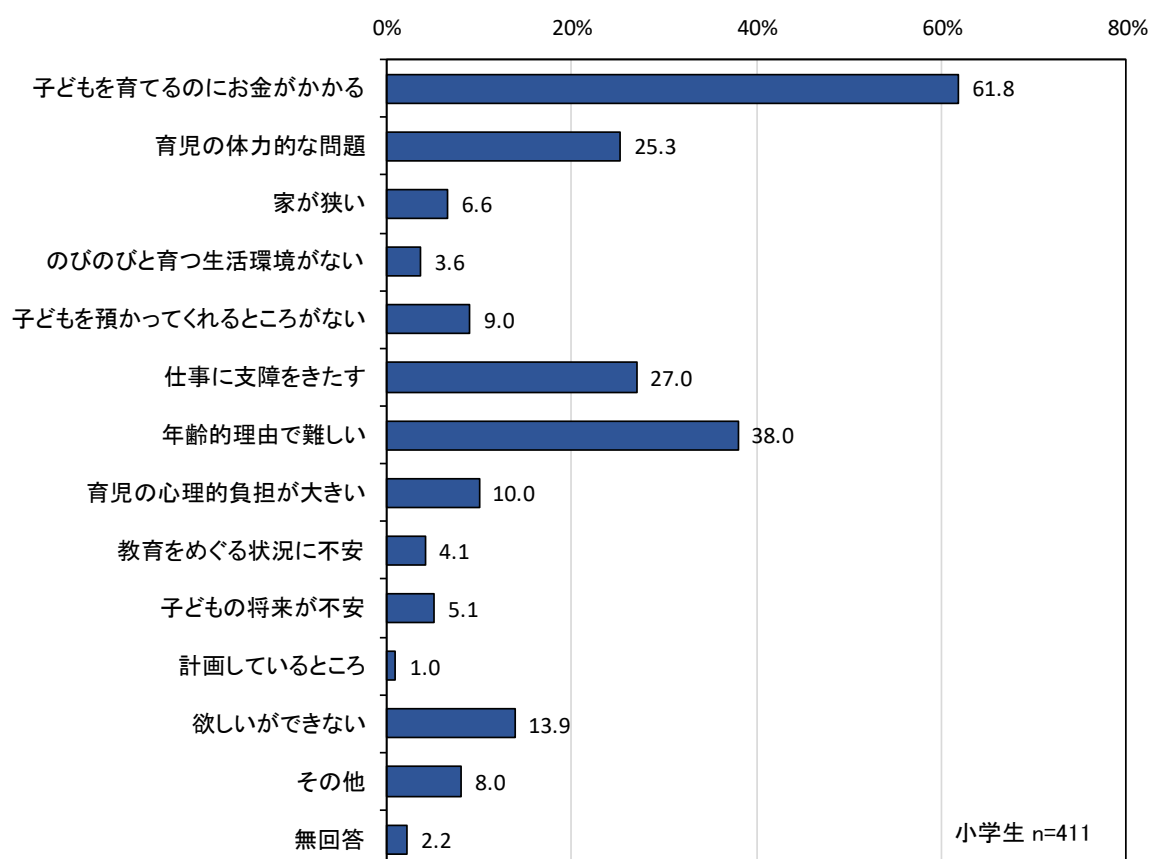
実際に持つ予定の子どもの数については、「2人」が46.3%で最も高く、次いで「3人」が27.5%、「1人」が13.6%となっている。



問 14 問 13 の「実際に持つ予定の子ども数」が、問 12 の「理想と考える子どもの数」よりも少ない方にお伺いします。

理想と考える子どもの数より実際に持つ予定の子ども数が少ないのはなぜですか。(〇は3つまで)

理想と考える子どもの数より実際に持つ予定の子ども数が少ない理由については、「子どもを育てるのにお金がかかる」が61.8%で最も高く、次いで「年齢的理由で難しい」が38.0%、「仕事に支障をきたす」が27.0%となっている。



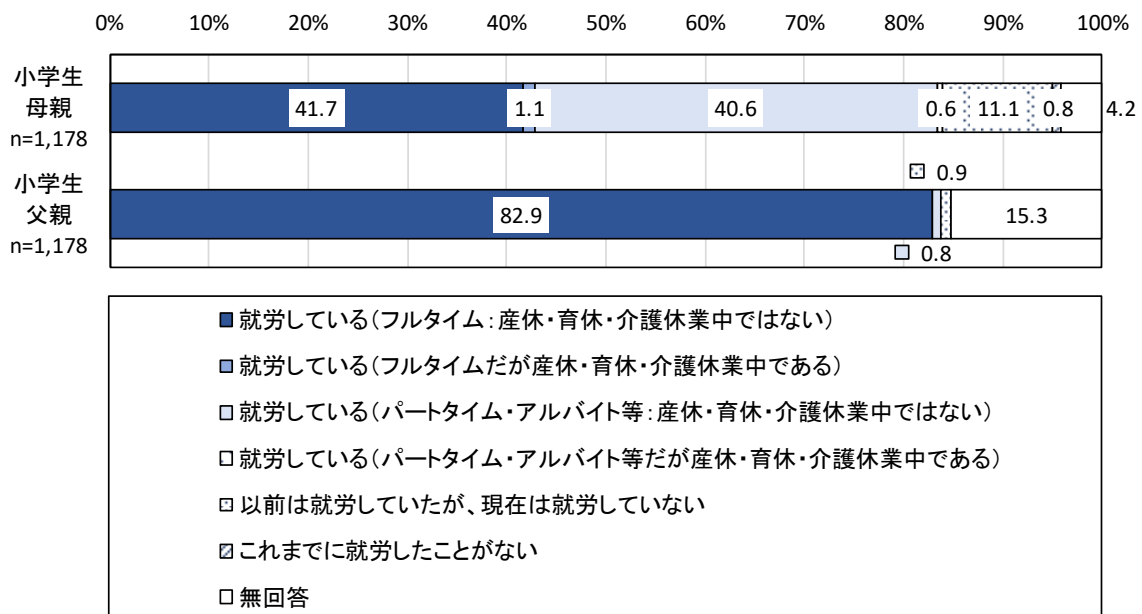
4. 対象のお子さんの保護者の就労状況について

問 15 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（○は1つ）

母親の現在の就労状況については、「就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中ではない）」が41.7%で最も高く、次いで「就労している（パートタイム・アルバイト等：産休・育休・介護休業中ではない）」が40.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が11.1%となっている。

父親の現在の就労状況については、「就労している（フルタイム：育休・介護休業中ではない）」が82.9%で最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.9%、「就労している（パートタイム・アルバイト等：育休・介護休業中ではない）」が0.8%となっている。

地域別に母親の就労状況をみると、旭地域ではフルタイムの割合が、他の地域と比べて低くなっている。また、海上地域ではパートタイム・アルバイト等の割合が、他の地域と比べて低くなっている。



【地域別（母親の就労状況）】

項目		1	2	3	4	5	6	無回答	回答者数
小学生		491	13	478	7	131	9	49	1,178
		41.7%	1.1%	40.6%	0.6%	11.1%	0.8%	4.2%	100.0%
地域別	旭地域	272	9	293	5	73	6	35	693
		39.2%	1.3%	42.3%	0.7%	10.5%	0.9%	5.1%	100.0%
	海上地域	88	4	67	1	29	2	5	196
		44.9%	2.0%	34.2%	0.5%	14.8%	1.0%	2.6%	100.0%
	飯岡地域	68	0	64	1	13	1	6	153
		44.4%	0.0%	41.8%	0.7%	8.5%	0.7%	3.9%	100.0%
地域別	干潟地域	57	0	51	0	14	0	2	124
		46.0%	0.0%	41.1%	0.0%	11.3%	0.0%	1.6%	100.0%

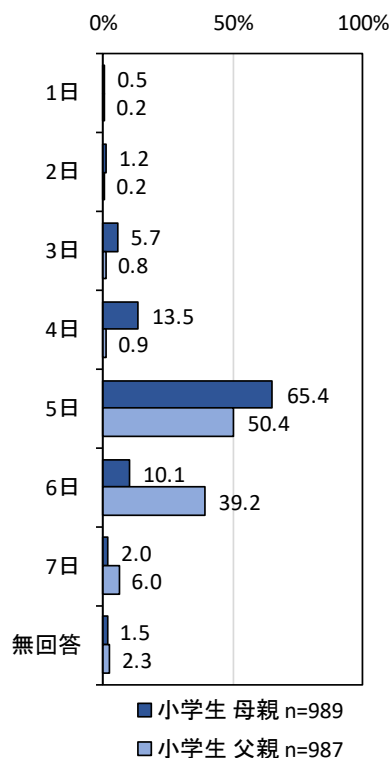
(1) -①・② (1)で「1」～「4」と回答した方にお伺いします。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（□内に数字をご記入ください。）

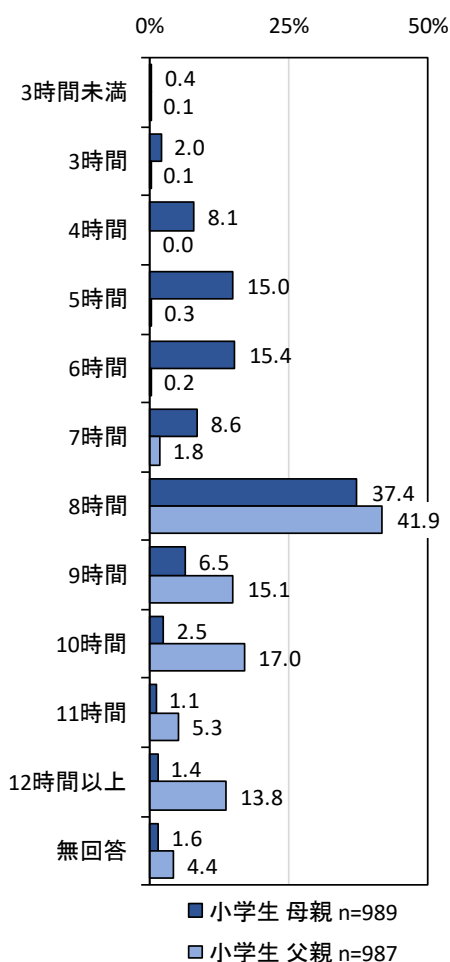
① 就労日数・就労時間

就労状況については、父母ともに就労日数では「5日」、就労時間では「8時間」が最も高い割合を占めている。

【就労日数】



【就労時間】

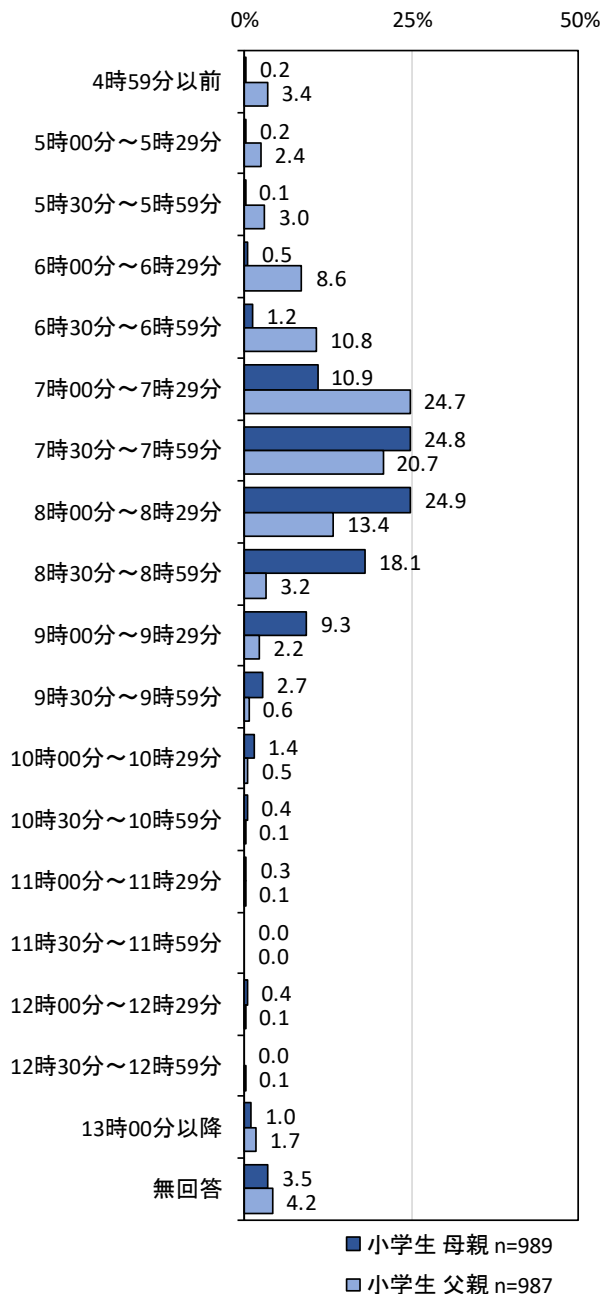


② 家を出る時間・帰宅時間

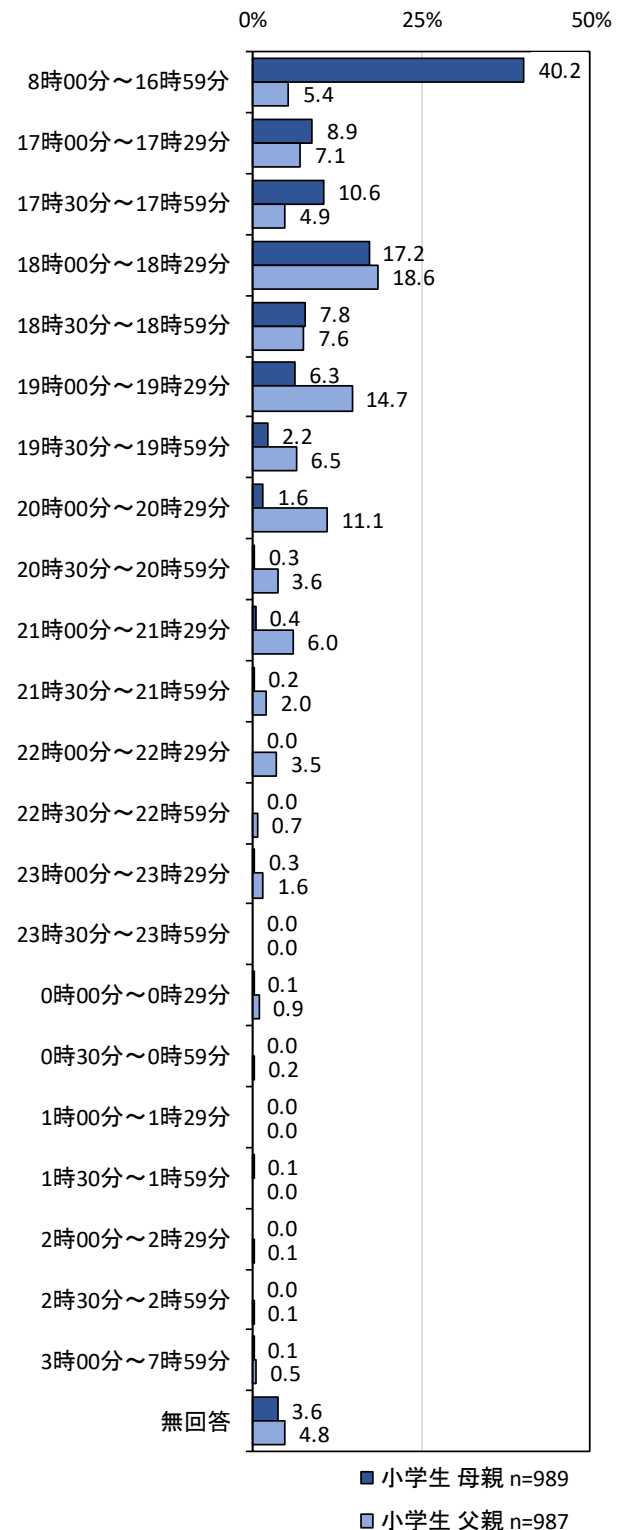
家を出る時間については、母親では「8時00分～8時29分」が24.9%で最も高く、次いで「7時30分～7時59分」が24.8%、父親では「7時00分～7時29分」が24.7%で最も高く、次いで「7時30分～7時59分」が20.7%となっている。

帰宅時間については、母親では「8時00分～16時59分」が40.2%で最も高く、次いで「18時00分～18時29分」が17.2%、父親では「18時00分～18時29分」が18.6%で最も高く、次いで「19時00分～19時29分」が14.7%となっている。

【家を出る時間】



【帰宅時間】

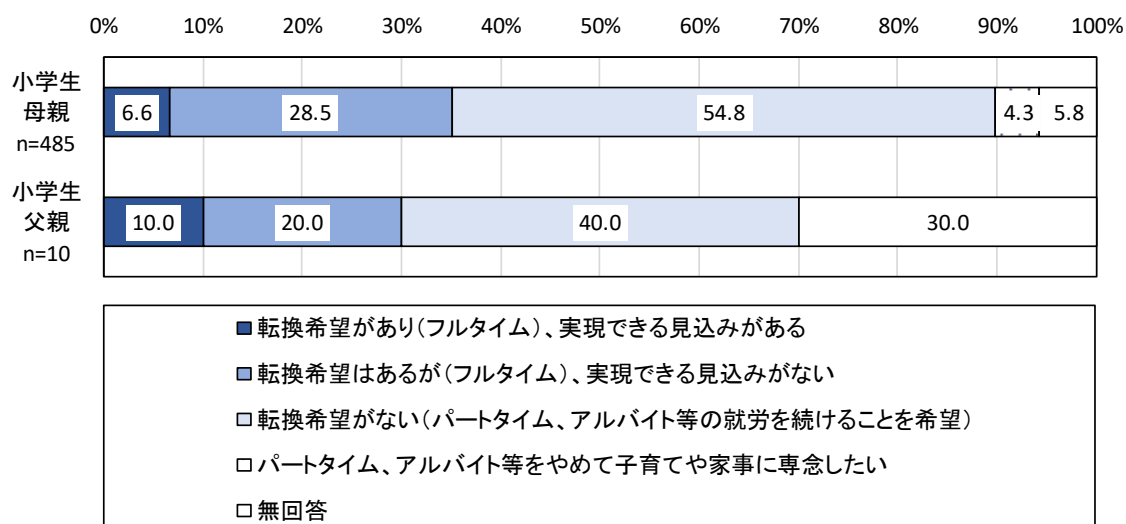


問 15-1 問 15 の（１）または（２）で「３」、「４」（パートタイム・アルバイト等で就労）と回答した方にお伺いします。

フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ〇は１つ）

母親のフルタイムへの転換希望については、「転換希望がない（パートタイム、アルバイト等の就労を続けることを希望）」が 54.8% で最も高く、次いで「転換希望はあるが（フルタイム）、実現できる見込みがない」が 28.5%、「転換希望があり（フルタイム）、実現できる見込みがある」が 6.6% となっている。

父親のフルタイムへの転換希望については、「転換希望がない（パートタイム、アルバイト等の就労を続けることを希望）」が 40.0% で最も高く、次いで「転換希望はあるが（フルタイム）、実現できる見込みがない」が 20.0%、「転換希望があり（フルタイム）、実現できる見込みがある」が 10.0% となっている。



問 15-2 問 15 の (1) または (2) で「5」、「6」(就労していない) と回答した方にお伺いします。
就労希望はありますか。
(該当する番号・記号にそれぞれ○は1つ、該当する口内に数字をご記入ください。)

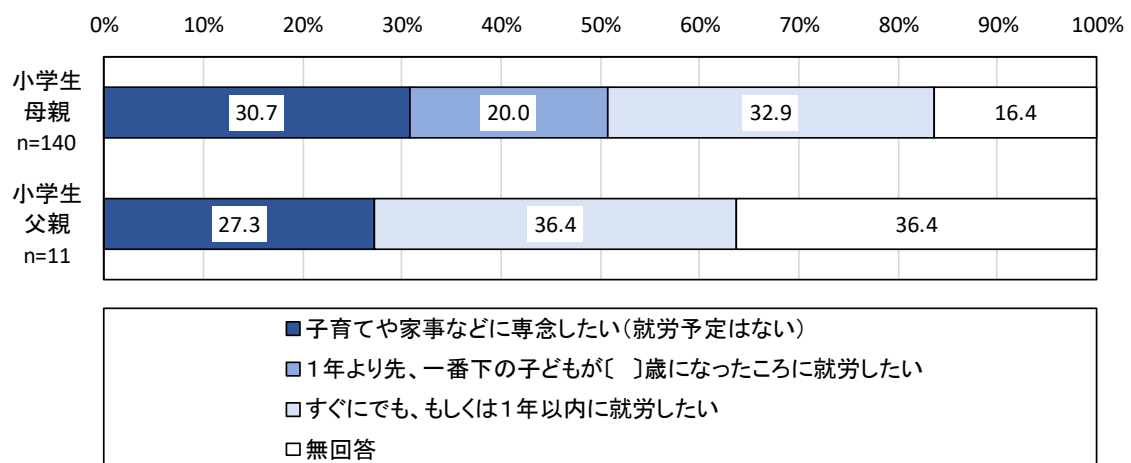
(1) 就労希望

母親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 32.9%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)」が 30.7%、「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」が 20.0%となっている。

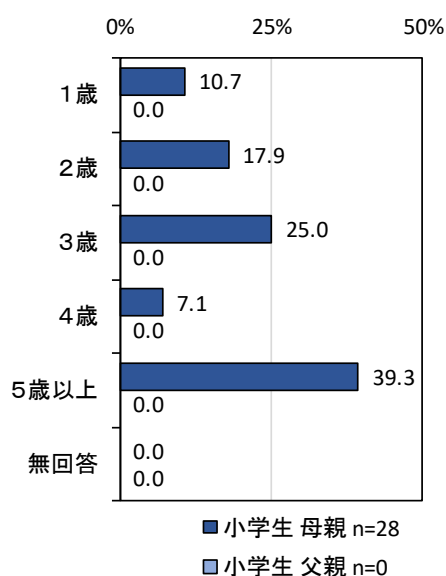
父親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 36.4%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)」が 27.3%となっている。

なお、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したいかについては、母親では「5歳以上」が 39.3%で最も高く、次いで「3歳」が 25.0%、「2歳」が 17.9%となっている。

父親では、該当する回答者はいませんでした。



【一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい】



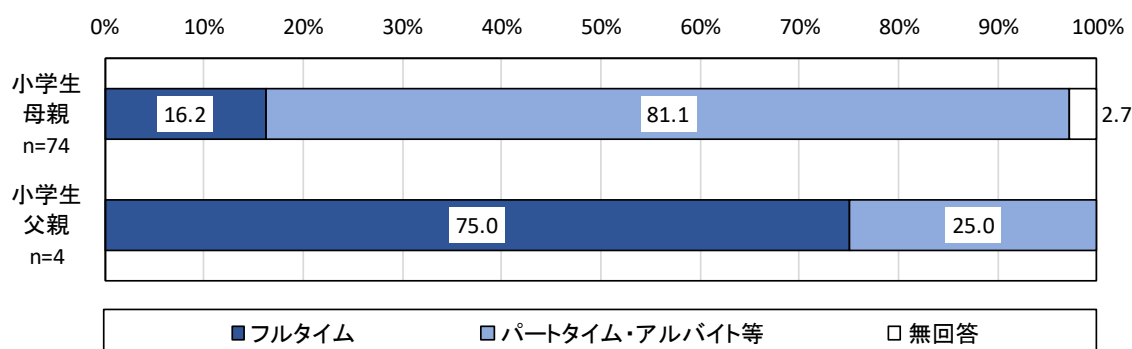
（２）希望する就労形態

母親の希望する就労形態については、「フルタイム」が 16.2%、「パートタイム・アルバイト等」が 81.1%となっている。

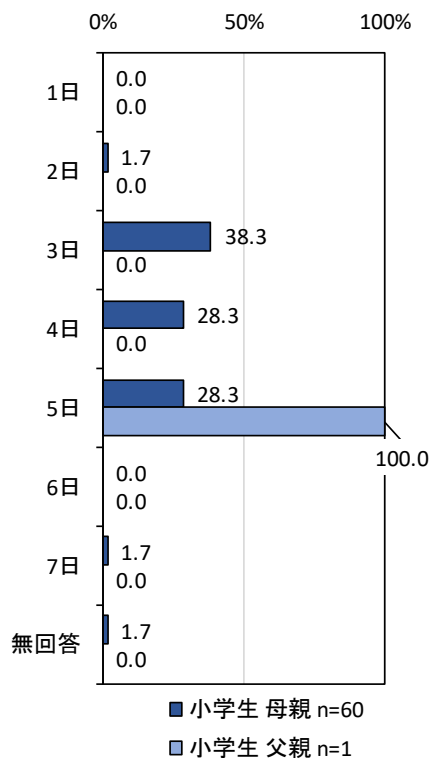
父親の希望する就労形態については、「フルタイム」が 75.0%、「パートタイム・アルバイト等」が 25.0%となっている。

なお、母親における就労希望については、1 週当たりの希望就労日数は「3日」が 38.3%で最も高く、次いで「4日」、「5日」がともに 28.3%となっている。また、1 日当たりの希望就労時間は「5時間」が 36.7%で最も高く、次いで「4時間」が 23.3%、「6時間」が 21.7%となっている。

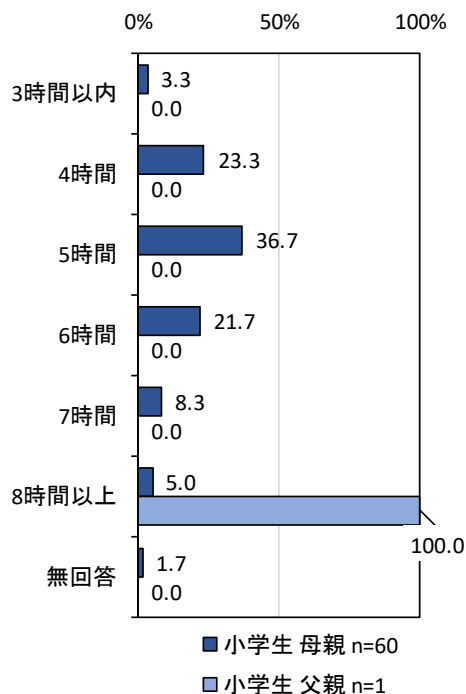
父親における就労希望については、該当する回答者は 1 人で、1 週当たりの希望就労日数は「5日」、1 日当たりの希望就労時間は「8時間以上」となっている。



【1 週当たりの希望就労日数】



【1 日当たりの希望就労時間】



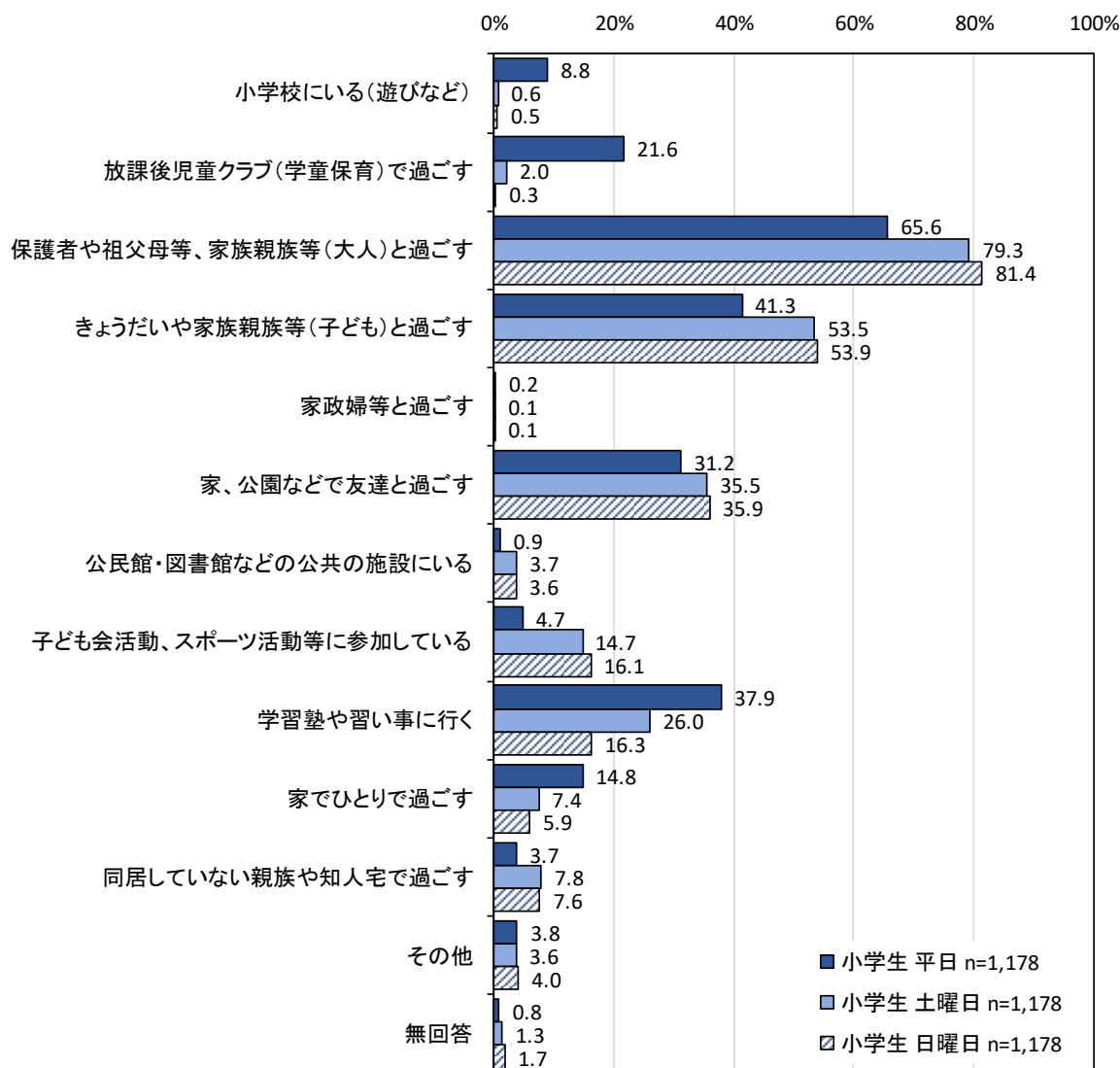
5. 対象のお子さんの放課後や休日の過ごし方について

問 16 平日の放課後や休日等は、どのように過ごしていますか。下の表（選択肢）から主な番号を3つ選んでそれぞれの欄にご記入ください。

平日の放課後の過ごし方については、「保護者や祖父母等、家族親族等（大人）と過ごす」が65.6%で最も高く、次いで「きょうだいや家族親族等（子ども）と過ごす」が41.3%、「学習塾や習い事に行く」が37.9%となっている。

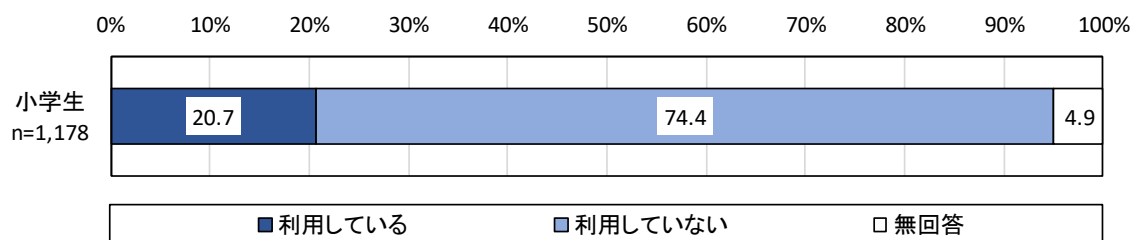
土曜日の過ごし方については、「保護者や祖父母等、家族親族等（大人）と過ごす」が79.3%で最も高く、次いで「きょうだいや家族親族等（子ども）と過ごす」が53.5%、「家、公園などで友達と過ごす」が35.5%となっている。

日曜日の過ごし方については、「保護者や祖父母等、家族親族等（大人）と過ごす」が81.4%で最も高く、次いで「きょうだいや家族親族等（子ども）と過ごす」が53.9%、「家、公園などで友達と過ごす」が35.9%となっている。



問 17 お子さんについて、現在、放課後児童クラブ（学童保育）を利用していますか。（○は1つ）

放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況については、「利用している」が20.7%、「利用していない」が74.4%となっている。



問 17-1 問 17で「1」と回答した方にお伺いします。

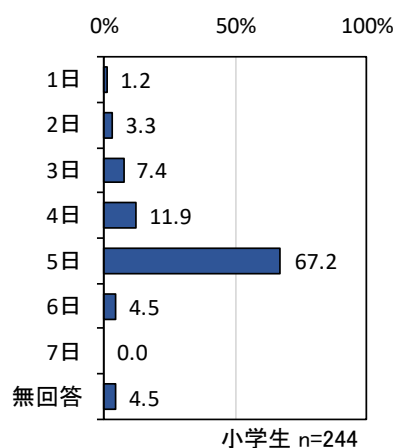
お子さんについて、放課後児童クラブ（学童保育）の利用日数はどれくらいですか。また、土曜日の利用についてお答えください。

（□内に利用日数をご記入ください。土曜日の利用について○は1つ）

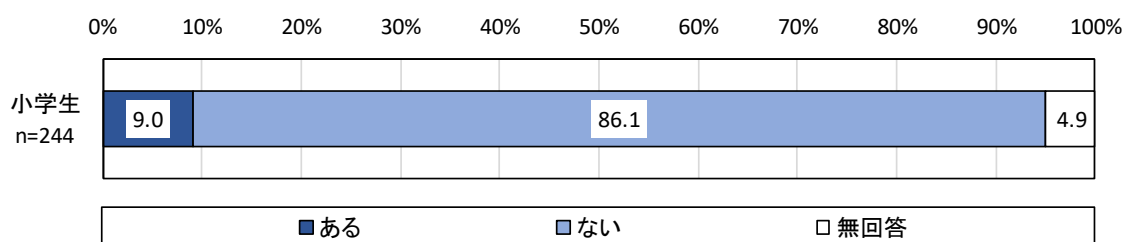
放課後児童クラブ（学童保育）の1週当たりの利用日数については、「5日」が67.2%で最も高く、次いで「4日」が11.9%、「3日」が7.4%となっている。

また、土曜日の利用状況については、「ある」が9.0%、「ない」が86.1%となっている。

【1週当たりの利用日数】



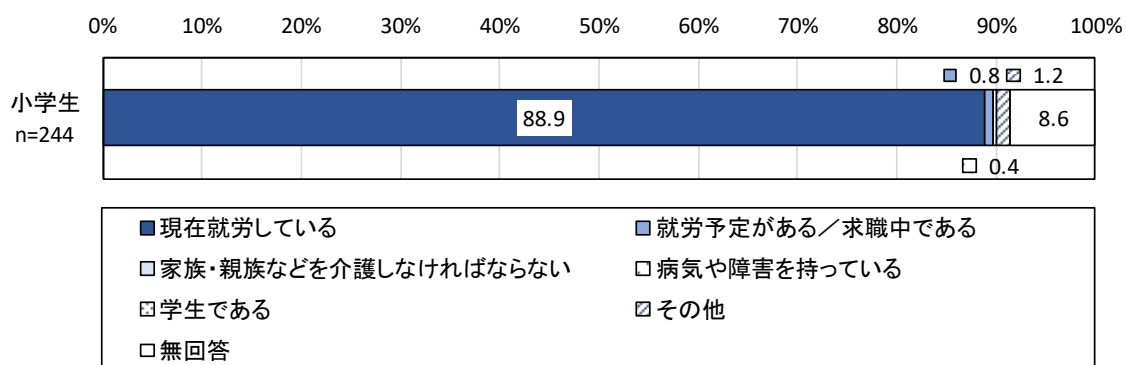
【土曜日の利用状況】



問 17-2 問 17 で「1」と回答した方にお伺いします。

利用している理由は何ですか。(〇は1つ)

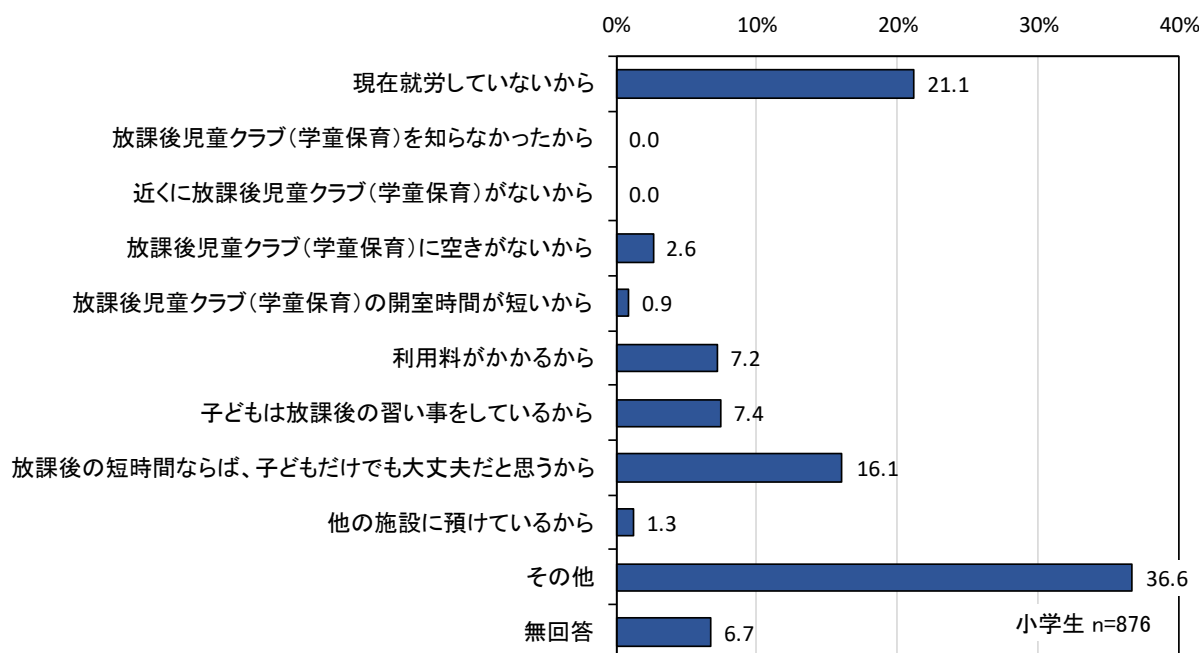
利用している理由については、「現在就労している」が 88.9%で最も高く、次いで「その他」が 1.2%、「就労予定がある／求職中である」が 0.8%となっている。



問 17-3 問 17 で「2」と回答した方にお伺いします。

利用していない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

利用していない主な理由については、「その他」が 36.6%で最も高く、次いで「現在就労していないから」が 21.1%、「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 16.1%となっている。



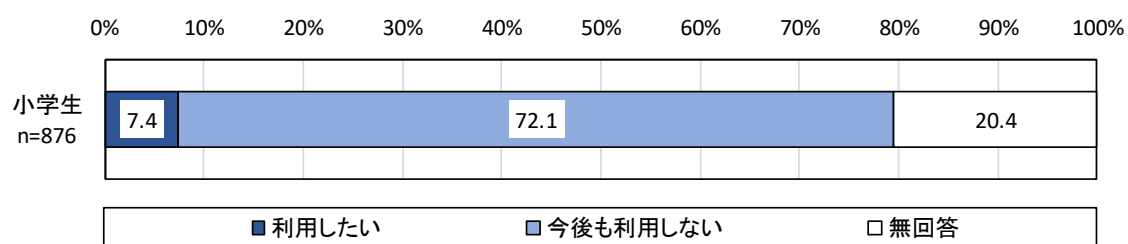
問 17-4 問 17 で「2」と回答した方にお伺いします。

お子さんについて、今後、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいとお考えですか。また、利用したい場合に土曜日の利用希望はありますか。（それぞれ○は1つ、該当する□内に数字をご記入ください。）

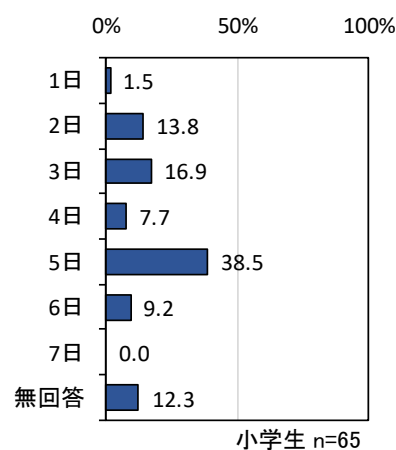
放課後児童クラブ（学童保育）の今後の利用意向については、「利用したい」が7.4%、「今後も利用しない」が72.1%となっている。

利用したいと回答した方の1週当たりの利用希望日数については、「5日」が38.5%で最も高く、次いで「3日」が16.9%、「2日」が13.8%となっている。

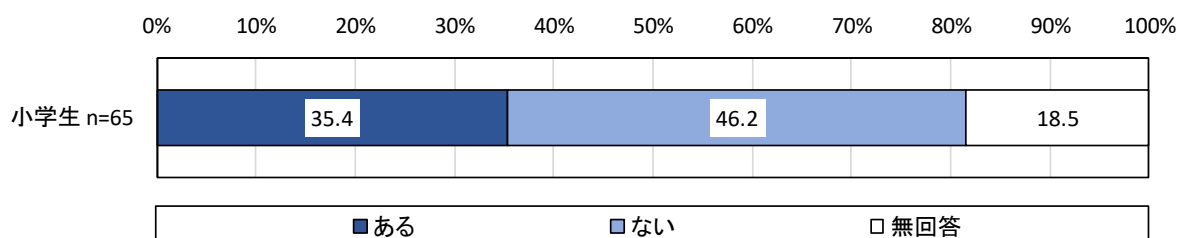
また、土曜日の利用希望については、「ある」が35.4%、「ない」が46.2%となっている。



【利用したいと回答した方の1週当たりの利用希望日数】



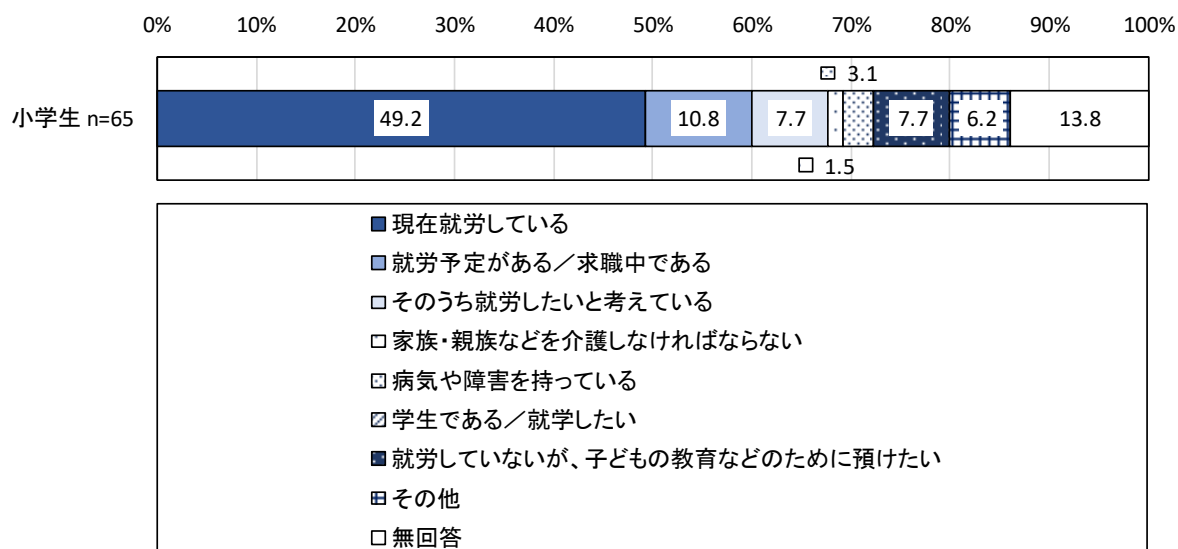
【利用したいと回答した方の土曜日の利用希望】



問 17-5 問 17-4で「1」と回答した方にお伺いします。

今後、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい主な理由は何ですか。（○は1つ）

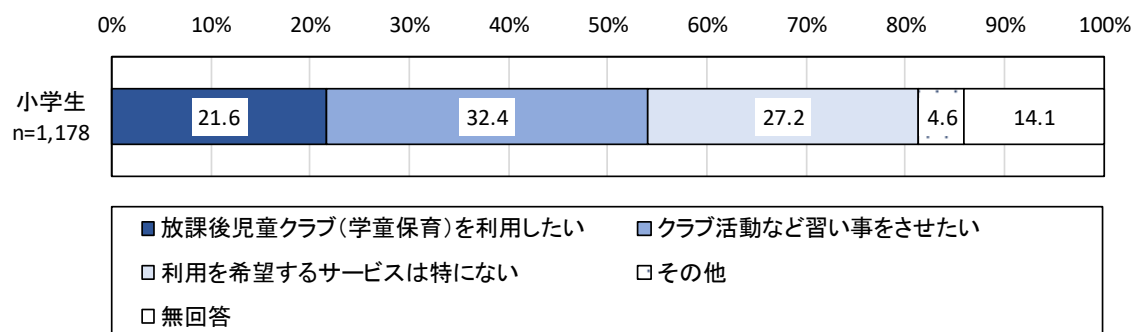
今後、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい主な理由については、「現在就労している」が49.2%で最も高く、次いで「就労予定がある／求職中である」が10.8%、「そのうち就労したいと考えている」、「就労していないが、子どもの教育などのために預けたい」がともに7.7%となっている。



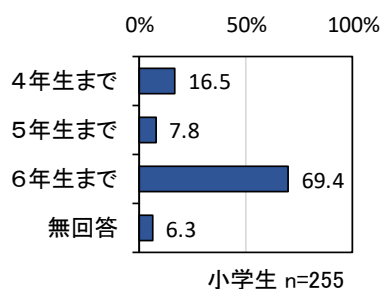
問 18 お子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。（○は1つ、該当する□内に数字をご記入ください。）

小学4年生以降の放課後の過ごし方として望むことについては、「クラブ活動など習い事をさせたい」が32.4%で最も高く、次いで「利用を希望するサービスは特にない」が27.2%、「放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい」が21.6%となっている。

なお、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと回答した方の利用希望については、「6年生まで」が69.4%で最も高く、次いで「4年生まで」が16.5%、「5年生まで」が7.8%となっている。



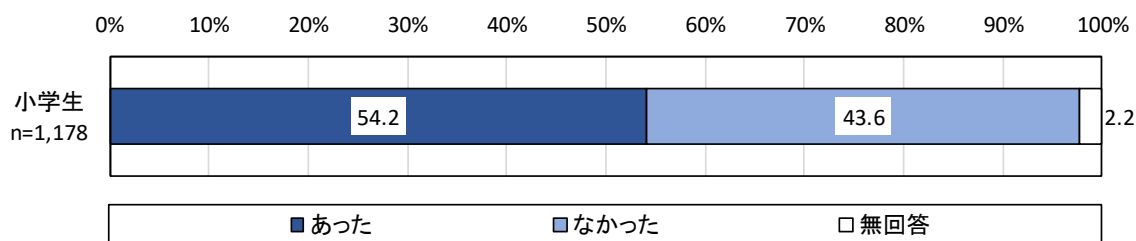
【放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと回答した方の利用希望】



6. 対象のお子さんの病気の際の対応について

問 19 この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(〇は1つ)

病気やケガで学校を休まなければならなかった有無については、「あった」が54.2%、「なかった」が43.6%となっている。

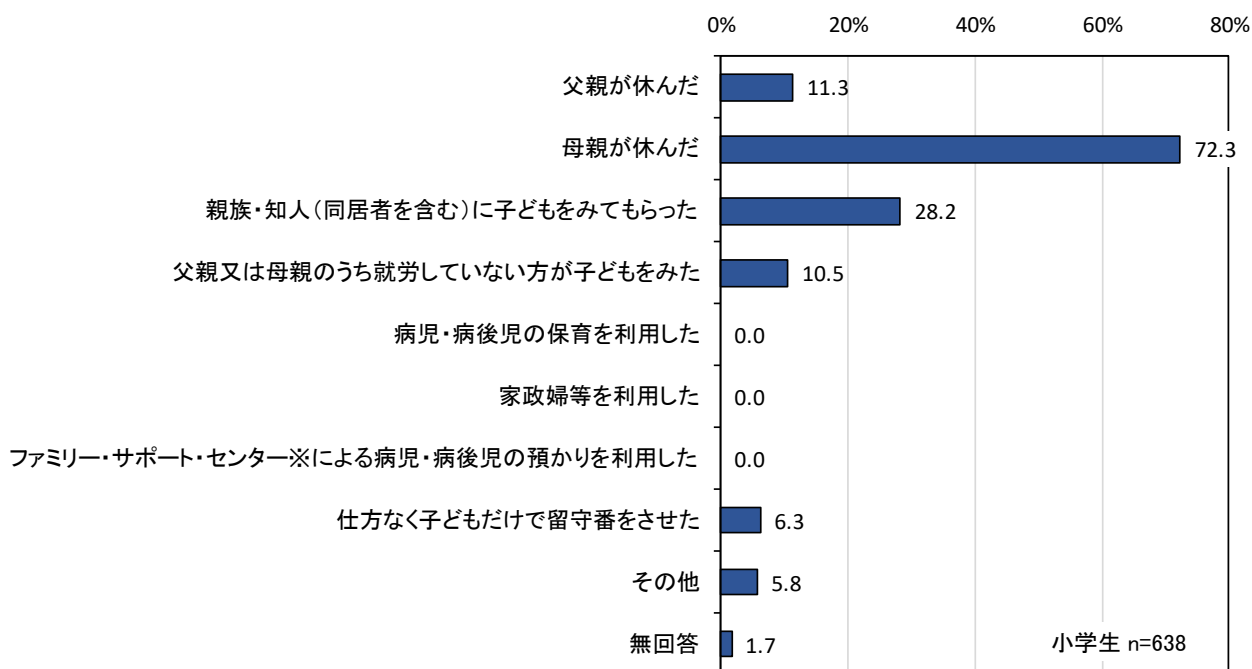


問 19-1 問 19 で「1. あった」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。

(あてはまるものすべてに〇、口内に数字をご記入ください。)

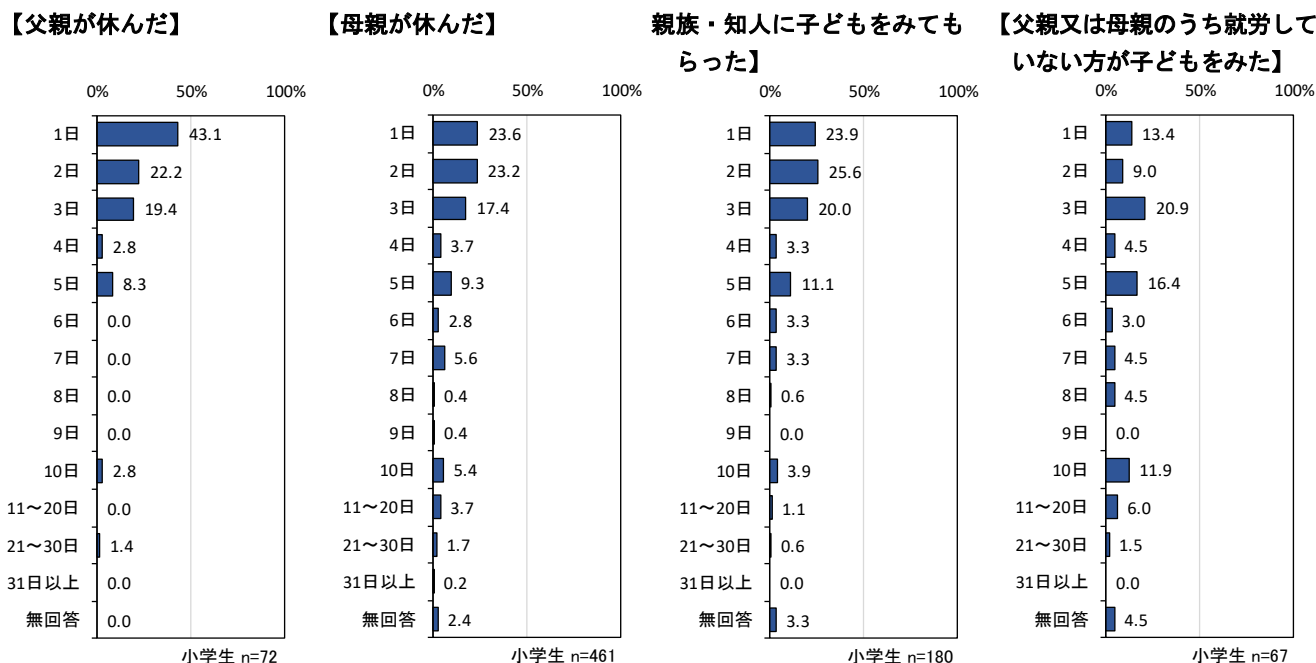
学校を休まなければならなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」が72.3%で最も高く、次いで「親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった」が28.2%、「父親が休んだ」が11.3%となっている。



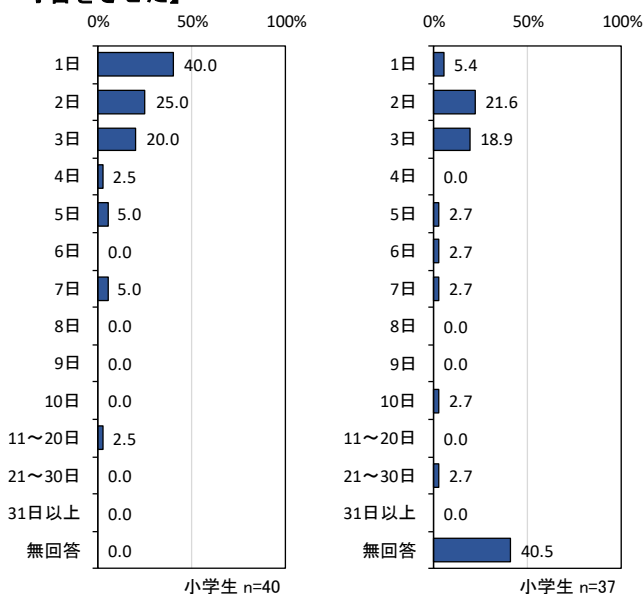
【※】が付いている施設は、現在旭市にはありません。

対処方法の上位3位の年間日数をみると、『母親が休んだ』では「1日」が23.6%で最も高く、次いで「2日」が23.2%、『親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった』では「2日」が25.6%で最も高く、次いで「1日」が23.9%、『父親が休んだ』では「1日」が43.1%で最も高く、次いで「2日」が22.2%となっている。

● 1年間の対処方法別の年間日数



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】 【その他】

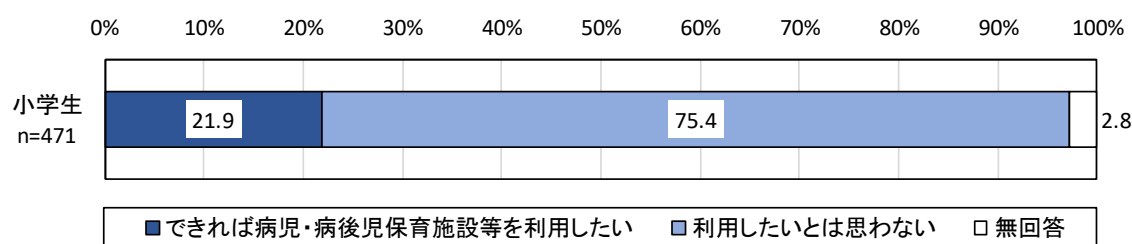


※『病児・病後児の保育を利用した』、『家政婦等を利用した』、『ファミリー・サポート・センターによる病児・病後児の預かりを利用した』は、該当する回答者はいませんでした。

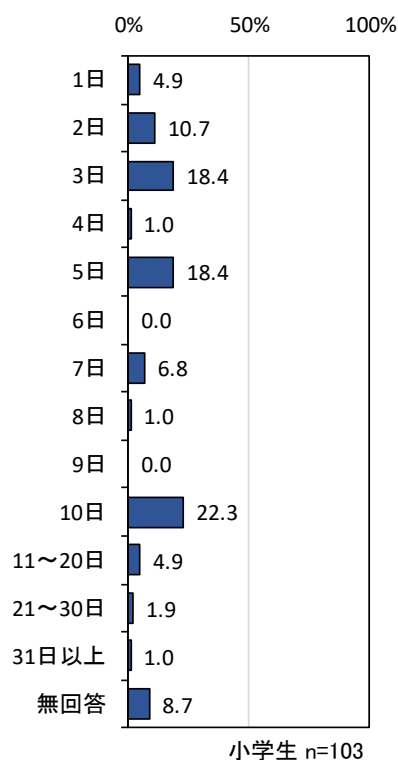
問 19-2 問 19-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」と回答した方にお伺いします。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についても
 ご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担があり、利用前にか
 かりつけ医の受診が必要となります。（○は1つ、□内に数字をご記入ください。）

病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用
 したい」が 21.9%、「利用したいとは思わない」が 75.4%となっている。

利用したいと回答した方の年間利用希望日数については、「10 日」が 22.3%で最も高く、次いで
 「3日」、「5日」がともに 18.4%となっている。



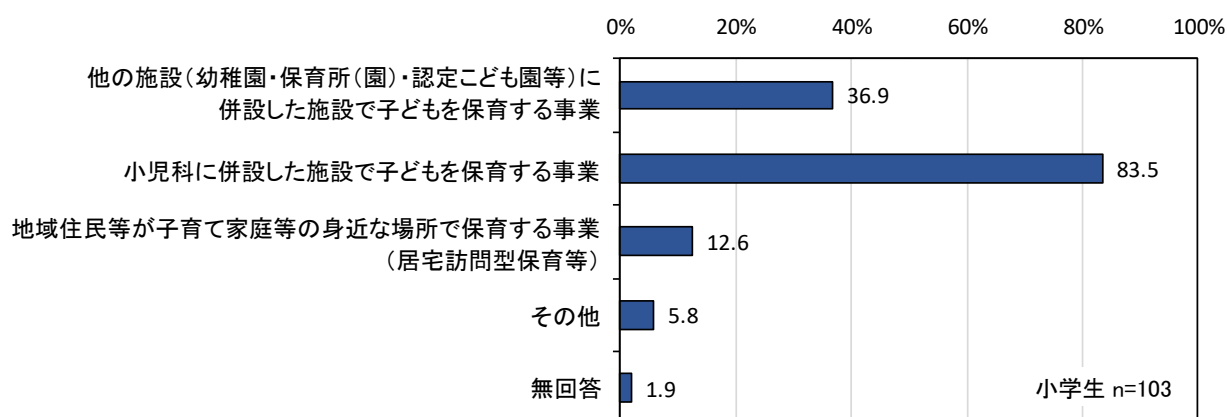
【利用したいと回答した方の年間利用希望日数】



問 19-3 問 19-2で「1」と回答した方にお伺いします。

病児・病後児保育の望ましい形態はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

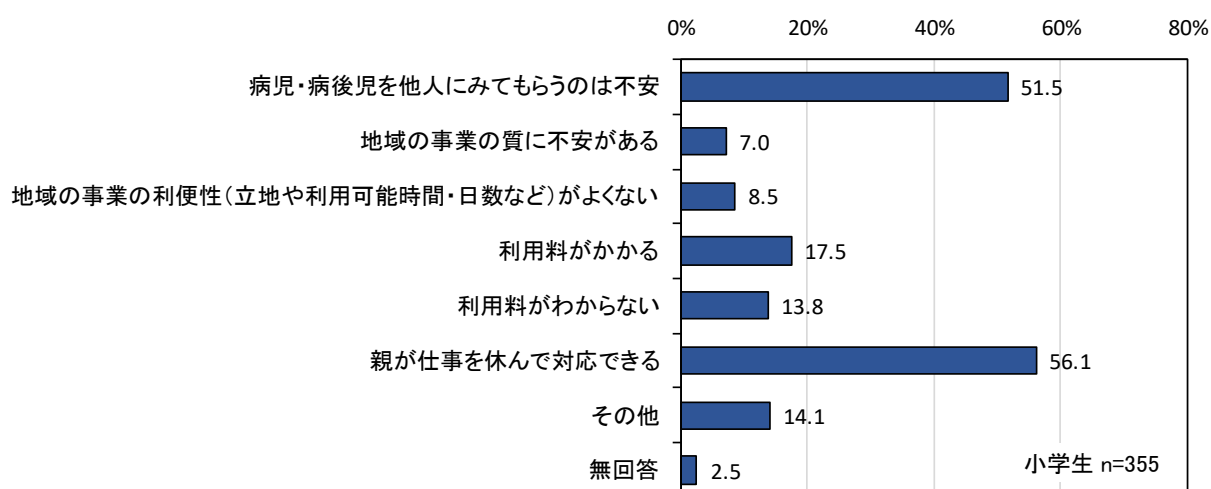
病児・病後児保育の望ましい形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が83.5%で最も高く、次いで「他の施設（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が36.9%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（居宅訪問型保育等）」が12.6%となっている。



問 19-4 問 19-2で「2」と回答した方にお伺いします。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

病児・病後児の保育施設等を利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応できる」が56.1%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が51.5%、「利用料がかかる」が17.5%となっている。



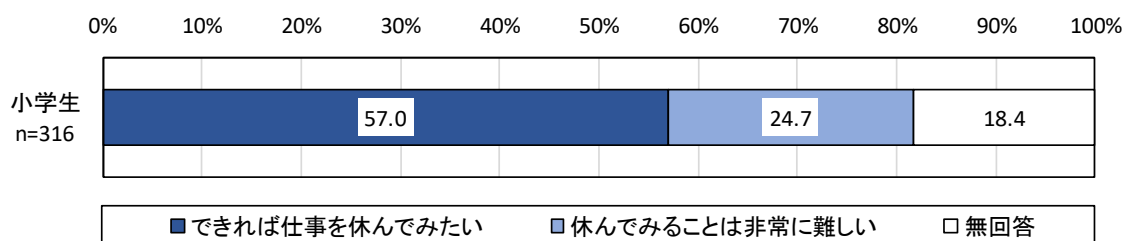
問 19-5 問 19-1 で「3」～「9」を回答した方にお伺いします。

対象のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。

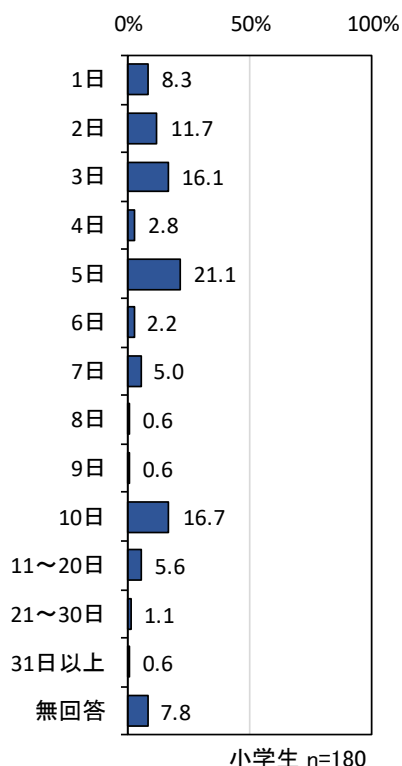
問 19-1 の「3」～「9」の日数のうち、仕事を休んでみたかった日数についてもご記入ください。
(○は1つ、□内に数字をご記入ください。)

父母のいずれかが仕事を休んでみたいかについては、「できれば仕事を休んでみたい」が 57.0%、「休んでみることは非常に難しい」が 24.7%となっている。

仕事を休んでみたいと回答した方の年間希望日数については、「5日」が 21.1%で最も高く、次いで「10日」が 16.7%となっている。



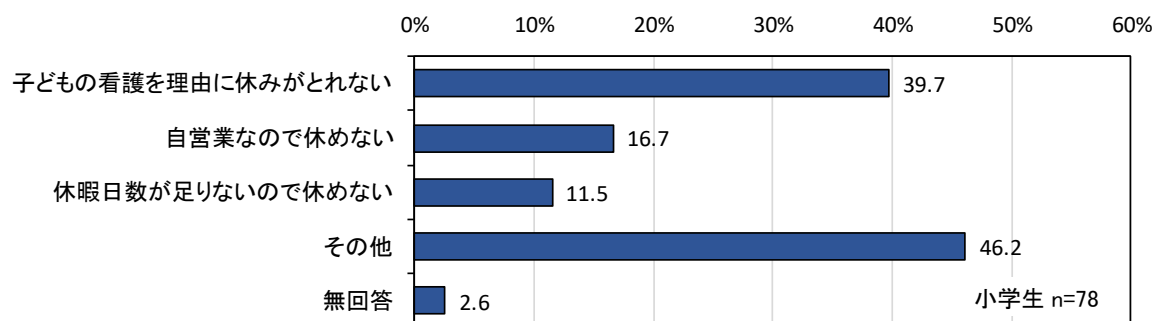
【仕事を休んでみたいと回答した方の年間希望日数】



問 19-6 問 19-5で「2」と回答した方にお伺いします。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

休んでみることは非常に難しい理由については、「その他」が 46.2%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 39.7%、「自営業なので休めない」が 16.7%となっている。

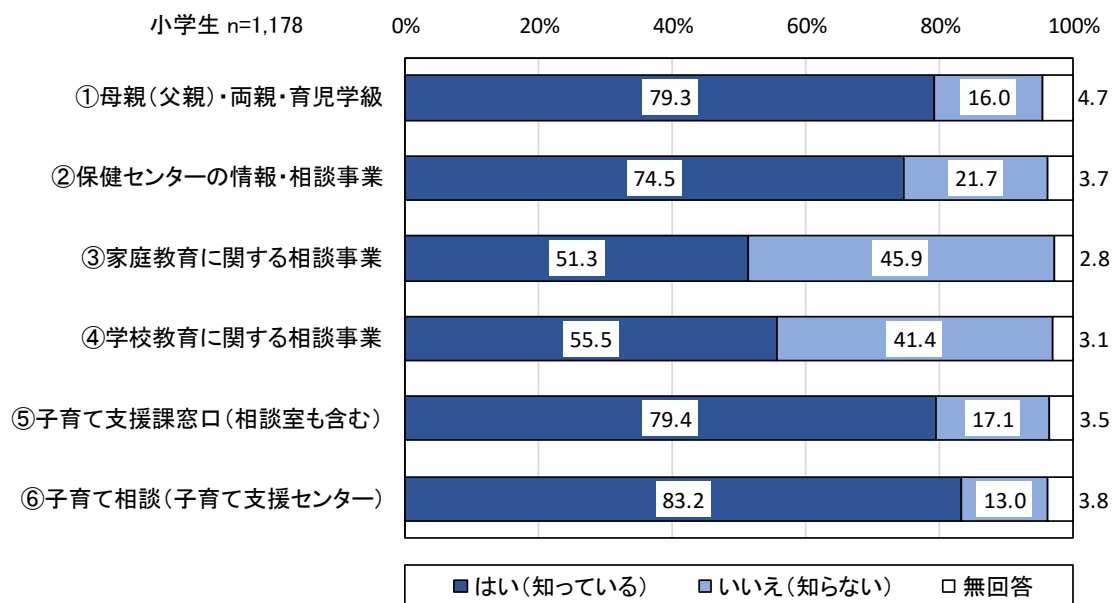


7. 子育て支援サービスの認知度や利用意向等について

問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したい事業についてお伺いします。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

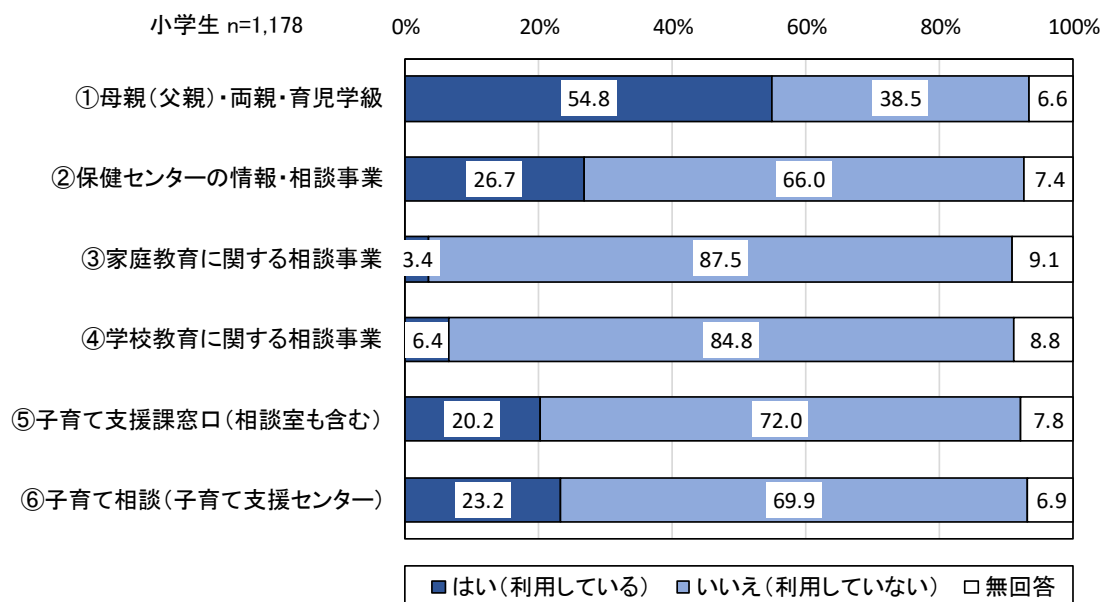
(1) 事業の認知度

事業の認知度について、「はい（知っている）」をみると、『⑥子育て相談（子育て支援センター）』が83.2%で最も高く、次いで『⑤子育て支援課窓口（相談室も含む）』が79.4%、『①母親（父親）・両親・育児学級』が79.3%となっている。「はい（知っている）」の割合が最も低い事業は、『③家庭教育に関する相談事業』で51.3%となっている。



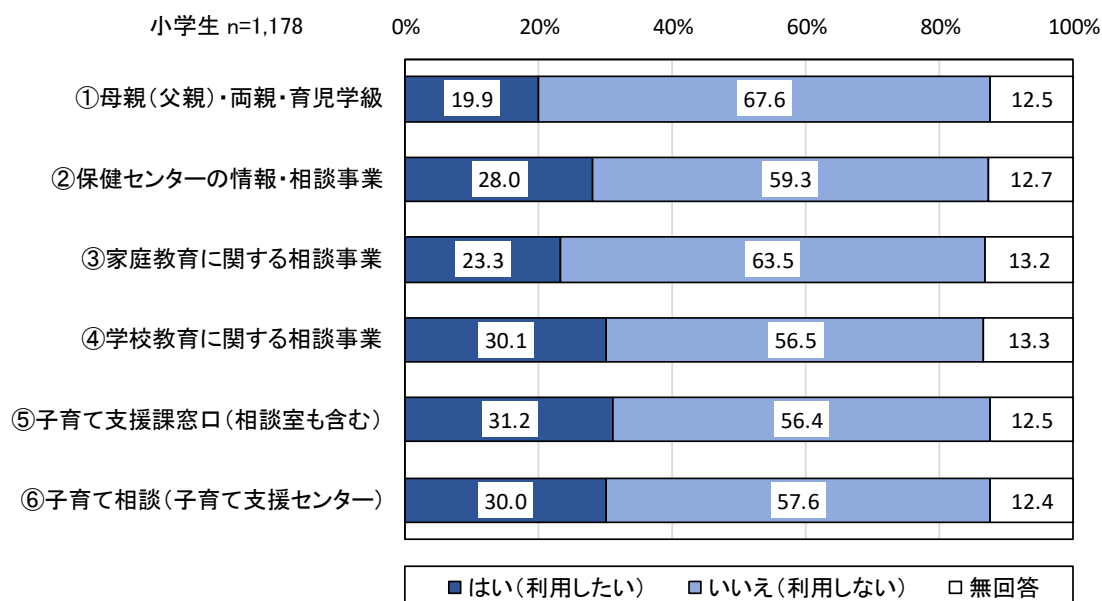
（２）事業の利用状況

事業の利用状況について、「はい（利用している）」をみると、『①母親（父親）・両親・育児学級』が54.8%で最も高く、次いで『②保健センターの情報・相談事業』が26.7%、『⑥子育て相談（子育て支援センター）』が23.2%となっている。「はい（利用している）」の割合が最も低い事業は、『③家庭教育に関する相談事業』で3.4%となっている。



（３）事業の利用意向

事業の利用意向について、「はい（利用したい）」をみると、『⑤子育て支援課窓口（相談室も含む）』が31.2%で最も高く、次いで『④学校教育に関する相談事業』が30.1%、『⑥子育て相談（子育て支援センター）』が30.0%となっている。「はい（利用したい）」の割合が最も低い事業は、『①母親（父親）・両親・育児学級』で19.9%となっている。



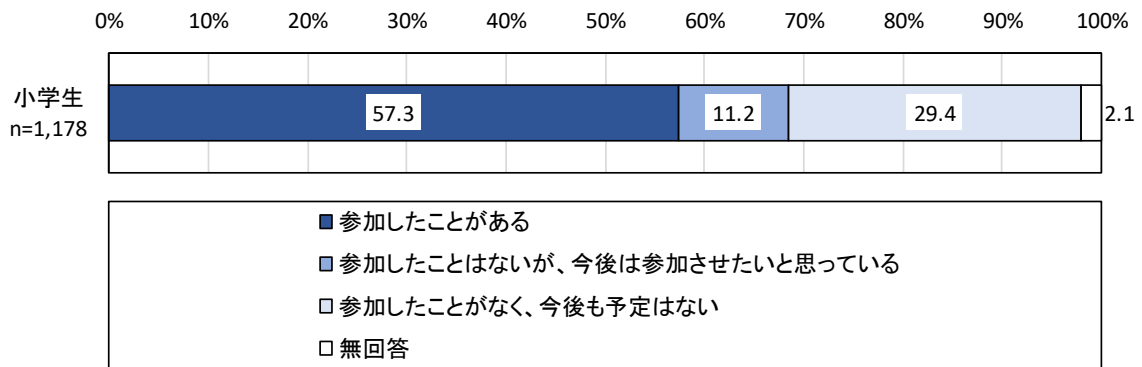
8. 地域活動やグループ活動等について

問 21 お子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。(○は1つ)

地域活動やグループ活動への参加状況については、「参加したことがある」が57.3%で最も高く、次いで「参加したことがなく、今後も予定はない」が29.4%、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」が11.2%となっている。

学年区分でみると、「参加したことがある」の割合は、高学年のほうが高く、6割を超えている。

地域別でみると、「参加したことがある」の割合は、海上地域、飯岡地域で6割を超え、他の地域と比べて高くなっている。



【学年区分】

項目		1	2	3	無回答	回答者数
		参加したことがある	参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている	参加したことがなく、今後も予定はない		
小学生		675	132	346	25	1,178
		57.3%	11.2%	29.4%	2.1%	100.0%
学年区分	低学年	230	70	153	9	462
	高学年	438	61	191	14	704
		62.2%	8.7%	27.1%	2.0%	100.0%

【地域別】

項目		1	2	3	無回答	回答者数
		参加したことがある	参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている	参加したことがなく、今後も予定はない		
小学生		675	132	346	25	1,178
		57.3%	11.2%	29.4%	2.1%	100.0%
地域別	旭地域	384	77	217	15	693
		55.4%	11.1%	31.3%	2.2%	100.0%
	海上地域	120	25	47	4	196
		61.2%	12.8%	24.0%	2.0%	100.0%
	飯岡地域	92	9	51	1	153
		60.1%	5.9%	33.3%	0.7%	100.0%
	干潟地域	72	21	28	3	124
		58.1%	16.9%	22.6%	2.4%	100.0%

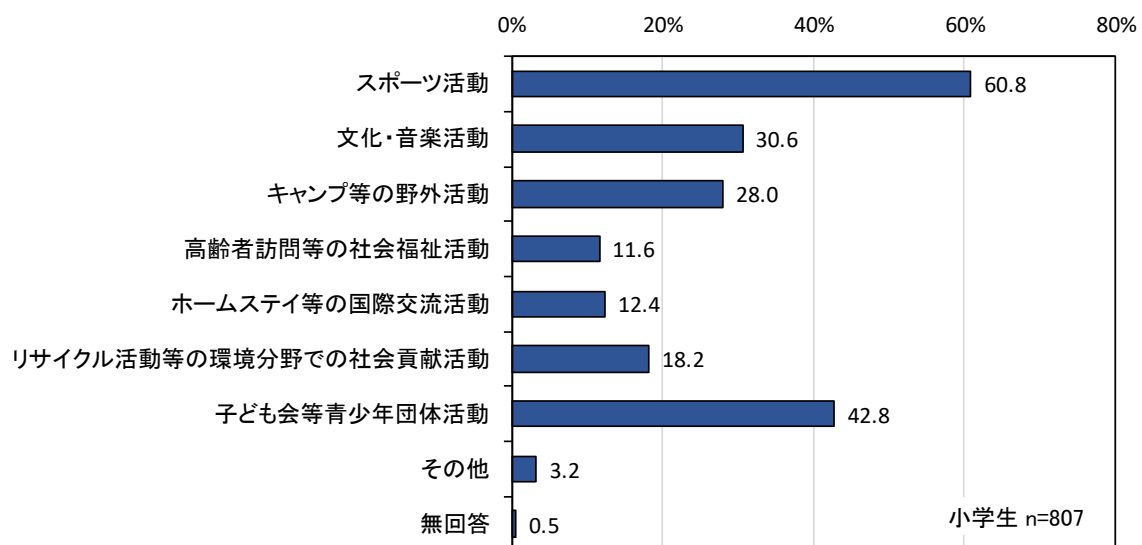
問21-1 問21で「1」または「2」を回答した方にお伺いします。

お子さんが参加したことがある、もしくは今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

参加したことがある、参加させたい地域活動やグループ活動の種類については、「スポーツ活動」が60.8%で最も高く、次いで「子ども会等青少年団体活動」が42.8%、「文化・音楽活動」が30.6%となっている。

学年区分でみると、各項目に大きな差はみられない。

地域別でみると、「スポーツ活動」では旭地域、飯岡地域、干潟地域で6割を超え、「文化・音楽活動」では旭地域、干潟地域で3割を超えている。また、「リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動」の割合は干潟地域が、「子ども会等青少年団体活動」の割合は海上地域が、他の地域と比べて高くなっている。



【学年区分】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	総回答数	回答者数
		スポーツ活動	文化・音楽活動	キャンプ等の野外活動	高齢者訪問等の社会福祉活動	ホームステイ等の国際交流活動	リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動	子ども会等青少年団体活動	その他			
小学生		491	247	226	94	100	147	345	26	4	1,680	807
学年区分	低学年	60.8%	30.6%	28.0%	11.6%	12.4%	18.2%	42.8%	3.2%	0.5%	208.2%	100.0%
		179	87	75	30	43	60	128	12	3	617	300
	高学年	59.7%	29.0%	25.0%	10.0%	14.3%	20.0%	42.7%	4.0%	1.0%	205.7%	100.0%
		307	156	147	64	54	84	213	14	1	1,040	499
		61.5%	31.3%	29.5%	12.8%	10.8%	16.8%	42.7%	2.8%	0.2%	208.4%	100.0%

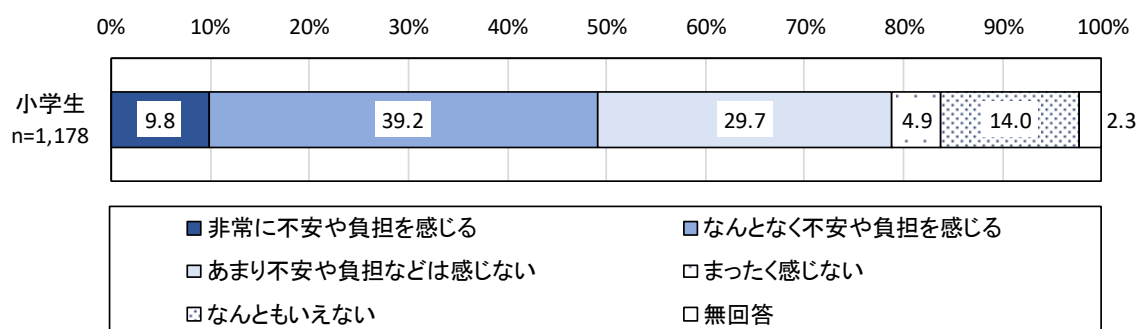
【地域別】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	総回答数	回答者数
		スポーツ活動	文化・音楽活動	キャンプ等の野外活動	高齢者訪問等の社会福祉活動	ホームステイ等の国際交流活動	リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動	子ども会等青少年団体活動	その他			
小学生		491	247	226	94	100	147	345	26	4	1,680	807
		60.8%	30.6%	28.0%	11.6%	12.4%	18.2%	42.8%	3.2%	0.5%	208.2%	100.0%
地域別	旭地域	287	146	131	54	57	81	203	12	1	972	461
		62.3%	31.7%	28.4%	11.7%	12.4%	17.6%	44.0%	2.6%	0.2%	210.8%	100.0%
	海上地域	79	40	43	20	20	28	74	4	1	309	145
		54.5%	27.6%	29.7%	13.8%	13.8%	19.3%	51.0%	2.8%	0.7%	213.1%	100.0%
	飯岡地域	62	26	24	9	7	8	40	6	1	183	101
		61.4%	25.7%	23.8%	8.9%	6.9%	7.9%	39.6%	5.9%	1.0%	181.2%	100.0%
	干潟地域	58	32	24	10	15	27	24	4	1	195	93
		62.4%	34.4%	25.8%	10.8%	16.1%	29.0%	25.8%	4.3%	1.1%	209.7%	100.0%

9. 子育てに関する悩みや不安感について

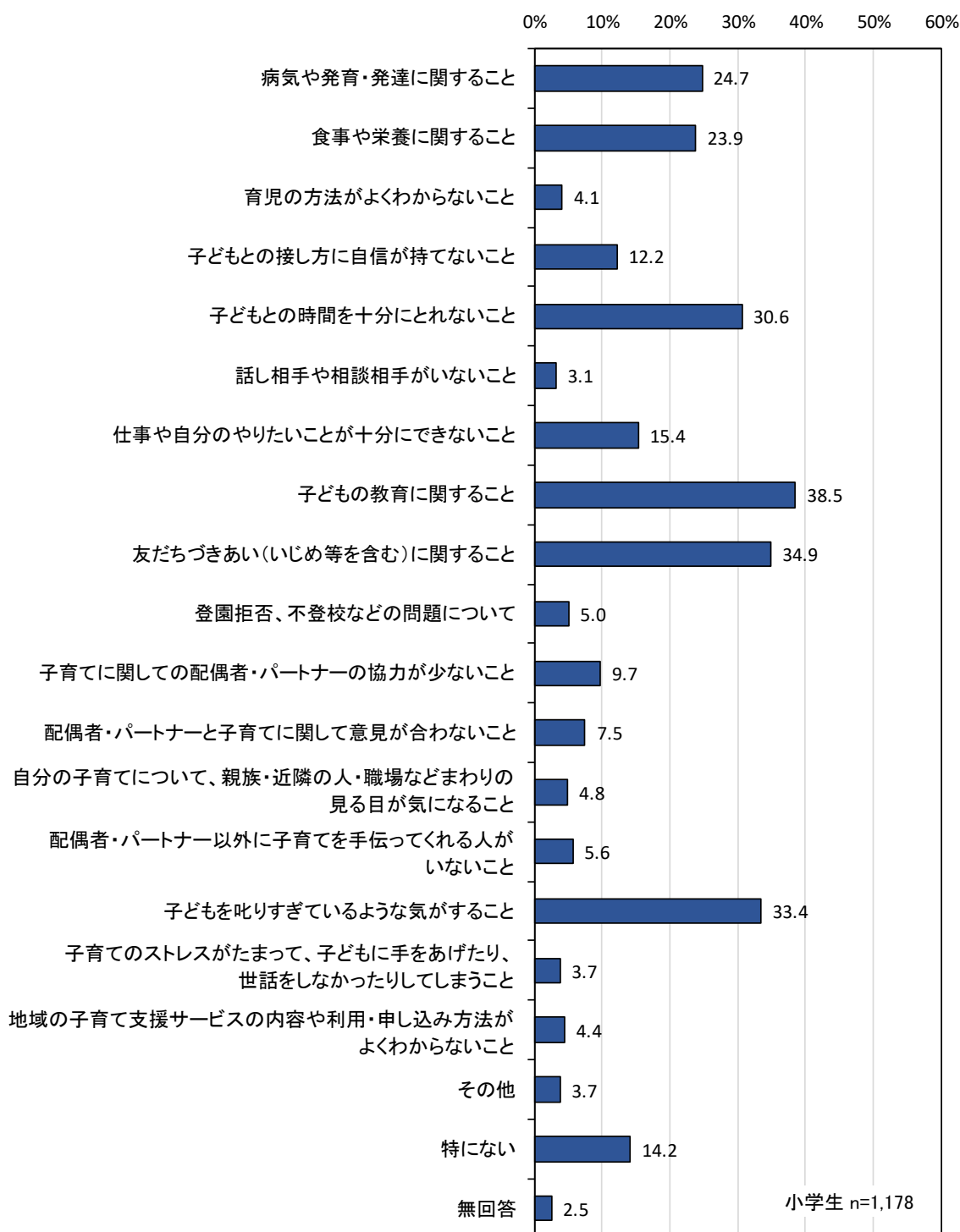
問 22 子育てに関して不安や負担などを、感じていますか。(○は1つ)

子育てに対する不安感や負担感については、「なんとなく不安や負担を感じる」が 39.2%で最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が 29.7%、「なんともいえない」が 14.0%となっている。



問 23 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

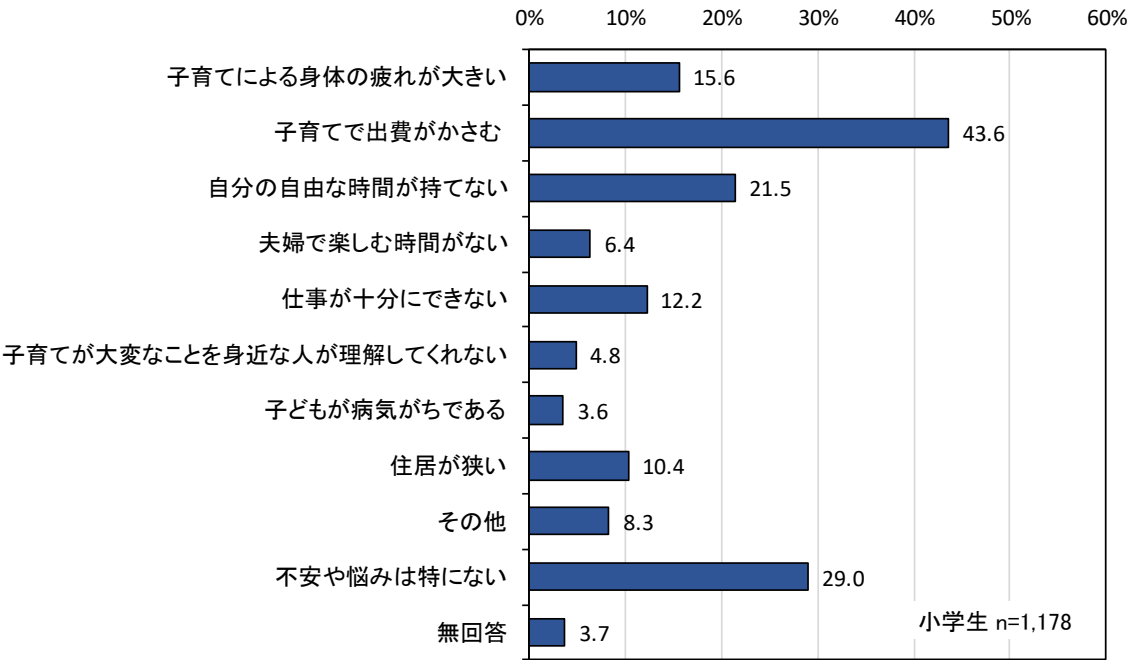
子育てに対する悩みなどについては、「子どもの教育に関すること」が38.5%で最も高く、次いで「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が34.9%、「子どもを叱りすぎているような気がする」とが33.4%となっている。



問 24 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

子育てをする上で、特に不安に思うことや悩んでいることについては、「子育てで出費がかさむ」が43.6%で最も高く、次いで「不安や悩みは特にない」が29.0%、「自分の自由な時間が持てない」が21.5%となっている。

学年区分でみると、「子育てによる身体の疲れが大きい」、「自分の自由な時間が持てない」の割合は、低学年のほうが高く、「子育てで出費がかさむ」の割合は、高学年のほうが高くなっている。



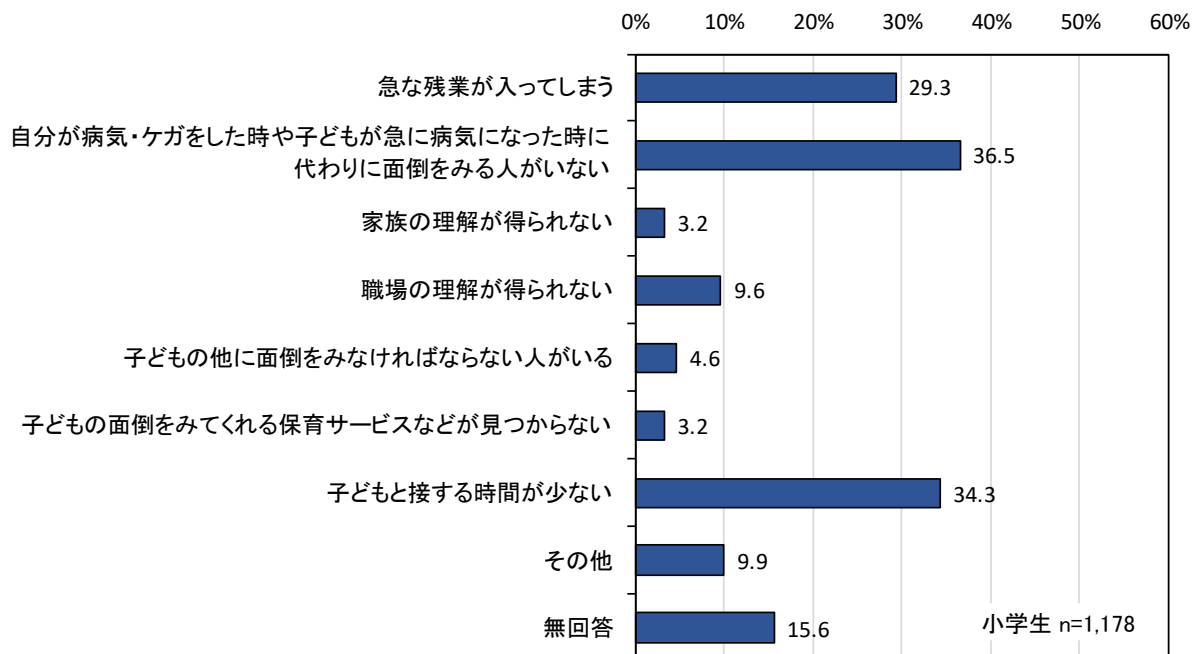
【学年区分】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		子育てによる身体の疲れが大きい	子育てで出費がかさむ	自分の自由な時間が持てない	夫婦で楽しむ時間がない	仕事が多忙でできない	子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	子どもが病気がちである	住居が狭い	その他	不安や悩みは特にない
小学生		184	514	253	75	144	57	42	122	98	342
		15.6%	43.6%	21.5%	6.4%	12.2%	4.8%	3.6%	10.4%	8.3%	29.0%
学年区分	低学年	92	185	118	42	66	27	29	54	44	120
		19.9%	40.0%	25.5%	9.1%	14.3%	5.8%	6.3%	11.7%	9.5%	26.0%
学年区分	高学年	91	326	133	31	77	30	13	67	54	217
		12.9%	46.3%	18.9%	4.4%	10.9%	4.3%	1.8%	9.5%	7.7%	30.8%

項目		無回答	総回答数	回答者数
小学生		44	1,875	1,178
		3.7%	159.2%	100.0%
学年区分	低学年	15	792	462
		3.2%	171.4%	100.0%
学年区分	高学年	26	1,065	704
		3.7%	151.3%	100.0%

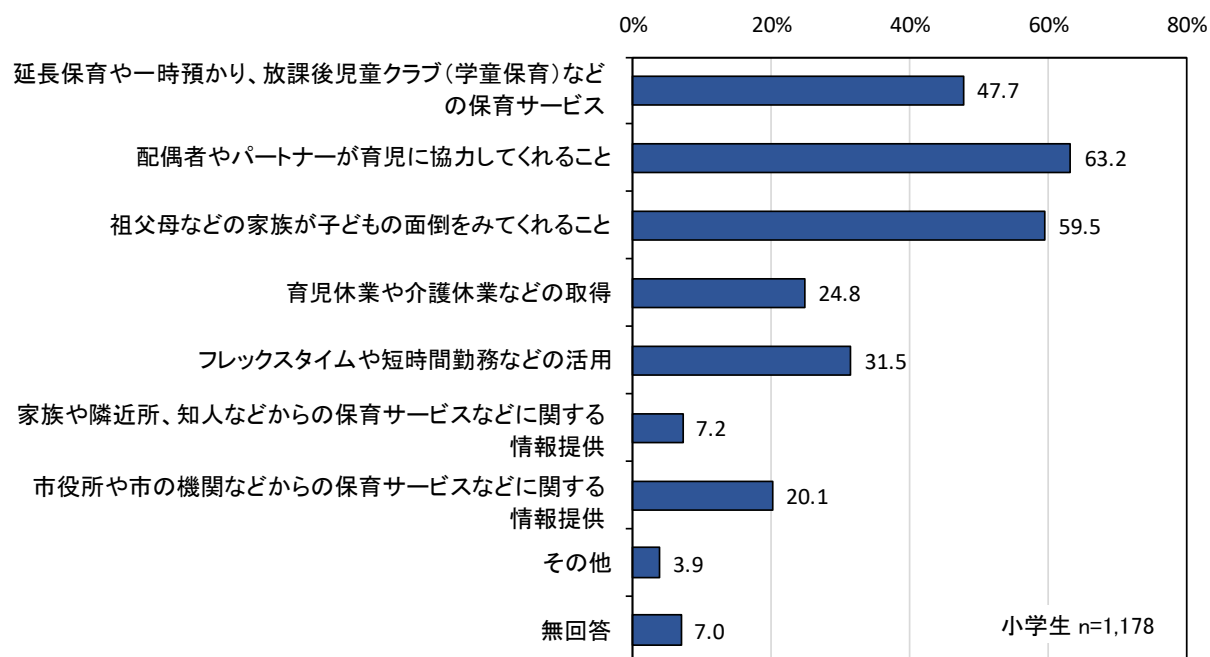
問 25 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。(〇は3つまで)

仕事と子育ての両立で大変だと感じることについては、「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が36.5%で最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が34.3%、「急な残業が入ってしまう」が29.3%となっている。



問 26 仕事と子育てを両立する上で必要なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

仕事と子育てを両立する上で必要なことについては、「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」が 63.2%で最も高く、次いで「祖父母などの家族が子どもの面倒をみてくれること」が 59.5%、「延長保育や一時預かり、放課後児童クラブ（学童保育）などの保育サービス」が 47.7% となっている。

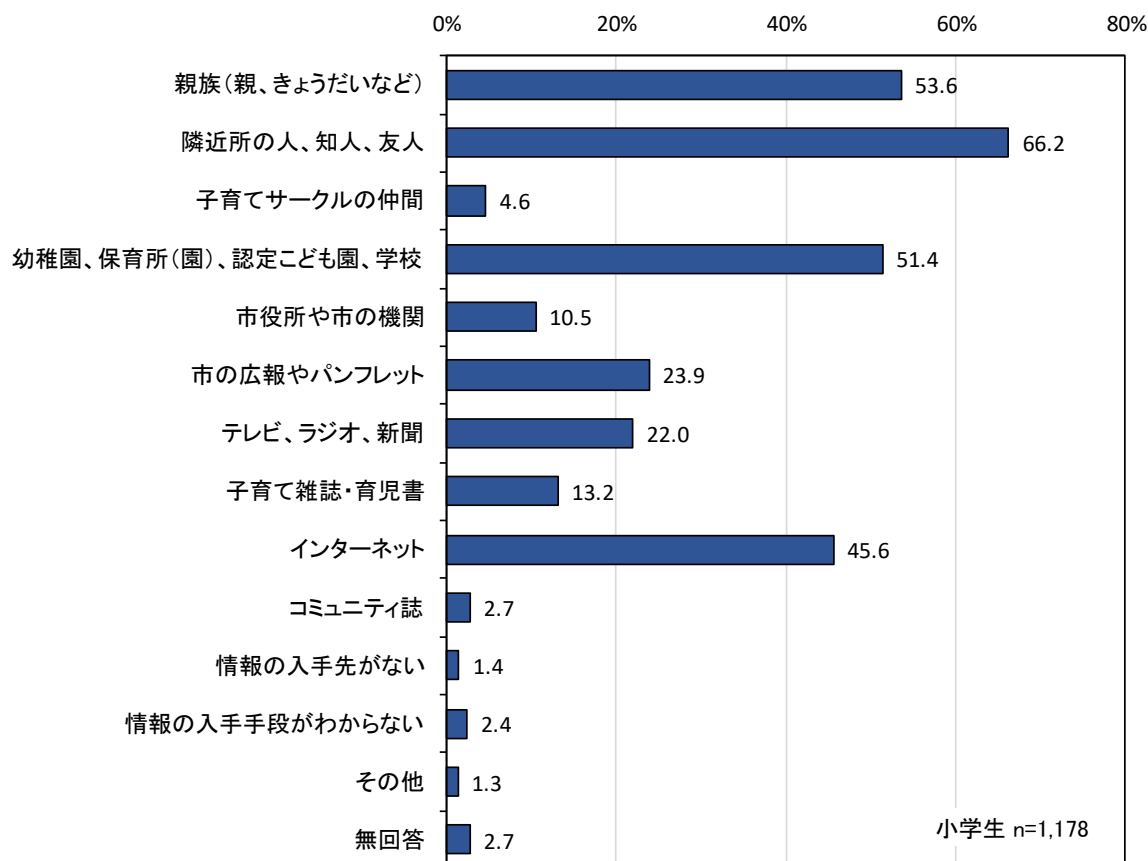


10. 子育てに関する情報の入手方法について

問 27 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに関する情報の入手先については、「隣近所の人、知人、友人」が 66.2%で最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」が 53.6%、「幼稚園、保育所（園）、認定こども園、学校」が 51.4%となっている。

学年区分でみると、「幼稚園、保育所（園）、認定こども園、学校」、「インターネット」の割合は、低学年のほうが高くなっている。



【学年区分】

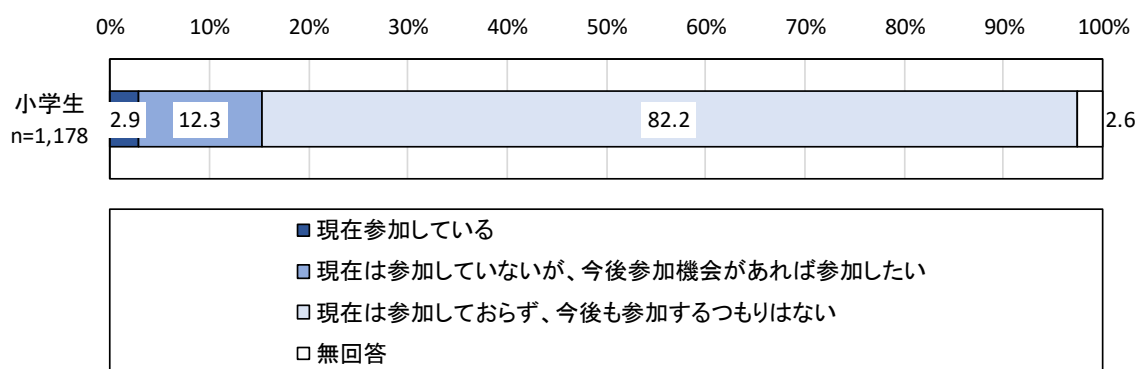
項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		親族(親、きょうだいなど)	隣近所の人、知人、友人	子育てサークルの仲間	幼稚園、保育所(園)、認定こども園、学校	市役所や市の機関	市の広報やパンフレット	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌・育児書	インターネット	コミュニティ誌	情報の入手先がない
小学生		631	780	54	605	124	281	259	155	537	32	17
		53.6%	66.2%	4.6%	51.4%	10.5%	23.9%	22.0%	13.2%	45.6%	2.7%	1.4%
学年区分	低学年	253	309	32	274	51	98	101	67	241	14	9
		54.8%	66.9%	6.9%	59.3%	11.0%	21.2%	21.9%	14.5%	52.2%	3.0%	1.9%
	高学年	374	465	22	327	72	181	157	87	292	18	8
		53.1%	66.1%	3.1%	46.4%	10.2%	25.7%	22.3%	12.4%	41.5%	2.6%	1.1%

項目		12	13	無回答	総回答数	回答者数
		情報の入手手段がわからない	その他			
小学生		28	15	32	3,550	1,178
		2.4%	1.3%	2.7%	301.4%	100.0%
学年区分	低学年	10	6	8	1,473	462
		2.2%	1.3%	1.7%	318.8%	100.0%
	高学年	18	9	20	2,050	704
		2.6%	1.3%	2.8%	291.2%	100.0%

11. 子育てサークルへの参加状況について

問 28 あなたは、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。（○は1つ）

子育てに関するサークルへの参加状況については、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が82.2%で最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後参加機会があれば参加したい」が12.3%、「現在参加している」が2.9%となっている。

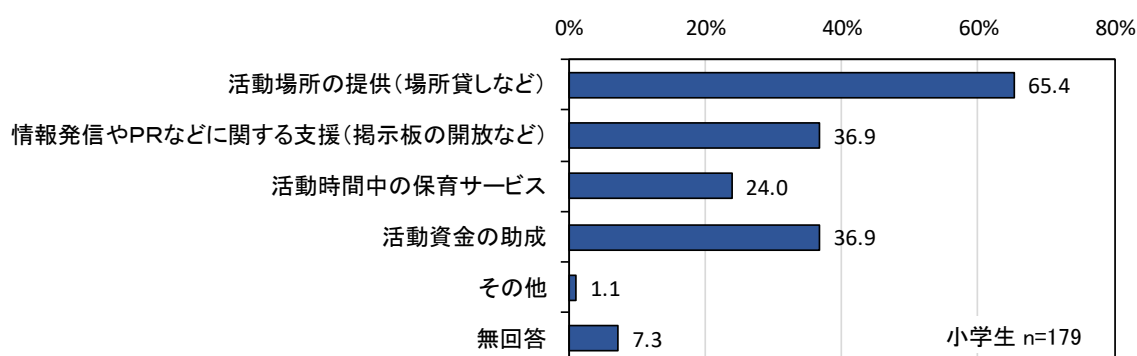


問 28-1 問 28 で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

自主的な活動をしていくにあたって行政に担ってほしい支援はどのようなものですか。

（あてはまるものすべてに○）

活動する上で行政に担ってほしい支援については、「活動場所の提供（場所貸しなど）」が65.4%で最も高く、次いで「情報発信やPRなどに関する支援（掲示板の開放など）」、「活動資金の助成」がともに36.9%、「活動時間中の保育サービス」が24.0%となっている。

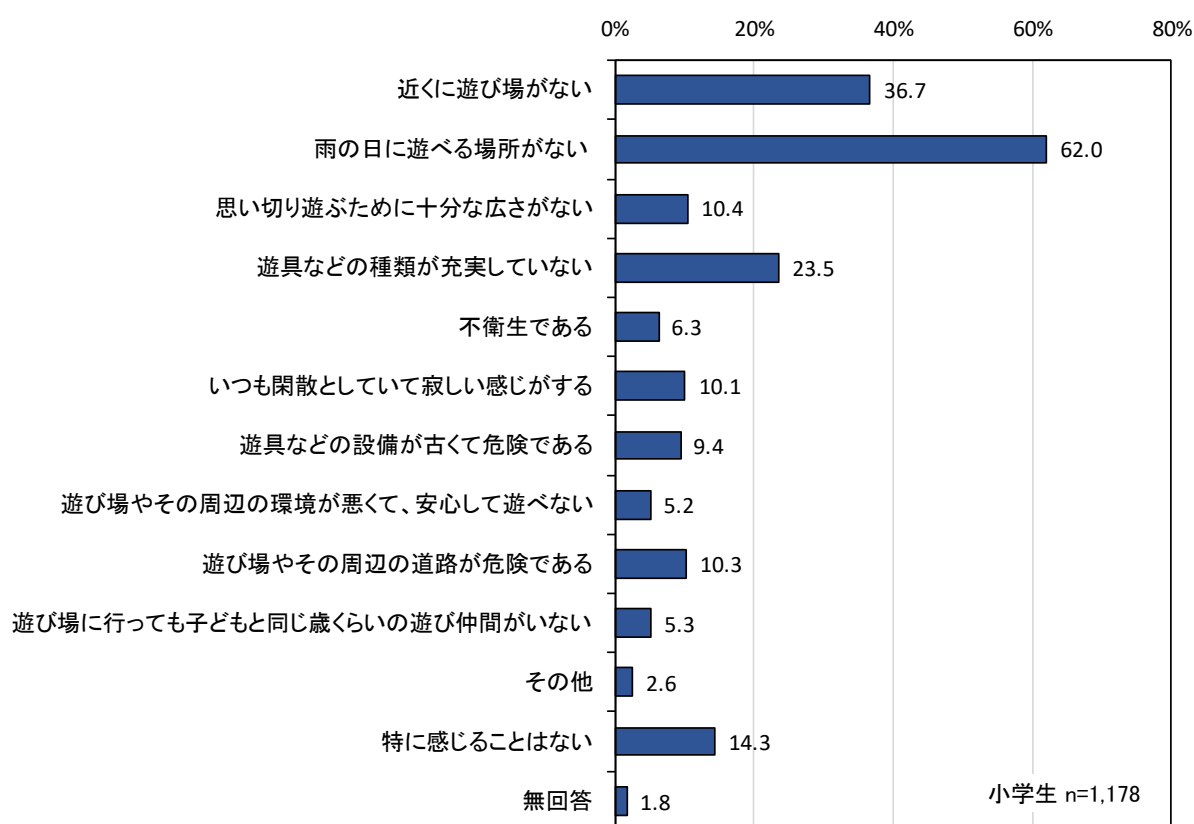


12. 子どもの遊び場について

問 29 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。（○は3つまで）

子どもの遊び場について、日頃感じていることについては、「雨の日に遊べる場所がない」が62.0%で最も高く、次いで「近くに遊び場がない」が36.7%、「遊具などの種類が充実していない」が23.5%となっている。

上位3位の項目を地域別でみると、「雨の日に遊べる場所がない」は旭地域、飯岡地域で6割を超え、他の地域と比べて高くなっている。また、「近くに遊び場がない」は干潟地域では約7割と、他の地域では3割程度に留まるなか、非常に高い割合を示している。「遊具などの種類が充実していない」は、飯岡地域では3割を超え、他の地域と比べて高くなっている。



Ⅲ 小学生の調査結果

【地域別】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		近くに遊び場がない	雨の日に遊べる場所がない	思い切り遊ぶために十分な広さがない	遊具などの種類が充実していない	不衛生である	いつも閑散としていて寂しい感じがする	遊具などの設備が古くて危険である	遊び場やその周辺環境が悪くて、安心して遊べない	遊び場やその周辺の道路が危険である	遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がない	その他
小学生		432 36.7%	730 62.0%	123 10.4%	277 23.5%	74 6.3%	119 10.1%	111 9.4%	61 5.2%	121 10.3%	62 5.3%	31 2.6%
地域別	旭地域	241 34.8%	440 63.5%	77 11.1%	171 24.7%	43 6.2%	76 11.0%	62 8.9%	32 4.6%	69 10.0%	32 4.6%	16 2.3%
		57 29.1%	117 59.7%	16 8.2%	28 14.3%	14 7.1%	16 8.2%	15 7.7%	12 6.1%	25 12.8%	8 4.1%	6 3.1%
	海上地域	43 28.1%	98 64.1%	16 10.5%	48 31.4%	11 7.2%	12 7.8%	14 9.2%	12 7.8%	15 9.8%	11 7.2%	4 2.6%
		85 68.5%	68 54.8%	13 10.5%	28 22.6%	6 4.8%	14 11.3%	20 16.1%	5 4.0%	11 8.9%	11 8.9%	5 4.0%
	飯岡地域											
	干潟地域											

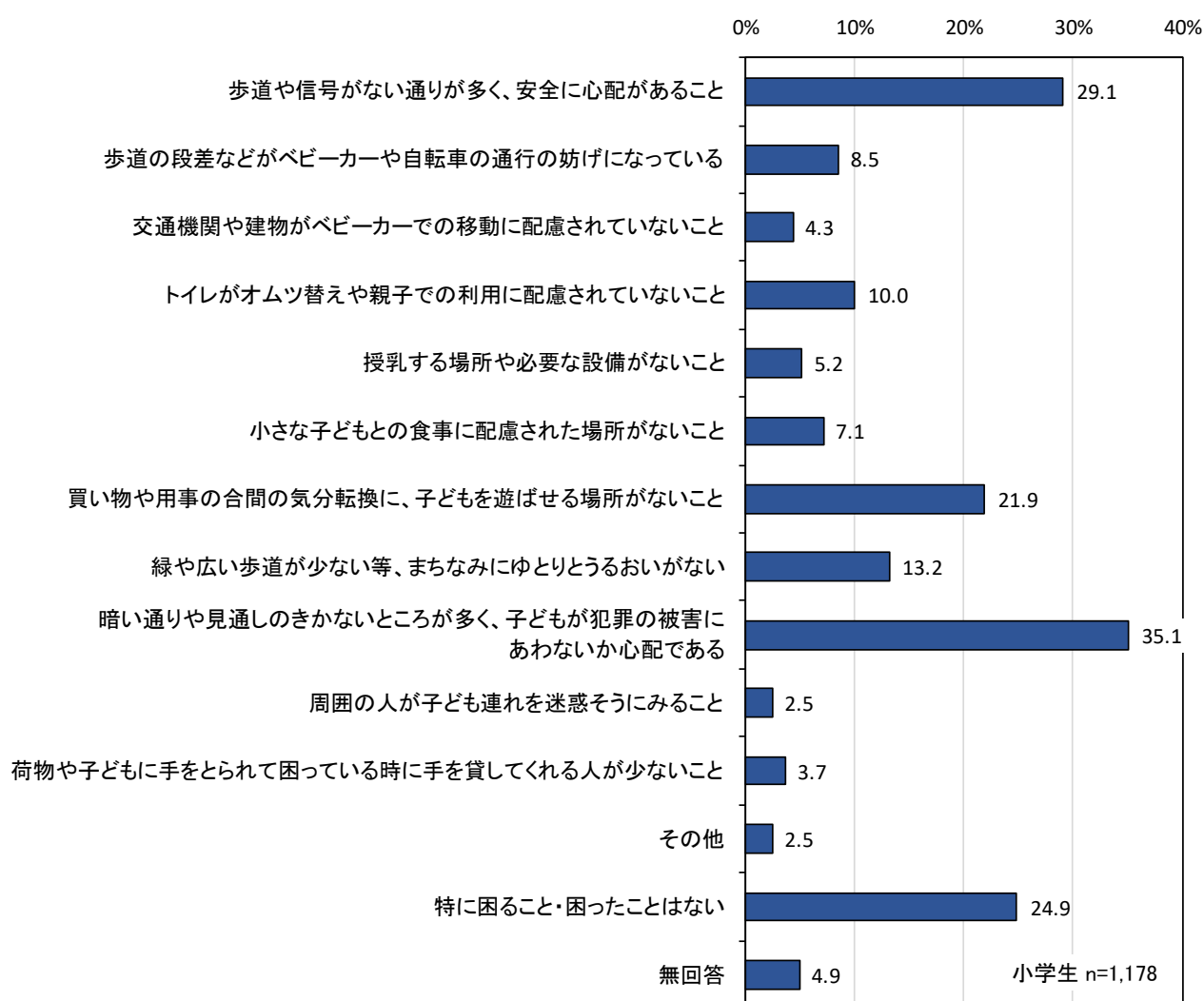
項目		12			
		特に感じることはない	無回答	総回答数	回答者数
小学生		169 14.3%	21 1.8%	2,331 197.9%	1,178 100.0%
地域別	旭地域	105 15.2%	9 1.3%	1,373 198.1%	693 100.0%
		31 15.8%	3 1.5%	348 177.6%	196 100.0%
	海上地域	21 13.7%	6 3.9%	311 203.3%	153 100.0%
		10 8.1%	2 1.6%	278 224.2%	124 100.0%
	飯岡地域				
	干潟地域				

13. 外出の際に困ることについて

問 30 お子さんとの外出の際に困ること・困ったことは何ですか。(〇は3つまで)

外出の際の困りごとについては、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」が35.1%で最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」が29.1%、「特に困ること・困ったことはない」が24.9%となっている。

地域別でみると、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」は海上地域、飯岡地域で約4割と、他の地域と比べて高くなっている。また、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」は干潟地域では3割を超え、他の地域と比べて高くなっている。



Ⅲ 小学生の調査結果

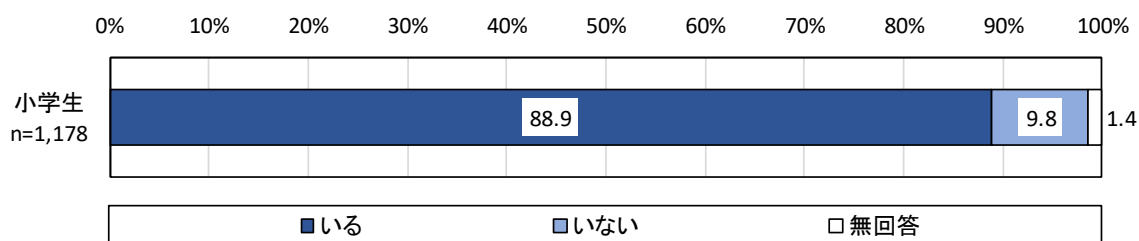
【地域別】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること	歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている	交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと	授乳する場所や必要な設備がないこと	小さな子どもとの食事の配慮された場所がないこと	買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと	緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりがない	暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である	周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること	荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ないこと
小学生		343 29.1%	100 8.5%	51 4.3%	118 10.0%	61 5.2%	84 7.1%	258 21.9%	155 13.2%	413 35.1%	29 2.5%	43 3.7%
地域別	旭地域	206 29.7%	70 10.1%	38 5.5%	67 9.7%	35 5.1%	43 6.2%	136 19.6%	102 14.7%	229 33.0%	12 1.7%	21 3.0%
	海上地域	53 27.0%	10 5.1%	5 2.6%	20 10.2%	12 6.1%	17 8.7%	47 24.0%	22 11.2%	79 40.3%	8 4.1%	10 5.1%
	飯岡地域	38 24.8%	9 5.9%	2 1.3%	16 10.5%	6 3.9%	12 7.8%	30 19.6%	21 13.7%	60 39.2%	7 4.6%	7 4.6%
	干潟地域	43 34.7%	10 8.1%	5 4.0%	14 11.3%	7 5.6%	12 9.7%	44 35.5%	9 7.3%	42 33.9%	2 1.6%	4 3.2%
項目		12 その他	13 特に困ること・困ったことはない	無回答	総回答数	回答者数						
小学生		29 2.5%	293 24.9%	58 4.9%	2,035 172.8%	1,178 100.0%						
地域別	旭地域	17 2.5%	189 27.3%	35 5.1%	1,200 173.2%	693 100.0%						
	海上地域	4 2.0%	34 17.3%	15 7.7%	336 171.4%	196 100.0%						
	飯岡地域	4 2.6%	36 23.5%	6 3.9%	254 166.0%	153 100.0%						
	干潟地域	4 3.2%	30 24.2%	1 0.8%	227 183.1%	124 100.0%						

14. お子さんの医療について

問 31 お子さんにかかりつけ医はいますか。(〇は1つ)

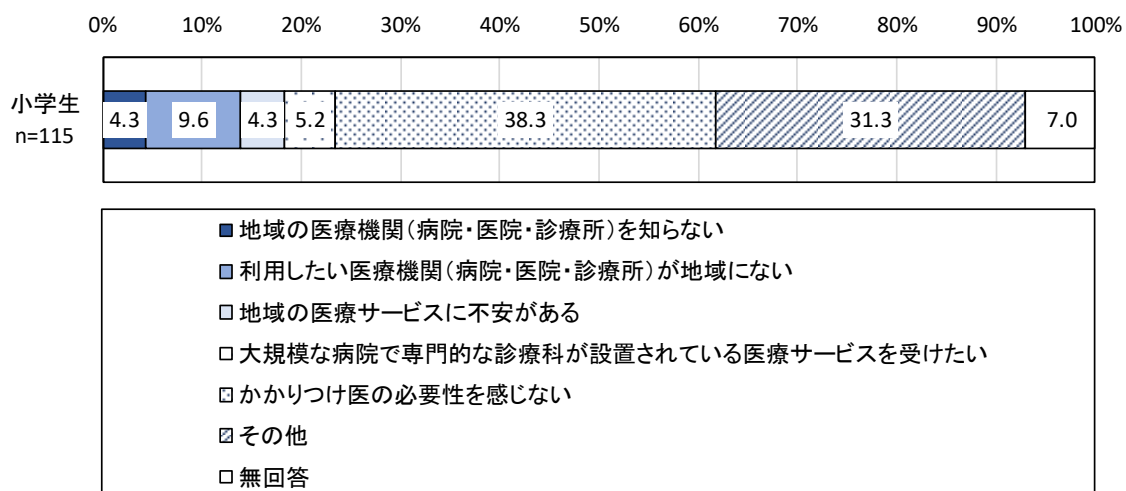
かかりつけ医の有無については、「いる」が88.9%、「いない」が9.8%となっている。



問 31-1 問 31 で「2」と回答した方にお伺いします。

現在いない理由は何ですか。(〇は1つ)

いない理由については、「かかりつけ医の必要性を感じない」が38.3%で最も高く、次いで「その他」が31.3%、「利用したい医療機関(病院・医院・診療所)が地域にない」が9.6%となっている。

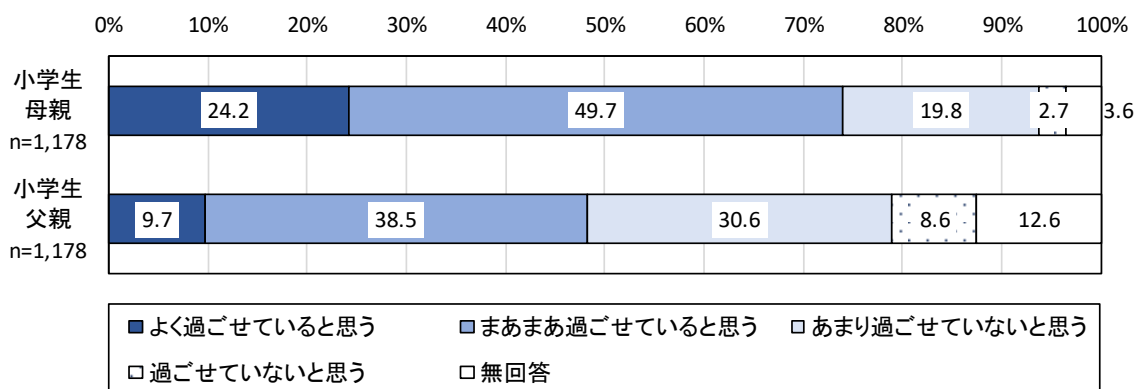


15. お子さんとの生活全般について

問 32 あなたは、お子さんと十分な時間を過ごせていると思いますか。（それぞれ〇は1つ）

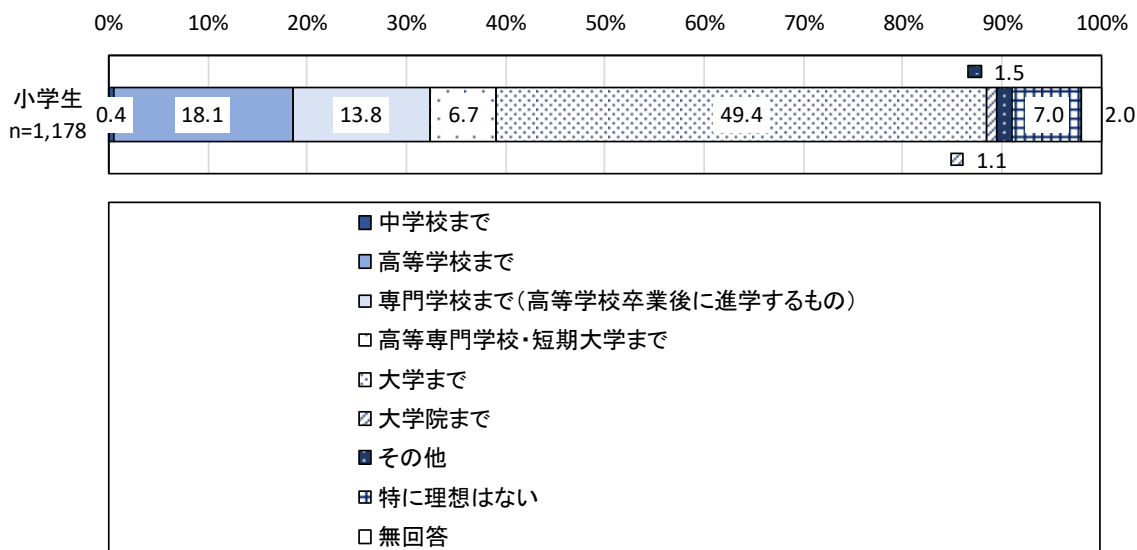
母親が感じている子どもとの時間については、「まあまあ過ごせていると思う」が 49.7%で最も高く、次いで「よく過ごせていると思う」が 24.2%、「あまり過ごせていないと思う」が 19.8%となっている。

父親が感じている子どもとの時間については、「まあまあ過ごせていると思う」が 38.5%で最も高く、次いで「あまり過ごせていないと思う」が 30.6%、「よく過ごせていると思う」が 9.7%となっている。



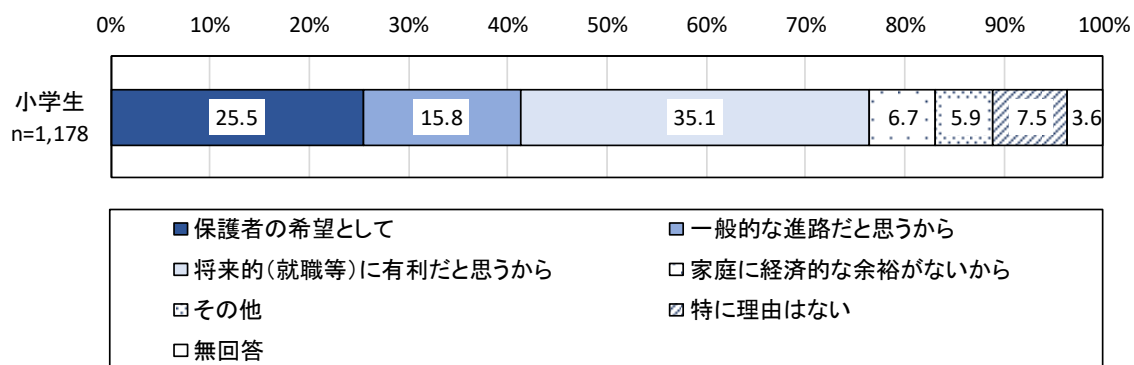
問 33 あなたは、お子さんの進路に対して、理想とする進路はどの段階までですか。（〇は1つ）

理想の進路については、「大学まで」が 49.4%で最も高く、次いで「高等学校まで」が 18.1%、「専門学校まで（高等学校卒業後に進学するもの）」が 13.8%となっている。



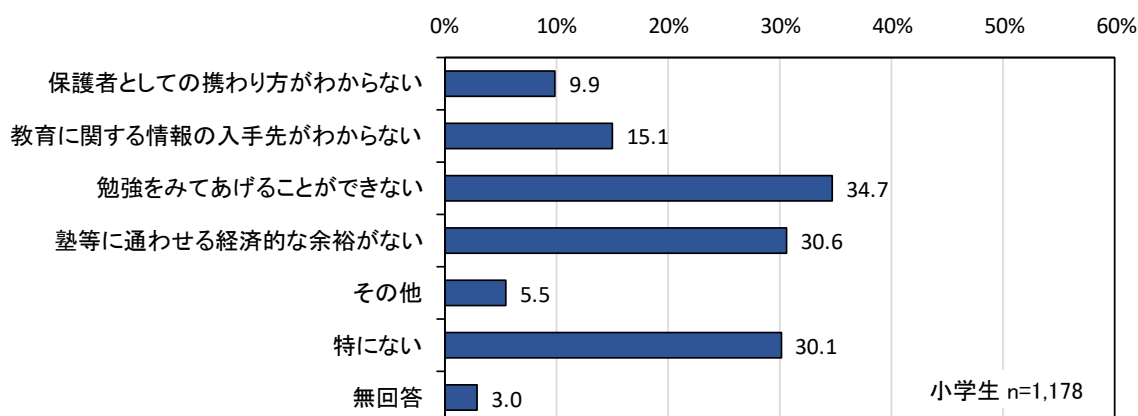
問 34 理想とする進路として回答した理由は何ですか。(〇は1つ)

理想の進路として回答した理由については、「将来的（就職等）に有利だと思うから」が 35.1%で最も高く、次いで「保護者の希望として」が 25.5%、「一般的な進路だと思うから」が 15.8%となっている。



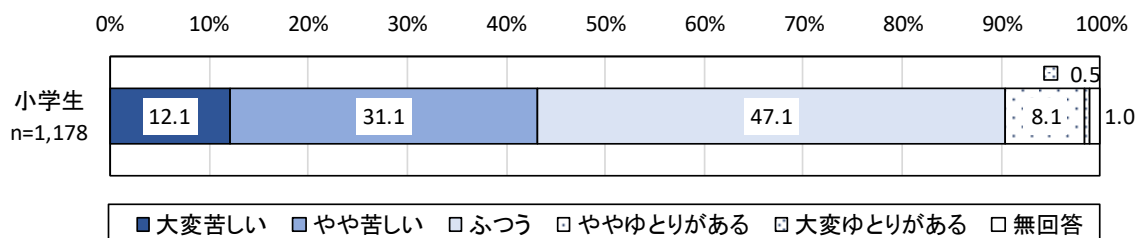
問 35 お子さんの今後の教育に関して心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

今後の教育への心配ごとについては、「勉強をみてあげることができない」が 34.7%で最も高く、次いで「塾等に通わせる経済的な余裕がない」が 30.6%、「特にない」が 30.1%となっている。



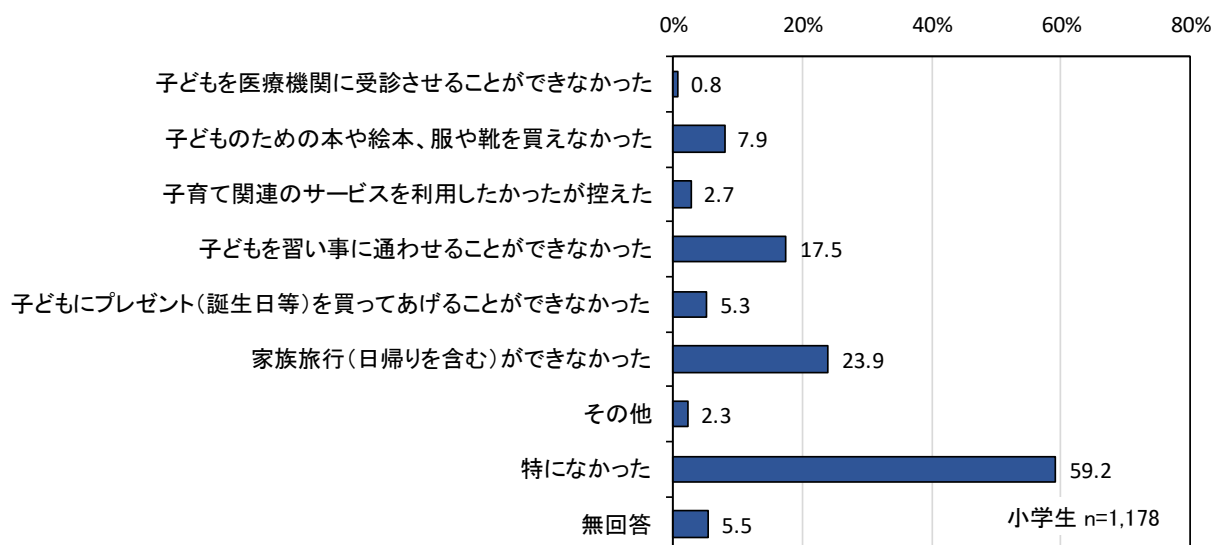
問 36 あなたの世帯は、現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

世帯の経済的状況については、「ふつう」が47.1%で最も高く、次いで「やや苦しい」が31.1%、「大変苦しい」が12.1%となっている。



問 37 あなたの世帯は、おおむね1年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに〇)

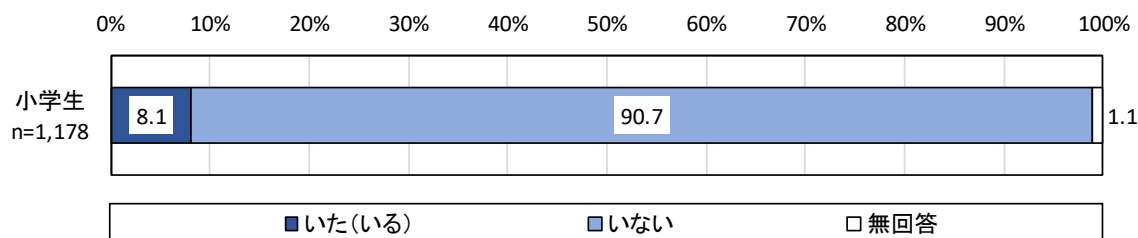
経済的な理由での経験については、「特になかった」が59.2%で最も高く、次いで「家族旅行(日帰りを含む)ができなかった」が23.9%、「子どもを習い事に通わせることができなかった」が17.5%となっている。



16. 児童虐待について

問 38 あなたの周りに、児童虐待または児童虐待の疑いがある子どもがいた（いる）ことはありますか。
（○は1つ）

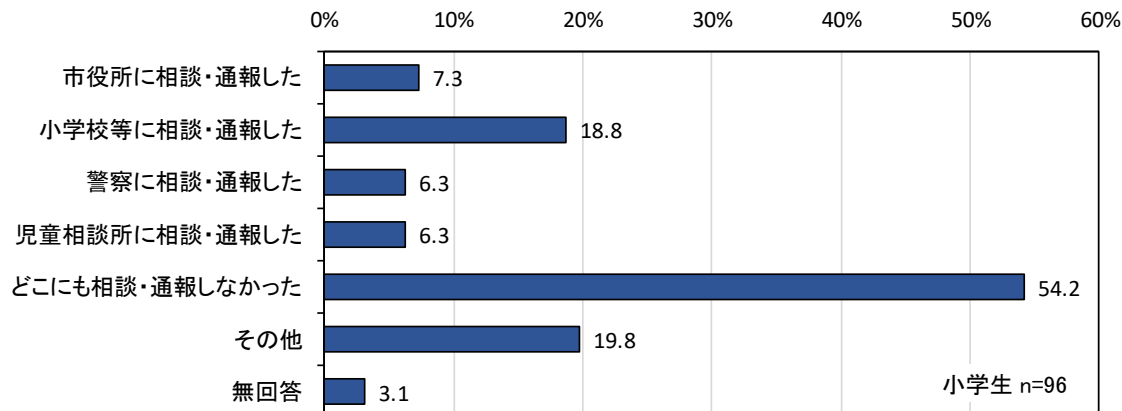
児童虐待の状況については、「いた（いる）」が8.1%、「いない」が90.7%となっている。



問 38-1 問 38 で「1. いた（いる）」と回答した方にお伺いします。

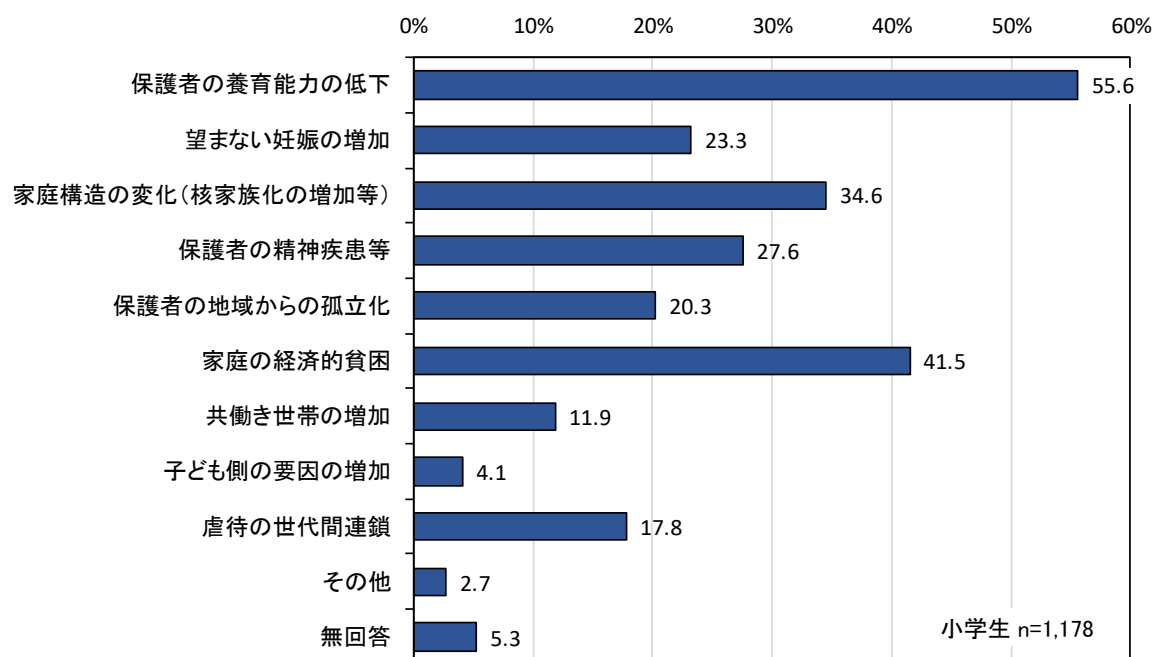
その際、どこかに相談・通報をしましたか。（あてはまるものすべてに○）

相談・通報の状況については、「どこにも相談・通報しなかった」が 54.2%で最も高く、次いで「その他」が 19.8%、「小学校等に相談・通報した」が 18.8%となっている。



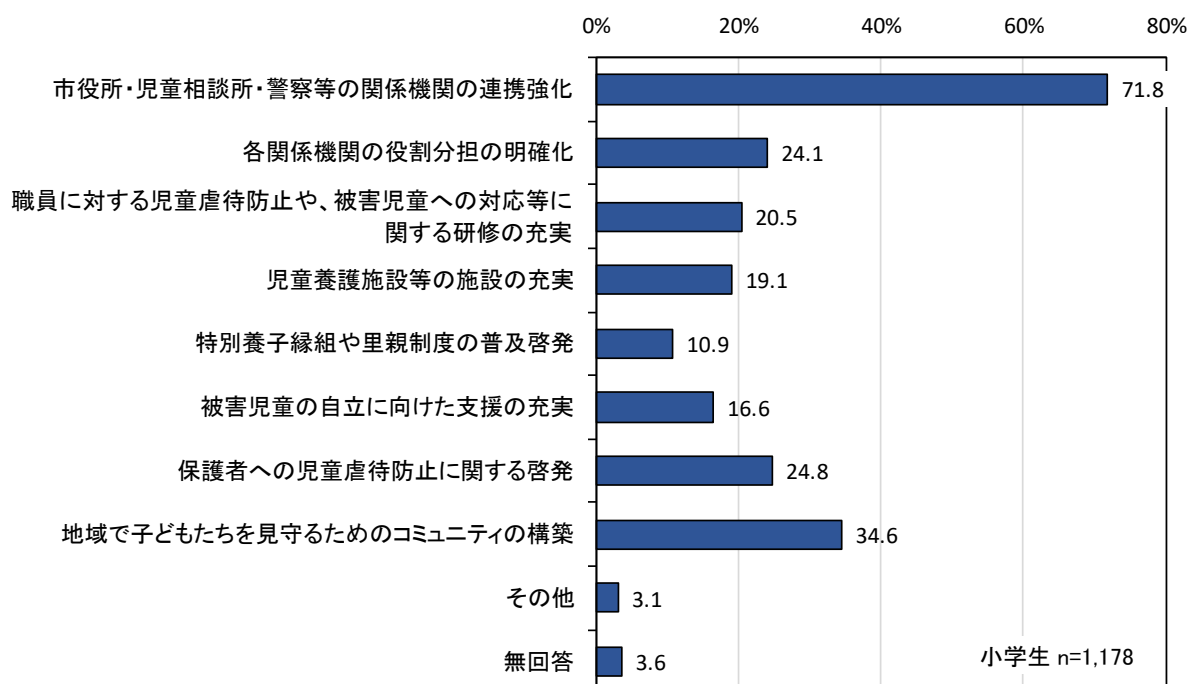
問 39 あなたが考える児童虐待が起きてしまう要因は何ですか。(〇は3つまで)

児童虐待が起きる要因については、「保護者の養育能力の低下」が55.6%で最も高く、次いで「家庭の経済的貧困」が41.5%、「家庭構造の変化（核家族化の増加等）」が34.6%となっている。



問 40 あなたは、児童虐待の早期対応や被害児童等に対する保護・支援として、どのような取組が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

児童虐待の被害児童等に対する保護・支援として必要だと思うことについては、「市役所・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」が71.8%で最も高く、次いで「地域で子どもたちを見守るためのコミュニティの構築」が34.6%、「保護者への児童虐待防止に関する啓発」が24.8%となっている。



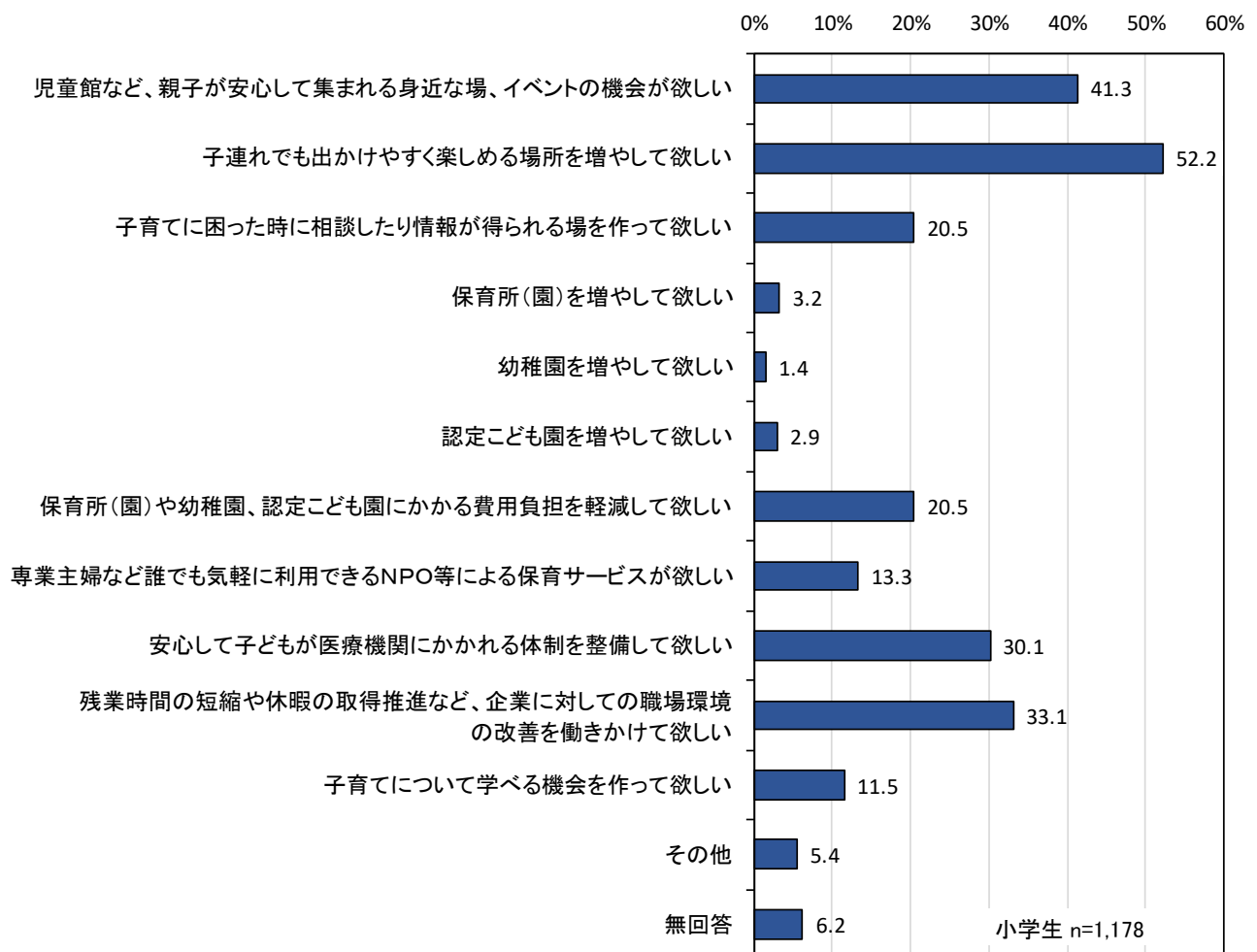
17. 子育て支援施策全般について

問 41 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。
(あてはまるものすべてに○)

市に期待する子育て支援については、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が52.2%で最も高く、次いで「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」が41.3%、「残業時間の短縮や休暇の取得推進など、企業に対しての職場環境の改善を働きかけて欲しい」が33.1%となっている。

学年区分でみると、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」、「子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作って欲しい」の割合は、低学年のほうが高く、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」、「残業時間の短縮や休暇の取得推進など、企業に対しての職場環境の改善を働きかけて欲しい」の割合は、高学年のほうが高くなっている。

上位2位の項目を地域別でみると、地域で大きな差はみられない。



【学年区分】

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい	子連れでも出かけやすい場所を増やして欲しい	子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作って欲しい	保育所（園）を増やして欲しい	幼稚園を増やして欲しい	認定こども園を増やして欲しい	保育所（園）や幼稚園、認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい	残業時間の短縮や休暇の取得推進など、企業に對しての職場環境の改善を働きかけて欲しい	子育てについて学べる機会を作って欲しい
小学生		487	615	241	38	17	34	241	157	355	390	136
		41.3%	52.2%	20.5%	3.2%	1.4%	2.9%	20.5%	13.3%	30.1%	33.1%	11.5%
学年区分	低学年	206	286	100	14	6	12	116	64	117	140	51
		44.6%	61.9%	21.6%	3.0%	1.3%	2.6%	25.1%	13.9%	25.3%	30.3%	11.0%
	高学年	278	326	137	24	11	21	121	92	234	250	85
		39.5%	46.3%	19.5%	3.4%	1.6%	3.0%	17.2%	13.1%	33.2%	35.5%	12.1%
項目		12	その他	無回答	総回答数	回答者数						
小学生		64	73	2,848	1,178							
		5.4%	6.2%	241.8%	100.0%							
学年区分	低学年	33	28	1,173	462							
		7.1%	6.1%	253.9%	100.0%							
	高学年	31	41	1,651	704							
		4.4%	5.8%	234.5%	100.0%							

【地域別】

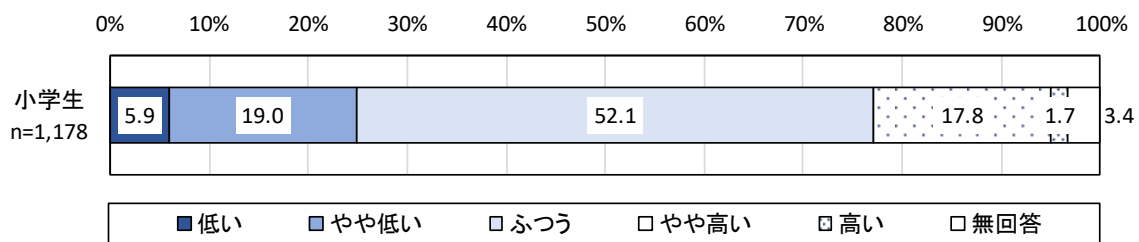
項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい	子連れでも出かけやすい場所を増やして欲しい	子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作って欲しい	保育所（園）を増やして欲しい	幼稚園を増やして欲しい	認定こども園を増やして欲しい	保育所（園）や幼稚園、認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい	専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい	残業時間の短縮や休暇の取得推進など、企業に對しての職場環境の改善を働きかけて欲しい	子育てについて学べる機会を作って欲しい
小学生		487 41.3%	615 52.2%	241 20.5%	38 3.2%	17 1.4%	34 2.9%	241 20.5%	157 13.3%	355 30.1%	390 33.1%	136 11.5%
地域別	旭地域	285 41.1%	354 51.1%	126 18.2%	25 3.6%	13 1.9%	26 3.8%	147 21.2%	90 13.0%	206 29.7%	253 36.5%	82 11.8%
		86 43.9%	107 54.6%	47 24.0%	6 3.1%	0 0.0%	3 1.5%	32 16.3%	30 15.3%	63 32.1%	61 31.1%	25 12.8%
	海上地域	61 39.9%	80 52.3%	35 22.9%	5 3.3%	2 1.3%	2 1.3%	34 22.2%	25 16.3%	49 32.0%	43 28.1%	13 8.5%
		飯岡地域	54 43.5%	68 54.8%	31 25.0%	2 1.6%	2 1.6%	3 2.4%	28 22.6%	11 8.9%	34 27.4%	32 25.8%
	干潟地域	54 43.5%	68 54.8%	31 25.0%	2 1.6%	2 1.6%	3 2.4%	28 22.6%	11 8.9%	34 27.4%	32 25.8%	15 12.1%
		干潟地域	54 43.5%	68 54.8%	31 25.0%	2 1.6%	2 1.6%	3 2.4%	28 22.6%	11 8.9%	34 27.4%	32 25.8%

項目		12	その他	無回答	総回答数	回答者数
小学生		64 5.4%	73 6.2%	2,848 241.8%	1,178 100.0%	
地域別	旭地域	40 5.8%	42 6.1%	1,689 243.7%	693 100.0%	
		7 3.6%	13 6.6%	480 244.9%	196 100.0%	
	海上地域	2 1.3%	8 5.2%	359 234.6%	153 100.0%	
		飯岡地域	14 11.3%	8 6.5%	302 243.5%	124 100.0%
	干潟地域	14 11.3%	8 6.5%	302 243.5%	124 100.0%	
		干潟地域	14 11.3%	8 6.5%	302 243.5%	124 100.0%

問 42 本市における子育ての環境や支援への満足度はいかがですか。(〇は1つ)

本市における子育ての環境や支援への満足度については、「ふつう」が 52.1%で最も高く、次いで「やや低い」が 19.0%、「やや高い」が 17.8%となっている。

地域別でみると、『低い』の割合（「低い」と「やや低い」の合計値）は、干潟地域で3割を超えている。また、『高い』の割合（「高い」と「やや高い」の合計値）は、旭地域、海上地域、飯岡地域では約2割である一方、干潟地域では約1割となっている。



【地域別】

項目		1	2	3	4	5	無回答	回答者数
		低い	やや低い	ふつう	やや高い	高い		
小学生		70	224	614	210	20	40	1,178
		5.9%	19.0%	52.1%	17.8%	1.7%	3.4%	100.0%
地域別	旭地域	46	121	363	127	12	24	693
		6.6%	17.5%	52.4%	18.3%	1.7%	3.5%	100.0%
		8	39	102	39	4	4	196
	海上地域	4.1%	19.9%	52.0%	19.9%	2.0%	2.0%	100.0%
		5	28	78	31	3	8	153
	飯岡地域	3.3%	18.3%	51.0%	20.3%	2.0%	5.2%	100.0%
		10	32	66	12	1	3	124
	干潟地域	8.1%	25.8%	53.2%	9.7%	0.8%	2.4%	100.0%

問 43 最後に、すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

全部で 343 の回答があり、内訳は以下のとおりである。ひとりの対象者が複数の項目に関して言及している場合もあるが、ここでは主な意見1つとして分類してある。

分類項目	件数
1. 放課後児童クラブ（学童保育）、子ども会、サポートについて	50 件
2. 学校教育について	46 件
3. 保健、医療について	9 件
4. 公園、遊び場、イベントについて	38 件
5. 市政について	65 件
6. 相談、預かり施設・窓口について	20 件
7. その他（新しい施設、施設の充実、安全環境整備、学習サポート、交通機関の充実、職場の理解・労働環境、衛生管理、アンケートについて等）	115 件

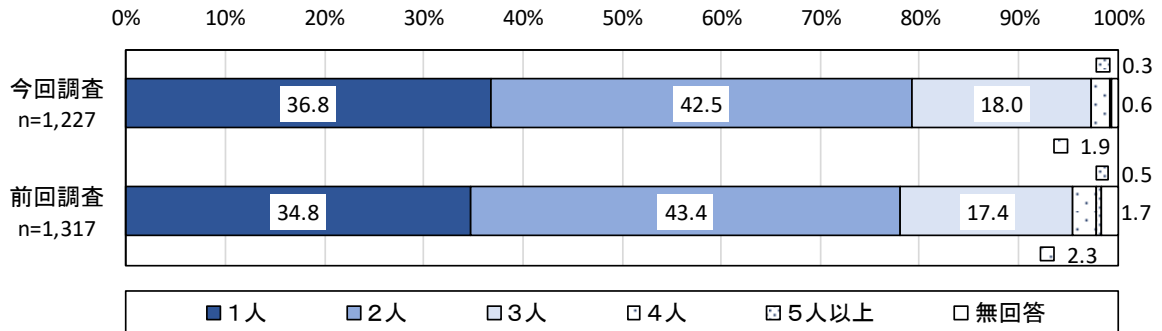
IV 前回調査結果との比較

(1) 子どもの数

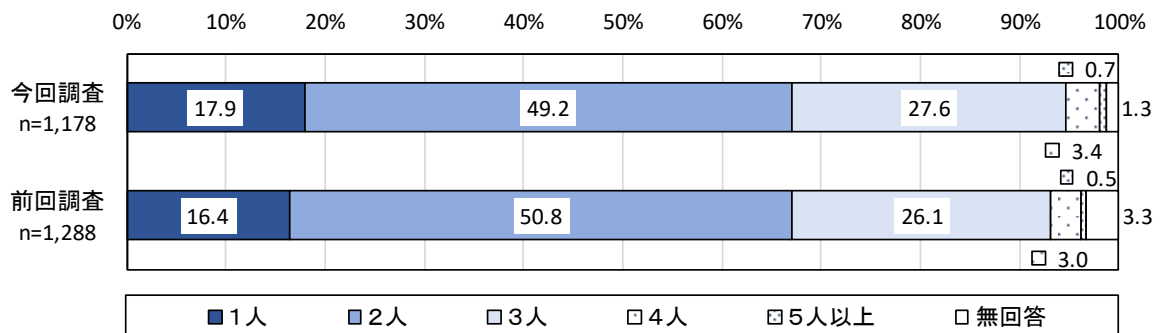
就学前児童における子どもの数については、前回調査との比較では、「1人」が2.0ポイント増加している。

小学生における子どもの数については、前回調査との比較では、「1人」、「3人」がともに1.5ポイント増加している。

【就学前児童】



【小学生】

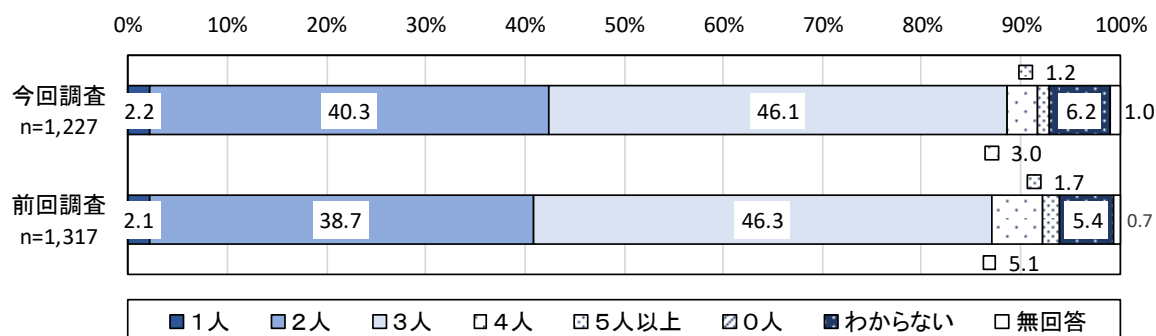


(2) 理想の子どもの数

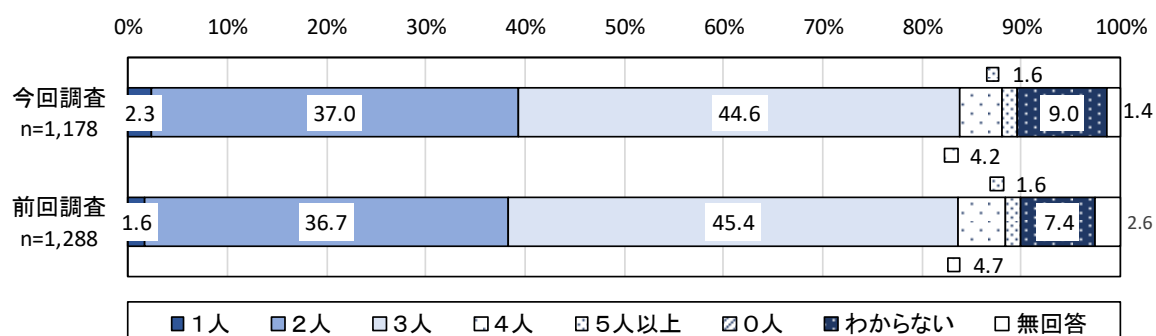
就学前児童における理想の子どもの数については、前回調査との比較では、「2人」が1.6ポイント増加している。

小学生における理想の子どもの数については、前回調査との比較では、「3人」が0.8ポイント減少している。

【就学前児童】



【小学生】

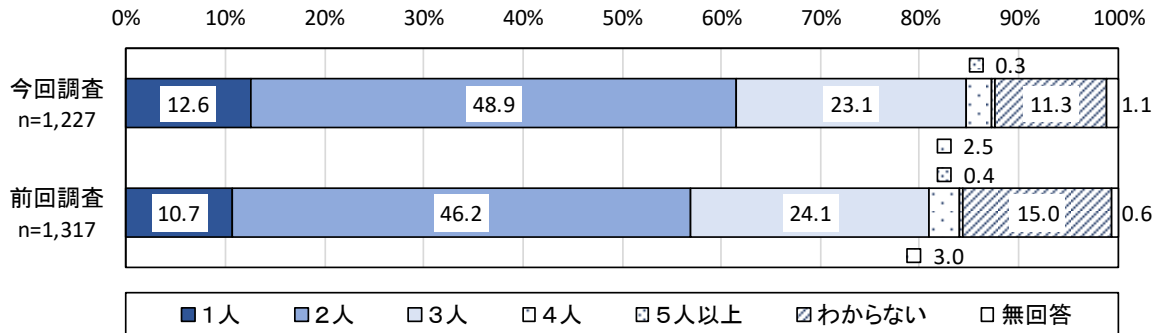


(3) 予定の子どもの数

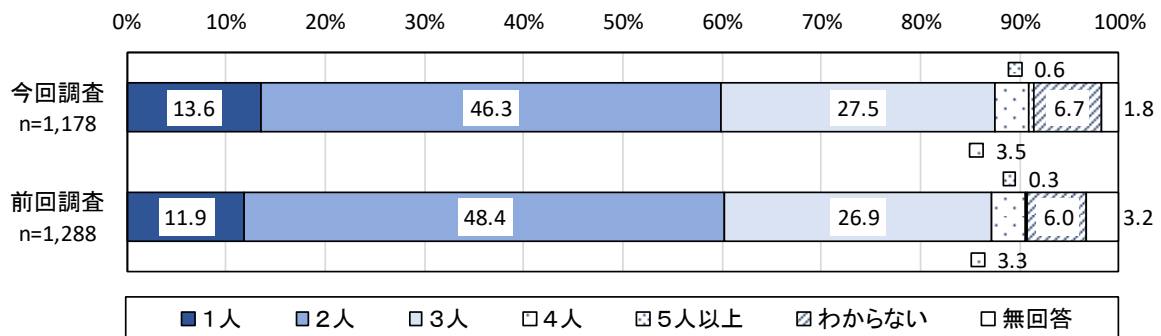
就学前児童における予定の子どもの数については、前回調査との比較では、「わからない」が3.7ポイント減少し、「1人」が1.9ポイント、「2人」が2.7ポイント増加している。

小学生における予定の子どもの数については、前回調査との比較では、「1人」が1.7ポイント増加し、「2人」が2.1ポイント減少している。

【就学前児童】



【小学生】

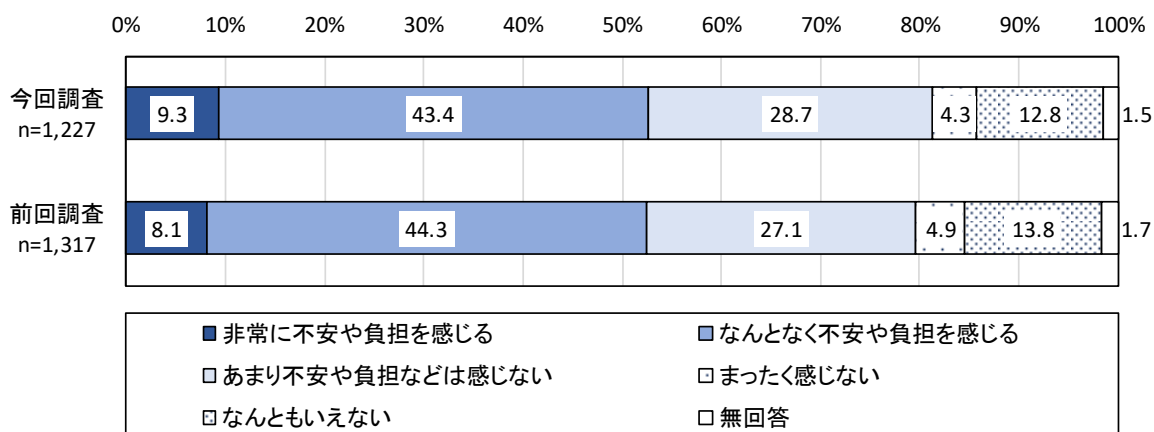


(4) 子育てに関する不安感や負担感

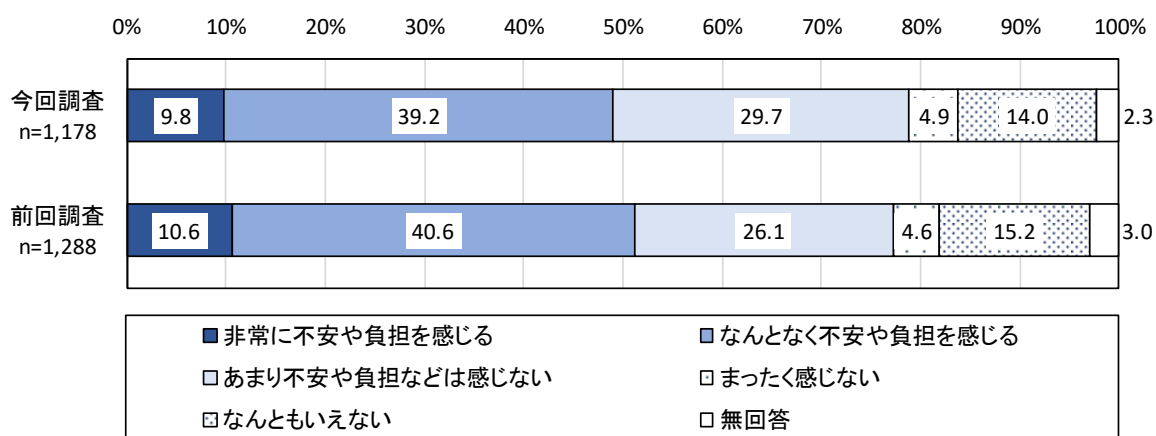
就学前児童における不安感や負担感については、前回調査との比較では、「非常に不安や負担を感じる」が 1.2 ポイント、「あまり不安や負担などは感じない」が 1.6 ポイント増加している。

小学生における不安感や負担感については、前回調査との比較では、「あまり不安や負担などは感じない」が 3.6 ポイント増加し、「非常に不安や負担を感じる」が 0.8 ポイント、「なんとなく不安や負担を感じる」が 1.4 ポイント減少している。

【就学前児童】



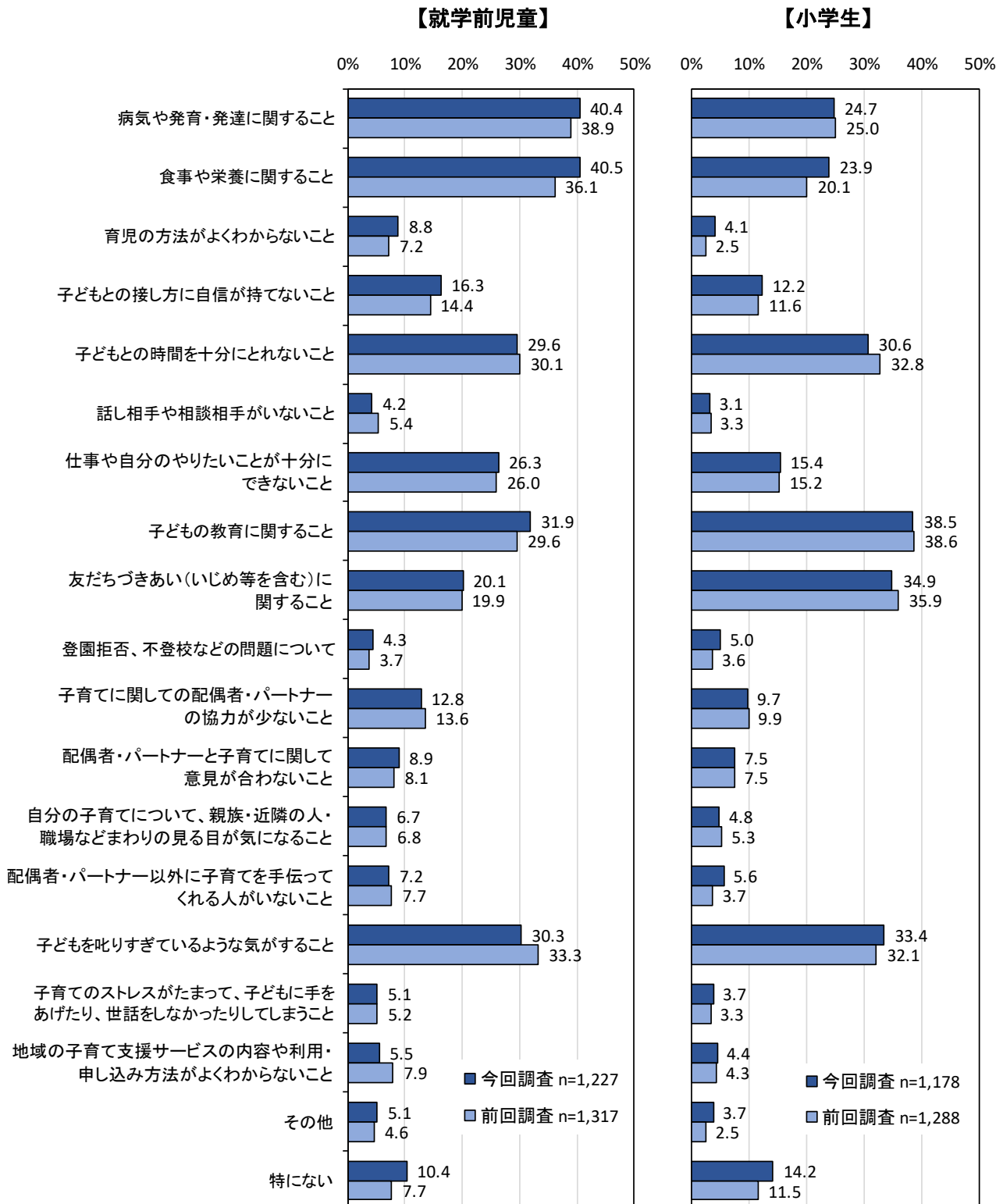
【小学生】



(5) 子育てに関して日常悩んでいること、気になること

就学前児童における日常の悩みごとなどについては、両調査とも、上位に挙げられている項目でみると、「病気や発達・発達に関すること」が1.5ポイント、「食事や栄養に関すること」が4.4ポイント増加している。一方で、割合が減少している項目をみると、「子どもを叱りすぎているような気がする」が3.0ポイント減少している。

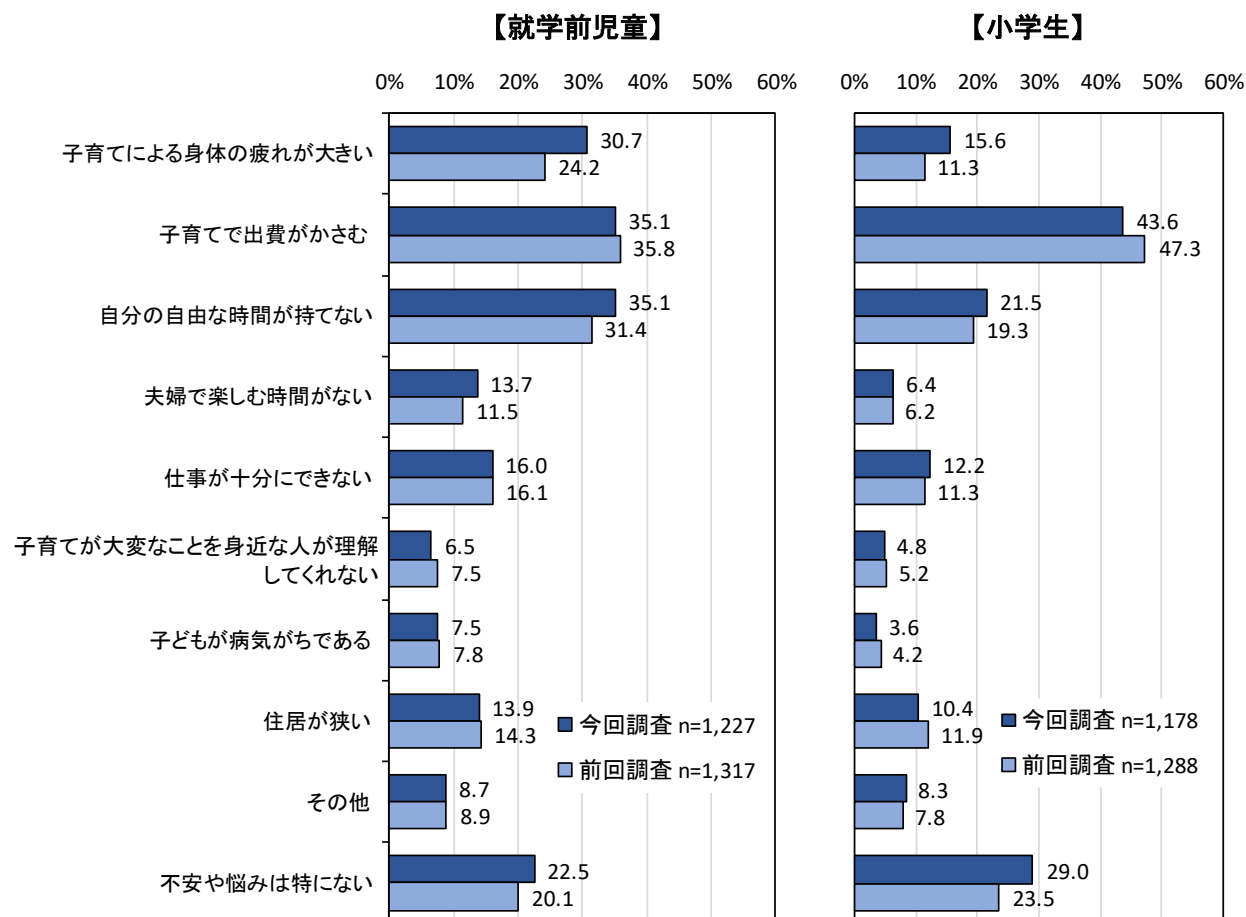
小学生における日常の悩みごとなどについては、両調査とも、上位に挙げられている項目では大きな変化はみられないが、「食事や栄養に関すること」で3.8ポイント増加している。また、「子どもとの時間を十分にとれないこと」では2.2ポイント減少している。



(6) 子育てをする上で、特に不安に思っていること

就学前児童における特に不安に思うことについては、両調査とも、上位に挙げられている項目に変化はないが、「不安や悩みは特にない」で2.4ポイント増加している。

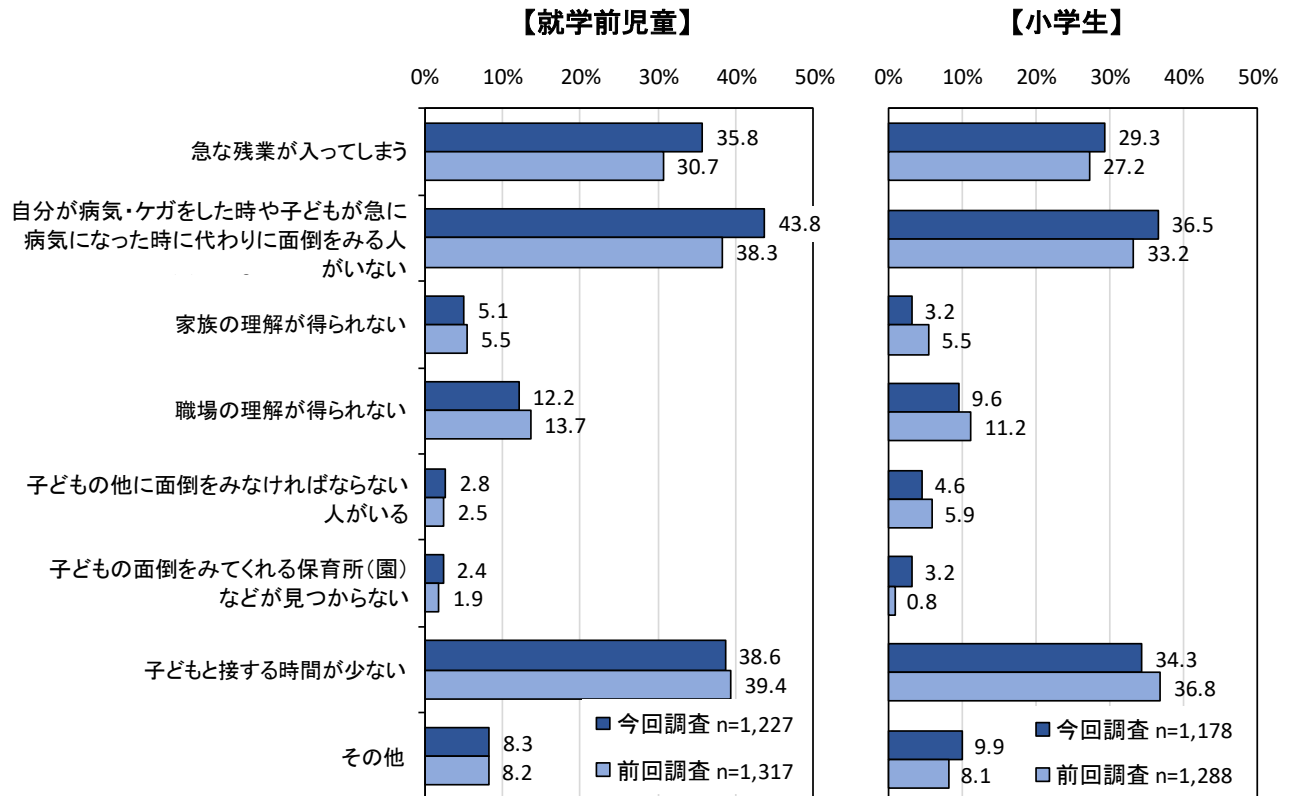
小学生における特に不安に思うことについては、両調査とも、上位に挙げられている項目に変化はないが、「不安や悩みは特にない」で5.5ポイント増加している。



(7) 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること

就学前児童における仕事と子育ての両立で大変だと感じることについては、両調査とも、上位に挙げられている項目に変化はないが、「急な残業が入ってしまう」が 5.1 ポイント、「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が 5.5 ポイント増加している。

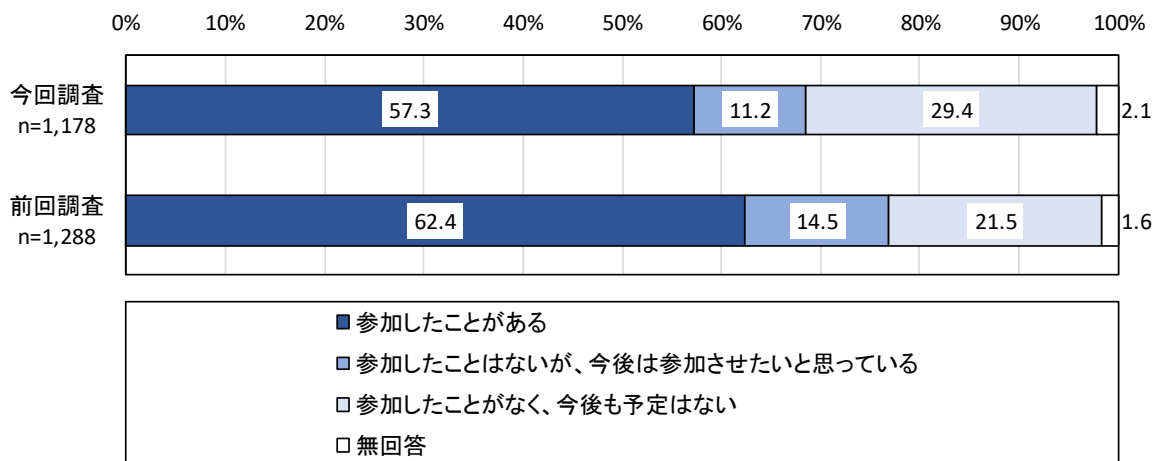
小学生における仕事と子育ての両立で大変だと感じることについては、両調査とも、上位に挙げられている項目に変化はないが、「急な残業が入ってしまう」が 2.1 ポイント、「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が 3.3 ポイント増加し、「子どもと接する時間が少ない」では 2.5 ポイント減少している。



（８）地域活動やグループ活動への参加状況

小学生における地域活動やグループ活動への参加状況については、前回調査との比較では、「参加したことがなく、今後も予定がない」が7.9ポイント増加している。

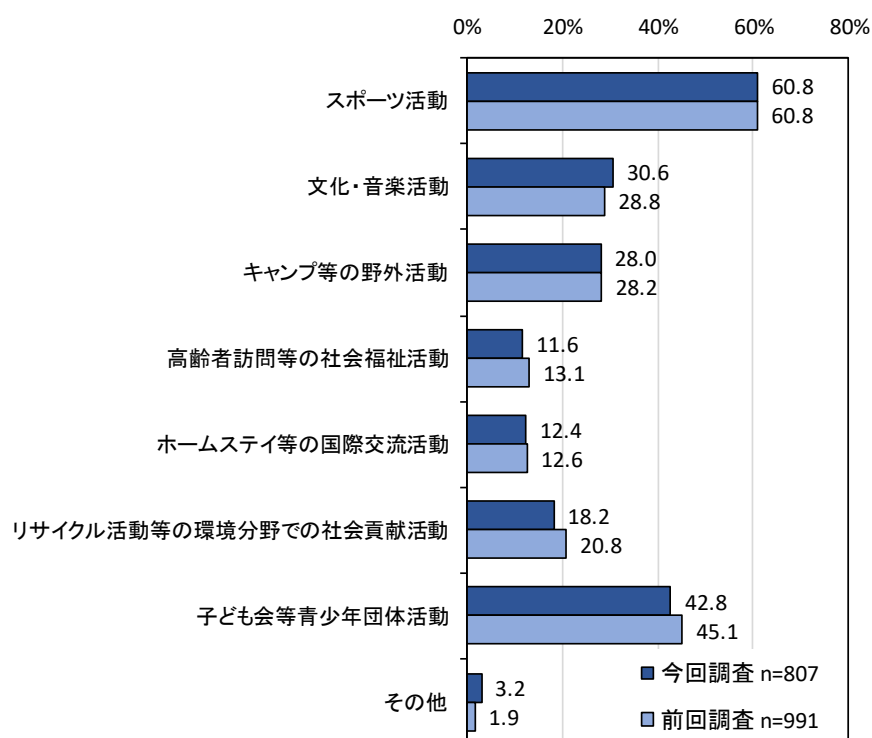
【小学生】



（９）今後参加させたい地域活動やグループ活動

小学生における地域活動やグループ活動への参加状況については、両調査とも、上位に挙げられている項目に変化はなく、前回調査との比較では、「文化・音楽活動」、「その他」を除き、各項目の割合は減少しているが、大きな変化はみられない。

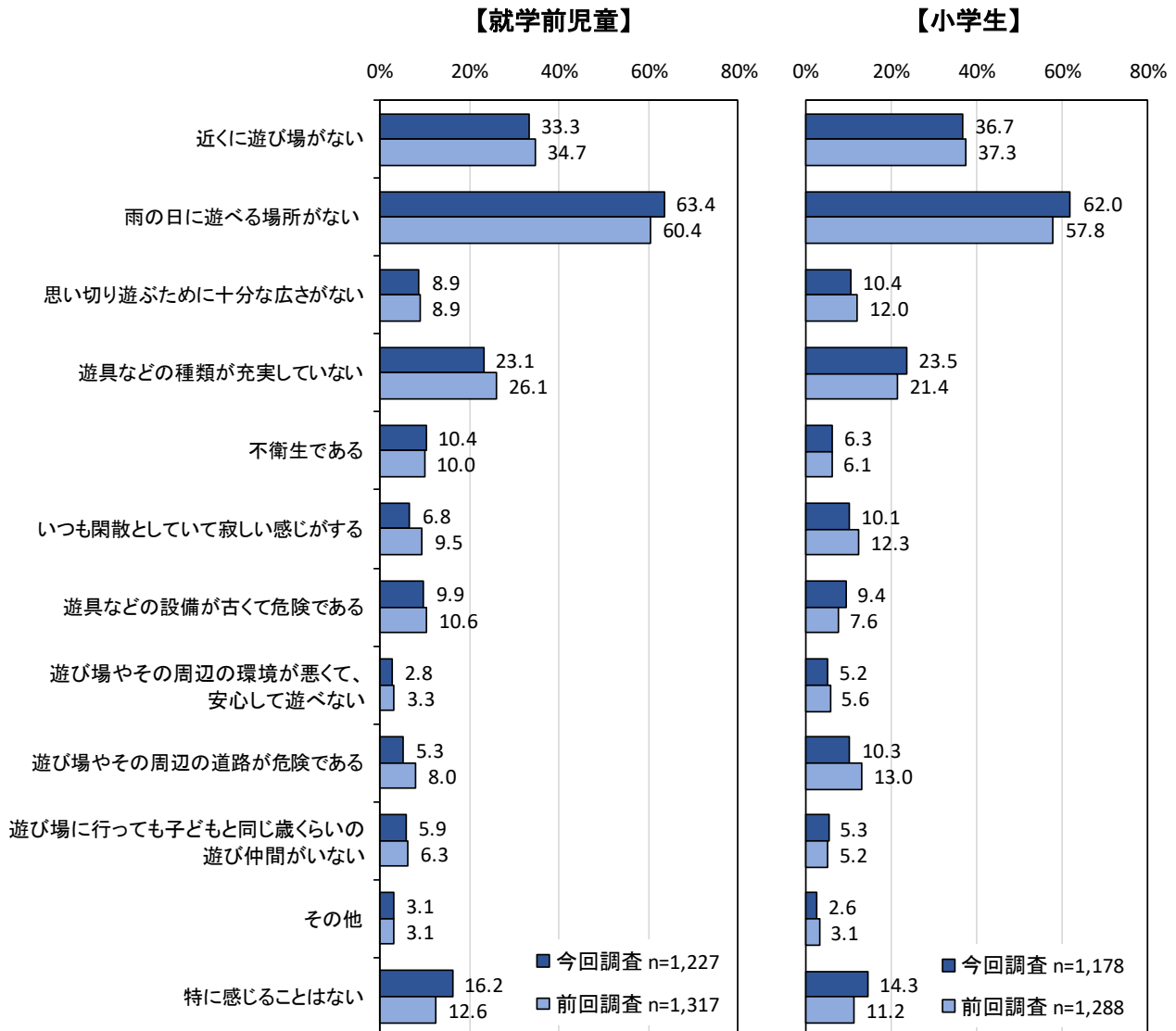
【小学生】



(10) 自宅近くの遊び場について、日頃感じていること

就学前児童における日頃感じている遊び場については、両調査とも、上位に挙げられている項目に変化はないが、「雨の日に遊べる場所がない」が3.0ポイント増加している。また、「特に感じることはない」が3.6ポイント増加している。

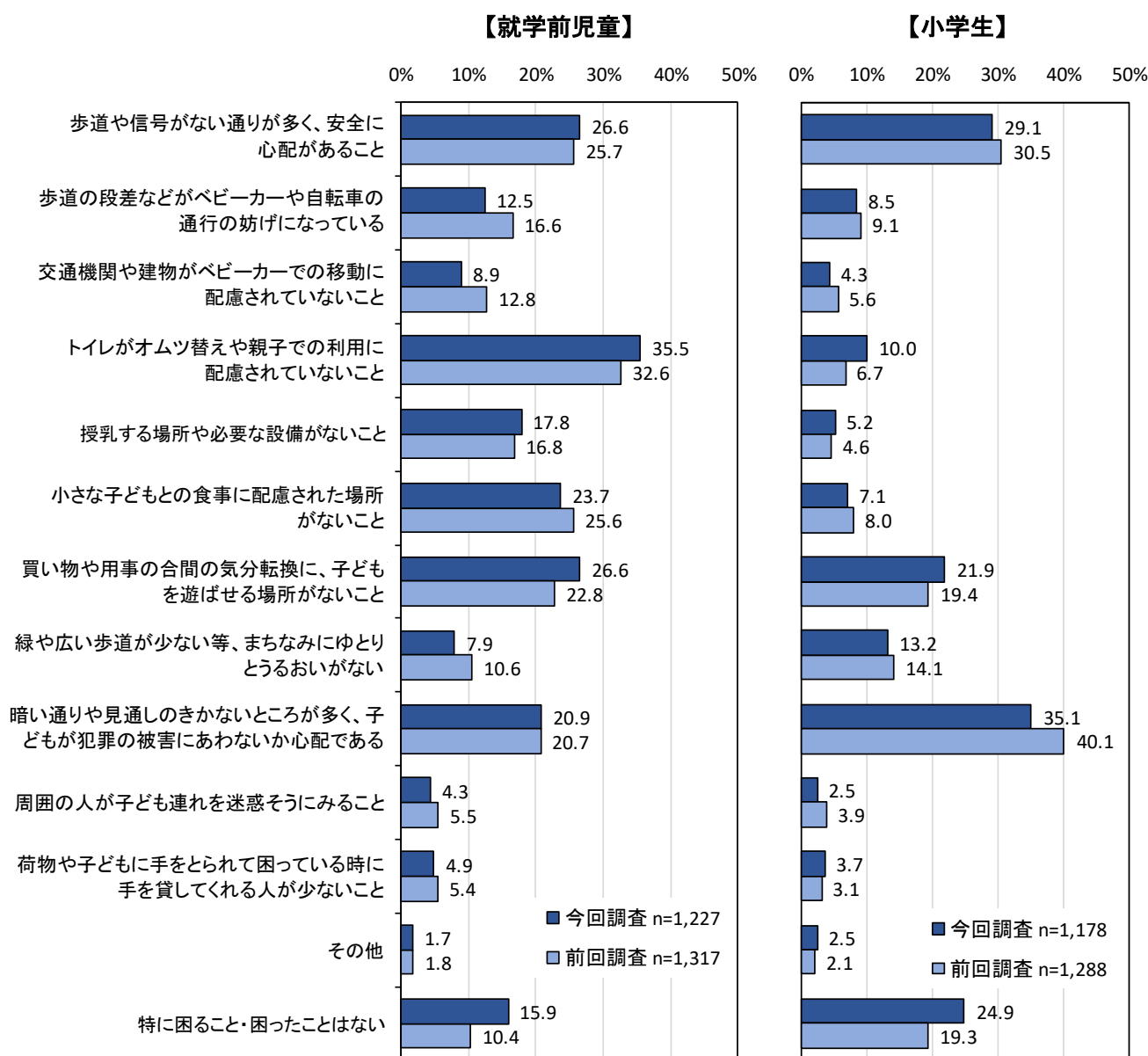
小学生における日頃感じている遊び場については、両調査とも、上位に挙げられている項目に変化はないが、「雨の日に遊べる場所がない」が4.2ポイント増加している。また、「特に感じることはない」が3.1ポイント増加している。



(11) 子どもとの外出の際に困ること、困ったこと

就学前児童における外出の際の困りごとについては、両調査とも、上位に挙げられている項目に変化はないが、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」が2.9ポイント、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が3.8ポイント増加している。また、「特に困ること・困ったことはない」が5.5ポイント増加している。一方で、割合が減少している項目をみると、「歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている」が4.1ポイント、「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」3.9ポイント減少している。

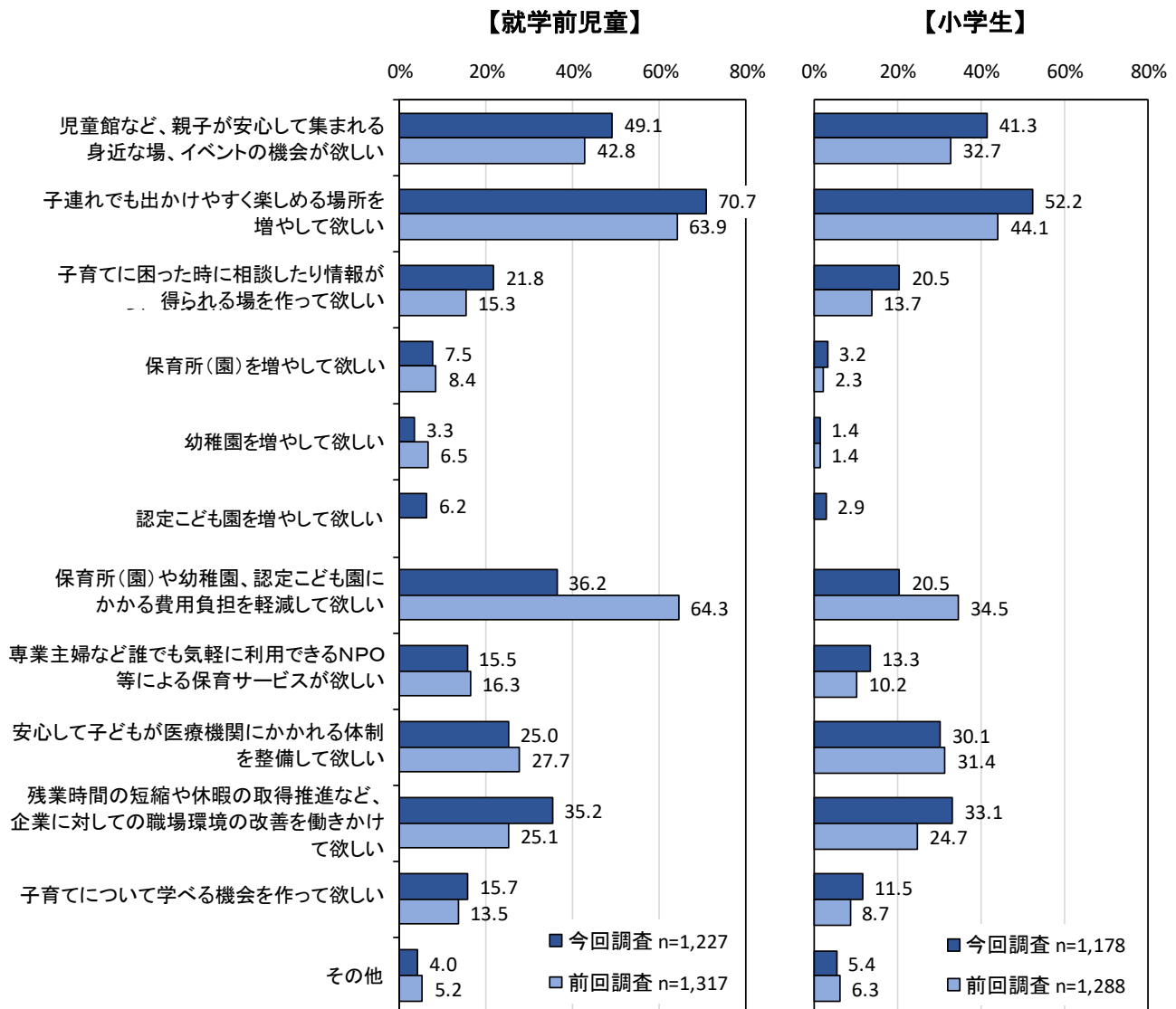
小学生における外出の際の困りごとについては、両調査とも、上位に挙げられている項目に変化はないが、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」が5.0ポイント減少している。一方で、割合が増加している項目をみると、「特に困ること・困ったことはない」が5.6ポイント増加している。



(12) 市に期待する子育て支援

就学前児童における市に期待する子育て支援については、両調査とも、上位に挙げられている項目に変化はないが、「保育所（園）や幼稚園、認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい」が28.1ポイント減少している。一方で、割合が増加している項目をみると、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」が6.3ポイント、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が6.8ポイント、「残業時間の短縮や休暇の取得推進など、企業に対しての職場環境の改善を働きかけて欲しい」が10.1ポイント増加している。

小学生における市に期待する子育て支援については、今回調査では「保育所（園）や幼稚園、認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい」の割合が大幅に減少（14.0ポイント）し、上位項目からは外れた位置となっている。一方で、割合が増加している項目をみると、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」が8.6ポイント、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が8.1ポイント、「残業時間の短縮や休暇の取得推進など、企業に対しての職場環境の改善を働きかけて欲しい」が8.4ポイント増加している。



※今回調査から追加した選択肢：「認定こども園を増やして欲しい」

V 資料編（調査票）

旭市子ども・子育て支援に関するアンケート調査票

【就学前児童の保護者用】

皆さまには、日頃から市政運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、平成27年3月に策定した「第1期旭市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、家庭・地域・関係機関等が互いに連携し、未来を担うすべての子どもたちの幸せを第一に考え、すべての子育て家庭が安心して子どもを生み育てることができるよう、子どもの出生から自立に至るまで、一貫性・継続性のある支援に努めています。

このたび、計画期間が平成31（2019）年度に終了することに伴い、「第2期旭市子ども・子育て支援事業計画（平成32（2020）年度～平成36（2024）年度）」を策定します。

そこで、市民の皆さまの教育・保育事業及び子育て支援事業等に関する「利用状況」や「利用希望」を把握するとともに、子育て支援に関するご意見・ご要望等をお聞きするアンケート調査を実施します。

この調査は、就学前のお子さんがいる世帯にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた内容は、統計的に処理し個人が特定されないよう配慮し、調査の目的以外に使用することはありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年12月

旭市

<ご記入にあたってのお願い>

1. 本調査の対象者は、**平成30年11月1日現在**で抽出しています。
2. ご記入は、**あて名のお子さんの保護者の方**にお願いいたします。
3. ご回答は、**選択肢の番号に○をつけていただく場合と、数字をご記入いただく場合**がございます。
また、「その他」を選択した場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 時間を数字でご記入いただく場合、**24時間制（例：09時～18時）**でご記入ください。
5. 設問によっては、**ご回答いただく方が限られる場合がございます**。注意書きや矢印に従ってご回答ください。特に注意書きのない場合は次の設問へお進みください。
6. ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**12月26日（水）**までに**同封の返信用封筒**に入れて、郵便ポストにご投函ください。**切手の貼付やお名前の記入は必要ありません**。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

旭市役所 子育て支援課

子育て支援班 電話 0479-62-8012


保 育 班 電話 0479-62-5313



2019年10月より、幼児教育・保育無償化の制度が開始することが予定されています。

2019年10月より、3歳から5歳までのすべての子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについての幼児教育・保育の費用の無償化が予定されています。

下表は、幼児教育・保育無償化の具体的なイメージ（例）となります。

 3歳～5歳児 （保育の必要性の認定事由に 該当する子ども ） ・共働き家庭 ・シングルで働いている家庭 など	利用	幼稚園、保育所（園）、認定こども園 障害児通園施設	無償 （幼稚園は月2.57万円まで）
	利用	幼稚園の預かり保育	幼稚園保育料の無償化 （月2.57万円まで）に加え、 月1.13万円（月3.7万円 との差額）まで無償
	利用 （複数利用）	認可外保育施設、ベビーシッターなど （一般的にいう認可外保育施設、自治体の 認証保育施設など）	月3.7万円まで無償
	複数利用	幼稚園、 保育所（園）、 認定こども園 + 障害児通園施設	ともに無償 （幼稚園は月2.57万円まで）
 3歳～5歳児 （保育の必要性の認定事由に 該当しない子ども ） ・専業主婦（夫）家庭 など	利用	幼稚園、認定こども園 障害児通園施設	無償 （幼稚園は月2.57万円まで）
	複数利用	幼稚園 認定こども園 + 障害児通園施設	ともに無償 （幼稚園は月2.57万円まで）

※幼稚園の預かり保育や認可外保育施設を利用している場合、無償化の対象となるためには、保育の必要性の認定事由に該当することが必要となります。

※住民税非課税世帯については、0歳～2歳児についても上記と同様の考え方により無償化の対象となります。この場合、認可外保育施設が月4.2万円まで無償、認可保育施設はすべて無償となります。

※上記のうち認可外保育施設及びベビーシッターについては、認可外保育施設の届出をし、指導監督の基準を満たすものに限る（ただし、5年間の経過措置として、指導監督の基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする猶予期間を設ける）。

※国の動向により、変更となる場合があります。

<用語の解説>

幼稚園	3～5歳児に対して教育を行う施設
幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業
保育所（園）	保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せもつ施設
小規模保育施設	定員が6～19人の施設
家庭的保育	保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設
認可外保育施設	いわゆる託児所
居宅訪問型保育	保育者が子どもの家庭で保育する事業
ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業
地域子育て支援拠点事業	主に就学前の子どもを対象とし、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場
●旭市子育て支援センターハニカム：旭市役所南分館2階 ●子育て支援センターおひさま：サンライズベビーホーム ●おうめい子育て支援センター：おうめい保育園 ●サポートセンターつるまき子供の丘：鶴巻保育園 ●子育て支援センターたんぽぽ：干潟町中央保育園 ●あさひこひつじ幼稚園子育て支援センター：あさひこひつじ幼稚園	
夜間養護等事業（トワイライトステイ）	児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業
短期入所生活援助事業（ショートステイ）	児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業
児童館	児童を対象とし、健全な遊びを与えて、その健康を増進するなど、又は情操をゆたかにすることを目的とした施設
放課後子ども教室	子どもを対象とし、地域住民の協力を得て文化活動などを実施する事業
放課後児童クラブ（学童保育）	小学生を対象に、放課後の遊び・生活の場を提供する事業
一時預かり	一時的に家庭で保育ができなくなった場合、児童を預かる事業
延長保育	通常保育の時間を延長して児童の保育をする事業
病児・病後児保育	児童が病気等の場合、専用施設において一時的に保育する事業
放課後等デイサービス	障害がある児童に、生活能力向上の訓練、社会との交流促進などを民間事業者が行うサービス

1. お住まいの地域についてお伺いします。

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 中央小学校区 | 9. 滝郷小学校区 |
| 2. 琴田小学校区 | 10. 嚶鳴小学校区 |
| 3. 干潟小学校区 | 11. 飯岡小学校区 |
| 4. 富浦小学校区 | 12. 三川小学校区 |
| 5. 矢指小学校区 | 13. 萬歳小学校区 |
| 6. 共和小学校区 | 14. 中和小学校区 |
| 7. 豊畑小学校区 | 15. 古城小学校区 |
| 8. 鶴巻小学校区 | |

2. 対象のお子さんをご家族の状況についてお伺いします。

※「対象のお子さん」とは、封筒のあて名のお子さんを指します。

問2 対象のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	生まれ
----	----------------------	---	----------------------	---	-----

問3 対象のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、一番大きいお子さん及び小さいお子さんの年齢(平成30年4月1日現在の年齢)をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

お子さんの人数	⇒	一番大きいお子さんの年齢	<input type="text"/>	歳
<input type="text"/> 人		一番小さいお子さんの年齢	<input type="text"/>	歳

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。続柄は対象のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

1. 一緒に住んでいる	4. 死別・離婚などでない
2. 単身赴任で別に住んでいる	5. 元々いない
3. 別居している	

問6 対象のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。続柄は対象のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他 ()
----------	---------	---------	----------	------------

問7 対象のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方や施設をお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------|-----------|--------------|
| 1. 父母ともに | 4. 祖父母 | 7. 認定こども園 |
| 2. 母親 | 5. 幼稚園 | 8. 子育て支援センター |
| 3. 父親 | 6. 保育所（園） | 9. その他（ ） |

問8 対象のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境は何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|-------|-----------|--------------|-----------|
| 1. 家庭 | 3. 幼稚園 | 5. 認定こども園 | 7. その他（ ） |
| 2. 地域 | 4. 保育所（園） | 6. 子育て支援センター | |

問9 対象のお子さんを日常的に預けられる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | } ⇒ 問10へ |

問9-1 問9で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である |
| 4. 親の立場として、自分たち以外に負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問9-2 問9で「3」または「4」と回答した方にお伺いします。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく、心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である |
| 4. 親の立場として、自分たち以外に負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問10 対象のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び相談できる場所がありますか。（○は1つ）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 相談できる人がいる／場所がある ⇒ 問10-1へ |
| 2. 相談できる人がいない／場所がない ⇒ 問11へ |

問 10-1 問 10 で「1. 相談できる人がいる／場所がある」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できるのはどちらですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 配偶者（夫又は妻） | 9. 保育士 |
| 2. 父母（子どもの祖父母） | 10. 幼稚園教諭 |
| 3. 親戚 | 11. 民生委員・児童委員 |
| 4. 友人や知人 | 12. かかりつけの医師 |
| 5. 近所の人 | 13. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 6. 職場の人 | 14. 民間の地域生活支援機関（海匠ネットワーク等） |
| 7. 子育て支援施設（子育て支援センター等） | 15. その他（ ） |
| 8. 保健所・保健センター | |

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所等）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由に意見などをお書きください。

3. 理想の子ども数について伺います。

問 12 理想とする子どもの数は何人ですか。(○は1つ)

1. 1人 3. 3人 5. 5人以上 7. わからない
2. 2人 4. 4人 6. 0人

問 13 あなたは、実際に何人の子どもを持つ予定ですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 1人 | 3. 3人 | 5. 5人以上 |
| 2. 2人 | 4. 4人 | 6. わからない |

問14 問13の「実際に持つ予定の子ども数」が、問12の「理想と考える子どもの数」よりも少ない方に
お伺いします。

理想と考える子どもの数より実際に持つ予定の子どもの数が少ないのはなぜですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 子どもを育てるのにお金がかかる | 8. 育児の心理的負担が大きい |
| 2. 育児の体力的な問題 | 9. 教育をめぐる状況に不安 |
| 3. 家が狭い | 10. 子どもの将来が不安 |
| 4. のびのびと育つ生活環境がない | 11. 計画しているところ |
| 5. 子どもを預かってくれるところがない | 12. 欲しいができない |
| 6. 仕事に支障をきたす | 13. その他（ ） |
| 7. 年齢的理由で難しい | |

4. 対象のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします。

問 15 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（○は1つ）

（1）母親の状況について 【父子家庭の場合は記入不要です】

- | | | |
|---|---|------------|
| 1. 就労している（フルタイム※1：産休・育休・介護休業中ではない）
2. 就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中である）
3. 就労している（パートタイム・アルバイト等※2：産休・育休・介護休業中ではない）
4. 就労している（パートタイム・アルバイト等だが産休・育休・介護休業中である）
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない | } | ⇒ (1)-①・②へ |
|---|---|------------|

※1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※2 パートタイム・アルバイト等：フルタイム以外の就労

（1）-①・② (1)で「1」～「4」と回答した方にお伺いします。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（口内に数字をご記入ください。）

※就労日数や時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制（例：帰宅時間 19時30分）

① 就労日数・就労時間	1週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日 / 1日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間 <input style="width: 30px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px;" type="text"/> 分 / 帰宅時間 <input style="width: 30px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px;" type="text"/> 分

（2）父親の状況について 【母子家庭の場合は記入不要です】

- | | | |
|---|---|------------|
| 1. 就労している（フルタイム※1：育休・介護休業中ではない）
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中である）
3. 就労している（パートタイム・アルバイト等※2：育休・介護休業中ではない）
4. 就労している（パートタイム・アルバイト等だが育休・介護休業中である）
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない | } | ⇒ (2)-①・②へ |
|---|---|------------|

※1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※2 パートタイム・アルバイト等：フルタイム以外の就労

（2）-①・② (2)で「1」～「4」と回答した方にお伺いします。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（口内に数字をご記入ください。）

※就労日数や時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制（例：帰宅時間 19時30分）

① 就労日数・就労時間	1週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日 / 1日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間 <input style="width: 30px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px;" type="text"/> 分 / 帰宅時間 <input style="width: 30px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px;" type="text"/> 分

問 15-1 問 15 の (1) または (2) で「3」、「4」(パートタイム・アルバイト等で就労)と回答した方にお伺いします。

フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 母親	1. 転換希望があり(フルタイム)、実現できる見込みがある 2. 転換希望はあるが(フルタイム)、実現できる見込みがない 3. 転換希望がない(パートタイム、アルバイト等の就労を続けることを希望) 4. パートタイム、アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
(2) 父親	1. 転換希望があり(フルタイム)、実現できる見込みがある 2. 転換希望はあるが(フルタイム)、実現できる見込みがない 3. 転換希望がない(パートタイム、アルバイト等の就労を続けることを希望) 4. パートタイム、アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 15-2 問 15 の (1) または (2) で「5」、「6」(就労していない)と回答した方にお伺いします。

就労希望はありますか。(該当する番号・記号にそれぞれ○は1つ、該当する口内に数字をご記入ください。)

(1) 母親	1. 子育てや家事などに専念したい(就労予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
--------	---

《希望する就労形態》

- ア. フルタイム
 イ. パートタイム・アルバイト等(1週当たり 日 1日当たり 時間)

(2) 父親	1. 子育てや家事などに専念したい(就労予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
--------	---

《希望する就労形態》

- ア. フルタイム
 イ. パートタイム・アルバイト等(1週当たり 日 1日当たり 時間)

問 15-3 問 15-2 の (1) または (2) で「3」(就労したい)と回答した方にお伺いします。

就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(○は1つ)

1. 定期的に子どもを預けられる保育事業が利用できない、または利用しにくいから
 2. 働きながら子育てできる適当な仕事がないから
 3. 自分の知識、能力にあう仕事がないから
 4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていないから
 5. その他 ()

**5. 対象のお子さんの平日の定期的な
教育・保育事業の利用状況についてお伺いします。**

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所(園)など、問 16-1 に示した事業が含まれます。

問 16 対象のお子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。（○は1つ）

1. 利用している ⇒ **問16-1へ** 2. 利用していない ⇒ **問16-5へ**

問 16-1 問 16 で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんは、平日にどのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 幼稚園 | 7. 事業所内保育施設 |
| 2. 幼稚園の預かり保育（定期的な利用のみ） | 8. 自治体の認証・認定保育施設※ |
| 3. 保育所（園） | 9. 認可外保育施設（託児所） |
| 4. 認定こども園 | 10. 居宅訪問型保育※ |
| 5. 小規模保育施設※ | 11. ファミリー・サポート・センター※ |
| 6. 家庭的保育※ | 12. その他（ ） |

【※】が付いている施設は、現在旭市にはありません。

問 16-2 問 16 で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。

平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、どのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時～何時まで）かをお答えください。

(□内に数字をご記入ください。) ※時間は24時間制 (例: 09 時~18 時)

(1) 現在	1 週当たり	<input type="text"/>	日	/	1 日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間 (<input type="text"/>	時	～	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時)
(2) 希望	1 週当たり	<input type="text"/>	日	/	1 日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間 (<input type="text"/>	時	～	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時)

問 16-3 問 16 で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこにありますか。(○は1つ)

1. 学区内 2. 市内 3. 市外

問 16-4 問 16 で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。

平日、定期的に教育・保育事業を利用されている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定又は求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（

問 16-5 問 16 で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

平日、定期的な教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○、□内に数字をご記入ください。)

1. 利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、母親もしくは父親が就労していない)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他()

問 17 すべての方にお伺いします。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、対象のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. 幼稚園 | 7. 事業所内保育施設 |
| 2. 幼稚園の預かり保育(定期的な利用のみ) | 8. 自治体の認証・認定保育施設※ |
| 3. 保育所(園) | 9. 認可外保育施設(託児所) |
| 4. 認定こども園 | 10. 居宅訪問型保育※ |
| 5. 小規模保育施設※ | 11. ファミリー・サポート・センター※ |
| 6. 家庭的保育※ | 12. その他(<input type="text"/>) |

【※】が付いている施設は、現在旭市にはありません。

問 17-1 問 17 の平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業は、2019 年 10 月から開始予定の『幼児教育・保育無償化』の制度が回答に影響していますか。(○は 1 つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 影響している | 2. 影響していない |
|-----------|------------|

問 17-2 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(○は 1 つ)

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 1. 学区内 | 2. 市内 | 3. 市外 |
|--------|-------|-------|

問 17-3 現在、旭市では公立保育所 13 か所、私立保育園 5 か所で延長保育を実施していますが、実施箇所数は適当だと思いますか。利用の有無にかかわらずお答えください。(○は 1 つ)

公立保育所の延長保育実施状況

延長保育時間は保育標準時間(11 時間)と保育短時間(8 時間)で開始時間が異なります。

・保育標準時間(中央第一保育所、干潟保育所) 午後6時15分～午後7時15分まで

・保育短時間(公立保育所 13 か所) 午後4時～午後6時15分まで

※私立保育園は、施設毎に実施時間が異なります。

- | | | |
|----------|--------|-------|
| 1. 適当である | 2. 少ない | 3. 多い |
|----------|--------|-------|

問 19－1 問 19 で「3」と回答した方にお伺いします。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたい」と思わない理由は何ですか。（○は1つ）

- | | | |
|------------------|-------------|--------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がないため | 2. 自宅から遠いため | 3. その他（ ） |
|------------------|-------------|--------------------------------|

問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したい事業についてお伺いします。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

事 業	A	B	C
	知っている	これまでに利用 したことがある	今後利用したい
① 母親(父親)・両親・育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
② 保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③ 家庭教育に関する相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④ 学校教育に関する相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤ 保育所(園)や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥ 子育て支援課窓口(相談室も含む)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦ 子育て相談(子育て支援センター)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

①母親学級(父親)・両親学級・育児学級とは…

市区町村や病院が、妊産婦とその配偶者等に、食生活や運動、心の安定などについて、相談を受けたり、指導するもの。

②保健センターとは…

地域保健法第 18 条により市町村が設置する、健康相談、保健指導及び健康診査その他地域保健に関して、必要な事業を行う施設。

④学校教育に関する相談事業とは…

子どもに関する教育相談、就学指導等を行い、その心や身体の問題をよりよく解決することを目的として設置される。

**7. 対象のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の
「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてお伺いします。**

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所(園)、認定こども園などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

問 21 対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。一時的な利用は除きます。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

(それぞれ○は1つ、口内に数字をご記入ください。)

※時間は24時間制(例: 09時から18時まで)

(1) 土曜日	1. 利用する必要はない] ⇒	利用したい時間帯		
	2. ほぼ毎週利用したい		□□	時から □□	時まで
	3. 月に1~2回は利用したい				
(2) 日曜日・祝日	1. 利用する必要はない] ⇒	利用したい時間帯		
	2. ほぼ毎週利用したい		□□	時から □□	時まで
	3. 月に1~2回は利用したい				

問 21-1 問 21 の(1)もしくは(2)で「3」を回答した方にお伺いします。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 4. 息抜きのため |
| 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため | 5. その他() |
| 3. 親又は親族等の介護や手伝いが必要なため | |

問 22 「幼稚園」または「認定こども園(教育)」を利用されている方にお伺いします。

対象のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

(○は1つ、口内に数字をご記入ください。)

※時間は24時間制(例: 09時から18時まで)

1. 利用する必要はない、またはすでに利用している 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい] ⇒	利用したい時間帯		
		□□	時から □□	時まで

問 22-1 問 22 で「3」を回答した方にお伺いします。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 4. 息抜きのため |
| 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため | 5. その他() |
| 3. 親又は親族等の介護や手伝いが必要なため | |

8. 対象のお子さんの病気の際の対応についてお伺いします。

問 23 問 16 (現在、幼稚園や保育所 (園) などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。)

で「1. 利用している」と回答した方にお伺いします。 ※利用していない方は⇒問 24 へ

この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

1. あった ⇒ 問 23-1 へ

2. なかった ⇒ 問 24 へ

問 23-1 問 23 で「1. あった」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。

(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。) ※半日程度の利用も1日としてください。

1年間の対処方法	日数 (年間)	
1. 父親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ 問 23-2 へ
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
3. 親族・知人 (同居者を含む) に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ 問 23-5 へ
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
5. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
6. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
7. ファミリー・サポート・センター※による病児・病後児の預かりを利用した (病児・病後児緊急サポート事業も含む)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
9. その他 ()	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	

【※】が付いている施設は、現在旭市にはありません。

問 23-2 問 23-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」と回答した方にお伺いします。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についてもご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(○は1つ、口内に数字をご記入ください。)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 年間 日 ⇒ 問 23-3 へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 23-4 へ

問 23-3 問 23-2 で「1」と回答した方にお伺いします。

病児・病後児保育の望ましい形態はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 他の施設（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（居宅訪問型保育等）
4. その他（ ）

問 23-4 問 23-2 で「2」と回答した方にお伺いします。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない
4. 利用料がかかる
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応できる
7. その他（

問 23-5 問 23-1 で「3」～「9」を回答した方にお伺いします。

対象のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、「できれば
 父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。

問 23-1 の「3」～「9」の日数のうち、仕事を休んでみたかった日数についてもご記入ください。

(○は1つ、□内に数字をご記入ください。)

1. できれば仕事を休んでみたい ⇒ 年間

--	--

 日 ⇒ 問24へ
2. 休んでみることは非常に難しい ⇒ 問23-6へ

問 23-6 問 23-5で「2」と回答した方にお伺いします。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（

**9. 対象のお子さんの不定期の教育・保育事業や
宿泊を伴う一時預かり等の利用についてお伺いします。**

問 24 対象のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。1 年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。）

利用している事業	日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所（園）等で、一時的に子どもを保育する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ 問 25 へ
2. 幼稚園又は認定こども園（教育）の預かり保育 （不定期に利用する場合のみ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
3. ファミリー・サポート・センター※	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
4. 一時預かり（託児所など）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
5. ベビーシッター	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
6. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
7. 利用していない		⇒ 問 24-1 へ

【※】が付いている施設は、現在旭市にはありません。

問 24-1 問 24 で「7. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問 25 対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。（〇は1つ、ア～エはあてはまるすべてに〇、該当する口内に数字をご記入ください。）

1. 利用したい	年間計	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ 問 25-1 へ
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	年間	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	年間	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
ウ. 不定期の就労	年間	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
エ. その他（ ）	年間	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
2. 利用する必要はない			⇒ 問 26 へ

問 25-1 問 25 で「1. 利用したい」と回答した方にお伺いします。

問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

（あてはまるものすべてに〇）

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（家庭的保育、小規模保育等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（居宅訪問型保育等）
4. その他（ ）

問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、対象のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの日数もご記入ください。（〇は1つ、ア～カはあてはまるすべてに〇、該当する口内に数字をご記入ください。）

預けた有無	1年間の対処方法	日数（年間）	
1. あった ⇒	ア. 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	⇒ 問 26-1 へ
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	⇒ 問 27 へ
	ウ. 「イ」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	
	カ. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊	
2. なかった			

問 26-1 問 26 で「ア. 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった」と回答した方にお伺いします。

その場合の困難度はどの程度でしたか。（〇は1つ）

1. 非常に困難
2. どちらかといえば困難
3. 特に困難ではない

**10. 対象のお子さんが5歳以上である方に、
小学校就学後の放課後の過ごし方についてお伺いします。**

※5歳未満(年中以下)の方⇒問30へ

問27 対象のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たりの希望日数をご記入ください。また、「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間をご記入ください。(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

※時間は24時間制(例:下校時から 17 時まで)

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	週	<input type="text"/>	日くらい
	下校時 から	<input type="text"/> <input type="text"/>	時 まで
7. 放課後等デイサービス	週	<input type="text"/>	日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
9. その他(公民館、公園など)	週	<input type="text"/>	日くらい

問28 対象のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たりの希望日数をご記入ください。また、「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間をご記入ください。(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

※時間は24時間制(例:下校時から 17 時まで)

※高学年は先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	週	<input type="text"/>	日くらい
	下校時 から	<input type="text"/> <input type="text"/>	時 まで
7. 放課後等デイサービス	週	<input type="text"/>	日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
9. その他(公民館、公園など)	週	<input type="text"/>	日くらい

問 28-1 問 27 または問 28 で「6. 放課後児童クラブ」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。

（それぞれ○は1つ、□内に数字をご記入ください。）

※時間は24時間制（例：□0□9 時から □1□8 時）

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯
		□□ 時から □□ 時まで

（2）日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯
		□□ 時から □□ 時まで

問 29 対象のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。

（○は1つ、□内に数字をご記入ください。）

※時間は24時間制（例：□0□9 時から □1□8 時）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯
		□□ 時から □□ 時まで

1 1. 育児休業や短時間勤務制度など、 職場の両立支援制度についてお伺いします。

問 30 対象のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。

（それぞれ○は1つ、取得していない方はその理由について、あてはまるものすべてに○）

(1) 母親 (○は1つ)		(2) 父親 (○は1つ)
1. 働いていなかった		1. 働いていなかった
2. 取得した (取得中である)		2. 取得した (取得中である)
3. 取得していない		3. 取得していない

(1) 母親	(2) 父親	取得していない理由 (あてはまるものすべてに○)
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が忙しかった
3	3	(産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4	4	仕事に戻るのが難しそうだった
5	5	昇給・昇格などが遅れそうだった
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7	保育所(園)などに預けることができた
8	8	配偶者が育児休業制度を利用した
9	9	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10	10	子育てや家事に専念するため退職した
11	11	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13	育児休業を取得できることを知らなかった
14	14	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15	15	その他【母親】()
		その他【父親】()

問 30-1 すべての方にお伺いします。

「育児休業給付※1」、「保険料免除※2」の仕組みをご存知でしたか。(○は1つ)

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

※1 「育児休業給付」とは、子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み。保育所(園)における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳まで取得できます。

※2 「保険料免除」とは、子どもが3歳になるまでの育児休業期間に健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み。法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置となります。

問 30-2 問 30 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にお伺いします。

※該当しない方は問 31 へ

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ○は1つ）

(1) 母親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3 へ 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9 へ 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31 へ
(2) 父親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3 へ 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9 へ 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 31 へ

問 30-3 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（それぞれ○は1つ）

※なお、年度初めでの認可保育所（園）入所を希望して、1月～2月頃に職場復帰、一時的に認可外保育所（園）に入所した場合などは選択肢「1」にあてはまります。

※また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所（園）に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 母親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった
(2) 父親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問 30-4 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

（それぞれ口内に実際と希望の復帰時期をご記入ください。）

(1) 母親	実際の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月 希望の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月
(2) 父親	実際の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月 希望の復帰時期 <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月

問 30-5 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（それぞれ口内に希望の時期をご記入ください。）

(1) 母親	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月
(2) 父親	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月

問 30-6 問 30-4 で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方にお伺いします。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 希望より早く復帰した方 (それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) 母親	1. 希望する保育所(園)等に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()
(2) 父親	1. 希望する保育所(園)等に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他 ()

(2) 希望より遅く復帰した方 (それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) 母親	1. 希望する保育所(園)等に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他 ()
(2) 父親	1. 希望する保育所(園)等に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他 ()

問 30-7 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にお伺いします。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ○は1つ)

(1) 母親	1. 利用する必要がなかった (もともと短時間勤務だった) 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった (できなかった)	⇒ 問 31 へ ⇒ 問 30-8 へ
(2) 父親	1. 利用する必要がなかった (もともと短時間勤務だった) 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった (できなかった)	⇒ 問 31 へ ⇒ 問 30-8 へ

問 30-8 問 30-7 で「3」（利用しなかった、できなかった）と回答した方にお伺いします。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。

(それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) 母親	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務になると給与が減額される 4. 短時間勤務になると保育所（園）等の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた 7. 子育てで家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他（ ）
(2) 父親	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 短時間勤務になると給与が減額される 4. 短時間勤務になると保育所（園）等の入所申請の優先順位が下がる 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた 7. 子育てで家事に専念するため退職した 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10. その他（ ）

問 30-9 問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にお伺いします。

今後、職場に復帰する際、対象のお子さんが必ず利用できる事業（保育所（園）等）がある場合、何歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できたとしても1歳前に復帰しますか。

(それぞれ○は1つ、口内に数字をご記入ください。)

(1) 母親	1. <input type="text"/> 歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1 歳になる前に復帰したい
(2) 父親	1. <input type="text"/> 歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1 歳になる前に復帰したい

12. 子育てに関する悩みや不安感についてお伺いします。

問 31 子育てに関して不安や負担などを、感じていますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 4. まったく感じない |
| 2. なんとなく不安や負担を感じる | 5. なんともしえない |
| 3. あまり不安や負担などは感じない | |

問 32 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1. 病気や発育・発達に関すること |
| 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 育児の方法がよくわからないこと |
| 4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと |
| 5. 子どもとの時間を十分にとれないこと |
| 6. 話し相手や相談相手がいらないこと |
| 7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと |
| 8. 子どもの教育に関すること |
| 9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること |
| 10. 登園拒否、不登校などの問題について |
| 11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと |
| 12. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと |
| 13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること |
| 14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 15. 子どもを叱りすぎているような気がする |
| 16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと |
| 17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと |
| 18. その他（ ） |
| 19. 特になし |

問 33 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------------|
| 1. 子育てによる身体の疲れが大きい |
| 2. 子育てで出費がかさむ |
| 3. 自分の自由な時間が持てない |
| 4. 夫婦で楽しむ時間がない |
| 5. 仕事が十分にできない |
| 6. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 7. 子どもが病気がちである |
| 8. 住居が狭い |
| 9. その他（ ） |
| 10. 不安や悩みは特になし |

問 34 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。(○は3つまで)

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 職場の理解が得られない
5. 子どもの他に面倒をみなければならない人がある
6. 子どもの面倒をみてくれる保育所（園）などが見つからない
7. 子どもと接する時間が少ない
8. その他（ ）

問 35 仕事と子育てを両立する上で必要なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 延長保育や一時預かり、放課後児童クラブ（学童保育）などの保育サービス
2. 配偶者やパートナーが育児に協力してくれること
3. 祖父母などの家族が子どもの面倒をみてくれること
4. 育児休業や介護休業などの取得
5. フレックスタイムや短時間勤務などの活用
6. 家族や隣近所、知人などからの保育所（園）やサービス等に関する情報提供
7. 市役所や市の機関などからの保育所（園）やサービス等に関する情報提供
8. その他（

13. 子育てに関する情報の入手方法についてお伺いします。

問 36 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 親族（親、きょうだいなど） | 8. 子育て雑誌・育児書 |
| 2. 隣近所の人、知人、友人 | 9. インターネット |
| 3. 子育てサークルの仲間 | 10. コミュニティ誌 |
| 4. 幼稚園、保育所（園）、認定こども園、学校 | 11. 情報の入手先がない |
| 5. 市役所や市の機関 | 12. 情報の入手手段がわからない |
| 6. 市の広報やパンフレット | 13. その他（ ） |
| 7. テレビ、ラジオ、新聞 | |

14. 子育てサークルへの参加状況についてお伺いします。

問 37 あなたは、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 現在参加している
2. 現在は参加していないが、今後参加機会があれば参加したい
3. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない
- ⇒ 問 37-1へ
⇒ 問 38へ

問 37-1 問 37 で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

自主的な活動をしていくにあたって行政に担ってほしい支援はどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 活動場所の提供（場所貸しなど）
2. 情報発信やPRなどに関する支援（掲示板の開放など）
3. 活動時間中の保育サービス
4. 活動資金の助成
5. その他（ ）

15. 子どもの遊び場について伺います。

問 38 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。(○は3つまで)

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
9. 遊び場やその周辺の道路が危険である
10. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
11. その他（ ）
12. 特に感じることはない

16. 外出の際に困ることについてお伺いします。

問 39 お子さんとの外出の際に困ること・困ったことは何ですか。(○は3つまで)

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備がないこと
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
7. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
8. 緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとるおいがない
9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である
10. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること
11. 荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ないこと
12. その他（ ）
13. 特に困ること・困ったことはない

17. お子さんの医療についてお伺いします。

問 40 お子さんにかかりつけ医はいますか。（○は1つ）

1. いる ⇒ 問 41 へ

2. いない ⇒ 問 40-1 へ

問 40-1 問 40 で「2」と回答した方にお伺いします。

現在いない理由は何ですか。（○は1つ）

1. 地域の医療機関（病院・医院・診療所）を知らない
2. 利用したい医療機関（病院・医院・診療所）が地域にない
3. 地域の医療サービスに不安がある
4. 大規模な病院で専門的な診療科が設置されている医療サービスを受けたい
5. かかりつけ医の必要性を感じない
6. その他（ ）

18. お子さんとの生活全般についてお伺いします。

問 41 あなたは、お子さんと十分な時間を過ごせていると思いますか。（それぞれ○は1つ）

(1) 母親	<ol style="list-style-type: none"> 1. よく過ごせていると思う 2. まあまあ過ごせていると思う 3. あまり過ごせていないと思う 4. 過ごせていないと思う
(2) 父親	<ol style="list-style-type: none"> 1. よく過ごせていると思う 2. まあまあ過ごせていると思う 3. あまり過ごせていないと思う 4. 過ごせていないと思う

問 42 あなたは、お子さんの進路に対して、理想とする進路はどの段階までですか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1. 中学校まで | 5. 大学まで |
| 2. 高等学校まで | 6. 大学院まで |
| 3. 専門学校まで（高等学校卒業後に進学するもの） | 7. その他（ ） |
| 4. 高等専門学校・短期大学まで | 8. 特に理想はない |

問 43 理想とする進路として回答した理由は何ですか。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 保護者の希望として | 4. 家庭に経済的な余裕がないから |
| 2. 一般的な進路だと思うから | 5. その他（ ） |
| 3. 将来的（就職等）に有利だと思うから | 6. 特に理由はない |

問 44 お子さんの今後の教育に関して心配なことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 保護者としての携わり方がわからない | 4. 塾等に通わせる経済的な余裕がない |
| 2. 教育に関する情報の入手先がわからない | 5. その他（ ） |
| 3. 勉強をみてあげることができない | 6. 特にない |

問 45 あなたの世帯は、現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問 46 あなたの世帯は、おおむね 1 年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもを医療機関に受診させることができなかった
2. 子どものための本や絵本、服や靴を買えなかった
3. 子育て関連のサービスを利用したかったが控えた
4. 子どもを習い事に通わせることができなかった
5. 子どもにプレゼント（誕生日等）を買ってあげることができなかった
6. 家族旅行（日帰りを含む）ができなかった
7. その他（ ）
8. 特になかった

19. 児童虐待について

問 47 あなたの周りに、児童虐待または児童虐待の疑いがある子どもがいた（いる）ことはありますか。
（○は1つ）

1. いた (いる) ⇒ 問47-1へ 2. いない ⇒ 問48へ

問 47-1 問 47 で「1. いた（いる）」と回答した方にお伺いします。

その際、どこかに相談・通報をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 市役所に相談・通報した | 4. 児童相談所に相談・通報した |
| 2. 保育所（園）等に相談・通報した | 5. どこにも相談・通報しなかった |
| 3. 警察に相談・通報した | 6. その他（ ） |

問 48 あなたが考える児童虐待が起きてしまう要因は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 保護者の養育能力の低下 | 6. 家庭の経済的貧困 |
| 2. 望まない妊娠の増加 | 7. 共働き世帯の増加 |
| 3. 家庭構造の変化（核家族化の増加等） | 8. 子ども側の要因の増加 |
| 4. 保護者の精神疾患等 | 9. 虐待の世代間連鎖 |
| 5. 保護者の地域からの孤立化 | 10. その他（ ） |

問 53 最後に、すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上になります。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れて、**12月26日(水)までに**、

郵便ポストにご投函ください。



旭市子ども・子育て支援に関するアンケート調査票 【小学生の保護者用】

皆さまには、日頃から市政運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、平成27年3月に策定した「第1期旭市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、家庭・地域・関係機関等が互いに連携し、未来を担うすべての子どもたちの幸せを第一に考え、すべての子育て家庭が安心して子どもを生み育てることができるよう、子どもの出生から自立に至るまで、一貫性・継続性のある支援に努めています。

このたび、計画期間が平成31（2019）年度に終了することに伴い、「第2期旭市子ども・子育て支援事業計画（平成32（2020）年度～平成36（2024）年度）」を策定します。

そこで、市民の皆さまの子育て支援等に関する生活実態やご意見・ご要望等をお聞きするアンケート調査を実施します。

この調査は、小学生のお子さんがある世帯にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた内容は、統計的に処理し個人が特定されないよう配慮し、調査の目的以外に使用することはありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年12月

旭市

<ご記入にあたってのお願い>

1. 本調査の対象者は、**平成30年11月1日現在**で抽出しています。
2. ご記入は、**あて名のお子さんの保護者の方**にお願いいたします。
3. ご回答は、**選択肢の番号に○をつけていただく場合と、数字をご記入いただく場合**がございます。
また、「その他」を選択した場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 時間を数字でご記入いただく場合、**24時間制（例：09時～18時）**でご記入ください。
5. 設問によっては、**ご回答いただく方が限られる場合がございます**。注意書きや矢印に従ってご回答ください。特に注意書きのない場合は次の設問へお進みください。
6. ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、**12月26日（水）**までに**同封の返信用封筒**に入れて、郵便ポストにご投函ください。**切手の貼付やお名前の記入は必要ありません**。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

旭市役所 子育て支援課

子育て支援班 電話 0479-62-8012



保 育 班 電話 0479-62-5313



2019年10月より、幼児教育・保育無償化の制度が開始することが予定されています。

2019年10月より、3歳から5歳までのすべての子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについての幼児教育・保育の費用の無償化が予定されています。

下表は、幼児教育・保育無償化の具体的なイメージ(例)となります。

 3歳～5歳児 (保育の必要性の認定事由に 該当する子ども) ・共働き家庭 ・シングルで働いている家庭 など	利用	幼稚園、保育所(園)、認定こども園 障害児通園施設	無償 (幼稚園は月2.57万円まで)
	利用	幼稚園の預かり保育	幼稚園保育料の無償化 (月2.57万円まで)に加え、 月1.13万円(月3.7万円 との差額)まで無償
	利用 (複数利用)	認可外保育施設、ベビーシッターなど (一般的にいう認可外保育施設、自治体の 認証保育施設など)	月3.7万円まで無償
	複数利用	幼稚園、 保育所(園)、 認定こども園 + 障害児通園施設	ともに無償 (幼稚園は月2.57万円まで)
 3歳～5歳児 (保育の必要性の認定事由に 該当しない子ども) ・専業主婦(夫)家庭 など	利用	幼稚園、認定こども園 障害児通園施設	無償 (幼稚園は月2.57万円まで)
	複数利用	幼稚園 + 認定こども園 + 障害児通園施設	ともに無償 (幼稚園は月2.57万円まで)

※幼稚園の預かり保育や認可外保育施設を利用している場合、無償化の対象となるためには、保育の必要性の認定事由に該当することが必要となります。

※住民税非課税世帯については、0歳～2歳児についても上記と同様の考え方により無償化の対象となります。この場合、認可外保育施設が月4.2万円まで無償、認可保育施設はすべて無償となります。

※上記のうち認可外保育施設及びベビーシッターについては、認可外保育施設の届出をし、指導監督の基準を満たすものに限る(ただし、5年間の経過措置として、指導監督の基準を満たしていない場合でも無償化の対象とする猶予期間を設ける)。

※国の動向により、変更となる場合があります。

<用語の解説>

幼稚園	3～5歳児に対して教育を行う施設
幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業
保育所(園)	保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せもつ施設
小規模保育施設	定員が6～19人の施設
家庭的保育	保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設
認可外保育施設	いわゆる託児所
居宅訪問型保育	保育者が子どもの家庭で保育する事業
ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業
地域子育て支援拠点事業	主に就学前の子どもを対象とし、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場
●旭市子育て支援センターハニカム：旭市役所南分館2階 ●子育て支援センターおひさま：サンライズベビーホーム ●おうめい子育て支援センター：おうめい保育園 ●サポートセンターつるまき子供の丘：鶴巻保育園 ●子育て支援センターたんぽぽ：干潟町中央保育園 ●あさひこひつじ幼稚園子育て支援センター：あさひこひつじ幼稚園	
夜間養護等事業(トワイライトステイ)	児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業
短期入所生活援助事業(ショートステイ)	児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業
児童館	児童を対象とし、健全な遊びを与えて、その健康を増進するなど、又は情操をゆたかにすることを目的とした施設
放課後子ども教室	子どもを対象とし、地域住民の協力を得て文化活動などを実施する事業
放課後児童クラブ(学童保育)	小学生を対象に、放課後の遊び・生活の場を提供する事業
一時預かり	一時的に家庭で保育ができなくなった場合、児童を預かる事業
延長保育	通常保育の時間を延長して児童の保育をする事業
病児・病後児保育	児童が病気等の場合、専用施設において一時的に保育する事業
放課後等デイサービス	障害がある児童に、生活能力向上の訓練、社会との交流促進などを民間事業者が行うサービス

1. お住まいの地域についてお伺いします。

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 中央小学校区 | 9. 滝郷小学校区 |
| 2. 琴田小学校区 | 10. 嚶鳴小学校区 |
| 3. 干潟小学校区 | 11. 飯岡小学校区 |
| 4. 富浦小学校区 | 12. 三川小学校区 |
| 5. 矢指小学校区 | 13. 萬歳小学校区 |
| 6. 共和小学校区 | 14. 中和小学校区 |
| 7. 豊畑小学校区 | 15. 古城小学校区 |
| 8. 鶴巻小学校区 | |

2. 対象のお子さんをご家族の状況についてお伺いします。

※「対象のお子さん」とは、封筒のあて名のお子さんを指します。

問2 対象のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	生まれ
----	----------------------	---	----------------------	---	-----

問3 対象のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、一番大きいお子さん及び小さいお子さんの年齢(平成30年4月1日現在の年齢)をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

お子さんの人数	⇒	一番大きいお子さんの年齢	<input type="text"/>	歳
<input type="text"/> 人		一番小さいお子さんの年齢	<input type="text"/>	歳

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。続柄は対象のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 一緒に住んでいる | 4. 死別・離婚などではない |
| 2. 単身赴任で別に住んでいる | 5. 元々いない |
| 3. 別居している | |

問6 対象のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。続柄は対象のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他 ()
----------	---------	---------	----------	------------

問7 対象のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方や施設をお答えください。

（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------|-------------------|---------------|
| 1. 父母ともに | 4. 祖父母 | 7. 学習塾・習い事 |
| 2. 母親 | 5. 小学校 | 8. 放課後等デイサービス |
| 3. 父親 | 6. 放課後児童クラブ（学童保育） | 9. その他（ ） |

問8 対象のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------|-------------------|-----------|
| 1. 家庭 | 4. 放課後児童クラブ（学童保育） | 7. その他（ ） |
| 2. 地域 | 5. 学習塾・習い事 | |
| 3. 小学校 | 6. 放課後等デイサービス | |

問9 対象のお子さんを日常的に預けられる親族・知人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | } ⇒ 問10へ |

問9-1 問9で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である |
| 4. 親の立場として、自分たち以外に負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問9-2 問9で「3」または「4」と回答した方にお伺いします。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく、心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である |
| 4. 親の立場として、自分たち以外に負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問10 対象のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び相談できる場所がありますか。（○は1つ）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 相談できる人がいる／場所がある ⇒ 問10-1へ |
| 2. 相談できる人がいない／場所がない ⇒ 問11へ |

問 10-1 問 10 で「1. 相談できる人がある／場所がある」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できるのはどちらですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 配偶者（夫又は妻） | 9. 小学校教諭 |
| 2. 父母（子どもの祖父母） | 10. 放課後児童クラブ（学童保育） |
| 3. 親戚 | 11. 放課後等デイサービス |
| 4. 友人や知人 | 12. 民生委員・児童委員 |
| 5. 近所の人 | 13. かかりつけの医師 |
| 6. 職場の人 | 14. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 7. 子育て支援施設（子育て支援センター等） | 15. 民間の地域生活支援機関（海匠ネットワーク等） |
| 8. 保健所・保健センター | 16. その他（ ） |

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所等）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由に意見などをお書きください。

3. 理想の子どもの数についてお伺いします。

問 12 理想とする子どもの数は何人ですか。（○は1つ）

- | | | | |
|-------|-------|---------|----------|
| 1. 1人 | 3. 3人 | 5. 5人以上 | 7. わからない |
| 2. 2人 | 4. 4人 | 6. 0人 | |

問 13 あなたは、実際に何人の子どもを持つ予定ですか。（○は1つ）

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 1人 | 3. 3人 | 5. 5人以上 |
| 2. 2人 | 4. 4人 | 6. わからない |

問 14 問 13 の「実際に持つ予定の子ども数」が、問 12 の「理想と考える子どもの数」よりも少ない方にお伺いします。

理想と考える子どもの数より実際に持つ予定の子どもの数が少ないのはなぜですか。（○は3つまで）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 子どもを育てるのにお金がかかる | 8. 育児の心理的負担が大きい |
| 2. 育児の体力的な問題 | 9. 教育をめぐる状況に不安 |
| 3. 家が狭い | 10. 子どもの将来が不安 |
| 4. のびのびと育つ生活環境がない | 11. 計画しているところ |
| 5. 子どもを預かってくれるところがない | 12. 欲しいができない |
| 6. 仕事に支障をきたす | 13. その他（ ） |
| 7. 年齢的理由で難しい | |

4. 対象のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします。

問 15 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（○は1つ）

（1）母親の状況について 【父子家庭の場合は記入不要です】

1. 就労している（フルタイム※1：産休・育休・介護休業中ではない）
2. 就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中である）
3. 就労している（パートタイム・アルバイト等※2：産休・育休・介護休業中ではない）
4. 就労している（パートタイム・アルバイト等だが産休・育休・介護休業中である）
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

⇒ (1)-①・②へ

※1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※2 パートタイム・アルバイト等：フルタイム以外の就労

（1）-①・② （1）で「1」～「4」と回答した方にお伺いします。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（口内に数字をご記入ください。）

※就労日数や時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制（例：帰宅時間 19時30分）

① 就労日数・就労時間	1週当たり <input type="text"/> 日 / 1日当たり <input type="text"/> 時間
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 / 帰宅時間 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分

（2）父親の状況について 【母子家庭の場合は記入不要です】

1. 就労している（フルタイム※1：育休・介護休業中ではない）
2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中である）
3. 就労している（パートタイム・アルバイト等※2：育休・介護休業中ではない）
4. 就労している（パートタイム・アルバイト等だが育休・介護休業中である）
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない

⇒ (2)-①・②へ

※1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※2 パートタイム・アルバイト等：フルタイム以外の就労

（2）-①・② （2）で「1」～「4」と回答した方にお伺いします。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（口内に数字をご記入ください。）

※就労日数や時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制（例：帰宅時間 19時30分）

① 就労日数・就労時間	1週当たり <input type="text"/> 日 / 1日当たり <input type="text"/> 時間
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 / 帰宅時間 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分

問 15-1 問 15 の（1）または（2）で「3」、「4」（パートタイム・アルバイト等で就労）と回答した方にお伺いします。

フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ○は1つ）

（1）母親	1. 転換希望があり（フルタイム）、実現できる見込みがある 2. 転換希望はあるが（フルタイム）、実現できる見込みがない 3. 転換希望がない（パートタイム、アルバイト等の就労を続けることを希望） 4. パートタイム、アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
（2）父親	1. 転換希望があり（フルタイム）、実現できる見込みがある 2. 転換希望はあるが（フルタイム）、実現できる見込みがない 3. 転換希望がない（パートタイム、アルバイト等の就労を続けることを希望） 4. パートタイム、アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 15-2 問 15 の（1）または（2）で「5」、「6」（就労していない）と回答した方にお伺いします。

就労希望はありますか。（該当する番号・記号にそれぞれ○は1つ、該当する口内に数字をご記入ください。）

（1）母親	1. 子育てや家事などに専念したい（就労予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
-------	---

《希望する就労形態》

ア. フルタイム
 イ. パートタイム・アルバイト等（1週当たり 日 1日当たり 時間）

（2）父親	1. 子育てや家事などに専念したい（就労予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
-------	---

《希望する就労形態》

ア. フルタイム
 イ. パートタイム・アルバイト等（1週当たり 日 1日当たり 時間）

5. 対象のお子さんの放課後や休日の過ごし方についてお伺いします。

問 16 平日の放課後や休日等は、どのように過ごしていますか。下の表（選択肢）から主な番号を3つ選んでそれぞれの欄にご記入ください。

平日の放課後の過ごし方 (3つまで)			土曜日の過ごし方 (3つまで)			日曜日の過ごし方 (3つまで)		

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 小学校にいる(遊びなど) | 7. 公民館・図書館などの公共の施設にいる |
| 2. 放課後児童クラブ(学童保育)で過ごす | 8. 子ども会活動、スポーツ活動等に参加している |
| 3. 保護者や祖父母等、家族親族等(大人)と過ごす | 9. 学習塾や習い事に行く |
| 4. きょうだいや家族親族等(子ども)と過ごす | 10. 家でひとりで過ごす |
| 5. 家政婦等と過ごす | 11. 同居していない親族や知人宅で過ごす |
| 6. 家、公園などで友達と過ごす | 12. その他() |

問 17 お子さんについて、現在、放課後児童クラブ（学童保育）を利用していますか。（○は1つ）

1. 利用している ⇒ 問 17-1、2へ

問 17-1 問 17 で「1」と回答した方にお伺いします。

お子さんについて、放課後児童クラブ（学童保育）の利用日数はどれくらいですか。また、土曜日の利用についてお答えください。

(□内に利用日数をご記入ください。土曜日の利用について○は1つ)

週	日くらい	⇒	うち土曜日の利用	1. ある	2. ない
---	------	---	----------	-------	-------

問 17-2 問 17 で「1」と回答した方にお伺いします。

利用している理由は何ですか。(○は1つ)

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障害を持っている
5. 学生である
6. その他（ ）

問 17-3 問 17 で「2」と回答した方にお伺いします。

利用していない主な理由は何ですか。(○は1つ)

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、

1. 現在就労していないから

就労しているが、

2. 放課後児童クラブ（学童保育）を知らなかったから
3. 近くに放課後児童クラブ（学童保育）がないから
4. 放課後児童クラブ（学童保育）に空きがないから
5. 放課後児童クラブ（学童保育）の開室時間が短いから
6. 利用料がかかるから
7. 子どもは放課後の習い事をしているから
8. 放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
9. 他の施設に預けているから
10. その他（

問 17-4 問 17 で「2」と回答した方にお伺いします。

お子さんについて、今後、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいとお考えですか。また、利用したい場合に土曜日の利用希望はありますか。（それぞれ○は1つ、該当する□内に数字をご記入ください。）

1. 利用したい → 週 日くらい ⇒ うち土曜日の利用希望 1. ある 2. ない
2. 今後利用しない

問 17-5 問 17-4で「1」と回答した方にお伺いします。

今後、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい主な理由は何ですか。（○は1つ）

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. そのうち就労したいと考えている
4. 家族・親族などを介護しなければならない
5. 病気や障害を持っている
6. 学生である／就学したい
7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
8. その他（ ）

問 18 お子さんについて伺います。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。(○は1つ、該当する□内に数字をご記入ください。)

1. 放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい
 小学 年生まで利用したい
2. クラブ活動など習い事をさせたい
3. 利用を希望するサービスは特にない
4. その他（

6. 対象のお子さんの病気の際の対応についてお伺いします。

問19 この1年間に、対象のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。
(○は1つ)

1. あった ⇒ 問19-1へ

2. なかった ⇒ 問20へ

問19-1 問19で「1. あった」と回答した方にお伺いします。

対象のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。

(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。) ※半日程度の利用も1日としてください。

1年間の対処方法	日数(年間)	
1. 父親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ 問19-2へ
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
3. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ 問19-5へ
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
5. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
6. 家政婦等を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
7. ファミリー・サポート・センター※による病児・病後児の預かりを利用した(病児・病後児緊急サポート事業も含む)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
9. その他()	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	

【※】が付いている施設は、現在旭市にはありません。

問19-2 問19-1で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」と回答した方にお伺いします。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についてもご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(○は1つ、口内に数字をご記入ください。)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 年間 日 ⇒ 問19-3へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問19-4へ

7. 子育て支援サービスの認知度や利用意向等についてお伺いします。

問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したい事業についてお伺いします。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

事 業	A	B	C
	知っている	これまでに利用 したことがある	今後利用したい
① 母親(父親)・両親・育児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
② 保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③ 家庭教育に関する相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④ 学校教育に関する相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤ 子育て支援課窓口（相談室も含む）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥ 子育て相談（子育て支援センター）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

①母親学級(父親)・両親学級・育児学級とは…

市区町村や病院が、妊産婦とその配偶者等に、食生活や運動、心の安定などについて、相談を受けたり、指導するもの。

②保健センターとは…

地域保健法第 18 条により市町村が設置する、健康相談、保健指導及び健康診査その他地域保健に関して、必要な事業を行う施設。

④学校教育に関する相談事業とは…

子どもに関する教育相談、就学指導等を行い、その心や身体の問題をよりよく解決することを目的として設置される。

8. 地域活動やグループ活動等についてお伺いします。

問 21 お子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1. 参加したことがある | } ⇒ 問 21-1へ |
| 2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている | |
| 3. 参加したことがなく、今後も予定はない | |

問 21-1 問 21 で「1」または「2」を回答した方にお伺いします。

お子さんが参加したことがある、もしくは今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. スポーツ活動 | 5. ホームステイ等の国際交流活動 |
| 2. 文化・音楽活動 | 6. リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動 |
| 3. キャンプ等の野外活動 | 7. 子ども会等青少年団体活動 |
| 4. 高齢者訪問等の社会福祉活動 | 8. その他（ ） |

9. 子育てに関する悩みや不安感についてお伺いします。

問 22 子育てに関して不安や負担などを、感じていますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 4. まったく感じない |
| 2. なんとなく不安や負担を感じる | 5. なんともいえない |
| 3. あまり不安や負担などは感じない | |

問 23 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | |
|---|
| 1. 病気や発育・発達に関すること |
| 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 育児の方法がよくわからないこと |
| 4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと |
| 5. 子どもとの時間を十分にとれないこと |
| 6. 話し相手や相談相手がいないこと |
| 7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと |
| 8. 子どもの教育に関すること |
| 9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること |
| 10. 登園拒否、不登校などの問題について |
| 11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと |
| 12. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと |
| 13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること |
| 14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 15. 子どもを叱りすぎているような気がする |
| 16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと |
| 17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと |
| 18. その他（ ） |
| 19. 特にない |

問 24 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | |
|----------------------------|
| 1. 子育てによる身体の疲れが大きい |
| 2. 子育てで出費がかさむ |
| 3. 自分の自由な時間が持てない |
| 4. 夫婦で楽しむ時間がない |
| 5. 仕事が十分にできない |
| 6. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 7. 子どもが病気がちである |
| 8. 住居が狭い |
| 9. その他（ ） |
| 10. 不安や悩みは特にない |

問 25 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。(○は3つまで)

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 職場の理解が得られない
5. 子どもの他に面倒をみなければならない人がいる
6. 子どもの面倒をみてくれる保育サービスなどが見つからない
7. 子どもと接する時間が少ない
8. その他（ ）

問 26 仕事と子育てを両立する上で必要なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 延長保育や一時預かり、放課後児童クラブ（学童保育）などの保育サービス
2. 配偶者やパートナーが育児に協力してくれること
3. 祖父母などの家族が子どもの面倒をみてくれること
4. 育児休業や介護休業などの取得
5. フレックスタイムや短時間勤務などの活用
6. 家族や隣近所、知人などからの保育サービスなどに関する情報提供
7. 市役所や市の機関などからの保育サービスなどに関する情報提供
8. その他（

10. 子育てに関する情報の入手方法についてお伺いします。

問 27 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 親族（親、きょうだいなど） | 8. 子育て雑誌・育児書 |
| 2. 隣近所の人、知人、友人 | 9. インターネット |
| 3. 子育てサークルの仲間 | 10. コミュニティ誌 |
| 4. 幼稚園、保育所（園）、認定こども園、学校 | 11. 情報の入手先がない |
| 5. 市役所や市の機関 | 12. 情報の入手手段がわからない |
| 6. 市の広報やパンフレット | 13. その他（ ） |
| 7. テレビ、ラジオ、新聞 | |

1 1. 子育てサークルへの参加状況についてお伺いします。

問 28 あなたは、子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 現在参加している
2. 現在は参加していないが、今後参加機会があれば参加したい
3. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない
- ⇒ 問28へ
⇒ 問29へ

問 28-1 問 28 で「1」または「2」と回答した方にお伺いします。

自主的な活動をしていくにあたって行政に担ってほしい支援はどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. 活動場所の提供（場所貸しなど） | 4. 活動資金の助成 |
| 2. 情報発信やPRなどに関する支援（掲示板の開放など） | 5. その他（ ） |
| 3. 活動時間中の保育サービス | |

12. 子どもの遊び場について伺います。

問 29 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。(○は3つまで)

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
9. 遊び場やその周辺の道路が危険である
10. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
11. その他（ ）
12. 特に感じることはない

1 3. 外出の際に困ることについてお伺いします。

問 30 お子さんとの外出の際に困ること・困ったことは何ですか。(○は3つまで)

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備がないこと
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
7. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
8. 緑や広い歩道が少ない等、まちなみにゆとりとるおいがない
9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である
10. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること
11. 荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ないこと
12. その他（ ）
13. 特に困ること・困ったことはない

14. お子さんの医療についてお伺いします。

問 31 お子さんにかかりつけ医はいますか。(○は1つ)

1. いる ⇒ 問32へ 2. いない ⇒ 問31-1へ

問 31-1 問 31 で「2」と回答した方にお伺いします。

現在いない理由は何ですか。(○は1つ)

1. 地域の医療機関（病院・医院・診療所）を知らない
2. 利用したい医療機関（病院・医院・診療所）が地域にない
3. 地域の医療サービスに不安がある
4. 大規模な病院で専門的な診療科が設置されている医療サービスを受けたい
5. かかりつけ医の必要性を感じない
6. その他（

15. お子さんとの生活全般についてお伺いします。

問 32 あなたは、お子さんと十分な時間を過ごせていると思いますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 母親	1. よく過ごせていると思う 2. まあまあ過ごせていると思う 3. あまり過ごせていないと思う 4. 過ごせていないと思う
(2) 父親	1. よく過ごせていると思う 2. まあまあ過ごせていると思う 3. あまり過ごせていないと思う 4. 過ごせていないと思う

問 33 あなたは、お子さんの進路に対して、理想とする進路はどの段階までですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1. 中学校まで | 5. 大学まで |
| 2. 高等学校まで | 6. 大学院まで |
| 3. 専門学校まで（高等学校卒業後に進学するもの） | 7. その他（ ） |
| 4. 高等専門学校・短期大学まで | 8. 特に理想はない |

問 34 理想とする進路として回答した理由は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 保護者の希望として | 4. 家庭に経済的な余裕がないから |
| 2. 一般的な進路だと思うから | 5. その他（ ） |
| 3. 将来的（就職等）に有利だと思うから | 6. 特に理由はない |

問 35 お子さんの今後の教育に関して心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 保護者としての携わり方がわからない | 4. 塾等に通わせる経済的な余裕がない |
| 2. 教育に関する情報の入手先がわからない | 5. その他（ ） |
| 3. 勉強をみてあげることができない | 6. 特にない |

問 36 あなたの世帯は、現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問 37 あなたの世帯は、おおむね 1 年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもを医療機関に受診させることができなかった
2. 子どものための本や絵本、服や靴を買えなかった
3. 子育て関連のサービスを利用したかったが控えた
4. 子どもを習い事に通わせることができなかった
5. 子どもにプレゼント（誕生日等）を買ってあげることができなかった
6. 家族旅行（日帰りを含む）ができなかった
7. その他（ ）
8. 特になかった

16. 児童虐待について

問 38 あなたの周りに、児童虐待または児童虐待の疑いがある子どもがいた（いる）ことはありますか。
（○は1つ）

1. いた (いる) ⇒ 問38-1へ 2. いない ⇒ 問39へ

問 38-1 問 38 で「1. いた (いる)」と回答した方にお伺いします。

その際、どこかに相談・通報をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 市役所に相談・通報した | 4. 児童相談所に相談・通報した |
| 2. 小学校等に相談・通報した | 5. どこにも相談・通報しなかった |
| 3. 警察に相談・通報した | 6. その他（ ） |

問 39 あなたが考える児童虐待が起きてしまう要因は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 保護者の養育能力の低下 | 6. 家庭の経済的貧困 |
| 2. 望まない妊娠の増加 | 7. 共働き世帯の増加 |
| 3. 家庭構造の変化（核家族化の増加等） | 8. 子ども側の要因の増加 |
| 4. 保護者の精神疾患等 | 9. 虐待の世代間連鎖 |
| 5. 保護者の地域からの孤立化 | 10. その他（ ） |

問 40 あなたは、児童虐待の早期対応や被害児童等に対する保護・支援として、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 市役所・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化
2. 各関係機関の役割分担の明確化
3. 職員に対する児童虐待防止や、被害児童への対応等に関する研修の充実
4. 児童養護施設等の施設の充実
5. 特別養子縁組や里親制度の普及啓発
6. 被害児童の自立に向けた支援の充実
7. 保護者への児童虐待防止に関する啓発
8. 地域で子どもたちを見守るためのコミュニティの構築
9. その他（

17. 子育て支援施策全般について伺います。

問 41 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい
3. 子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作って欲しい
4. 保育所（園）を増やして欲しい
5. 幼稚園を増やして欲しい
6. 認定こども園を増やして欲しい
7. 保育所（園）や幼稚園、認定こども園にかかる費用負担を軽減して欲しい
8. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO*等による保育サービスが欲しい
9. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい
10. 残業時間の短縮や休暇の取得推進など、企業に対しての職場環境の改善を働きかけて欲しい
11. 子育てについて学べる機会を作って欲しい
12. その他（ ）

※NPO：民間で、公益のために活動し、営利を求めない任意の団体のこと。また、NPO法に基づき、都道府県の認証を受けて法人格を持つ組織もある。

問 42 本市における子育ての環境や支援への満足度はいかがですか。(〇は1つ)

満足度が低い		←————→		満足度が高い	
1	2	3	4	5	

問 43 最後に、すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上になります。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れて、**12月26日(水)までに**、

郵便ポストにご投函ください。



旭 市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
報告書

平成 31 年 3 月発行

発行 旭市

編集 旭市 子育て支援課

〒289-2595 千葉県旭市二の 1920 番地

TEL：0479-62-8012（子育て支援班）

0479-62-5313（保 育 班）

FAX：0479-62-7055

URL：http://www.city.asahi.lg.jp/